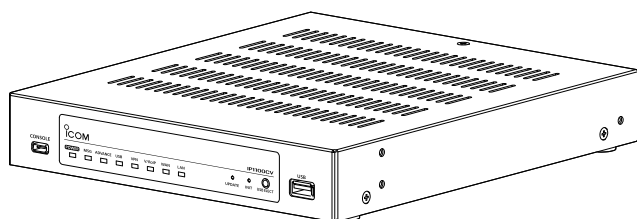


WLAN TRANSCEIVER
CONTROLLER
IP1100CV

本書は、本製品で設定できるさまざまな機能について、メニューの設定画面ごとに詳しく説明しています。
取扱説明書 [導入編]に記載されていない詳細な機能を設定するときなど、本書と併せてご覧ください。



Icom Inc.

はじめに

1 TOP

2 情報表示

3 ネットワーク情報

4 ルーター設定

5 無線機コントローラー設定

6 呼出先設定

7 管理

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品は、IPネットワークを経由して弊社製WLAN無線機を制御するためのコントローラーです。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本書の表記について

本書は、次の表記規則にしたがって記述しています。

「 」表記：本製品の各メニューと、そのメニューに属する設定画面の名称を(「 」)で囲んで表記します。

[]表記：キー、ランプ、ポート、各設定画面の設定項目名を([])で囲んで表記します。

< >表記：設定画面上に設けられたコマンドボタンの名称を(< >)で囲んで表記します。

※ 本書は、IP1100CV Ver.1.01のファームウェアを使用して説明しています。

※ 本書では、Windows 11の画面を例に説明しています。

※ 本書では、IP100H、IP110H、IP200H、IP200PG、IP210H、VP-2100を「WLAN無線機」と表記しています。

※ 本書では、WLAN無線機を制御するコントローラー(AP-9500、IP1000C、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4)を「無線機コントローラー」と表記しています。

2024年12月現在、VP-2100に対応しているコントローラーはAP-9500、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。

※ 本書中の画面は、OSのバージョンや設定によって、お使いになるパソコンと多少異なる場合があります。

※ 本製品の仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。

登録商標/著作権

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windowsは、マイクロソフト企業グループの商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

はじめに

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「ご使用になる前に」、弊社ホームページに掲載の下記取扱説明書(PDFファイル)で構成されています。

ご使用になる前に(別紙)

本製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい注意事項を説明しています。また、本製品の初期化操作など、保守についても説明しています。

取扱説明書[導入編](別冊)

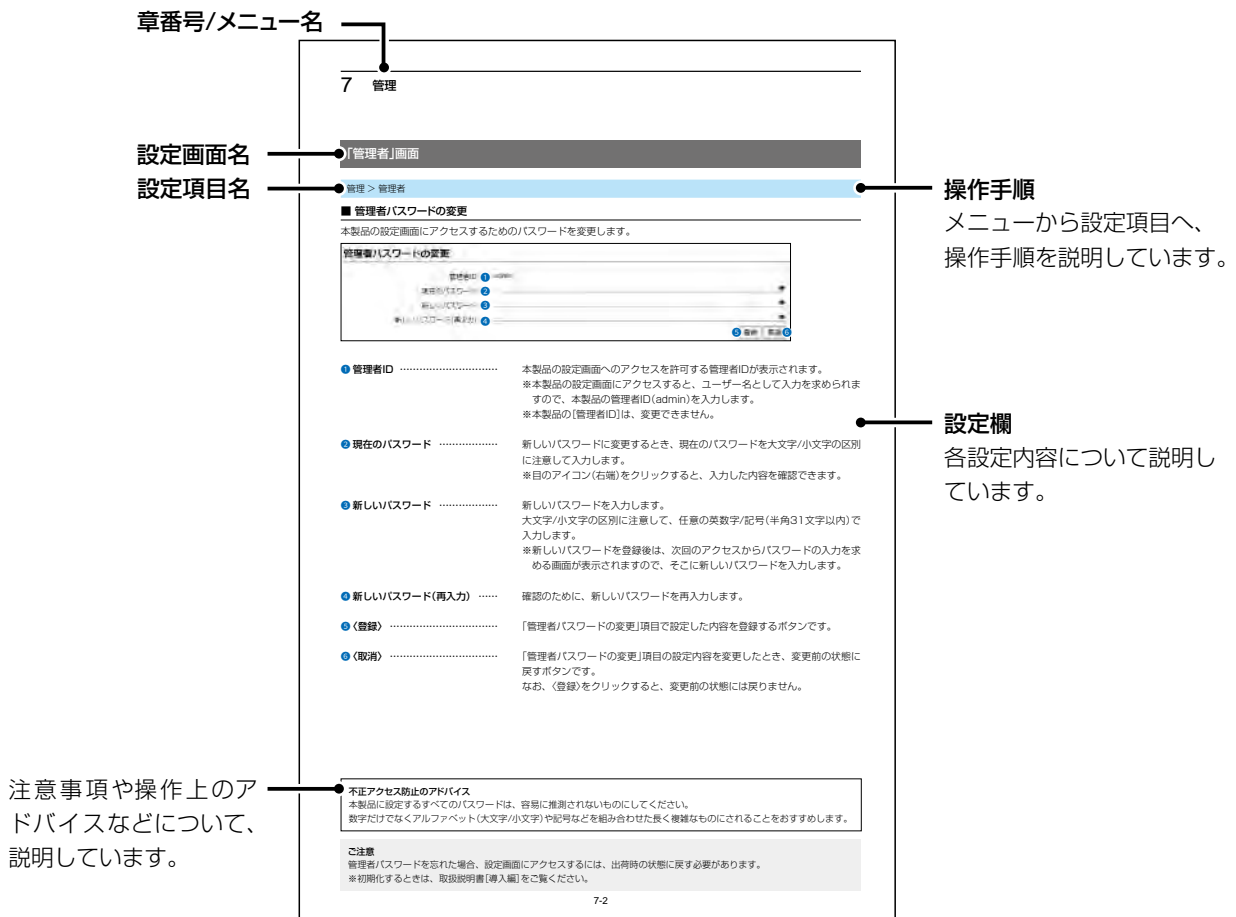
本製品の基本的な方法について、本書を最初からお読みいただくことで、設定や設置の作業ができるように構成しています。

取扱説明書[活用編](本書)

本製品に設定できる詳細な機能について、設定メニューごとに詳細を説明しています。

説明ページの構成について

本書は、次のような構成で説明しています。



この章では、
「TOP」画面の設定について説明します。

「TOP」画面	1-2
■ システム情報	1-2
■ MACアドレス	1-2

「TOP」画面

TOP

■ システム情報

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

システム情報	
本体名称	IP1100CV
バージョン	1.01 (Copyright © 2017 EXSELI Co., Ltd.)
内蔵ファームウェアバージョン (IP100H)	1.00
内蔵ファームウェアバージョン (IP110H)	1.00
内蔵ファームウェアバージョン (IP200H)	1.00
内蔵ファームウェアバージョン (IP200PG)	1.00
内蔵ファームウェアバージョン (IP210H)	1.00
内蔵ファームウェアバージョン (VP-2100)	1.00

※本製品に登録されたWLAN無線機ごとのファームウェアのバージョン情報は、「無線機管理」画面で確認できます。

TOP

■ MACアドレス

本製品のMACアドレス(LAN/WAN)が表示されます。

MACアドレス	
LAN	00-90-C7-1-00-00
WAN	00-90-C7-1-00-00

※MACアドレスは、本製品のようなネットワーク機器がそれぞれ独自に持っている機器固有の番号で、12桁(00-90-C7-xx-xx-xx)で表示されています。

※本製品本体に貼られているシリアルシールでも、MACアドレスを確認できます。

この章では、
「情報表示」メニューの設定について説明します。

「ネットワーク情報」画面	2-2
■ インターフェース	2-2
■ Ethernetポート接続情報	2-2
■ DHCPリース情報	2-2
「SYSLOG」画面	2-3
■ SYSLOG	2-3

2 情報表示

「ネットワーク情報」画面

情報表示 > ネットワーク情報

■ インターフェース

「ネットワーク設定」メニュー→「スタティックルーティング」画面→「IP経路情報」項目に表示された「経路」について、その詳細が表示されます。

インターフェース		
インターフェース	IPアドレス	サブネットマスク
br-lan	192.168.0.22	255.255.255.0

情報表示 > ネットワーク情報

■ Ethernetポート接続情報

本製品のポートについて、通信速度と通信モードが表示されます。

Ethernetポート接続情報		
インターフェース	MACアドレス	リンク状態
LAN	00-90-C7- <small>（省略）</small>	100BASE-TX full-duplex
WAN	00-90-C7- <small>（省略）</small>	リンクダウン

※本製品の[LAN]ポート、[WAN]ポートは、接続モードが「自動(Auto)」となっています。

接続する機器側も「自動(Auto)」に設定することで、通信に最適な速度、モードが自動選択されます。

※接続する機器を100Mbps、または10Mbpsで固定する場合、半二重(half-duplex)設定にしてください。

弊社製品に限らず、自動(Auto)と固定速度full-duplexとがネゴシエーションする場合、自動(Auto)側はhalf-duplexと認識されることがあり、パフォーマンスが著しく低下する原因になることがあります。

※通信速度に関係なく、接続するHUBを「full-duplex」固定に設定すると、[Ethernetポート接続情報]項目で「half-duplex」と表示されることがあります。

情報表示 > ネットワーク情報

■ DHCPリース情報

本製品のDHCPサーバー機能(P.3-4)を使用している場合、本製品に接続する端末に割り当てされたIPアドレスの状態と有効期限が表示されます。

DHCPリース情報			
ホスト名	MACアドレス	IPアドレス	リース期限
	<small>（省略）</small>	192.168.0.23	<small>（省略）</small>
	<small>（省略）</small>	192.168.0.85	<small>（省略）</small>
	<small>（省略）</small>	192.168.0.83	<small>（省略）</small>
	<small>（省略）</small>	192.168.0.31	<small>（省略）</small>
	<small>（省略）</small>	192.168.0.94	<small>（省略）</small>

2 情報表示

「SYSLOG」画面

情報表示 > SYSLOG

■ SYSLOG

本製品のログ情報が表示されます。

The screenshot shows the SYSLOG configuration page. At the top, it displays the current time and a refresh button. Below that, there are checkboxes for log levels: DEBUG, INFO, and NOTICE. A filter input field is present with a dropdown menu set to 'を含む'. At the bottom, there are three buttons: '最新の情報に更新', '保存', and 'クリア'. A table below shows log entries with columns for '日付・時間', 'レベル', and '内容'.

日付・時間	レベル	内容
2023/08/08 08:46:38	DEBUG	iprsd: userdata loading complete.(ret=0)
2023/08/08 08:46:38	DEBUG	iprsd: load userdata.(1)
2023/08/08 08:46:38	DEBUG	iprsd: signal received.(1)

- 1 表示するレベル** …………… 非表示に設定するときには、非表示にするレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]をはずします。
※「SYSLOG」画面のチェックボックス状態は、保存されません。
設定画面へのアクセスごとに、元の状態に戻ります。
※すべてのチェックマーク[✓]をはずすことはできません。
- 2 表示フィルター** …………… 表示内容を絞りこむときに使用するフィルターです。
フィルターとして使用するキーワード(大文字小文字の区別なし)(例: dhcp)を入力し、「を含む」/「含まない」を選択します。
以下の半角文字を検索するには、前に「\」を入れます。(例:「*」は「*」と入力)
^ . [\$ () ! * + ? { \
- 3 <最新の情報に更新>** …………… [表示するレベル]欄でチェックマーク[✓]のあるレベルについてのSYSLOG情報を最新の状態にするボタンです。
※最大1000件のログ情報を記憶できます。
1000件を超えると、古いログ情報から削除されます。
- 4 <保存>** …………… [表示するレベル]欄に応じた内容を保存するボタンです。
※クリックして、表示された画面にしたがって操作すると、ログ情報をテキスト形式(拡張子: txt)で保存できます。
- 5 <クリア>** …………… すべてのログ情報を削除するボタンです。

この章では、
「ネットワーク設定」メニューの設定について説明します。

「IPアドレス」画面	3-2
■ 本体名称	3-2
■ IPアドレス設定	3-3
「DHCPサーバー」画面	3-4
■ DHCPサーバー設定	3-4
■ 静的DHCPサーバー設定	3-7
■ 静的DHCPサーバー設定一覧	3-7
「スタティックルーティング」画面	3-8
■ IP経路情報	3-8
■ スタティックルーティング設定	3-9
■ スタティックルーティング設定一覧	3-9
「ポリシールーティング」画面	3-10
■ 送信元ルーティング設定	3-10
■ 送信元ルーティング設定一覧	3-10
「QoS」画面	3-11
■ QoS設定	3-11
■ QoSルール設定	3-12
■ QoSルール設定リスト	3-12

3 ネットワーク設定

「IPアドレス」画面

ネットワーク設定 > IPアドレス

■ 本体名称

本製品の名称を設定します。

本体名称
本体名称: <u>IP1100CV</u>

本体名称.....

Telnet/SSHで本製品に接続したとき、ここで設定した本体名称が表示されます。
(出荷時の設定：IP1100CV)

※半角英数字(a～z、A～Z、0～9、-)を、任意の31文字以内で設定します。
なお、半角英数字以外の文字は、使用しないでください。

※「- (ハイフン)」を本体名称の先頭、または末尾に使用すると、登録できません。

3 ネットワーク設定

「IPアドレス」画面

ネットワーク設定 > IPアドレス

■ IPアドレス設定

本製品のIPアドレスを設定します。

IPアドレス設定	
IPアドレス : ①	192.168.0.1
サブネットマスク : ②	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ : ③	
プライマリ-DNSサーバー : ④	
セカンダリ-DNSサーバー : ⑤	
DNSサーバー設定は、WANが設定されている場合は無効となります。⑥ ⑦	
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>	

- ① **IPアドレス** 本製品のIPアドレスを入力します。 (出荷時の設定：192.168.0.1)
本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたネットワークアドレスに変更してください。
※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合は、[割り当て開始IPアドレス]欄(P.3-4)についてもネットワーク部を同じに設定してください。
- ② **サブネットマスク** 本製品のサブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレスの範囲)を設定します。 (出荷時の設定：255.255.255.0)
※本製品を現在稼働中のネットワークに接続するときなど、そのLANに合わせたサブネットマスクに変更してください。
- ③ **デフォルトゲートウェイ** 本製品のIPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力します。
※本製品と同じIPアドレスは登録できません。
- ④ **プライマリ-DNSサーバー** 本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※使い分けたいアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力してください。
- ⑤ **セカンダリ-DNSサーバー** [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様に、本製品がアクセスするDNSサーバーのアドレスを入力します。
※必要に応じて、使い分けたいDNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ⑥ **〈登録〉** [IPアドレス設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑦ **〈取消〉** [IPアドレス設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ DHCPサーバー設定

本製品のDHCPサーバー機能を設定します。

DHCPサーバー設定	
DHCPサーバー:	① <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
割り当て開始IPアドレス:	② 192.168.0.10
割り当て個数:	③ 128 個
サブネットマスク:	④ 255.255.255.0
リース期間:	⑤ 72 時間
ドメイン名:	⑥
デフォルトゲートウェイ:	⑦

- ① DHCPサーバー 本製品のDHCPサーバー機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、[割り当て開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄に設定された内容にしたがって、DHCPサーバーとして動作します。
- ② 割り当て開始IPアドレス 本製品に接続する端末へ、IPアドレスを自動で割り当てるときの開始アドレスを設定します。 (出荷時の設定：192.168.0.10)
- ③ 割り当て個数 本製品が自動割り当てできるIPアドレスの個数を設定します。 (出荷時の設定：128)
[割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスから連続で自動割り当てできるIPアドレスの最大個数は、「0～128」(個)までです。
※128個を超える分については設定できませんので、手動でクライアントに割り当ててください。
※「0」を設定したときは、自動割り当てをしません。
- ④ サブネットマスク [割り当て開始IPアドレス]欄に設定されたIPアドレスに対するサブネットマスクを設定します。 (出荷時の設定：255.255.255.0)
- ⑤ リース期間 DHCPサーバーが割り当てるIPアドレスの有効期間を時間で指定します。設定できる範囲は、「1～9999」(時間)です。 (出荷時の設定：72)
- ⑥ ドメイン名 指定のドメイン名を設定する必要があるときは、DHCPサーバーが有線で接続する端末に通知するネットワークアドレスのドメイン名を253文字(半角英数字)以内で入力します。
- ⑦ デフォルトゲートウェイ 本製品のDHCPサーバー機能を使用するときに、クライアントに通知するデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
※空白にした場合は、本製品のIPアドレスを通知します。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ DHCPサーバー設定

※上図は、[DNS代理応答]欄を「無効」に設定したときに表示される画面です。

- 8 DNS代理応答** …………… 本製品のDNS代理応答機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
DNS代理応答機能とは、端末からのDNS要求をプロバイダー側のDNSサーバーへ転送する機能です。
「有効」に設定すると、本製品のアドレスをネットワーク上の端末にDNSサーバーとして設定している場合、本製品が接続する先のDNSサーバーのアドレスが変更になったときでも、端末側の設定を変更する必要がありません。
- 9 プライマリ-DNSサーバー** …… DNSサーバーを利用する場合は、DNSサーバーアドレスを入力します。
DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
※ [DNS代理応答]欄を「有効」に設定している場合は、この欄と[セカンダリ-DNSサーバー]欄は表示されず、本製品がプライマリ-DNSサーバーとして通知されます。
- 10 セカンダリ-DNSサーバー** …… [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。
- 11 プライマリ-WINSサーバー** …… 本製品のDHCPサーバー機能を利用するときに、クライアントに通知するWINSサーバーアドレスを入力します。
WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
- 12 セカンダリ-WINSサーバー** …… [プライマリ-WINSサーバー]欄と同様、WINSサーバーのアドレスが2つある場合は、残りの一方を入力します。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ DHCPサーバー設定

DHCPサーバー設定

DNS代理応答： ⑧ 無効 有効

プライマリ-DNSサーバー： ⑨ _____

セカンダリ-DNSサーバー： ⑩ _____

プライマリ-WINSサーバー： ⑪ _____

セカンダリ-WINSサーバー： ⑫ _____

⑬ ⑭

登録 取消

※上図は、[DNS代理応答]欄(P.3-5)を「無効」に設定したときに表示される画面です。

- ⑬ <登録> [DHCPサーバー設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑭ <取消> [DHCPサーバー設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

3 ネットワーク設定

「DHCPサーバー」画面

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ 静的DHCPサーバー設定

固定IPアドレスを特定の端末に割り当てる設定です。

静的DHCPサーバー設定		
MACアドレス	IPアドレス	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

端末のMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを登録します。

※本製品のDHCPサーバー機能を使用する場合に有効です。(P.3-4)

※入力後は、〈追加〉をクリックしてください。

※最大32個の組み合わせまで登録できます。

※DHCPサーバー機能により自動で割り当てられるIPアドレスの範囲外でIPアドレスを設定してください。

例：[DHCPサーバー設定]項目(P.3-4)で、[割り当て開始IPアドレス]欄と[割り当て個数]欄が初期値の場合は、192.168.0.138以降のIPアドレスを設定してください。

※本製品のIPアドレスと重複しないように設定してください。

ネットワーク設定 > DHCPサーバー

■ 静的DHCPサーバー設定一覧

[静的DHCPサーバー設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

静的DHCPサーバー設定一覧		
MACアドレス	IPアドレス	
00-90-C7- <input type="text"/>	192.168.0.150	<input type="button" value="削除"/>

〈削除〉…………… 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

3 ネットワーク設定

「スタティックルーティング」画面

ネットワーク設定 > スタティックルーティング

■ IP経路情報

パケットの送信において、そのパケットをどのルーター、またはどの端末に配送すべきかの情報が表示されます。
※この項目では、現在有効な経路だけが表示されます。

宛先 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④
192.168.0.0	255.255.255.0		br-lan
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	br-lan

- ① 宛先 ルーティングの対象となるパケットの宛先IPアドレスが表示されます。
- ② サブネットマスク 宛先IPアドレスに対するサブネットマスクが表示されます。
- ③ ゲートウェイ 宛先IPアドレスに対するゲートウェイが表示されます。
- ④ 経路 宛先IPアドレスに対する転送先インターフェースが表示されます。
◎br-lan : インターフェースがLANの場合
◎eth0 : インターフェースがWAN側の場合
◎ppp0～ppp7 : インターフェースがWAN側PPPoEの場合
◎vti0～vti31 : インターフェースがIPsecの場合

3 ネットワーク設定

「スタティックルーティング」画面

ネットワーク設定 > スタティックルーティング

■ スタティックルーティング設定

パケットの中継経路を最大32件まで登録できます。

スタティックルーティング設定				
宛先 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④	
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254	ゲートウェイを設定 ▼	追加 ⑤

- ① 宛先 対象となる相手先のIPアドレスを入力します。
- ② サブネットマスク 対象となる宛先のIPアドレスに対するサブネットマスクを入力します。
- ③ ゲートウェイ パケット転送先ルーターのIPアドレスを入力します。
- ④ 経路 宛先IPアドレスに対する転送先インターフェースを、「ゲートウェイを設定」、「ppp0(WAN01)～ppp7(WAN08)」、「vti0～vti31」から選択します。
- ⑤ <追加> クリックすると、入力内容が登録されます。
[スタティックルーティング設定一覧]項目で登録した内容を確認できます。

ネットワーク設定 > スタティックルーティング

■ スタティックルーティング設定一覧

[スタティックルーティング設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

スタティックルーティング設定一覧				
宛先	サブネットマスク	ゲートウェイ	経路	① ②
192.168.10.0	255.255.255.0	192.168.0.254		編集 削除

- ① <編集> 登録した内容を編集するときは、該当する欄の<編集>をクリックします。
- ② <削除> 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の<削除>をクリックします。

3 ネットワーク設定

「ポリシールーティング」画面

ネットワーク設定 > ポリシールーティング

■ 送信元ルーティング設定

送信元の端末(パソコンなど)を特定して、パケットの中継経路を最大32件まで登録できます。

送信元 ①	サブネットマスク ②	ゲートウェイ ③	経路 ④	
192.168.0.20	255.255.255.255		ppp1 (WAN02)	追加 ⑤

- ① 送信元 送信元のIPアドレスを入力します。
- ② サブネットマスク 対象となる送信元のIPアドレスに対するサブネットマスクを入力します。
- ③ ゲートウェイ [経路] (④)で「ゲートウェイを設定」を選択した場合に、パケット転送先ルーターのIPアドレスを入力します。
- ④ 経路 対象となる送信元IPアドレスから送られてきたパケットの転送先インターフェースを、「ゲートウェイを設定」、「ppp0(WAN01)～ppp7(WAN08)」、「vti0～vti31」から選択します。
- ⑤ <追加> クリックすると、入力内容が登録されます。
[送信元ルーティング設定一覧]項目で登録した内容を確認できます。

ネットワーク設定 > ポリシールーティング

■ 送信元ルーティング設定一覧

[送信元ルーティング設定]項目で登録した内容が表示されます。
※画面は、設定例です。

送信元	サブネットマスク	ゲートウェイ	経路	①	②
192.168.0.20	255.255.255.255		ppp1 (WAN02)	編集	削除

- ① <編集> 登録した内容を編集するときは、該当する欄の<編集>をクリックします。
- ② <削除> 登録した内容を取り消すときは、該当する欄の<削除>をクリックします。

3 ネットワーク設定

「QoS」画面

ネットワーク設定 > QoS

■ QoS設定

WLAN無線機による通話中に、WANとLAN間のデータ通信を制限するための設定をします。

QoS設定

QoS: ① 無効 有効

② ③

- ① **QoS** パケット処理の優先制御機能について設定します。（出荷時の設定：有効）
「有効」に設定すると、[QoSルール設定]項目(P.3-12)から登録したQoSルールが有効になり、パケットを優先して送信し、それ以外の送信帯域を制限できます。
- ② **〈登録〉** [QoS設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** [QoS設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

3 ネットワーク設定

「QoS」画面

ネットワーク設定 > QoS

■ QoSルール設定

優先するパケットの条件を、DSCP値で指定します。

QoSルール設定

番号: ① 1

DSCP値: ②

③ ④

追加 取消

- ① 番号 QoSルールを登録するために、「1～8」の番号を選択します。
最大8件まで登録できます。
登録すると、本製品がパケットを送信するごとに、[QoSルール設定リスト]項目に表示されたルールと比較します。
- ② DSCP値 対象となるDSCP値を入力します。
設定できる範囲は、「0～63」です。
- ③ <追加> 新規作成、または編集した内容をQoSルールとして登録するとき、クリックします。
※[QoSルール設定リスト]項目で登録内容をご確認ください。
※QoSのルールは、1つ以上指定してください。
- ④ <取消> [QoSルール設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

ネットワーク設定 > QoS

■ QoSルール設定リスト

[QoSルール設定]項目で登録した内容が表示されます。

番号	DSCP値	16進表示	①	②
1	56	E0	編集	削除
2	48	C0	編集	削除

※出荷時の状態(上図)では、VoIP関連のパケットを優先できるように、番号「1」にDSCP値「56」、 「2」にDSCP値「48」が登録されています。

- ① <編集> ボタンの左側に表示されたQoSルールを編集するボタンです。
<編集>をクリックすると、表示された内容を[QoSルール設定]項目の各欄に表示します。
- ② <削除> ボタンの左側に表示されたQoSルール設定を削除するボタンです。

この章では、
「ルーター設定」メニューの設定について説明します。

「WAN接続先」画面	4-2
■ 回線状態表示 [DHCPクライアント設定時]	4-2
■ 回線状態表示 [固定IP設定時]	4-3
■ 回線状態表示 [PPPoE設定時]	4-4
■ 回線種別設定	4-5
■ 回線設定 [DHCPクライアント設定時]	4-6
■ 回線設定 [固定IP設定時]	4-7
■ 回線設定 [PPPoE設定時]	4-8
■ 回線設定一覧 [PPPoE設定時]	4-11
「アドレス変換」画面	4-12
■ アドレス変換設定	4-12
■ DMZホスト設定	4-12
■ 静的マスカレードテーブル設定	4-13
■ 静的マスカレードテーブル設定一覧	4-14
「IPフィルター」画面	4-15
■ 一般設定	4-15
■ IPフィルター設定	4-16
■ IPフィルター設定一覧	4-21
「簡易DNS」画面	4-22
■ 簡易DNSサーバー設定	4-22
■ 簡易DNSサーバー設定一覧	4-22
「VPN」画面	4-23
■ IPsec設定	4-23
■ IPsecトンネル設定	4-24
■ IPsecトンネル設定一覧	4-26
■ IPsecトンネル設定例(1)	4-27
■ IPsecトンネル設定例(2)	4-28

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線状態表示 [DHCPクライアント設定時]

登録された回線への接続状態が表示されます。

※画面は、表示例です。

回線状態表示	
① 接続状態	ケーブル未接続
② 回線種別	DHCPクライアント
③ 本体側のIPアドレス	
④ 相手先のIPアドレス	
⑤ DNSサーバー	

- ① 接続状態 WAN側回線への接続状態が「ケーブル未接続」/「接続試行中」/「接続中」で表示されます。
- ② 回線種別 本製品に設定されている回線への接続方式が表示されます。
- ③ 本体側のIPアドレス 本製品のWAN側のIPアドレスが表示されます。
- ④ 相手先のIPアドレス ご契約の回線接続業者のIPアドレスが表示されます。
- ⑤ DNSサーバー ご契約の回線接続業者のDNSサーバーIPアドレスが表示されます。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線状態表示 [固定IP設定時]

登録された回線への接続状態が表示されます。

※画面は、表示例です。

回線状態表示	
① 接続状態	ケーブル未接続
② 回線種別	固定IP
③ 本体側のIPアドレス	
④ 相手先のIPアドレス	
⑤ DNSサーバー	

- ① 接続状態 WAN側回線への接続状態が「未接続」/「ケーブル未接続」/「接続中」で表示されます。
- ② 回線種別 本製品に設定されている回線への接続方式が表示されます。
- ③ 本体側のIPアドレス 本製品のWAN側に設定されているIPアドレスが表示されます。
- ④ 相手先のIPアドレス ご契約の回線接続業者のIPアドレスが表示されます。
- ⑤ DNSサーバー ご契約の回線接続業者のDNSサーバーIPアドレスが表示されます。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線状態表示 [PPPoE設定時]

登録された回線への接続状態が表示されます。

※登録したPPPoE接続先から、PPPoEセッションを2つまで同時に接続できます。

※第1セッションは本製品のデフォルトゲートウェイに設定されます。

※第2セッションを利用する場合、必要なルーティング設定(スタティックルーティング、ポリシールーティング)を設定する必要があります。

※画面は、表示例です。

回線状態表示		
① PPPoEセッション	第1セッション	第2セッション
② 接続先の選択	WAN01 (ppp0) ▼	なし ▼
③ 接続状態	ケーブル未接続	
④ 回線種別	PPPoE	PPPoE
⑤ 本体側のIPアドレス		
⑥ 相手先のIPアドレス		
⑦ DNSサーバー		
⑧ 接続時間		

- ① PPPoEセッション …………… 第1セッション、第2セッションがそれぞれ表示されます。
- ② 接続先の選択 …………… [回線設定]項目(P.4-8)で登録したWAN側回線への接続先から選択します。
※回線接続中は、選択できません。
〈接続〉/〈切断〉
手で回線を接続、および切断するとき、クリックします。
※〈切断〉は、回線が接続されているとき表示されます。
※接続操作をしても[接続状態]欄に「接続中」と表示されない場合は、登録した設定内容やWAN側の接続ケーブル(リンク状態)をご確認ください。
- ③ 接続状態 …………… WAN側回線への接続状態が「未接続」/「ケーブル未接続」/「接続試行中」/「接続中」で表示されます。
- ④ 回線種別 …………… 本製品に設定されている回線への接続方式が表示されます。
- ⑤ 本体側のIPアドレス …………… 本製品のWAN側に設定されているIPアドレスが表示されます。
- ⑥ 相手先のIPアドレス …………… ご契約の回線接続業者のIPアドレスが表示されます。
- ⑦ DNSサーバー …………… ご契約の回線接続業者のDNSサーバーIPアドレスが表示されます。
- ⑧ 接続時間 …………… ご契約の回線接続業者に接続してから、この画面にアクセスした時点までの時間が表示されます。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線種別設定

WANポートの回線種別についての設定です。

回線種別設定

回線種別:

回線種別.....

ご契約の回線接続業者から指定された回線種別を選択します。
(出荷時の設定：使用しない)

「DHCPクライアント」、「固定IP」、「PPPoE」を設定したときは、ルーター機能が有効になり、本製品のWAN側ポートが使用できます。

◎回線を本製品のWAN側ポートに接続しない場合

使用しない：

回線を本製品のWAN側ポートに接続しても通信できません。

◎回線を本製品のWAN側ポートに接続する場合

ブリッジタイプモデム、またはFTTHでお使いの回線終端装置と接続できます。

DHCPクライアント：

本製品のWAN側IPアドレスを、ご契約の回線接続業者から「DHCP」方式で取得します。

固定IP：

本製品のWAN側IPアドレスを、ご契約の回線接続業者から指定された固定のIPアドレスを割り当てて使用するときを選択します。

PPPoE：

本製品のWAN側IPアドレスを、ご契約の回線接続業者から「PPPoE」方式で取得します。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [DHCPクライアント設定時]

本製品のWAN側について設定します。

回線設定

接続先名: ① _____

プライマリ-DNSサーバー: ② _____

セカンダリ-DNSサーバー: ③ _____

④ ⑤

- ① **接続先名** ご契約の回線接続業者の名前を任意の英数字、半角31(全角31)文字以内で入力します。
- ② **プライマリ-DNSサーバー** ご契約の回線接続業者から指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
- ③ **セカンダリ-DNSサーバー** [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ④ **〈登録〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ **〈取消〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [固定IP設定時]

本製品のWAN側について設定します。

回線設定

接続先名 : ① _____

IPアドレス : ② _____

サブネットマスク : ③ _____

デフォルトゲートウェイ : ④ _____

プライマリ-DNSサーバー : ⑤ _____

セカンダリ-DNSサーバー : ⑥ _____

⑦ ⑧

登録 取消

- | | |
|-----------------|--|
| ① 接続先名 | ご契約の回線接続業者の名前を任意の英数字、半角31(全角31)文字以内で入力します。 |
| ② IPアドレス | ご契約の回線接続業者から指定された本製品のWAN側IPアドレスを入力します。 |
| ③ サブネットマスク | ご契約の回線接続業者から指定された本製品のWAN側のサブネットマスクを入力します。 |
| ④ デフォルトゲートウェイ | ご契約の回線接続業者から指定された本製品のデフォルトゲートウェイを入力します。 |
| ⑤ プライマリ-DNSサーバー | ご契約の回線接続業者から指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。 |
| ⑥ セカンダリ-DNSサーバー | [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。 |
| ⑦ <登録> | [回線種別設定]項目、[回線設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。 |
| ⑧ <取消> | [回線種別設定]項目、[回線設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。 |

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [PPPoE設定時]

本製品のWAN側について設定します。

回線設定

接続先の選択: ① WAN01 (ppp0) ▼

接続先名: ② WAN01

ユーザーID: ③

パスワード: ④

接続方法: ⑤ 常時 ▼

IPアドレス: ⑥

プライマリDNSサーバー: ⑦

セカンダリDNSサーバー: ⑧

認証プロトコル: ⑨ 接続先に合わせる ▼

MSS制限値: ⑩ 1322

⑪ ⑫

登録 取消

- ① 接続先の選択 接続先を追加/編集するときは、〈▼〉をクリックして、「WAN01 (ppp0)」～「WAN08 (ppp7)」(最大8件まで設定可能)から選択します。
(出荷時の設定：WAN01 (ppp0))
- ② 接続先名 ご契約の回線接続業者の名前を任意の英数字、半角31(全角31)文字以内で入力します。
※[接続先の選択]欄に設定した接続先名が表示されます。
- ③ ユーザーID ご契約の回線接続業者から指定されたログインユーザー名、またはアカウント名を大文字/小文字の表記に注意して入力します。
- ④ パスワード ご契約の回線接続業者から指定されたログインパスワードを大文字/小文字の表記に注意して入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ⑤ 接続方法 「PPPoE」回線への接続方法を選択します。 (出荷時の設定：常時)
- 手動：
[回線状態表示]項目(P.4-4)の〈接続〉/〈切断〉をクリックして、回線を手動で接続、または切断できます。
※本製品を起動したときは、切断された状態です。
- 常時：
常時接続します。
[接続先の選択]欄で指定した接続先と常に接続状態を保持します。
※本製品を起動したときは、接続された状態です。
※[回線状態表示]項目(P.4-4)の〈接続〉/〈切断〉をクリックすると、手動で操作できます。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [PPPoE設定時]

回線設定	
接続先の選択: ①	WAN01 (ppp0) ▼
接続先名: ②	WAN01
ユーザーID: ③	
パスワード: ④	👁
接続方法: ⑤	常時 ▼
IPアドレス: ⑥	
プライマリ-DNSサーバー: ⑦	
セカンダリ-DNSサーバー: ⑧	
認証プロトコル: ⑨	接続先に合わせる ▼
MSS制限値: ⑩	1322
	⑪ ⑫
	登録 取消

- ⑥ IPアドレス ご契約の回線接続業者から指定されたときに限り、本製品のWAN側IPアドレスを入力します。
- ⑦ プライマリ-DNSサーバー ご契約の回線接続業者から指定されたDNSサーバーアドレスを入力します。DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したいほうのアドレスを入力します。
- ⑧ セカンダリ-DNSサーバー [プライマリ-DNSサーバー]欄と同様、DNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーアドレスのもう一方を入力します。
- ⑨ 認証プロトコル ご契約の回線接続業者から指定された、認証プロトコルを設定します。
(出荷時の設定：接続先に合わせる)
指定のない場合は、「接続先に合わせる」でご使用ください。
- ◎接続先に合わせる：
PAP/CHAPを相手先の要求に応じて自動で切り替わります。
- ◎PAP：
パスワードによってユーザーを識別します。パスワードが暗号化されないなどの弱点があります。
- ◎CHAP：
認証情報のやり取りが暗号化されるため、PAPよりも安全性が高い認証プロトコルです。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定 [PPPoE設定時]

回線設定

接続先の選択:	① WAN01 (ppp0)	▼
接続先名:	② WAN01	_____
ユーザーID:	③ _____	_____
パスワード:	④ _____	👁
接続方法:	⑤ 常時	▼
IPアドレス:	⑥ _____	_____
プライマリDNSサーバー:	⑦ _____	_____
セカンダリDNSサーバー:	⑧ _____	_____
認証プロトコル:	⑨ 接続先に合わせる	▼
MSS制限値:	⑩ 1322	_____

⑪ ⑫
登録 取消

- ⑩ **MSS制限値** ご契約の回線接続業者から指定されている場合に限り、WAN側回線への最大有効データ長を数字で指定します。 (出荷時の設定：1322)
設定できる範囲は、「536～1452(バイト)」です。
MSS値とは、受信できるTCP最大セグメントサイズのことです。一般に、MSS値は、フラグメントが発生しない範囲で大きいほどよいとされています。しかし、[PPPoE]回線のMTUは、通常のEthernetのMTU(1500バイト)より小さいためMSS値が大きくなりすぎると、パケットがインターネット上を通過しないことがありますのでご注意ください。
- ⑪ **〈登録〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑫ **〈取消〉** [回線種別設定]項目、[回線設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 ルーター設定

「WAN接続先」画面

ルーター設定 > WAN接続先

■ 回線設定一覧 [PPPoE設定時]

[回線設定] 項目(P.4-8)で登録した接続先の一覧です。

※画面は、設定例です。

回線設定一覧			
接続先名	ユーザーID	接続方法	
WAN01(ppp0)	XXXXXXXXXX	常時	削除

〈削除〉…………… ボタンの左欄に表示された内容を削除するとき、クリックします。

4 ルーター設定

「アドレス変換」画面

ルーター設定 > アドレス変換

■ アドレス変換設定

本製品のアドレス変換を設定します。

アドレス変換設定

アドレス変換: 無効 有効

アドレス変換…………… 本製品のアドレス変換機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、本製品のIPマスカレード機能を使用して、WAN側グローバルアドレスをプライベートアドレスに変換します。

ルーター設定 > アドレス変換

■ DMZホスト設定

本製品のDMZホスト機能を設定します。

DMZホスト設定

DMZホスト IPアドレス: ① _____ ② ③

登録 取消

① DMZホスト IPアドレス …… DMZホスト機能(非武装セグメント)の対象となるパソコン(ホスト)のIPアドレスを入力します。DMZホスト機能を使用すると、WAN(インターネット)側から発信された転送先不明のIPフレームを、LAN側に存在する特定IPアドレスへ転送できます。

これにより、本製品のLAN側に存在する端末で各種サーバーを運用したり、ネットワーク対戦ゲームをしたりできますが、転送先に設定した端末のIPアドレスに対してセキュリティが低下しますので、ご使用には十分ご注意ください。

※DMZホスト機能と静的マスカレードテーブルを同時に使用した場合は、静的マスカレードテーブルの設定が優先されます。

※セキュリティの低下で生じる結果については、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

② <登録> …… [アドレス変換設定]項目、[DMZホスト設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

③ <取消> …… [アドレス変換設定]項目、[DMZホスト設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 ルーター設定

「アドレス変換」画面

ルーター設定 > アドレス変換

■ 静的マスカレードテーブル設定

テーブルに追加すると、マスカレードIP(ルーターグローバルIP)に対して、アクセスしてきたパケットをプロトコルとポート番号により判定し、ここで指定したプライベートIPアドレスを割り当てたローカル端末へ転送します。

WAN側ポート ①	LAN側IP ②	LAN側ポート ③	プロトコル ④	⑤
指定 ▼		指定 ▼	TCP ▼	追加

- ① WAN側ポート [プロトコル]欄で選択したプロトコルに対するWAN側ポートをポート番号で指定するときは、「指定」を選択し、隣のテキストボックスにポート番号を入力します。ポート番号で指定しない場合は、ニーモニック(DNS、Finger、FTP、Gopher、NEWS、POP3、SMTP、Telnet、Web、Whois)から選択します。
- ② LAN側IP 該当するパケットを転送するLAN側プライベートIPアドレスを入力します。
- ③ LAN側ポート [プロトコル]欄で選択したプロトコルに対するLAN側ポートをポート番号で指定するときは、「指定」を選択し、隣のテキストボックスにポート番号を入力します。ポート番号で指定しない場合は、ニーモニック(DNS、Finger、FTP、Gopher、NEWS、POP3、SMTP、Telnet、Web、Whois)から選択します。
- ④ プロトコル TCP、UDP、TCP/UDP、GRE、ESPから選択します。
- ⑤ <追加> 静的マスカレードテーブルを本製品に登録するとき、クリックします。
※最大32個のマスカレードテーブルを登録できます。

4 ルーター設定

「アドレス変換」画面

ルーター設定 > アドレス変換

■ 静的マスカレードテーブル設定一覧

[静的マスカレードテーブル設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

WAN側ポート	LAN側IP	LAN側ポート	プロトコル	①	②
Web	192.168.0.100	Web	TCP/UDP	編集	削除
FTP	192.168.0.200	FTP	TCP/UDP	編集	削除

- ① <編集> 登録した内容を編集するときは、該当する欄の<編集>をクリックします。
※登録されている内容は、[静的マスカレードテーブル設定]項目に表示されます。
- ② <削除> 登録した内容を削除するときは、該当する欄の<削除>をクリックします。

4 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ 一般設定

登録した条件に該当するパケットの通過と阻止についての設定です。

※IPフィルターの変更によるセキュリティの低下で生じる結果については、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

一般設定

遮断時の動作: ① 破棄 拒絶

IPフィルター不一致時のSYSLOG: ② 無効 有効

③ ④

- ① **遮断時の動作** パケットを遮断するときの動作を選択します。 (出荷時の設定: 破棄)
◎**破棄**: パケットを破棄し、相手に何も返しません。
◎**拒絶**: 受け取らないという拒否パケットを相手に返します。
- ② **IPフィルター不一致時のSYSLOG** WAN側から開始し、どのIPフィルターにも一致しないパケットの場合、遮断します。このとき、ログに記録するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 無効)
※大量のログを処理すると、システム処理速度に影響します。
- ③ **〈登録〉** [一般設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ④ **〈取消〉** [一般設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

登録した条件に該当するパケットの通過と阻止についての設定です。

※IPフィルターの変更によるセキュリティの低下で生じる結果については、弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: 32

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: 32

プロトコル: ⑦ TCP 指定時:

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.4-17)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

① 番号

IPフィルターが比較する順位を指定します。
選択できる範囲は、「1」～「64」です。

※ [IPフィルター設定一覧]項目に登録されている番号は選択できません。
IPフィルター機能を使用時、本製品が受信、または送信するパケットと [IP
フィルター設定一覧]項目の内容を比較します。

② エントリー

登録するフィルターの使用について設定します。 (出荷時の設定: 無効)
登録しても使用しないときは、「無効」を選択します。

「無効」で登録すると、下図のように、[IPフィルター設定一覧]項目の[番号]欄に「(off)」が表示されます。

※番号「1」のフィルターを無効にした例です。

番号	フィルター方法	プロトコル (TCPフラグ)	送信元IPアドレス (送信元ポート番号)	SYSLOGに出力	
	フィルター方向		宛先IPアドレス (宛先ポート番号)		
1 (off)	透過	すべて	* (*)	無効	編集 削除
	IN		* (*)		

③ フィルター方法

フィルタリングの方法は、次の2とおりから選択します。

(出荷時の設定: 透過)

◎遮断: フィルタリングの条件に一致した場合、そのパケットをすべて破棄します。

◎透過: フィルタリングの条件に一致した場合、そのパケットをすべて通過させます。

4 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: 32

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: 32

プロトコル: ⑦ TCP 指定時:

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

- ④ **フィルター方向** …………… フィルターの対象となるパケットの通信方向を設定します。
(出荷時の設定: IN)
- ◎IN : WAN側から本製品が受信するパケットに対してフィルタリング処理をします。
 - ◎OUT : 本製品からWAN側に送信するパケットに対してフィルタリング処理をします。
- ⑤ **送信元IPアドレス** …………… 送信元ホストのIPアドレス、サブネットマスク(ビット数)を設定することにより、特定のホストからのパケットをフィルタリング処理します。
何も設定しない場合は、すべてのアドレスを対象とします。マスク(ビット数)の選択できる範囲は、「1」～「32」です。
- ⑥ **宛先IPアドレス** …………… 宛先ホストのIPアドレス、サブネットマスク(ビット数)を設定することにより、特定のホストからのパケットをフィルタリング処理します。
何も設定しない場合は、すべてのアドレスを対象とします。
マスク(ビット数)の選択できる範囲は、「1」～「32」です
- ⑦ **プロトコル** …………… フィルタリングの対象となるパケットのトランスポート層プロトコルを選択する項目です。
(出荷時の設定: すべて)
- ◎すべて : すべてのプロトコルに一致します。
 - ◎TCP : TCPだけに一致します。
「TCP」を選択すると、[送信元ポート番号] (⑧) 欄、[宛先ポート番号] (⑨) 欄、[TCPフラグ] (⑩) 欄が表示されます。
 - ◎UDP : UDPだけに一致します。
「UDP」を選択すると、[送信元ポート番号] (⑧) 欄、[宛先ポート番号] (⑨) 欄が表示されます。

4 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: 32

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: 32

プロトコル: ⑦ TCP 指定時:

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.4-17)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

- ⑦ プロトコル(つづき) ……………
- ◎TCP/UDP : TCPとUDPに一致します。
「TCP/UDP」を選択すると、[送信元ポート番号] (⑧)欄、[宛先ポート番号] (⑨)欄が表示されます。
 - ◎ICMP : ICMPだけに一致します。
「ICMP」を選択すると、[タイプ]欄、[コード]欄(下図)が表示されます。

プロトコル:	ICMP	指定時:	<input type="text"/>
タイプ:	<input type="text"/>		
コード:	<input type="text"/>		

[タイプ]
フィルタリングの対象となるICMPヘッダー内のタイプを番号(0～255)で指定します。
※指定しないときは、すべてがフィルタリングの対象になります。

[コード]
フィルタリングの対象となるICMPヘッダー内のコードを番号(0～255)で指定します。
※指定しないときは、すべてがフィルタリングの対象になります。
 - ◎IGMP : IGMPだけに一致します。
 - ◎指定 : 右のテキストボックスに、IP層ヘッダーに含まれる上位層プロトコル番号を入力します。
プロトコル番号は、「0～255」までの半角数字を入力します。

4 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: 32

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: 32

プロトコル: ⑦ TCP 指定時:

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ 登録 ⑬ 取消

※上図は、[プロトコル]欄(P.4-17)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

⑧ 送信元ポート番号 …………… フィルタリングの対象となる発信元のTCP/UDPポート番号を指定する項目です。
(出荷時の設定：すべて)

指定には、2とおりの方法があります。

◎数字で指定するとき

- 1.「指定」を選択します。
2. [指定時：(始点)～(終点)]欄のテキストボックスに番号を入力します。
特定のポートだけを指定するときは、始点だけ、または始点/終点に同一の番号を入力してください。
入力できる範囲は、「1～65535」までの半角数字です。

◎ニーモニックで指定するとき

「すべて」、「指定」以外の項目を選択します。
本製品で指定できるニーモニックは、「DNS」、「Finger」、「FTP」、「Gopher」、「NEWS」、「POP3」、「SMTP」、「Telnet」、「Web」、「Whois」です。
※「すべて」を選択した場合は、すべてのポート番号を対象とします。

⑨ 宛先ポート番号 …………… フィルタリングの対象となる発信元のTCP/UDPポート番号を指定する項目です。
(出荷時の設定：すべて)

指定には、2とおりの方法があります。

◎数字で指定するとき

- 1.「指定」を選択します。
2. [指定時：(始点)～(終点)]欄のテキストボックスに番号を入力します。
特定のポートだけを指定するときは、始点だけ、または始点/終点に同一の番号を入力してください。
入力できる範囲は、「1～65535」までの半角数字です。

◎ニーモニックで指定するとき

「すべて」、「指定」以外の項目を選択します。
本製品で指定できるニーモニックは、「DNS」、「Finger」、「FTP」、「Gopher」、「NEWS」、「POP3」、「SMTP」、「Telnet」、「Web」、「Whois」です。
※「すべて」を選択した場合は、すべてのポート番号を対象とします。

4 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定

IPフィルター設定

番号: ①

エントリー: ② 無効 有効

フィルター方法: ③ 遮断 透過

フィルター方向: ④ IN OUT

送信元IPアドレス: ⑤ マスク: ⑤

宛先IPアドレス: ⑥ マスク: ⑥

プロトコル: ⑦ TCP

送信元ポート番号: ⑧ 指定時: ~

宛先ポート番号: ⑨ 指定時: ~

TCPフラグ: ⑩ URG ACK PSH RST SYN FIN

SYSLOGに出力: ⑪ 無効 有効

⑫ ⑬

※上図は、[プロトコル]欄(P.4-17)を「TCP」に設定したときに表示される画面です。

- ⑩ TCPフラグ [プロトコル]欄(P.4-17)で「TCP」を選択したとき、フィルタリングの対象となるTCPの通信フラグを選択する項目です。(出荷時の設定：指定なし)
本製品で指定できるTCPフラグは、URG、ACK、PSH、RST、SYN、FINです。
※選択したTCPフラグは、[現在の登録]項目の[プロトコル(TCPフラグ)]欄で、下記の画面のように表示(例：RST)します。

3	透過	TCP (R)	* (*)	無効	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>
	IN		* (*)		

※「指定なし」を選択した場合は、TCPのフラグオプションをフィルターの条件にしません。

- ⑪ SYSLOGに出力 IPフィルター登録時、このオプションを「有効」に設定すると、フィルタリング処理をしたとき、SYSLOGを出力します。
(IPフィルター新規作成時の初期値：無効)
※SYSLOGが出力されると、「情報表示」メニューの「SYSLOG」画面に表示されます。(P.2-3)
※大量のログを処理すると、システム処理速度に影響します。
動作確認や試験運用以外は、通話品質を確保するため、ご利用をお控えください。

- ⑫ <登録> [IPフィルター設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[IPフィルター設定一覧]項目に表示されます。

- ⑬ <取消> [IPフィルター設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 ルーター設定

「IPフィルター」画面

ルーター設定 > IPフィルター

■ IPフィルター設定一覧

[IPフィルター設定]項目(P.4-16)で登録した現在の各エントリーの内容が表示されます。

番号	フィルター方法 フィルター方向	プロトコル (TCPフラグ)	送信元IPアドレス (送信元ポート番号) 宛先IPアドレス (宛先ポート番号)	SYSLOGに出力	① 編集	② 削除
59	遮断	TCP/UDP	* (135)	無効	編集	削除
	OUT		* (*)			
60	遮断	TCP/UDP	* (*)	無効	編集	削除
	OUT		* (135)			
61	遮断	TCP/UDP	* (445)	無効	編集	削除
	OUT		* (*)			
62	遮断	TCP/UDP	* (*)	無効	編集	削除
	OUT		* (445)			
63	遮断	TCP (フラグ指定なし)	* (*)	無効	編集	削除
	OUT		* (137-139)			
64	遮断	UDP	* (137-139)	無効	編集	削除
	OUT		* (137-139)			

出荷時、または全設定を初期化したときから登録されているIPフィルターについて

◎59～64番：Windowsのアプリケーションを外部からリモートコントロールされる危険性、およびファイル共有機能による外部への情報漏えいを防止します。

※「*」は、各欄で設定できる「すべて」を対象としています。

- ① **〈編集〉** ボタンの左側に表示されたIPフィルターを編集するボタンです。
〈編集〉をクリックすると、表示された内容が[IPフィルター設定]項目の各欄に表示されます。
- ② **〈削除〉** ボタンの左側に表示されたIPフィルターを削除するボタンです。

4 ルーター設定

「簡易DNS」画面

ルーター設定 > 簡易DNS

■ 簡易DNSサーバー設定

本製品を簡易DNSサーバーとして使用するとき設定します。

簡易DNSサーバー設定		
※DHCPサーバーのDNS代理応答を有効にしておく必要があります。		
IPアドレス	ホスト名	
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

端末のホスト名と対応するIPアドレスの組み合わせを入力して、〈追加〉をクリックします。

登録すると、ドメイン名からIPアドレスを検索するDNS要求と、IPアドレスからドメイン名を検索するDNS逆引き要求に応答します。

※最大32個の組み合わせまで登録できます。

※本製品のDNS代理応答機能を使用する場合に有効です。

※ローカルIPアドレスとそのホスト名を登録するときは、静的DHCPサーバーを利用してMACアドレスとIPアドレスの組み合わせを固定しておくことをおすすめします。

ルーター設定 > 簡易DNS

■ 簡易DNSサーバー設定一覧

[簡易DNSサーバー設定] 項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

簡易DNSサーバー設定一覧		
IPアドレス	ホスト名	
192.168.1.50	<input type="text"/>	<input type="button" value="削除"/>

登録した内容を取り消すときは、該当する欄の〈削除〉をクリックします。

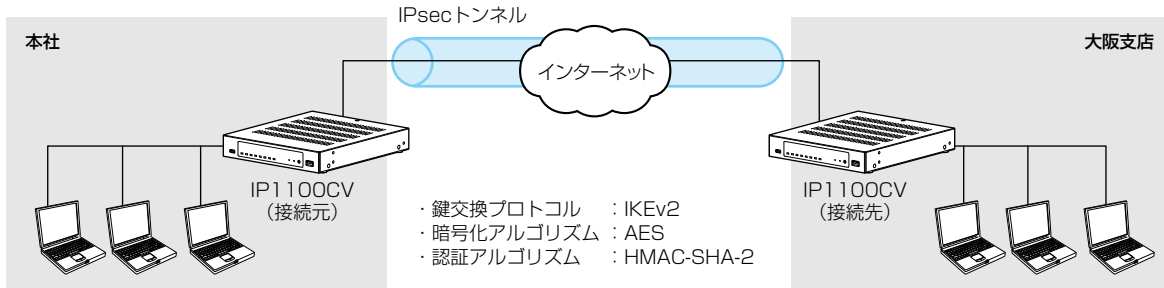
4 ルーター設定

「VPN」画面

VPN(Virtual Private Network)機能を使用すると、インターネット上の2地点を暗号化通信で接続して、仮想的なネットワークを構成できます。

※本製品のVPN機能は、AP-9500、AP-9600、IP1100CV、SR-7100VN、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4と互換性があります。(2024年12月現在)

※接続先に合わせて、IPsecトンネルを登録してください。(P.4-24、P.4-25)



ルーター設定 > VPN

■ IPsec設定

IPsecによる仮想プライベートネットワーク(VPN)接続を使用するための設定です。

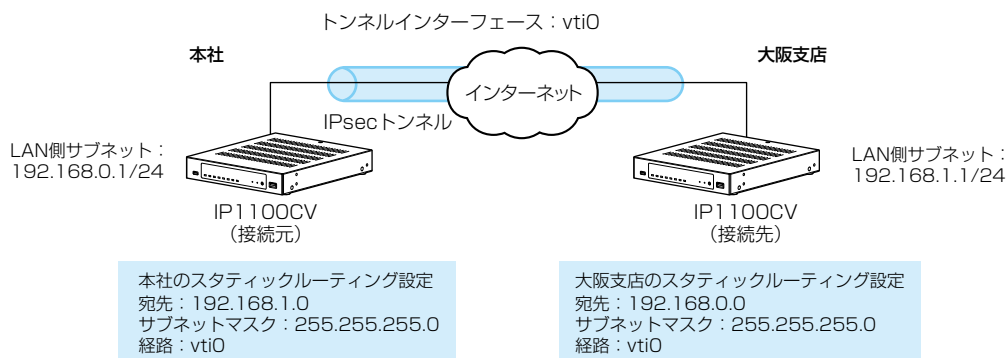
IPsec設定
IPsec: <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

IPsec..... 本製品のIPsec機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、IPsecトンネルを使用したVPN接続を利用できます。

ご参考

VPN機能を使用する場合は、本製品の[WAN]ポートにWAN回線を接続し、ルーター機能(回線種別)、スタティックルーティングの設定(P.3-9)が必要です。

スタティックルーティングの設定例



4 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定

IPsecによる仮想プライベートネットワーク(VPN)接続を使用するための設定です。

IPsecトンネル設定	
トンネルインターフェース:	① vti0
トンネル:	② <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
トンネル名:	③
インターフェース:	④ eth0
認証鍵 (Pre-Shared Key):	⑤
リモートアドレス:	⑥
リモートID:	⑦ IPアドレス
ローカルID:	⑧ IPアドレス
	⑨ ⑩
	登録 取消

- ① **トンネルインターフェース** …… IPsecトンネルを登録するインターフェースを指定します。
選択できる範囲は「vti0～vti31」です。 (出荷時の設定：vti0)
- ② **トンネル** …… 登録するIPsecトンネルの使用について設定します。(出荷時の設定：有効)
登録しても使用しないときは、「無効」を選択します。
- ③ **トンネル名** …… IPsecトンネルを識別する名称を半角31(全角31)文字以内で入力します。
- ④ **インターフェース** …… 接続先と通信するインターフェースを選択します。(出荷時の設定：eth0)
◎eth0：
「WAN接続先」画面(P.4-5)の回線種別を「固定IP」または「DHCPクライアント」に設定しているときに選択します。
◎ppp0(WAN1)～ppp7(WAN8)：
「WAN接続先」画面(P.4-5)の回線種別を「PPPoE」に設定しているときに選択します。
- ⑤ **認証鍵 (Pre-Shared Key)** …… 接続先との認証に使用します。
接続先の機器と同じ文字列を半角128文字以内の英数字で入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ⑥ **リモートアドレス** …… 接続先のWAN側IPアドレス、またはホスト名を入力します。
※接続先からのIPsec接続を待ち受ける場合は、[リモートアドレス]欄を空白のままにして登録します。
双方の機器に割り当てられたWAN側IPアドレスが動的の場合、どちらか一方がダイナミックDNSサービスに登録し、ホスト名を取得している必要があります。

4 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定

IPsecトンネル設定	
トンネルインターフェース:	① vti0
トンネル:	② <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
トンネル名:	③
インターフェース:	④ eth0
認証鍵 (Pre-Shared Key):	⑤
リモートアドレス:	⑥
リモートID:	⑦ IPアドレス
ローカルID:	⑧ IPアドレス
	⑨ ⑩
	登録 取消

⑦ **リモートID** 接続先の機器を識別するIDを設定します。
IDは、「IPアドレス」、「KEYID」、「FQDN」、「USER-FQDN」からタイプを選択します。
(出荷時の設定：IPアドレス)

IPアドレス : IPアドレス形式
KEYID : 半角256文字以内の英数字
FQDN : 半角253文字以内のドメイン名
USER-FQDN : 半角254文字以内のメールアドレス形式
入力例: user@xxxx,yyyy,zzzz



① 64文字以内
② 「xxxx」、「yyyy」、「zzzz」は、それぞれ63文字以内

⑧ **ローカルID** 接続先の機器を識別するIDを設定します。
IDは、「IPアドレス」、「KEYID」、「FQDN」、「USER-FQDN」からタイプを選択します。
(出荷時の設定：IPアドレス)

IPアドレス : IPアドレス形式
KEYID : 半角256文字以内の英数字
FQDN : 半角253文字以内のドメイン名
USER-FQDN : 半角254文字以内のメールアドレス形式
入力例: user@xxxx,yyyy,zzzz



① 64文字以内
② 「xxxx」、「yyyy」、「zzzz」は、それぞれ63文字以内

⑨ **〈登録〉** [IPsecトンネル設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[IPsecトンネル設定一覧]項目に表示されます。

⑩ **〈取消〉** [IPsecトンネル設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

4 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定一覧

[IPsecトンネル設定] 項目で登録した内容が表示されます。

1 トンネルインターフェース	2 インターフェース	3 状態	4 リモートアドレス	5 リモートID	6 ローカルID	7 編集	8 削除
vti0 (営業)	ppp1 (WAN02)	接続試行中		IPアドレス	IPアドレス		

- ① **トンネルインターフェース** …… インターフェース名(トンネル名)が表示されます。
- ② **インターフェース** …………… トンネル送信元のインターフェース名が表示されます。
- ③ **状態** …………… IPsec接続の状態が表示されます。
◎**接続中**：
IPsecトンネルが接続されている状態です。
◎**接続待機中**：
トンネルの接続先からのIPsec接続試行を待っている状態です。
◎**接続試行中**：
トンネルの接続先に対してIPsec接続試行を実行中です。
◎**IPsec無効**：
IPsec設定のIPsecが無効化されている状態です。
◎**無効**：
IPsecトンネルが無効化されている状態です。
- ④ **リモートアドレス** …………… 接続先に設定されている相手先IPアドレス、またはホスト名が表示されます。
設定されていない場合は「-」が表示されます。
接続中は相手先IPアドレスが表示されます。
- ⑤ **リモートID** …………… IPsec接続に使用するID(相手側)が表示されます。
- ⑥ **ローカルID** …………… IPsec接続に使用するID(自分側)が表示されます。
- ⑦ **〈編集〉** …………… ボタンの左側に表示されたIPsecトンネルを編集するボタンです。
〈編集〉をクリックすると、表示された内容を含むIPsecトンネルの設定が、
[IPsecトンネル設定] 項目の各欄に表示されます。
- ⑧ **〈削除〉** …………… ボタンの左側に表示されたIPsecトンネルを削除するボタンです。

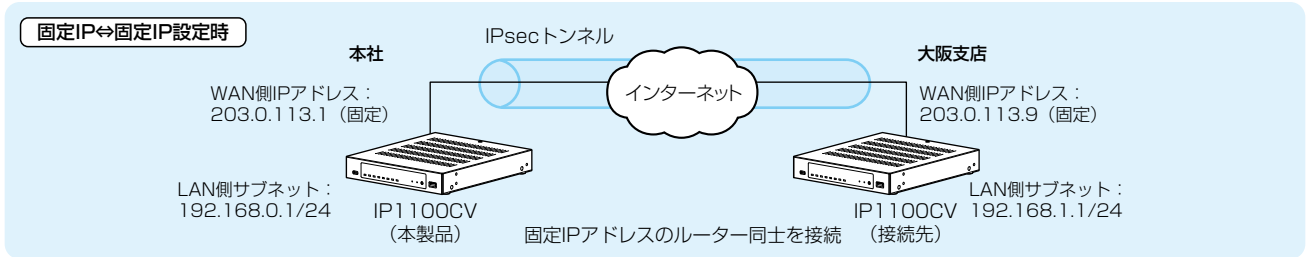
4 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定例(1)

本製品、接続先ともに、WAN側IPアドレスが固定で割り当てられ、回線種別がPPPoEの場合



※IPsecトンネルへの経路設定(スタティックルーティング)も必要です。(P.3-9、P.4-23)

本社側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 大阪支店

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key): ****

リモートアドレス: 203.0.113.9

リモートID: KEYID (osaka)

ローカルID: KEYID (honsha)

登録 取消

認証鍵 (Pre-Shared Key) は、接続する機器同士で同じ文字列を入力します。

リモートIDには、接続先(大阪支店)のローカルIDを入力します。

「WAN接続先」画面で設定した接続先(PPPoE)を選択します。

リモートアドレスには、接続先(大阪支店)のWAN側IPアドレスを入力します。

大阪支店側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 本社

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key): ****

リモートアドレス: 203.0.113.1

リモートID: KEYID (honsha)

ローカルID: KEYID (osaka)

登録 取消

リモートIDには、接続先(本社)のローカルIDを入力します。

リモートアドレスには、接続先(本社)のWAN側IPアドレスを入力します。

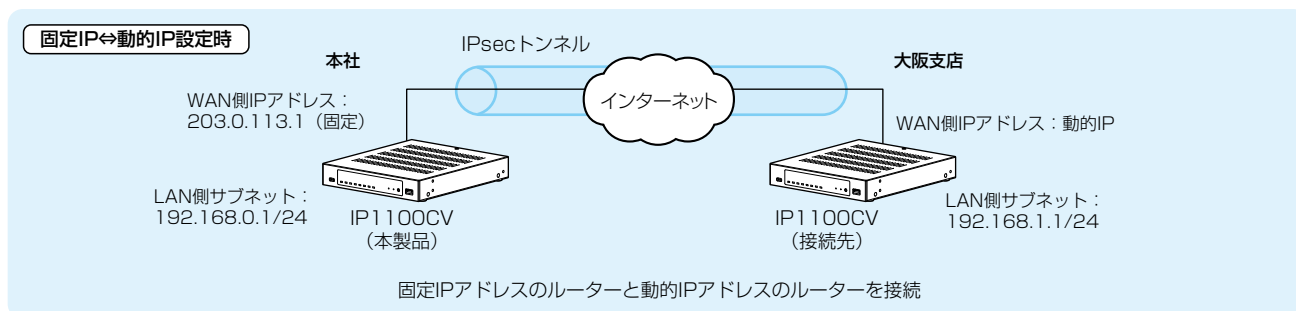
4 ルーター設定

「VPN」画面

ルーター設定 > VPN

■ IPsecトンネル設定例(2)

本製品のWAN側IPアドレスが固定、接続先のWAN側IPアドレスが動的で割り当てられ、回線種別は本製品、接続先ともにPPPoEの場合



※IPsecトンネルへの経路設定(スタティックルーティング)も必要です。(P.3-9、P.4-23)

本社側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

登録 取消

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 大阪支店

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key): *****

リモートアドレス: 203.0.113.9

リモートID: KEYID (dropdown) osaka

ローカルID: KEYID (dropdown) honsha

登録 取消

「WAN接続先」画面で設定した接続先(PPPoE)を選択します。

接続先(大阪支店)のリモートアドレスを省略した場合、接続先からIPsec接続を開始する必要があります。※空欄にすると待機状態になり、自らIPsec接続を開始しません。

認証鍵 (Pre-Shared Key) は、接続する機器同士で同じ文字列を入力します。

リモートIDには、接続先(大阪支店)のローカルIDを入力します。

大阪支店側

IPsec設定

IPsec: 無効 有効

登録 取消

IPsecトンネル設定

トンネルインターフェース: vti0

トンネル: 無効 有効

トンネル名: 本社

インターフェース: ppp0 (WAN01)

認証鍵 (Pre-Shared Key): *****

リモートアドレス: 203.0.113.1

リモートID: KEYID (dropdown) honsha

ローカルID: KEYID (dropdown) osaka

登録 取消

接続先(本社)のWAN側IPアドレスを、リモートアドレスに入力します。

リモートIDには、接続先(本社)のローカルIDを入力します。

この章では、

「無線機コントローラー設定」メニューで表示される設定画面について説明します。

「RoIP通信設定」画面	5-3
■ 他拠点通信設定	5-3
■ VoIP拡張設定	5-4
「テナント設定」画面	5-7
■ テナント番号	5-7
「RoIPサーバー設定」画面	5-8
■ 通話優先順位設定	5-8
■ ブリッジ設定	5-9
■ ブリッジ設定一覧	5-10
■ ブリッジグループ設定	5-11
■ ブリッジグループ設定一覧	5-12
■ 他拠点接続設定	5-13
■ 他拠点接続設定一覧	5-14
■ 近隣呼出接続設定	5-15
■ アクセスポイント検索設定	5-16
■ 近隣呼出接続設定一覧	5-18
「無線機設定」画面	5-19
■ 無線機管理	5-19
■ TRX番号設定	5-21
■ TRX番号設定一覧	5-23
■ TRX番号一括設定	5-24
■ 無線機個別設定 [IP100H]	5-25
■ 無線機個別設定 [IP110H]	5-58
■ 証明書管理 [IP110H]	5-108
■ 無線機個別設定 [IP200H]	5-109
■ 証明書管理 [IP200H]	5-162
■ 無線機個別設定 [IP200PG]	5-163
■ 証明書管理 [IP200PG]	5-192
■ 無線機個別設定 [IP210H]	5-193
■ 証明書管理 [IP210H]	5-245
■ 無線機個別設定 [VP-2100]	5-246
■ 無線機個別設定コピー	5-273
■ 無線機個別設定一覧	5-273

5 無線機コントローラー設定

下記は、前ページからの「つづき」です。

「設定グループ」画面	5-274
■ 無線LAN設定	5-274
■ 無線LAN設定一覧	5-286
■ アドレス帳グループ設定	5-287
■ アドレス帳グループ詳細設定	5-287
■ アドレス帳設定の保存と書き込み	5-288
■ アドレス帳設定	5-290
■ アドレス帳設定一覧	5-292
■ メッセージグループ設定	5-293
■ メッセージグループ詳細設定	5-293
■ メッセージ設定の保存と書き込み	5-294
■ メッセージ設定	5-296
■ プレゼンス設定	5-297
■ 設定グループ設定一覧	5-298
■ 設定グループ設定	5-299
■ 設定グループ一括設定	5-308
「無線機通話録音」画面	5-309
■ 共通設定	5-309
■ 録音ボックス設定	5-310
■ 録音ボックス設定一覧	5-312

5 無線機コントローラー設定

「RoIP通信設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIP通信設定

■ 他拠点通信設定

本製品の他拠点通信機能について設定します。

設定することにより、ほかのコントローラー(他拠点)と接続して、それぞれに登録されたWLAN無線機、IP100FSが通信できるようになります。

他拠点通信設定	
他拠点通信モード	① <input checked="" type="radio"/> サブ <input type="radio"/> マスター
自局ポート番号	② 32000

- ① 他拠点通信モード …………… 複数のコントローラー(他拠点)と接続するときの通信モードを、「サブ」、「マスター」から選択します。 (出荷時の設定：サブ)
グループ呼出や全体呼出のような複数の無線機が、対象となる呼出種別に対して、下記のように設定します。
◎サブ : 他拠点接続先は1カ所だけ設定できます。
◎マスター : 他拠点接続先を22台まで設定できます。
- ② 自局ポート番号 …………… 音声信号を受信するためのポート番号を設定します。 (出荷時の設定：32000)
※設定できる範囲は、「1024～65534」の偶数値だけです。
通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。
※音声信号の送信元ポート番号としても使用します。
※ほかの機器で使用する自局ポート番号と重複しないように設定してください。

5 無線機コントローラー設定

「RoIP通信設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIP通信設定

■ VoIP拡張設定

本製品の通話音質について設定します。

※下記のように、TOS種別の設定ごとに[VoIP拡張設定]項目の内容が変更になります。

TOS種別：使用しない	<p>VoIP拡張設定</p> <p>ジッターバッファ種別: ① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ: ② 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別: ③ 使用しない</p> <p>⑤ ⑥</p> <p>登録 取消</p>
TOS種別：TOS	<p>VoIP拡張設定</p> <p>ジッターバッファ種別: ① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ: ② 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別: ③ TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度: ④ 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ: 0</p> <p>メディア (RTP) 16進表示: E0</p> <p>⑤ ⑥</p> <p>登録 取消</p>
TOS種別：Diffserv	<p>VoIP拡張設定</p> <p>ジッターバッファ種別: ① <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ: ② 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別: ③ Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP: ④ 56</p> <p>メディア (RTP) 16進表示: E0</p> <p>⑤ ⑥</p> <p>登録 取消</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ① **ジッターバッファ種別** …… パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
- ◎**スタティック**：
音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
- ◎**ダイナミック**：
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- ② **ジッターバッファサイズ** …… 音声を受信したとき、音声データを蓄える時間を設定します。
(出荷時の設定：40)
- 設定できる範囲は、「20」～「1000」(20ミリ秒刻み)です。
設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。
- ※[ジッターバッファ種別]欄で「ダイナミック」を選択したときは、表示されない項目です。

5 無線機コントローラー設定

「RoIP通信設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIP通信設定

■ VoIP拡張設定

TOS種別：使用しない

VoIP拡張設定	
ジッターバッファ種別：①	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック
ジッターバッファサイズ：②	40 ミリ秒
TOS種別：③	使用しない
⑤ ⑥ 登録 取消	

TOS種別：TOS

VoIP拡張設定	
ジッターバッファ種別：①	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック
ジッターバッファサイズ：②	40 ミリ秒
TOS種別：③	TOS
メディア (RTP) 優先度：④	7
メディア (RTP) サービスタイプ：	0
メディア (RTP) 16進表示：	E0
⑤ ⑥ 登録 取消	

TOS種別：Diffserv

VoIP拡張設定	
ジッターバッファ種別：①	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック
ジッターバッファサイズ：②	40 ミリ秒
TOS種別：③	Diffserv
メディア (RTP) DSCP：④	56
メディア (RTP) 16進表示：	E0
⑤ ⑥ 登録 取消	

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-4)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ③ TOS種別 本製品のTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：使用しない)
- ◎使用しない：
TOS機能を使用しません。
- ◎TOS：
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
- ◎Diffserv：
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

5 無線機コントローラー設定

「RoIP通信設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIP通信設定

■ VoIP拡張設定

TOS種別：使用しない

VoIP拡張設定	
ジッターバッファ種別: ①	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック
ジッターバッファサイズ: ②	40 ミリ秒
TOS種別: ③	使用しない
⑤ 登録 ⑥ 取消	

TOS種別：TOS

VoIP拡張設定	
ジッターバッファ種別: ①	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック
ジッターバッファサイズ: ②	40 ミリ秒
TOS種別: ③	TOS
メディア (RTP) 優先度: ④	7
メディア (RTP) サービスタイプ:	0
メディア (RTP) 16進表示:	E0
⑤ 登録 ⑥ 取消	

TOS種別：Diffserv

VoIP拡張設定	
ジッターバッファ種別: ①	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック
ジッターバッファサイズ: ②	40 ミリ秒
TOS種別: ③	Diffserv
メディア (RTP) DSCP: ④	56
メディア (RTP) 16進表示:	E0
⑤ 登録 ⑥ 取消	

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-4)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

- ④ **メディア (RTP)** …………… TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。
 ※ [TOS種別]欄で「使用しない」を選択したときは表示されません。

TOS種別：TOS

◎優先度：

TOSの優先度フィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)
 優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ：

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS種別：Diffserv

◎DSCP：

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。
 設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

- ⑤ **登録** …………… [VoIP拡張設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

- ⑥ **取消** …………… [VoIP拡張設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
 なお「登録」をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「テナント設定」画面

無線機コントローラー設定 > テナント設定

■ テナント番号

本製品に所属するWLAN無線機、IP100FSをシステム上の管理目的で分けるテナント(例：警備会社/管理会社)を設定します。

※異なるテナント間では他拠点通信など周辺機器を含め通信できません。

※本製品で設定できるテナント番号は、1から10の中から1つ選択します。

※収容する無線端末(WLAN無線機/IP100FS)は、すべて1つのテナントで動作します。

テナント番号

テナント番号: ① 1

テナント名: ② テナント1

③ 登録 ④ 取消

① **テナント番号** …………… 登録、または編集するテナントの番号を選択します。(出荷時の設定：1)
最大10件のテナントを登録できます。

※登録したテナントごとの設定内容は、下記のメニューに反映され、編集できます。

- ◎「RoIPサーバー設定」メニュー
- ◎「無線機設定」メニュー
- ◎「設定グループ」メニュー(※「無線LAN」画面以外)
- ◎「呼出先設定」メニュー

② **テナント名** …………… [テナント番号]項目で選択したテナントの名前を、任意の31文字以内で入力します。(出荷時の設定：テナント1)

※テナント名は、下記のメニューの各画面上部に表示されます。

- ◎「RoIPサーバー設定」メニュー
- ◎「無線機設定」メニュー
- ◎「設定グループ」メニュー(※「無線LAN」画面以外)
- ◎「呼出先設定」メニュー

RoIPサーバー (テナント1)

テナント名表示部

例：上図は、表示例です。

③ **〈登録〉** …………… [テナント番号]項目で選択したテナント番号を登録するボタンです。

④ **〈取消〉** …………… [テナント番号]項目のテナント番号を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

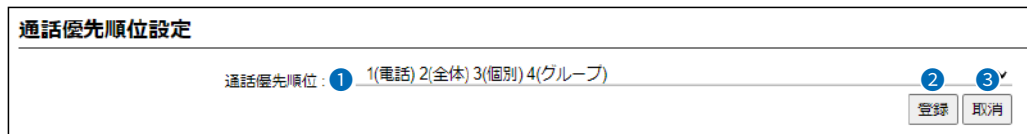
5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

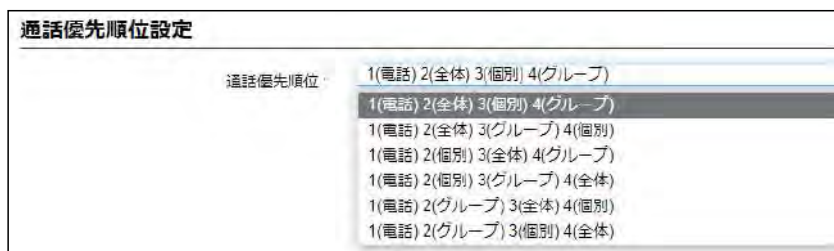
無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > RoIPサーバー

■ 通話優先順位設定

呼出種別の優先順位を設定します。



- ① **通話優先順位** 呼出種別の優先順位を変更するときに設定します。
(出荷時の設定：1(電話) 2(全体) 3(個別) 4(グループ))
※選択できる設定値は、下図をご覧ください。



- ② **〈登録〉** [通話優先順位設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** [通話優先順位設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 >ブリッジ

■ブリッジ設定

本製品と弊社製RoIPゲートウェイ(VE-PG3、VE-PG4)がブリッジ接続するための設定です。

ブリッジ設定	
番号	① 1
接続先アドレス	② 172.22.69.251
接続先ポート番号	③ 21530
自局ポート番号	④ 21530
⑤ 登録 取消 ⑥	

- ① 番号 ブリッジ接続する弊社製RoIPゲートウェイを登録するために、「1」～「20」の番号を選択します。
(出荷時の設定：1)
最大20件まで登録できます。
- ② 接続先アドレス 接続する相手側の弊社製RoIPゲートウェイに設定されたIPアドレス、またはドメイン名を半角英数字(63文字以内)で設定します。
- ③ 接続先ポート番号 接続する相手側の弊社製RoIPゲートウェイに設定された[自局ポート番号]欄を設定します。
(出荷時の設定：21530)
設定できる範囲は、「2～65534」の偶数値だけです。
※通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。
- ④ 自局ポート番号 音声信号を受信するためのポート番号を設定します。(出荷時の設定:21530)
設定できる範囲は、「1024～65534」の偶数値だけです。
※通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。
※音声信号の送信元ポート番号としても使用します。
※ほかの機器で使用する自局ポート番号と重複しないように設定してください。
- ⑤ <登録> [ブリッジ設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[ブリッジ設定一覧]項目に表示されます。
- ⑥ <取消> [ブリッジ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > ブリッジ

■ ブリッジ設定一覧

[ブリッジ設定]項目で登録した接続先の一覧です。

※画面は、設定例です。

番号	接続先アドレス	接続先ポート番号	自局ポート番号	①	②
1	172.22.69.251	21530	21530	編集	削除
2	172.22.69.251	21532	21532	編集	削除
3	172.22.69.251	21534	21534	編集	削除
4	172.22.69.251	21536	21536	編集	削除

③
全削除

- ①〈編集〉 クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[ブリッジ設定]項目に表示されます。
- ②〈削除〉 クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③〈全削除〉 クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > ブリッジ

■ ブリッジグループ設定

本製品と弊社製RoIPゲートウェイ(VE-PG3、VE-PG4)がブリッジ接続するための設定です。
※画面は、設定例です。

ブリッジグループ設定

番号: ① 1

名前: ② PG3最大ブリッジ数

③ 所属するブリッジ

1	2	3	4							
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

④ 追加 ⑤ 取消

- ① 番号 ブリッジ接続する機器をグループにするために、「1」～「20」の番号を選択します。
(出荷時の設定: 1)
最大20件まで登録できます。
- ② 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
- ③ 所属するブリッジ [ブリッジ設定]項目で設定した内容から、グループに登録するブリッジを選択します。
- ④ <追加> [ブリッジグループ設定]項目で設定した内容を追加するボタンです。
クリックすると、[ブリッジグループ設定一覧]項目に表示されます。
- ⑤ <取消> [ブリッジグループ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<追加>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > ブリッジ

■ ブリッジグループ設定一覧

[ブリッジグループ設定]項目で登録した接続先の一覧です。

※画面は、設定例です。

ブリッジグループ設定一覧				
番号	名前	所属するブリッジ	①	②
1	PG3最大 ブリッジ数	1 2 3 4	編集	削除

③
全削除

- ① <編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[ブリッジグループ設定]項目に表示されます。
- ② <削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③ <全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > 他拠点接続

■ 他拠点接続設定

ほかのコントローラーやVE-PG3(ブリッジモード)、VE-PG4と他拠点接続するための設定です。

他拠点接続設定

番号	①	1	▼
名前	②		
接続先アドレス	③		
接続先ポート番号	④	32000	

⑤ 登録 ⑥ 取消

- ① 番号 他拠点接続する機器を登録する番号を選択します。 (出荷時の設定：1)
最大100件まで登録できます。
- ② 名前 登録する他拠点の名称を任意の半角31文字(全角31文字)以内で入力します。
- ③ 接続先アドレス 接続する相手側の機器に設定されたIPアドレス、またはドメイン名を半角英数字(63文字以内)で設定します。
- ④ 接続先ポート番号 接続する相手側の機器に設定された[自局ポート番号]欄を設定します。
(出荷時の設定：32000)
※設定できる範囲は、「2～65534」の偶数値だけです。
通信には、設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用します。
- ⑤ <登録> [他拠点接続設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[他拠点設定一覧]項目に表示されます。
- ⑥ <取消> [他拠点接続設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > 他拠点接続

■ 他拠点接続設定一覧

[他拠点接続設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

他拠点設定一覧				
番号	名前	接続先アドレス	接続先ポート番号	
1	営業所1	192.168.0.100	32000	1 編集 2 削除
				3 全削除

- ① <編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[他拠点接続設定]項目に表示されます。
- ② <削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③ <全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > 近隣呼出接続

■ 近隣呼出接続設定

特定のエリアに限定して運用をするための設定です。

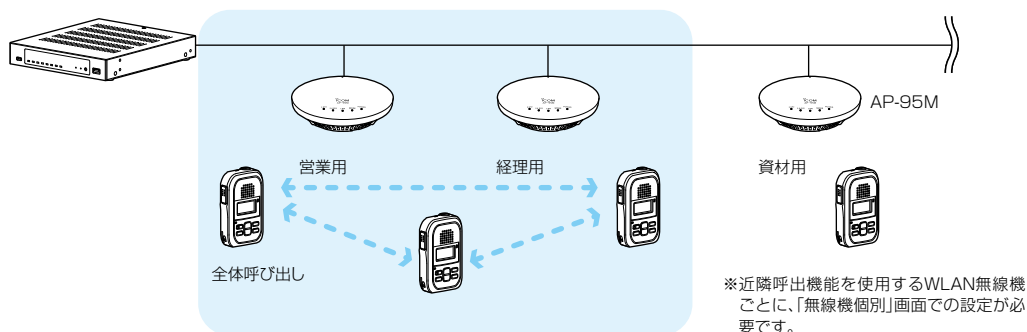
近隣呼出機能を使用してWLAN無線機 (IP200PG/VP-2100を除く) が全体/グループ呼び出しをすると、WLAN無線機が接続している無線アクセスポイントと同一エリア内の無線アクセスポイントに接続しているWLAN無線機を呼び出します。

※IP100FSから近隣呼出機能を使用する場合は、無線アクセスポイント(エリア)を指定して呼び出します。

※画面は、設定例です。

- ① 番号 近隣呼出機能を使用して呼び出すエリアを登録する番号を選択します。
最大20件まで登録できます。 (出荷時の設定：1)
- ② 名前 任意の名称(例：1Fフロア)を、31文字以内で入力します。
- ③ BSSID 近隣呼出機能を使用して呼び出すエリア内にある無線アクセスポイントの [BSSID] を12桁(16進数)の半角英数字で入力します。複数のアクセスポイントを登録した場合それらを1つの近隣エリアとして認識します。
※同一エリア内に最大20件まで無線アクセスポイントを登録できます。
- ④ <登録> [近隣呼出接続設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[近隣呼出接続設定一覧] 項目に表示されます。
- ⑤ <取消> [近隣呼出接続設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

【IP110Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > 近隣呼出接続

■ アクセスポイント検索設定

ネットワーク上の無線アクセスポイントを検索して、近隣呼出機能を使用するエリアとして登録できます。

※2024年12月現在、対応する無線アクセスポイントは、AP-90M、AP-95M、AP-96M、AP-90MR、AP-90Q、AP-9000、AP-9600、SE-900(アクセスポイントモード時)です。

※画面は、設定例です。

アクセスポイント検索設定

※アクセスポイント検索に対応した機種のみ検索できます。

1 検索IPアドレス: _____ [検索]

2 <input type="checkbox"/> すべて	本体名称	IPアドレス	BSSID	名前 3	番号 4	5
<input type="checkbox"/>	AP-95M	192.168.0.6	00-90-C7-.....	営業所1	1	[登録]
<input type="checkbox"/>	AP-95M	192.168.0.12	06-90-C7-.....	営業所2	2	[登録]

[選択登録 6]

1 検索IPアドレス

無線アクセスポイントを検索するIPアドレスの範囲を指定して、〈検索〉をクリックします。

検索を開始すると、ボタンが〈最新状態に更新〉と〈キャンセル〉に変わります。

検索された無線アクセスポイントは、一覧表に表示されます。

※開始IPアドレスだけ入力しても検索できます。

※近隣呼出接続設定一覧で、すでに登録されているBSSIDは表示されません。

※無線アクセスポイントのIP Advanced Radio Systemで本製品と同一のテナント番号の[通知]欄を「有効」に設定して、名前を登録しておくこと、アクセスポイント検索で、BSSIDと名前の検索ができます。

本製品と同一のテナント番号の[通知]欄を「無効」に設定すると、VE-PG4から検索できません。

近隣呼出設定

インターフェイス: ath0

BSSID: 00-90-C7-.....

テナント番号	通知	名前
1	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	営業所1
2	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	

例: AP-95M「無線LAN1 IP Advanced Radio System」画面

2 選択ボックス

検索された複数の無線アクセスポイントを登録するとき、ボックスにチェックマークを入れます。

※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。

3 名前

無線アクセスポイントのIP Advanced Radio System設定にて設定した名前が検索結果に表示されます。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > 近隣呼出接続

■ アクセスポイント検索設定

アクセスポイント検索設定

※アクセスポイント検索に対応した機種のみ検索できます。

① 検索IPアドレス: _____ [検索]

② すべて

本体名称	IPアドレス	BSSID	名前 ③	番号 ④	⑤
<input type="checkbox"/> AP-95M	192.168.0.6	00-90-C7-.....	営業所1	1	[登録]
<input type="checkbox"/> AP-95M	192.168.0.12	06-90-C7-.....	営業所2	2	[登録]

⑥ [選択登録]

- ④ 番号 登録するエリアを、[近隣呼出接続設定]項目の[番号]欄から選択します。すでに登録しているエリア番号を選択した場合は、そのエリア番号にBSSIDが追加されます。
※すでに近隣呼出設定に登録されているエリア番号は選択されません。
※無線アクセスポイント側(IP Advanced Radio System設定)で本製品と同一テナント番号に登録された名前によって、下記のようにエリア番号が選択されます。
- すでに近隣呼出設定に登録されているエリア番号の「名前」が一致する場合、そのエリア番号が選択されます。(一致条件には空白も含まれます)
 - すでに近隣呼出設定に登録されているエリア番号の「名前」が一致しない場合は未登録の先頭エリア番号が選択されます。
- ⑤ <登録> [アクセスポイント検索設定]項目で検索された無線アクセスポイントを登録するボタンです。
- ⑥ <選択登録> [選択ボックス]欄で選択した無線アクセスポイントを登録するボタンです。

5 無線機コントローラー設定

「RoIPサーバー設定」画面

無線機コントローラー設定 > RoIPサーバー設定 > 近隣呼出接続

■ 近隣呼出接続設定一覧

[近隣呼出接続設定]項目、または[アクセスポイント検索設定]項目で登録した内容が表示されます。
※画面は、設定例です。

番号	名前	BSSID	1	2
1	営業所1	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除
2	営業所2	00-90-C7- <small>XXXXXXXXXX</small>	編集	削除

3
全削除

- ① <編集> クリックすると、その行の登録内容を編集できます。
編集内容は、[近隣呼出接続設定]項目に表示されます。
- ② <削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③ <全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機管理

■ 無線機管理

本製品に登録しているWLAN無線機、IP100FSの状態を確認して、必要に応じて、本製品からWLAN無線機を一斉に再起動できます。

※設定内容が変更され、再起動が必要な場合、または再起動中は、太字で表示されます。

※画面は、設定例です。

1	2	3	4	5	6	7				
すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP110H		00001	未接続	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	2	IP100H		00002	未接続	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	3	IP110H	営業1	00003	接続中	192.168.0.99	-	-	無線機管理画面	無線機管理

選択無線機再起動

ファームウェアの強制更新: 無効 有効

無線機再起動:

- 1 選択ボックス** 再起動させたいWLAN無線機を複数選択するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※IP100FSや「接続中」と表示されていないWLAN無線機は選択できません。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- 2 レジスト状態** 本製品に登録したWLAN無線機、IP100FSの接続状況について、「未接続」、「接続中」などが表示されます。
※WLAN無線機の電源が入っていない、IP100FSが起動していないときなど、本製品に接続していない状態では、「未接続」が表示されます。
※「再起動コマンド受信中」、「再起動コマンド受信成功」、「再起動コマンド受信失敗」、「再起動準備中」、「再起動中」、「ファームウェア更新中」、「ファームウェア更新失敗」、「ファームウェアダウンロード中」、「状態通知送信失敗」、「バッテリー不足により失敗」、「プログラミングソフト実行中により失敗」は、「無線機管理」画面でWLAN無線機の再起動を実行した場合に表示される内容です。
- 3 IPアドレス** 本製品に登録したWLAN無線機、IP100FSが使用しているIPアドレスが表示されます。
※WLAN無線機の電源が入っていない、IP100FSが起動していないときなど、本製品に接続していない状態では、「-」が表示されます。
- 4 プレゼンス** 本製品に登録したWLAN無線機から送信されたステータス情報(例：会議中)が表示されます。
※プレゼンス機能が無効の場合は、「-」が表示されます。
※IP100FSから遠隔ロックされ、WLAN無線機が送受信できない、または送受信できない状態では、「送受信禁止」、または「送信禁止」が表示されます。
※WLAN無線機が緊急呼び出しをしている場合は、「緊急」が表示されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機管理

■ 無線機管理

無線機管理										
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
<input type="checkbox"/> すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP110H		00001	未接続	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	2	IP100H		00002	未接続	-	-	-	-	-
<input type="checkbox"/>	3	IP110H	営業1	00003	接続中	192.168.0.99	-	-	無線機管理画面	無線機管理画面

選択無線機再起動

ファームウェアの強制更新: ⑧ 無効 有効

無線機再起動: ⑨

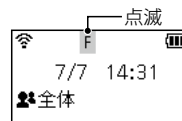
⑤ トークグループ WLAN無線機が選択しているトークグループ番号が表示されます。
※トークグループの名前が登録されている場合は、トークグループ番号(名前)が表示されます。
※トークグループが選択されていない、またはWLAN無線機の電源が入っていないなど本製品に接続していない状態では、「-」が表示されます。

⑥ 位置情報 WLAN無線機が接続している無線アクセスポイントのBSSIDが表示されます。

⑦ バージョン 本製品に登録したWLAN無線機、IP100FSのバージョン情報が表示されます。
※WLAN無線機の電源が入っていない、IP100FSが起動していないときなど、本製品に接続していない状態では、「-」が表示されます。

選択無線機再起動

⑧ ファームウェアの強制更新 WLAN無線機のファームウェアを強制的に更新するときは、「有効」を選択して、本製品から[無線機再起動]を実行します。
WLAN無線機の表示部で「F」表示が点滅し、更新の準備が完了すると、自動的に再起動して、ファームウェアの更新が実行されます。(表示例: IP110H)



※更新の準備に失敗したとき、WLAN無線機は再起動しません。
必要に応じて、再起動を実行してください。

⑨ 無線機再起動 <実行>をクリックすると、[選択ボックス]欄で指定したWLAN無線機が一斉に再起動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機追加

■ TRX番号設定

WLAN無線機、IP100FSを新規登録するとき、または設定内容を編集するときに使います。

※設定変更後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

The screenshot shows the 'TRX番号設定' (TRX Number Setting) screen. It has a title bar and several sections with input fields:

- TRX番号:** 1 (dropdown)
- 機種:** IP100H (dropdown)
- 名前:** (text input)
- 個別番号:** 00001 (text input)
- セキュリティ設定:**
 - パスワード:** iptrx (text input)
- ポート設定:**
 - 無線機側ポート番号:** 30000 (text input)
 - サーバー側ポート番号:** 30000 (text input)
- 設定グループ:** 1 (text input)

At the bottom right, there are two buttons: '追加' (Add) and '取消' (Cancel).

- ① **TRX番号** 使用するWLAN無線機、IP100FSを登録するための番号を選択します。
(出荷時の設定：1)
- ② **機種** 登録する機種を選択します。
(出荷時の設定：IP100H)
- ③ **名前** 任意の名称を、半角31(全角15)文字以内で入力します。
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大15文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
- ④ **個別番号** 使用するWLAN無線機、IP100FSの自局番号(個別番号)を入力します。
設定できる範囲は、「00001～60000」です。(出荷時の設定：00001)
- セキュリティ設定**
- ⑤ **パスワード** 使用するWLAN無線機、IP100FSが本製品に接続するためのパスワードを、大文字/小文字の区別に注意して、12文字(半角英数字/記号)以内で入力します。
(出荷時の設定：iptrx)
- ポート設定**
- ⑥ **無線機側ポート番号** 本製品との通信に、WLAN無線機が使用する通信ポート(UDPポート番号)です。
※特に問題がある場合を除いては、出荷時の設定でお使いください。
※出荷時、TRX番号の「1」には「30000」、「2」には「30002」と、「1」から順に「30000～30298」が割り当てられています。
※設定できる範囲は、「2～59998」の偶数値だけです。
※そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※[機種]欄で「IP100FS」を選択したときは、表示されない項目です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機追加

■ TRX番号設定

TRX番号設定

TRX番号: ① 1

機種: ② IP100H

名前: ③

個別番号: ④ 00001

セキュリティ設定

パスワード: ⑤ jptrx

ポート設定

無線機側ポート番号: ⑥ 30000

サーバー側ポート番号: ⑦ 30000

設定グループ

設定グループ: ⑧ 1

⑨ 追加 ⑩ 取消

ポート設定(つづき)

⑦ サーバー側ポート番号 ……………

収容機器(WLAN無線機、IP100FS)との通信に、本製品が使用する通信ポート(UDPポート番号)です。

本製品側として設定したポート番号(RTP)と設定したポート番号+1(RTCP)の2つを使用して通信します。

※特に問題がある場合を除いては、出荷時の設定でお使いください。

※出荷時、TRX番号の「1」には「30000」、「2」には「30002」と、「1」から順に「30000～30298」が割り当てられています。

※設定できる範囲は、「1024～65534」の偶数値だけです。

※ほかのWLAN無線機、IP100FSに設定するサーバー側ポート番号と重複できません。

※そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。

設定グループ

⑧ 設定グループ ……………

本製品に登録するWLAN無線機、IP100FSが所属する設定グループの番号を選択します。(出荷時の設定: 1)

共用するアドレス帳やメッセージ、通知音は、設定グループ(1～300)ごとに「設定グループ」メニューで設定し、「設定グループ詳細」画面で確認できます。(P.5-298)

⑨ <追加> ……………

[TRX番号設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[TRX番号設定一覧]項目に表示されます。

⑩ <取消> ……………

[TRX番号設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

なお<追加>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機追加

■ TRX番号設定一覧

[TRX番号設定]項目で登録した無線機の設定一覧です。

※ [TRX番号設定]項目で登録した内容の編集や削除にも使用します。

※各設定欄の説明は、[TRX番号設定]項目をご覧ください。

※画面は、設定例です。

TRX番号設定一覧											
① <input type="checkbox"/> すべて	TRX 番号	機種	名前	個別番号	パスワード	ポート設定		設定グループ	アドレス帳 グループ	メッセージ グループ	② 削除
						無線機側	サーバー側				
<input type="checkbox"/>	1	IP110H ▾	営業1	00001	iptrx	30000	30000	1 ▾	1	1	削除
<input type="checkbox"/>	2	IP110H ▾	営業2	00002	iptrx	30002	30002	1 ▾	1	1	削除
<input type="checkbox"/>	3	IP110H ▾	営業3	00003	iptrx	30004	30004	1 ▾	1	1	削除
<input type="checkbox"/>	50	IP100FS ▾	IP100FS	00050	iptrx	-	30098	1 ▾	1	1	削除

③ 登録 ④ 取消 ⑤ 選択削除 ⑥ 全削除

- ① 選択ボックス 登録された内容を複数削除するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※ [すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ② <削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③ <登録> クリックすると、[TRX番号設定一覧]項目で編集した内容が登録されます。
- ④ <取消> クリックすると、[TRX番号設定一覧]項目で編集した内容が変更前の状態に戻ります。
※<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。
- ⑤ <選択削除> クリックすると、[選択ボックス]欄で選択した番号の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ⑥ <全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機追加

■ TRX番号一括設定

連番で個別番号を一括登録したり、すでに登録した設定内容をほかの個別番号にコピーしたりできます。

TRX番号一括設定	
個別番号: ① _____ ~ _____	<input type="button" value="追加"/>
※指定した範囲の連番を個別番号として登録します。	
設定参照元: ② 初期値	▼
※無線機個別設定を初期値で登録します。	
設定グループ: ③ 1	▼

- ① 個別番号 連番で一括に登録したい個別番号の範囲を入力します。
〈追加〉
クリックすると、テキストボックスに入力した範囲(例：00004～00010)の個別番号が登録されます。
※入力した範囲で、すでに登録された個別番号がある場合は、「設定を上書きします。」が表示されます。
- ② 設定参照元 初期設定内容(初期値)、またはすでに登録した設定内容を参照するか選択します。
(出荷時の設定：初期値)
- ③ 設定グループ 本製品に登録するWLAN無線機、IP100FSが所属する設定グループ番号を設定します。
(出荷時の設定：1)
設定できる範囲は、「1」～「200」です。
共用するアドレス帳やメッセージ、通知音は、所属する設定グループごとに「設定グループ」メニューで設定します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

登録されたIP100Hごとに、機能の割り当てや通知音などを設定します。

※設定変更後は、IP100Hの再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

無線機個別設定	
個別番号	① 00005
機種	IP100H
表示部	表示項目 ② <input checked="" type="radio"/> 時計 <input type="radio"/> 名前
	バックライト ③ 操作時点灯
送信動作	送信禁止 ④ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	PTTロック ⑤ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	待受画面での呼出 ⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 ※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
	アドレス帳からの呼出 ⑦ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	アドレス帳先頭番号 ⑧ 1(営業1)
	全体呼出の表示 ⑨ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	起動時のトークグループ指定 ⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

① 個別番号/機種

設定内容を編集するIP100Hの個別番号(名前)を選択します。

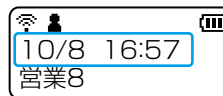
※「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、機種を「IP100FS」に設定した個別番号は表示されません。

表示部

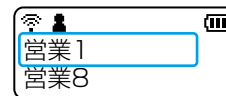
② 表示項目

IP100Hの待受画面に時計を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。
(出荷時の設定：時計)

★「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、名前が登録されていない場合は、個別番号(例：00001)が表示されます。



時計選択時



名前選択時

③ バックライト

IP100H使用時のバックライト機能を設定します。

(出荷時の設定：操作時点灯)

◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。

◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。

◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
個別番号	① 00005
機種	IP100H
表示部	表示項目 ② <input checked="" type="radio"/> 時計 <input type="radio"/> 名前
	バックライト ③ 操作時点灯
送信動作	送信禁止 ④ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	PTTロック ⑤ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	待受画面での呼出 ⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 ※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
	アドレス帳からの呼出 ⑦ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	アドレス帳先頭番号 ⑧ 1 (営業1)
	全体呼出の表示 ⑧ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	起動時のトークグループ指定 ⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

送信動作

④ 送信禁止 送信を禁止して、受信専用としてIP100Hを使用するときを設定します。
(出荷時の設定：無効)
※送信禁止中は、別売品マイクロホンのPTTスイッチやVOX機能による送信もできません。

⑤ PTTロック IP100Hの[PTT]による送信を禁止したいときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
※PTTロック中でも、別売品マイクロホンのスイッチやVOX機能による送信はできます。

呼出先指定

⑥ 待受画面での呼出 IP100Hが待受画面のときに、呼び出す相手局(呼出種別)を表示するかしないかを設定します。
(出荷時の設定：有効)
◎有効：待受画面に、相手局(呼出種別)を表示します。
IP100Hの[PTT]を押すと、待受画面に表示された相手局(呼出種別)を呼び出します。
◎無効：待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
※キー操作による相手局(呼出種別)選択時は表示されます。
※「設定グループ」→「設定グループ詳細」画面にある相手局の表示切替は、無効になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
個別番号	① 00005
機種	IP100H
表示部	表示項目: ② <input checked="" type="radio"/> 時計 <input type="radio"/> 名前
	バックライト: ③ 操作時点灯
送信動作	送信禁止: ④ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	PTTロック: ⑤ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	待受画面での呼出: ⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 ※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
	アドレス帳からの呼出: ⑦ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	アドレス帳先頭番号: ⑧ 1 (営業1)
	全体呼出の表示: ⑧ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	起動時のトークグループ指定: ⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

呼出先指定(つづき)

⑦ アドレス帳からの呼出 ……………

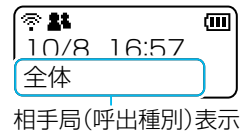


IP100Hでアドレス帳を使用するかどうか設定します。(出荷時の設定:無効)

◎有効:

IP100Hの[アドレス帳]を押すごとに、呼出種別が切り替わります。

[アドレス帳先頭番号]欄で、はじめに表示する相手局(呼出種別)を「全体」、または「アドレス帳」の番号(1~500)で指定します。



※[待受画面での呼出]欄(P.5-26)が「有効」、かつ「設定グループ詳細」画面の[相手局の表示切替]欄(P.5-303)が「無効」の場合は、[アドレス帳先頭番号]欄で設定した相手局が、待受画面に表示されます。

[起動時のトークグループ指定]欄が「有効」の場合、[アドレス帳番号]欄で設定したトークグループが優先して表示されます。

※「設定グループ」メニューで登録されたアドレス帳を使用します。

※[全体呼出の表示]欄で「無効」を設定すると、アドレス帳から全体呼び出しが選択できなくなります。

◎無効:

[アドレス帳]を押しても、呼出種別は下図の[呼出種別]で設定された内容から切り替わりません。

※[呼出種別]欄で、IP100Hから呼び出す特定の相手局(呼出種別)を指定できます。

「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001~60000)を入力します。

※着信時、IP100Hの画面には、アドレス帳に登録されている名前が表示されます。

アドレス帳からの呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出種別:	全体

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
個別番号	① 00005
機種	IP100H
表示部	表示項目: ② <input checked="" type="radio"/> 時計 <input type="radio"/> 名前
	バックライト: ③ 操作時点灯
送信動作	送信禁止: ④ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	PTTロック: ⑤ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	待受画面での呼出: ⑥ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 ※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
	アドレス帳からの呼出: ⑦ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	アドレス帳先頭番号: ⑧ 1 (営業1)
	全体呼出の表示: ⑧ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	起動時のトークグループ指定: ⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※[アドレス帳からの呼出]欄(P.5-27)を「無効」にした場合、[全体呼出の表示]欄、[起動時のトークグループ指定]欄は表示されません。

呼出先指定(つづき)

⑧ 全体呼出の表示 アドレス帳からの全体呼び出しについて設定します。(出荷時の設定: 無効)
◎有効: アドレス帳に全体呼び出しを表示します。
◎無効: アドレス帳に全体呼び出しを表示しません。

⑨ 起動時のトークグループ指定 ... 指定したトークグループを選択した状態で起動します。(出荷時の設定: 無効)
◎有効: [アドレス帳番号]欄で指定したトークグループを選択した状態でIP100Hを起動します。

起動時のトークグループ指定:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳番号:	5 (トークグループ1002)

◎無効: トークグループを指定しないでIP100Hを起動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
受信通知	
通知音量: 10	10
通知動作: 11	通知音
通知音 (受信通知を除く)	
通知音量: 12	10
機能設定	
通信方式: 13	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 14	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 16	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 17	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
低優先度呼出の音声ミキシング: 18	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

受信通知

10 通知音量

着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。設定できる範囲は、「0」～「32」です。(出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面の「受信通知音」欄で設定した内容で、着信時やメッセージ受信時に通知音が鳴ります。

11 通知動作

着信時やメッセージ受信時の通知動作を設定します。(出荷時の設定：通知音)
◎通知音：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の「受信通知音」欄で設定した通知音でお知らせします。
◎バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、音を鳴らさずに振動だけでお知らせします。
◎通知音+バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の「受信通知音」欄で設定した通知音と振動でお知らせします。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
受信通知	
通知音量: 10	10
通知動作: 11	通知音
通知音 (受信通知を除く)	
通知音量: 12	10
機能設定	
通信方式: 13	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 14	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 16	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 17	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
低優先度呼出の音声ミキシング: 18	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

通知音 (受信通知を除く)

12 通知音量

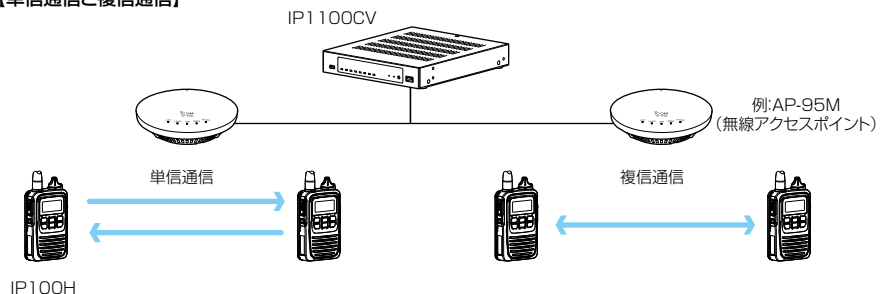
送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「32」です。 (出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時などに通知音が鳴ります。

機能設定

13 通信方式

IP100Hで使用する通信方式を設定します。 (出荷時の設定：複信通信)
◎単信通信：
送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。
◎複信通信：
複信は電話のように同時通話できる方式です。
※複信通信が設定されている場合は、IP100Hに別売品のマイクロホンなどを接続することで、相手が送信しているときでも、電話のように同時通話できます。

【単信通信と複信通信】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: 10 10
	通知動作: 11 通知音
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: 12 10
機能設定	通信方式: 13 <input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
	優先呼出: 14 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	近隣呼出: 15 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	メッセージ: 16 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)
	プレゼンス: 17 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	低優先度呼出の音声ミキシング: 18 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

14 優先呼出

IP100Hに優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。呼出種別ごとの優先度は、下記ようになります。(出荷時の設定: 無効)

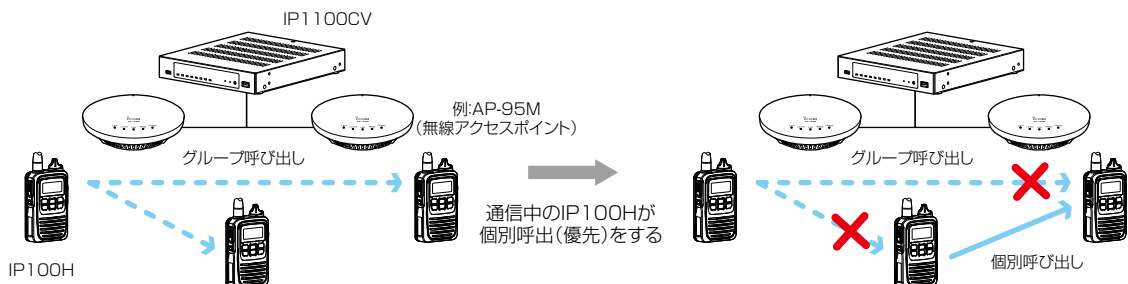
優先度	優先順位	呼出種別	優先呼出	備考
高 ↑ ↓ 低	固定	電話通信	—	電話通信
		緊急呼び出し(優先)	有効	—
		緊急呼び出し	無効	—
	可変★	全体呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		個別呼出(優先)	有効	IP100FS使用時も含む
		グループ呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		全体呼出	無効	近隣呼出も含む
		個別呼出	無効	—
		グループ呼出	無効	近隣呼出も含む

※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番になります。

※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。

★「可変」は、「RoIP通信設定」画面の[通話優先順位]項目(P.5-8)で変更できます。

【通信中に相手局を変更した場合】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: 10
	通知動作: 11 通知音
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: 12 10
機能設定	通信方式: 13 <input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
	優先呼出: 14 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	近隣呼出: 15 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	メッセージ: 16 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)
	プレゼンス: 17 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	低優先度呼出の音声ミキシング: 18 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

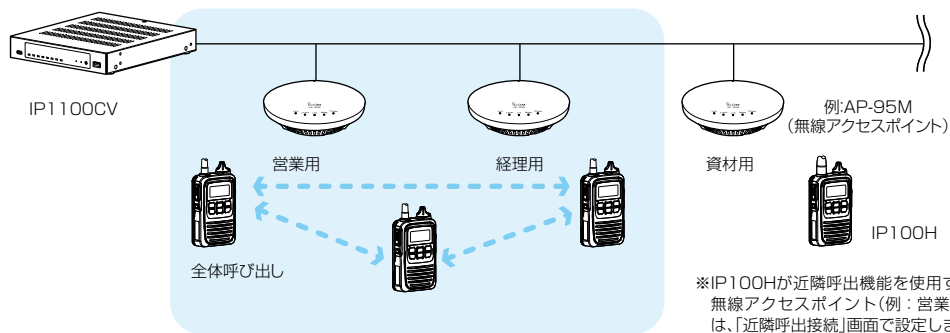
15 近隣呼出

特定のエリアに限定して運用をするときに使用する設定です。

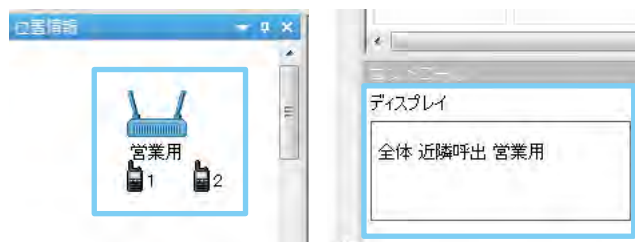
(出荷時の設定: 無効)

「有効」に設定して、IP100H側で近隣呼出機能を「ON」にしている状態で全体/グループ呼び出しをすると、IP100Hが接続している無線アクセスポイントと同一エリア内のWLAN無線機を呼び出します。

【IP100Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



【IP100FSから近隣呼出機能で呼び出す場合】



※IP100FSから近隣呼出機能を使用する場合は、指定した無線アクセスポイント(例: 営業用)と同一エリア内にある無線アクセスポイント(例: 経理用)に接続しているIP100Hを呼び出せます。

※位置情報で無線アクセスポイントを選択すると、呼出種別(個別/グループ/全体/近隣/電話)と表示名をディスプレイに表示します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: 10 10
	通知動作: 11 通知音
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: 12 10
機能設定	通信方式: 13 <input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
	優先呼出: 14 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	近隣呼出: 15 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	メッセージ: 16 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)
	プレゼンス: 17 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	低優先度呼出の音声ミキシング: 18 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

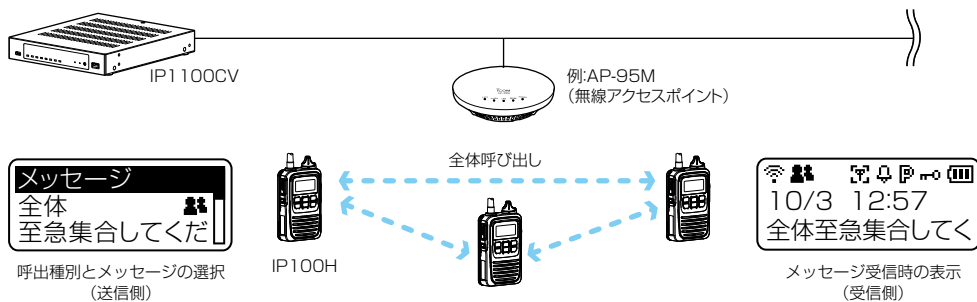
16 メッセージ/メッセージ先頭番号

IP100Hでメッセージを送信するときに設定します。(出荷時の設定: 無効)「有効」を設定すると、IP100Hの[FUNC]を押してメッセージを選択できます。

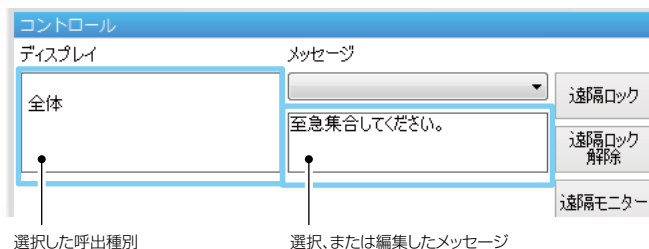
※IP100Hから送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「設定グループ」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。

※はじめに表示するメッセージを、「メッセージ先頭番号」欄で指定します。

【IP100Hからメッセージを送信する場合】



【IP100FSからメッセージを送信する場合】



※IP100FSでは、最大100件の定型メッセージをサイトごとに登録できます。登録したメッセージを選択、またはメッセージを編集して送信できます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定

受信通知

通知音量: 10 10

通知動作: 11 通知音

通知音 (受信通知を除く)

通知音量: 12 10

機能設定

通信方式: 13 単信通信 複信通信

優先呼出: 14 無効 有効

近隣呼出: 15 無効 有効

メッセージ: 16 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 17 無効 有効

低優先度呼出の音声ミキシング: 18 無効 有効

機能設定(つづき)

17 プレゼンス

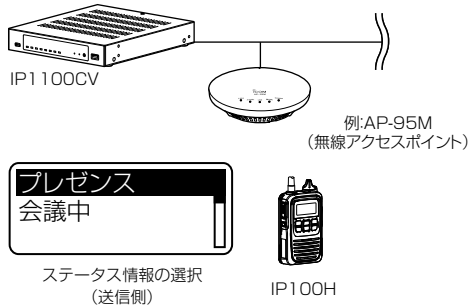
IP100Hからステータス情報(例:会議中)を送信するときに設定します。
(出荷時の設定:無効)

※IP100Hから送信する半角32(全角16)文字以内のステータス情報は、「設定グループ」メニューの「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。

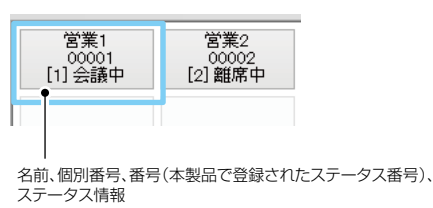
※「無効」を設定しているときは、IP100Hの[FUNC]を押してもプレゼンスを選択できません。

※IP100Hから送信されたステータス情報は、IP100FSのワンタッチボタン画面や本製品の「無線機管理」画面で確認できます。

【IP100Hからプレゼンスを送信する場合】



【IP100FSでプレゼンスを確認する場合】



【本製品でプレゼンスを確認する場合】

無線機管理

<input type="checkbox"/> すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP100H	営業1	00001	接続中	192.168.0.201	会議中	-	00-90-C7	Ver. 1.00
<input type="checkbox"/>	2	IP100H	営業2	00002	接続中	192.168.0.200	離席中	-	00-90-C7	Ver. 1.00
<input type="checkbox"/>	3	IP100H	営業3	00003	接続中	192.168.0.99	作業中	-	00-90-C7	Ver. 1.00

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
受信通知	
通知音量: 10	10
通知動作: 11	通知音
通知音 (受信通知を除く)	
通知音量: 12	10
機能設定	
通信方式: 13	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 14	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 16	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 17	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
低優先度呼出の音声ミキシング: 18	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

18 低優先度呼出の音声

ミキシング

通話中の相手局以外に、自局が所属する通話があれば、音声をミキシングして聞こえるようにできる機能です。 (出荷時の設定: 無効)

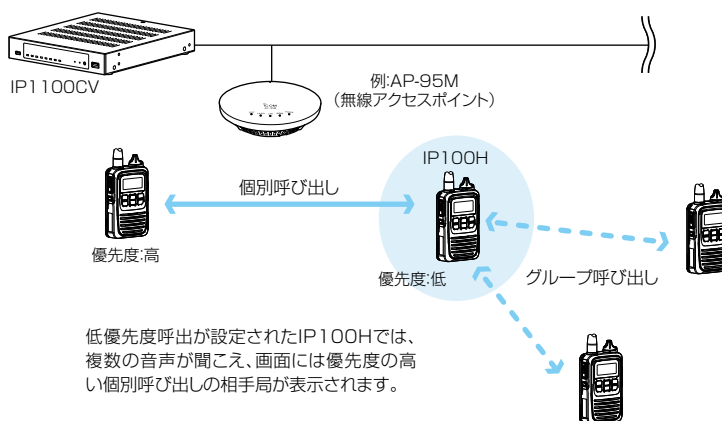
※複数の通話をミキシングしている場合は、IP100Hの画面には、最も高い優先度の通話が表示されます。

優先度について詳しくは、5-31ページをご覧ください。

たとえば、グループ呼び出しで通話中に、ほかの相手局と個別呼び出しで通話するとき、本機能を使用しているIP100Hでは、個別呼び出しに加え、グループ呼び出しの音声もミキシングして聞こえます。

この場合、IP100Hの画面には、優先度の高い個別呼び出しの相手局が表示されます。

【低優先度呼出によるミキシング】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 19 無効
キー割当	オプションキー: 20 無効
	通話中の電話切断: 21 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 22 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

固定呼出

19 固定呼出

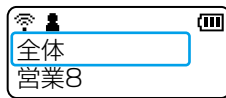
IP100Hの画面(3行目)に表示されている相手ではなく、特定の操作で、あらかじめ指定した別の相手先(呼出種別)を呼び出すときに使用します。

(出荷時の設定: 無効)

通常は別売品マイクロホンで運用し、特定の場合にIP100Hの[PTT]を押して相手先を切り替えるというような使いかたができます。

◎無効: 固定呼出で送信しないとき

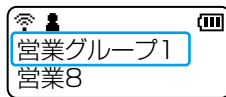
◎PTT: IP100Hの[PTT]で固定呼出をするとき



固定呼出「全体」選択時

固定呼出	
固定呼出:	PTT
呼出種別:	全体

例: PTTで全体呼び出しをする場合



固定呼出「グループ」選択時

◎イヤホンマイクまたはヘッドセット:

別売品マイクロホンのPTTスイッチやVOX機能で固定呼出をするとき

固定呼出	
固定呼出:	イヤホンマイクまたはヘッドセット
呼出種別:	グループ

例: イヤホンマイクまたはヘッドセットでグループ呼び出しをする場合

※呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。

※[呼出種別]欄で「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。

※固定呼出する相手先をIP100Hの画面(通常「日時」を表示している2行目)に常時表示します。

[表示項目]欄で「名前」を選択している場合は、自局に登録された名前を表示します。(P.5-25)

※固定呼出を設定したIP100Hでは、受信時に相手先の名前や呼出種別が画面(3行目)に表示されません。

※IP100Hの[PTT]と別売品マイクロホンのPTTスイッチで同時に送信した場合、IP100Hに内蔵のマイクからの音声はミュートされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 19 無効
キー割当	オプションキー: 20 無効
	通話中の電話切断: 21 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 22 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

キー割当

20 オプションキー

IP100Hの[オプション]に、よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択する、または電話を切るなどの機能を割り当てるときに設定します。

(出荷時の設定: 無効)

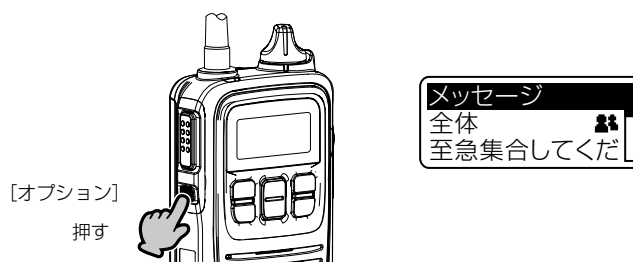
※「無効」を設定しているときは、待受画面で[オプション]を押しても何も動作しません。

◎メッセージ:

[オプション]を押すだけで、よく使うメッセージを選択したいときに設定します。

[メッセージ番号]欄には、「メッセージ」画面で登録した内容を指定します。

キー割当	
オプションキー:	メッセージ
メッセージ番号:	1 (至急集合してください。)



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 19 無効
キー割当	オプションキー: 20 無効
	通話中の電話切断: 21 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 22 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

キー割当

20 オプションキー(つづき) ………

◎ワンタッチ：

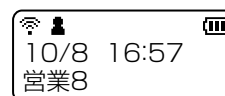
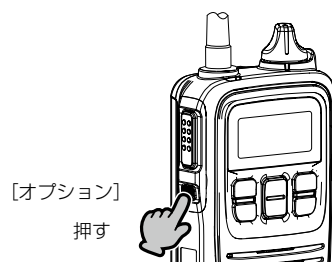
[オプション]を押すだけで、特定の呼出種別、または相手を選択したいときに設定します。

呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」、「電話」から指定します。

※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。

※「電話」を選択したときは、[呼出先番号]欄に相手先の電話番号を31桁以内の数字と記号(#、*)で入力します。

キー割当	
オプションキー:	ワンタッチ
呼出種別:	全体
通話中の電話切断:	個別
接続確認:	グループ
	全体
	電話



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 19 無効
キー割当	オプションキー: 20 無効
	通話中の電話切断: 21 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 22 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

キー割当

20 オプションキー(つづき) ………

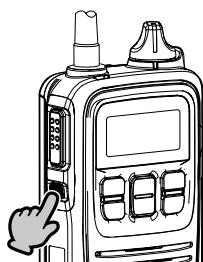
◎電話切断:

[オプション]を押して、IP100Hから電話を切りたいときに設定します。

※[通話中の電話切断]欄を「有効」にして、[オプション]に、ほかの機能を割り当てることもできます。

キー割当
オプションキー: 電話切断

[オプション]
押す



相手が応答する前、または通話中に[オプション]を押すと、IP100Hから電話を切れます。

※IP100Hから電話を切れるのは、電話機からIP100Hを個別に呼び出したとき、またはIP100Hから電話機を呼び出したときだけです。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 19 無効
キー割当	オプションキー: 20 無効
	通話中の電話切断: 21 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 22 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

キー割当

20 オプションキー(つづき) ………

◎受信音声ミュート:

受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいときに設定します。

※[オプション]を長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。

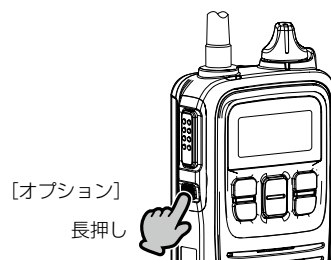
※[PTT]を押しても、ミュート機能を解除できます。

ただし、[通話中の電話切断]欄を「有効」にしている場合、電話通話中は切断動作になります。

※[受信音声ミュート自動解除]欄を「有効」にした場合は、設定時間が経過すると、自動的にミュート機能が解除されます。

「有効」にして使用するときは、ミュート機能が解除されるまでの時間を「10～600」(秒)の範囲で設定します。

キー割当	
オプションキー:	受信音声ミュート
受信音声ミュート自動解除:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
受信音声ミュート自動時間:	60



ミュート時の表示例

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 19 無効
キー割当	オプションキー: 20 無効
	通話中の電話切断: 21 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 22 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

キー割当

20 オプションキー(つづき) ………

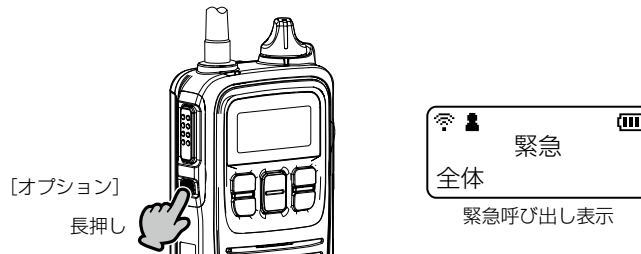
◎エマージェンシー:

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに設定します。

※「緊急」と表示されるまで、[オプション]を長く押しと、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。

相手から応答があったとき、または[オプション]*を長く押したときに、緊急呼び出しが解除されます。

★[解除判定]欄が「有効」に設定されているときに動作します。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

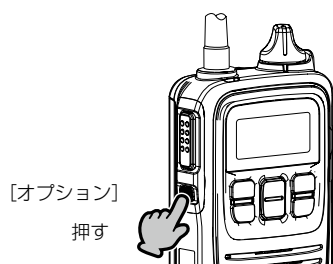
■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 19 無効
キー割当	オプションキー: 20 無効
	通話中の電話切断: 21 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 22 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

キー割当(つづき)

21 通話中の電話切断

[オプション]を押して、IP100Hから電話を切りたいときに設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※[オプションキー]欄を「電話切断」にした場合は、表示されない項目です。



相手が応答する前、または通話中に[オプション]を押すと、IP100Hから電話を切れます。
※IP100Hから電話を切れるのは、電話機からIP100Hを個別に呼び出したとき、またはIP100Hから電話機を呼び出したときだけです。

接続確認

22 接続確認

IP100Hから個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。
(出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、個別呼び出しをしたIP100Hの表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。
※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。
※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定

キー操作音

キー操作音: 23 無効 有効

キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: 24 0 dB

イヤホンマイク

モニター: 25 無効 有効

モニター音量: 10

キー操作音

- 23 キー操作音/キー操作音量 …………… IP100Hのキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。
(出荷時の設定: 有効)
- ◎無効: 確認音が鳴りません。
◎有効: 確認音が鳴ります。
「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 10)
※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

マイク

- 24 マイクゲイン …………… マイクロホンの感度を設定します。
(出荷時の設定: 0)
- 設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

イヤホンマイク

- 25 モニター/モニター音量 …………… イヤホンマイク(別売品)接続時のモニター機能を設定します。
(出荷時の設定: 無効)
- ◎無効: モニター機能が動作しません。
◎有効: モニター機能が動作して、イヤホンから自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。
「有効」にして使用するときは、モニター音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 10)
※「0」を設定した場合は、IP100H側の音量設定に関わらず、イヤホンから自分の音声は聞こえません。
※HM-186LSなどスピーカーマイクでは、ハウリングを起こすことがありますので、モニター機能を「有効」にしないでください。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
ヘッドセット	
VOX: 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アタックタイム: 27	50 ミリ秒
リリースタイム: 28	200 ミリ秒
音声遅延: 29	200 ミリ秒
音声スレッシュ: 30	40 %
側音: 31	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
側音音量: 32	10

ヘッドセット

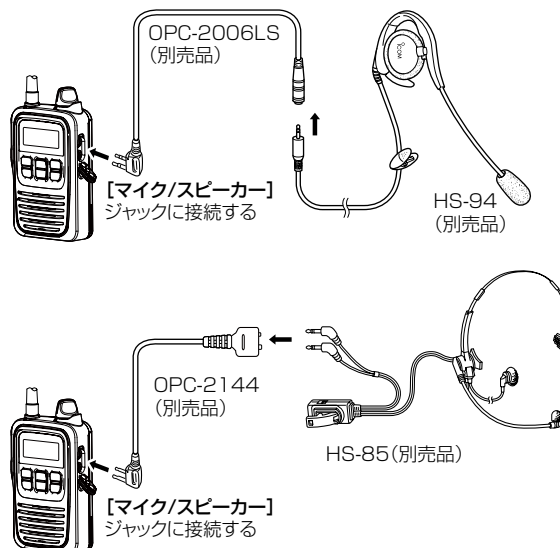
26 VOX

IP100HにVOX機能対応のヘッドセット(別売品)を接続して、音声によって送受信を自動的に切り替えるときに設定します。(出荷時の設定:無効)「有効」に設定して、別売品のVOX対応変換ケーブル(OPC-2006LS)と、ヘッドセット(HS-94/HS-95/HS-97/HS-99のいずれか)を接続すると使用できます。

※ケーブルを抜き差しする前に、必ずIP100Hの電源を切ってください。

※「有効」を選択すると、[アタックタイム]欄～[側音音量]欄が表示されます。

※HS-85(生産終了品)はVOX機能が内蔵されていますので、IP100Hに接続して使用する場合、[VOX]欄を「無効」にしてください。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

項目	設定値	単位
VOX	26	無効 / 有効 (有効)
アタックタイム	27	50 ミリ秒
リリースタイム	28	200 ミリ秒
音声遅延	29	200 ミリ秒
音声スレッシュ	30	40 %
側音	31	無効 / 有効 (有効)
側音音量	32	10

※ [VOX] 欄(P.5-44)を「無効」にした場合、[アタックタイム] 欄～[側音音量] 欄は表示されません。

ヘッドセット設定(つづき)

- | | |
|-------------------------|--|
| 27 アタックタイム | ヘッドセット(別売品)からIP100Hに音声信号が入力されたことを検知する時間を設定します。
(出荷時の設定：50)
検知後、送信を開始します。
設定できる範囲は、「5～500」(5ミリ秒刻み)です。 |
| 28 リリースタイム | IP100Hに入力されている音声が停止したと判断する時間を設定します。
検知後、送信を停止します。
(出荷時の設定：200)
設定できる範囲は、「5～2000」(5ミリ秒刻み)です。 |
| 29 音声遅延 | VOX送信による頭切れを防止するために、音声を遅延させる時間を設定します。
(出荷時の設定：200)
設定できる範囲は、「0～500」(5ミリ秒刻み)です。 |
| 30 音声スレッシュ | ヘッドセット(別売品)からIP100Hに音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベルを設定します。
(出荷時の設定：40)
設定できる範囲は、「0～100」(%)です。
※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。 |
| 31 側音 | ヘッドセット(別売品)接続時の側音機能を設定します。(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。 |
| 32 側音音量 | 側音機能を使用するときの音量を調整します。
設定できる範囲は、「0」(最小)～「32」(最大)です。
(出荷時の設定：10)
※ [側音] 欄を「有効」に設定したときに表示されます。 |

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
エマージェンシー設定	
エマージェンシー: 33	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
履歴キーへの割当: 34	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作判定時間: 35	5 秒
解除判定: 36	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
解除判定時間:	2 秒
警告表示: 37	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量:	32
呼出種別: 38	全体
応答後の解除: 39	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
自動解除: 40	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
自動解除時間:	60 秒

※ [エマージェンシー] 欄を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定

33 エマージェンシー

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに使用する機能です。
(出荷時の設定: 無効)

※ [オプションキー] 欄を「エマージェンシー」に設定している (P.5-41)、または [履歴キーへの割当] 欄を「有効」に設定している場合に使用できます。

※ 「緊急」と表示されるまで、[オプション] を長く (5秒以上★) 押し、一定間隔で警告音 (ピロピロ…) が鳴ります。

相手から応答があったとき、または [オプション] を長く (5秒以上★) 押したときに、緊急呼び出しが解除されます。

※ [履歴] に緊急呼び出し機能が割り当てられている場合も、[オプション] と同様に操作できます。

★ 緊急呼び出し動作までの時間は [動作判定時間] 欄、解除までの時間は [解除判定] 欄で変更できます。

34 履歴キーへの割当

[履歴] を長く押し、緊急呼び出しをするときに設定します。

(出荷時の設定: 有効)

35 動作判定時間

[オプション]、または [履歴] を長く押し、緊急呼び出しが動作するまでの時間を、「1 ~ 10」秒の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 5)

36 解除判定/解除判定時間

[オプション]、または [履歴] を長く押し、緊急呼び出しが解除される設定です。
(出荷時の設定: 無効)

※ 緊急呼び出しを解除する判定時間は、「1 ~ 10」秒の範囲で設定します。

(出荷時の設定: 2)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
エマージェンシー設定	
エマージェンシー: 33	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
履歴キーへの割当: 34	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作判定時間: 35	5 秒
解除判定: 36	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
解除判定時間:	2 秒
警告表示: 37	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量:	32
呼出種別: 38	全体
応答後の解除: 39	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
自動解除: 40	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
自動解除時間:	60 秒

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-46)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定(つづき)

- 37 警告表示/警告音量 緊急呼び出し時に警告音(ピロピロ...)を鳴らしたり、表示を切り替えたりするかどうかを設定します。(出荷時の設定: 有効)
※「無効」に設定するとサイレントモードになります。
※ [警告音量] 欄で音量を、「0～32」の範囲で設定します。(出荷時の設定: 32)
- 38 呼出種別 緊急呼び出しを通知する相手を選択します。(出荷時の設定: 全体)
※「個別」、または「グループ」を選択したときは、[呼出先番号] 欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。
※「電話」を選択したときは、[呼出先番号] 欄に相手先の電話番号を31桁以内の数字/記号(#、*)で入力します。
- 39 応答後の解除 緊急呼び出しを受信した相手が応答した場合、緊急呼び出しを解除するかどうかを設定します。(出荷時の設定: 有効)
- 40 自動解除/自動解除時間 緊急呼び出しが自動的に解除されるまでの時間を設定します。(出荷時の設定: 無効)
※自動的に解除するまでの時間は、「1～255」秒の範囲で設定します。(出荷時の設定: 60)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
エマージェンシー着信設定	
警告音: 41	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量:	32
警告動作:	通知音+バイブレーション
Lone Worker設定	
Lone Worker: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー: 43	60 分
Lone Worker警告タイマー: 44	60 秒
PTT遅延: 45	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10 x100 ミリ秒

※[エマージェンシー]欄(P.5-46)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー着信設定

41 警告音/警告音量/警告動作 ……

緊急呼び出しを受信すると、警告音(ピロピロ…)が鳴動します。

(出荷時の設定：有効)

※[警告音量]欄で音量を、「0～32」の範囲で設定します。(出荷時の設定：32)

※[警告動作]欄で緊急呼び出しを受信したときの動作を、「通知音」、「バイブレーション」、または「通知音+バイブレーション」から選択します。

(出荷時の設定：通知音+バイブレーション)

Lone Worker設定

42 Lone Worker ……

一定時間、無線機の操作がない場合、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。(出荷時の設定：無効)

※警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。

43 Lone Worker監視タイマー ……

一定時間、無線機の操作がないと認識するまでの時間を設定します。

設定できる範囲は、「1～255」分です。(出荷時の設定：60)

※無線機の操作がないと認識されると、ビープ音(ピッ)が1回鳴って、[Lone Worker警告タイマー]が動作します。

※無線機を操作すると、Lone Worker監視タイマーがリセットされます。

44 Lone Worker警告タイマー ……

[Lone Worker監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。(出荷時の設定：60)

Lone Worker警告タイマーで設定した時間が経過しても無線機の操作がないときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。

設定できる範囲は、「1～255」秒です。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、無線機を操作すると、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。

※Lone Worker警告タイマー動作中は、2秒ごとにビープ音(ピッ)が鳴ります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
エマージェンシー着信設定	
警告音: 41	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量:	32
警告動作:	通知音+バイブレーション
Lone Worker設定	
Lone Worker: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー: 43	60 分
Lone Worker警告タイマー: 44	60 秒
PTT遅延: 45	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10 x100 ミリ秒

※[エマージェンシー]欄(P.5-46)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定(つづき)

45 PTT遅延/PTT遅延タイマー……

Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーが動作中に、[PTT]を押しつづけたとき、送信されるまでの時間を設定します。

(出荷時の設定：有効(10))

※時間を長く設定することで、[PTT]を押しても、送信されることなく、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットできます。

設定できる範囲は、「1～255」x100ミリ秒です。

※[PTT]を設定した時間以上押しつづけると、送信状態になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
エマージェンシー着信設定	
警告音: 41	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量:	32
警告動作:	通知音+バイブレーション
Lone Worker設定	
Lone Worker: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー: 43	60 分
Lone Worker警告タイマー: 44	60 秒
PTT遅延: 45	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10 x100 ミリ秒
V/RoIP設定	
ジッターバッファ種別: 46	<input type="radio"/> スタティック <input checked="" type="radio"/> ダイナミック

V/RoIP設定

46 ジッターバッファ種別 ………

IP100Hが音声を受信したときに、パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定: ダイナミック)

◎スタティック:

音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。

設定できる範囲は、「20」(ミリ秒)～「500」(ミリ秒)です。

設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声途切れやすくなります。

V/RoIP設定	
ジッターバッファ種別:	<input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック
ジッターバッファサイズ:	40
TOS種別:	TOS

◎ダイナミック:

音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
V/RoIP設定	
ジッターバッファ種別: 46	<input type="radio"/> スタティック <input checked="" type="radio"/> ダイナミック
TOS種別: 47	TOS ▼
メディア (RTP) 優先度: 48	7
メディア (RTP) サービスタイプ:	0
メディア(RTP) 16進表示:	E0
アンテナ設定	
アンテナ種別: 49	無線機の設定優先 ▼
IPアドレス設定	
設定方法: 50	無線機の設定優先 ▼

V/RoIP設定(つづき)

47 TOS種別

IP100HのTOS機能について設定します。

(出荷時の設定：TOS)

◎使用しない：

TOS機能を使用しません。

◎TOS：

TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。

RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。

残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎Diffserv：

Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。

1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。

残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
V/RoIP設定	
ジッターバッファ種別 : 46	<input type="radio"/> スタティック <input checked="" type="radio"/> ダイナミック
TOS種別 : 47	TOS
メディア (RTP) 優先度 : 48	7
メディア (RTP) サービスタイプ :	0
メディア(RTP) 16進表示 :	E0
アンテナ設定	
アンテナ種別 : 49	無線機の設定優先
IPアドレス設定	
設定方法 : 50	無線機の設定優先

無線機個別設定	
V/RoIP設定	
ジッターバッファ種別 : 46	<input type="radio"/> スタティック <input checked="" type="radio"/> ダイナミック
TOS種別 : 47	Diffserv
メディア (RTP) DSCP : 48	56
メディア (RTP) 16進表示 :	E0
アンテナ設定	
アンテナ種別 : 49	無線機の設定優先
IPアドレス設定	
設定方法 : 50	無線機の設定優先

V/RoIP設定(つづき)

48 メディア(RTP) ……………

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

※ [TOS種別] 欄で「使用しない」を選択したときは表示されない項目です。

TOS種別 : TOS

◎優先度 :

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定 : 7)

優先度の設定値が大きいくほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ :

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定 : 0)

TOS種別 : Diffserv

◎DSCP :

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定 : 56)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
V/RoIP設定	
ジッターバッファ種別: 46	<input type="radio"/> スタティック <input checked="" type="radio"/> ダイナミック
TOS種別: 47	TOS
メディア (RTP) 優先度: 48	7
メディア (RTP) サービスタイプ:	0
メディア (RTP) 16進表示:	E0
アンテナ設定	
アンテナ種別: 49	無線機の設定優先
IPアドレス設定	
設定方法: 50	無線機の設定優先

アンテナ設定

49 アンテナ種別

IP100Hで使用するアンテナについて設定します。

(出荷時の設定：無線機の設定優先)

◎無線機の設定優先：

導入時は、CS-IP100Hで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎内部アンテナ：

下記のようなときに、IP100Hの内部アンテナを使用します。

◎IP100Hから送信される電波が届く範囲を狭めたいとき

◎通信エリアを制限してセキュリティーを高めたいとき

◎突起物がない状態で使いたいとき

◎外部アンテナ：

送信される電波を広範囲に届けたいときに、外部アンテナ(IP100H付属品)を接続して使用します。

※IP100Hの内部アンテナは、外部アンテナに比べて、通信距離が短くなります。

※設置する環境や条件などにより、通信距離は異なります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定	
V/RoIP設定	
ジッターバッファ種別: 46	<input type="radio"/> スタティック <input checked="" type="radio"/> ダイナミック
TOS種別: 47	TOS
メディア (RTP) 優先度: 48	7
メディア (RTP) サービスタイプ:	0
メディア (RTP) 16進表示:	E0
アンテナ設定	
アンテナ種別: 49	無線機の設定優先
IPアドレス設定	
設定方法: 50	無線機の設定優先

IPアドレス設定

50 設定方法

IP100HのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定: 無線機の設定優先)

◎無線機の設定優先:

導入時は、CS-IP100Hで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント:

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

◎固定IP:

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	
サブネットマスク:	
デフォルトゲートウェイ:	
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定

保守設定

保守サーバー: 51 _____

保守サーバー以外からの再起動: 52 無効 有効

SNTPサーバー: 53 _____

起動時のファームウェア自動更新: 54 有効 (自動再起動無し) ▼

ファームアップサーバー: 55 _____

SYSLOGホストアドレス: 56 _____

SYSLOG送信レベル: 57 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定

アクセスパスワード: 58 _____

59 60

登録 取消

保守設定

- 51 保守サーバー IP100Hの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 52 保守サーバー以外からの再起動 保守サーバーとして指定した機器以外から、IP100Hを再起動させるかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)
※2024年12月現在、対応機種はAP-9500、IP1000C、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。
- 53 SNTPサーバー IP100HのSNTPサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品をSNTPサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

無線機個別設定

保守設定

保守サーバー: 51 _____

保守サーバー以外からの再起動: 52 無効 有効

SNTPサーバー: 53 _____

起動時のファームウェア自動更新: 54 有効 (自動再起動無し) ▼

ファームアップサーバー: 55 _____

SYSLOGホストアドレス: 56 _____

SYSLOG送信レベル: 57 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定

アクセスパスワード: 58 _____

59 60

登録 取消

保守設定(つづき)

54 起動時のファームウェア

自動更新

本製品からIP100Hのファームウェアを自動更新するための設定です。

(出荷時の設定: 有効(自動再起動無し))

◎無効:

本製品によるIP100Hのファームウェア自動更新を無効にします。

◎有効(自動再起動無し):

IP100Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP100Hはファームウェアを取得します。IP100Hの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。

◎有効(自動再起動有り):

IP100Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP100Hはファームウェアの更新を開始します。

更新が完了すると、自動的にIP100Hが再起動します。

※本製品に内蔵しているIP100Hのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

55 ファームアップサーバー

IP100Hのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。

入力は、半角英数字で63文字までです。

※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP100H]

保守設定(つづき)

56 SYSLOGホストアドレス …………… IP100HのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

57 SYSLOG送信レベル …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定：□ DEBUG □ INFO □ NOTICE)
ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

セキュリティ設定

58 アクセスパスワード …………… CS-IP100H★から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
★CS-IP100Hは、IP100Hの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。
弊社ホームページからダウンロードできます。

59 <登録> …………… [無線機個別設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[無線機個別設定一覧]項目に表示されます。

60 <取消> …………… [無線機個別設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

登録されたIP110Hごとに、機能の割り当てや通知音などを設定します。

※設定変更後は、IP110Hの再起動が必要です。

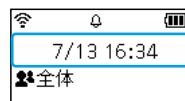
※画面は、設定例です。

無線機個別設定	
個別番号: ①	00003 (営業3)
機種:	IP110H
表示部	
表示項目: ②	<input checked="" type="radio"/> 時計 <input type="radio"/> 名前
バックライト: ③	操作時点灯
バックライト輝度: ④	<input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい
コントラスト: ⑤	8
全体呼出の表示文言: ⑥	
起動コメント: ⑦	
送信動作	
送信禁止: ⑧	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTロック: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT: ⑩	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

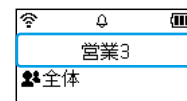
- ① 個別番号/機種 設定内容を編集するIP110Hの個別番号(名前)を選択します。
※「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、機種を「IP100FS」に設定した個別番号は表示されません。

表示部

- ② 表示項目 IP110Hの待受画面に時計を表示するか、自局に登録された名前*を表示するかを選択します。
(出荷時の設定：時計)



時計選択時



名前選択時

★「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、名前が登録されていない場合は、個別番号(例：00001)が表示されます。

- ③ バックライト IP110H使用時のバックライト機能を設定します。
(出荷時の設定：操作時点灯)

- ◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。
- ◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。
- ◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。

- ④ バックライト輝度 IP110H表示部の明るさを「暗い」、「明るい」から設定します。
(出荷時の設定：明るい)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
個別番号: ①	00003 (営業3)
機種:	IP110H
表示部	
表示項目: ②	<input checked="" type="radio"/> 時計 <input type="radio"/> 名前
バックライト: ③	操作時点灯
バックライト輝度: ④	<input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい
コントラスト: ⑤	8
全体呼出の表示文言: ⑥	
起動コメント: ⑦	
送信動作	
送信禁止: ⑧	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTロック: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT: ⑩	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

表示部(つづき)

- ⑤ **コントラスト** IP110Hの画面表示について、濃度を設定します。 (出荷時の設定: 8)
設定できる範囲は、1(薄い)~16(濃い)です。
- ⑥ **全体呼出の表示文言** IP110Hの画面に表示される全体呼び出しの「全体」を任意の表記に変更するときは、全角/半角5文字以内で設定します。
- ⑦ **起動コメント** IP110Hの電源を入れた直後、画面に任意のコメントを表示させるときは、全角/半角8文字以内で設定します。
- 送信動作**
- ⑧ **送信禁止** 送信を禁止して、受信専用としてIP110Hを使用するとき設定します。
(出荷時の設定: 無効)
※送信禁止中は、マイクロホン(別売品)のPTTスイッチやVOX機能による送信もできません。
- ⑨ **PTTロック** IP110Hの[PTT]による送信を禁止したいときに設定します。
(出荷時の設定: 無効)
※PTTロック中でも、別売品マイクロホンのスイッチやVOX機能による送信はできます。
- ⑩ **ワンタッチPTT** IP110Hの[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。
(出荷時の設定: 無効)
「有効」を設定すると、送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がなくなります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出：11	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出：12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号：	全体
全体呼出の表示：13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定：14	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量：15	10
通知動作：16	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量：17	10

呼出先指定

11 待受画面での呼出 ……………

IP110Hが待受画面のときに、呼び出す相手局(呼出種別)を表示するかしな
いかを設定します。 (出荷時の設定：有効)

◎**有効**：待受画面に、相手局(呼出種別)が表示されます。IP110Hの[PTT]
を押すと、待受画面に表示された相手局(呼出種別)を呼び出します。

◎**無効**：待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

※キー操作による相手局(呼出種別)選択時は表示されます。

※「設定グループ」→「設定グループ詳細」画面にある相手局の表示切替は、無
効になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 11	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 14	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 15	10
通知動作: 16	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 17	10

呼出先指定(つづき)

12 アドレス帳からの呼出 …………… IP110Hでアドレス帳を使用するかどうか設定します。

(出荷時の設定: 無効)

◎有効:

IP110Hの[アドレス帳]やメニュー画面を操作すると、アドレス帳が表示されます。[アドレス帳先頭番号]欄で、はじめに表示する相手局(呼出種別)を「全体」、または「アドレス帳」の番号(1~500)で指定します。

※[待受画面での呼出]欄(P.5-60)が「有効」、かつ「設定グループ詳細」画面の[相手局の表示切替]欄(P.5-303)が「無効」の場合は、[アドレス帳先頭番号]欄で設定した相手局が、待受画面に表示されます。

[起動時のトークグループ指定]欄が「有効」の場合、[アドレス帳番号]欄で設定したトークグループが優先して表示されます。

※「設定グループ」メニューで登録されたアドレス帳を使用します。

※[全体呼出の表示]欄で「無効」を設定すると、アドレス帳から全体呼び出しが選択できなくなります。

◎無効:

IP110Hのアドレス帳が無効になり、呼出種別は下図の[呼出種別]で設定された内容から切り替わりません。

※[呼出種別]欄で、IP110Hから呼び出す特定の相手局(呼出種別)を指定できます。「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001~60000)を入力します。

※着信時、IP110Hの画面には、アドレス帳に登録されている名前が表示されます。

アドレス帳からの呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出種別:	全体

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 11	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 14	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 15	10
通知動作: 16	通知音
通知音 (受信通知を除く)	
通知音量: 17	10

※[アドレス帳からの呼出]欄(P.5-61)を「無効」にした場合、[全体呼出の表示]欄、[起動時のトークグループ指定]欄は表示されません。

呼出先指定(つづき)

13 全体呼出の表示 アドレス帳からの全体呼び出しについて設定します。(出荷時の設定: 有効)
◎**有効**: アドレス帳に全体呼び出しが表示されます。
◎**無効**: アドレス帳に全体呼び出しが表示されません。

14 起動時のトークグループ指定 ... 指定したトークグループを選択した状態で起動します。
(出荷時の設定: 無効)
◎**有効**: [アドレス帳番号]欄で指定したトークグループを選択した状態でIP110Hを起動します。

起動時のトークグループ指定:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳番号:	13 (TG1)

◎**無効**: トークグループを指定しないでIP110Hを起動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 11	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 14	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 15	10
通知動作: 16	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 17	10

受信通知

- 15 通知音量 着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「32」です。 (出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP110H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した内容で、着信時やメッセージ受信時に通知音が鳴ります。

- 16 通知動作 着信時やメッセージ受信時の通知動作を設定します。 (出荷時の設定：通知音)
- 通知音：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音でお知らせします。
 - バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、音を鳴らさずに振動だけでお知らせします。
 - 通知音+バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音と振動でお知らせします。

通知音(受信通知を除く)

- 17 通知音量 送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「32」です。 (出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP110H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時などに通知音が鳴ります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

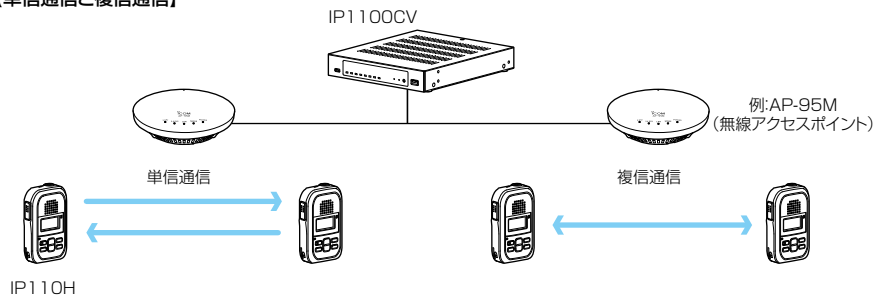
■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 18	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 19	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 22	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
音量最小値: 23	0
低優先度呼出の音声ミキシング: 24	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
固定呼出: 28	無効

機能設定

- 18 通信方式 IP110Hで使用する通信方式を設定します。 (出荷時の設定: 複信通信)
- 単信通信:
送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。
 - 複信通信:
複信は電話のように同時通話できる方式です。
※複信通信が設定されている場合は、相手が送信しているときでも、電話のように同時通話できます。

【単信通信と複信通信】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 18 単信通信 複信通信

優先呼出: 19 無効 有効

近隣呼出: 20 無効 有効

メッセージ: 21 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 22 無効 有効

音量最小値: 23 0

低優先度呼出の音声ミキシング: 24 無効 有効

Bluetooth: 25 無効 有効

Bluetooth 自動接続: 26 無効 有効

録音: 27 無効 有効

固定呼出

固定呼出: 28 無効

機能設定(つづき)

19 優先呼出 IP110Hに優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。
(出荷時の設定：無効)

呼出種別ごとの優先度は、下記ようになります。

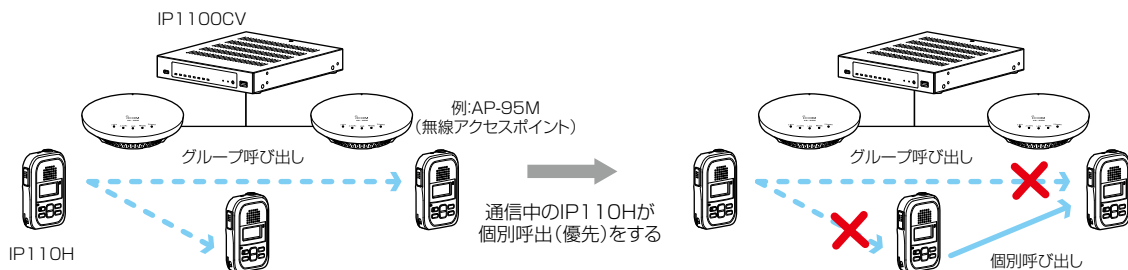
優先度	優先準備	呼出種別	優先呼出	備考
↑ 高 ↓ 低	固定	電話通信	—	電話通信
		緊急呼び出し(優先)	有効	—
		緊急呼び出し	無効	—
	可変★	全体呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		個別呼出(優先)	有効	IP100FS使用時も含む
		グループ呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		全体呼出	無効	近隣呼出も含む
		個別呼出	無効	—
	グループ呼出	無効	近隣呼出も含む	

※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番になります。

※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。

★「可変」は、「RoIPサーバー」画面の「通話優先順位」項目(P.5-8)で変更できます。

【通信中に相手局を変更した場合】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 18 単信通信 複信通信

優先呼出: 19 無効 有効

近隣呼出: 20 無効 有効

メッセージ: 21 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 22 無効 有効

音量最小値: 23 0

低優先度呼出の音声ミキシング: 24 無効 有効

Bluetooth: 25 無効 有効

Bluetooth 自動接続: 26 無効 有効

録音: 27 無効 有効

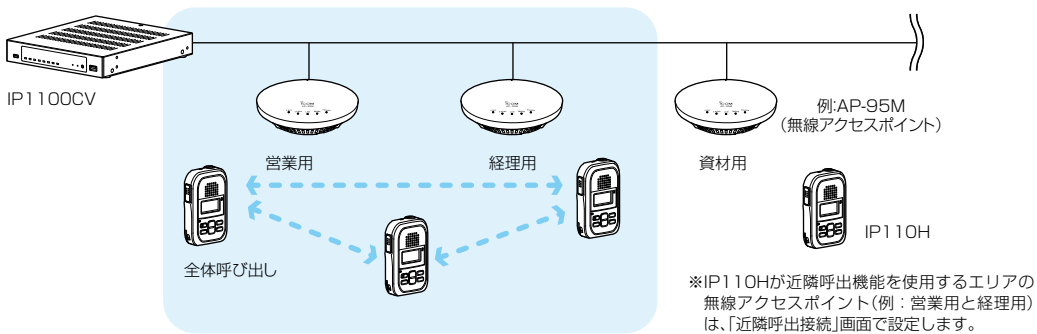
固定呼出

固定呼出: 28 無効

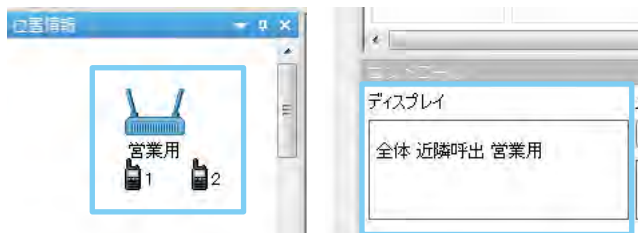
機能設定(つづき)

- 20 近隣呼出 特定のエリアに限定して運用をするときに使用する設定です。
(出荷時の設定：無効)
- 「有効」に設定して、IP110H側で近隣呼出機能を「ON」にしている状態で全体/グループ呼び出しをすると、IP110Hが接続している無線アクセスポイントと同一エリア内のIP110Hを呼び出します。
- ※「近隣呼出接続」画面の[近隣呼出接続設定]項目(P.5-15)でIP110Hが接続中のアクセスポイントのBSSIDが登録されていないと動作しません。

【IP110Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



【IP100FSから近隣呼出機能で呼び出す場合】



※IP100FSから近隣呼出機能を使用する場合は、指定した無線アクセスポイント(例: 営業用)と同一エリア内にある無線アクセスポイント(例: 経理用)に接続しているIP110Hを呼び出せます。

※位置情報で無線アクセスポイントを選択すると、呼出種別(個別/グループ/全体/近隣/電話)と表示名をディスプレイに表示します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 18	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 19	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 22	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
音量最小値: 23	0
低優先度呼出の音声ミキシング: 24	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
固定呼出: 28	無効

機能設定(つづき)

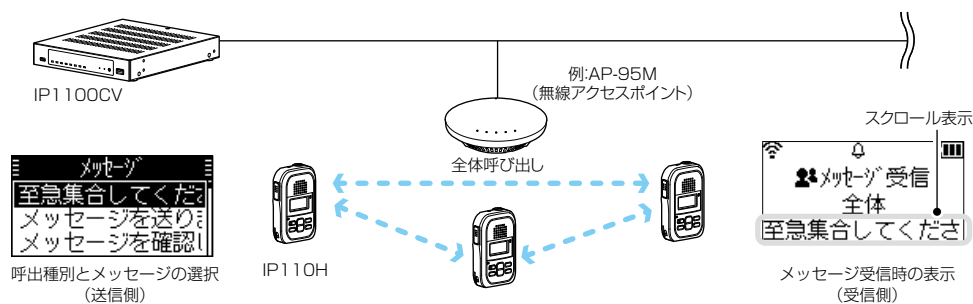
21 メッセージ/メッセージ先頭番号

IP110Hでメッセージを送信するときに設定します。(出荷時の設定: 無効)「有効」を設定すると、IP110Hのメニュー画面からメッセージを選択できます。

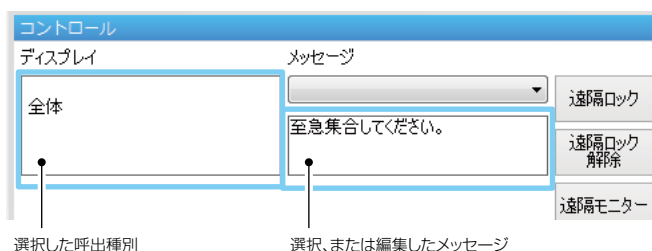
※IP110Hから送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「設定グループ」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。

※はじめに表示するメッセージを、[メッセージ先頭番号]欄で指定します。

【IP110Hからメッセージを送信する場合】



【IP100FSからメッセージを送信する場合】



※IP100FSでは、最大100件の定型メッセージをサイトごとに登録できます。登録したメッセージを選択、またはメッセージを編集して送信できます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 18 単信通信 複信通信

優先呼出: 19 無効 有効

近隣呼出: 20 無効 有効

メッセージ: 21 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 22 無効 有効

音量最小値: 23 0

低優先度呼出の音声ミキシング: 24 無効 有効

Bluetooth: 25 無効 有効

Bluetooth 自動接続: 26 無効 有効

録音: 27 無効 有効

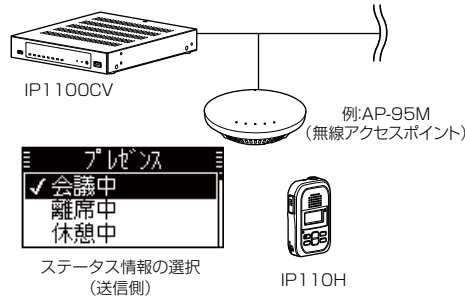
固定呼出

固定呼出: 28 無効

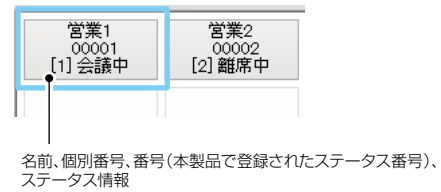
機能設定(つづき)

- 22 プレゼンス IP110Hからステータス情報(例:会議中)を送信するときに設定します。
(出荷時の設定:無効)
- ※IP110Hから送信する半角32(全角16)文字以内のステータス情報は、「設定グループ」メニューの「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。
- ※「有効」を設定すると、IP110Hのメニュー画面からプレゼンスを選択できます。
- ※IP110Hから送信されたステータス情報は、IP100FSのワンタッチボタン画面や本製品の「無線機管理」画面で確認できます。

【IP110Hからプレゼンスを送信する場合】



【IP100FSでプレゼンスを確認する場合】



【本製品でプレゼンスを確認する場合】

無線機管理

すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP110H	営業1	00001	接続中	192.168.0.201	会議中	-	00-90-C7	Ver. 1.00
<input type="checkbox"/>	2	IP110H	営業2	00002	接続中	192.168.0.200	離席中	-	00-90-C7	Ver. 1.00
<input type="checkbox"/>	3	IP110H	営業3	00003	接続中	192.168.0.99	作業中	-	00-90-C7	Ver. 1.00

ステータス情報

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 18	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 19	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 22	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
音量最小値: 23	0
低優先度呼出の音声ミキシング: 24	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
固定呼出: 28	無効

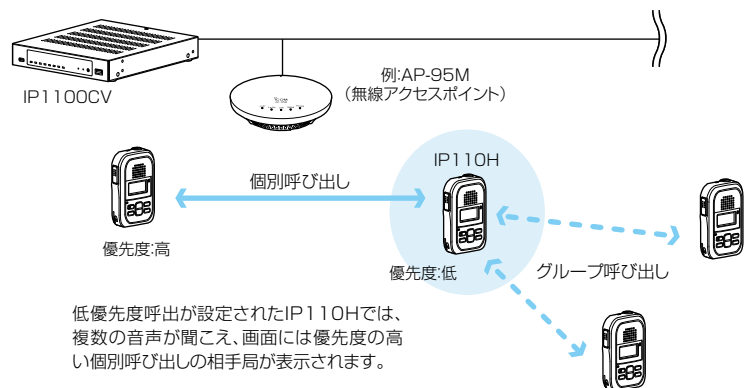
機能設定(つづき)

23 音量最小値 IP110H側で調整できる音量の最小値を設定します。(出荷時の設定: 0)
設定できる範囲は、「0」(最小)~「32」(最大)です。

24 低優先度呼出の音声ミキシング 通話中の相手局以外に、自局が所属する通話があれば、音声をミキシングして聞こえるようにできる機能です。(出荷時の設定: 無効)
※複数の通話をミキシングしている場合は、IP110Hの画面には、最も高い優先度の通話が表示されます。
優先度について詳しくは、5-65ページをご覧ください。

たとえば、グループ呼び出しで通話中に、ほかの相手局と個別呼び出しで通話するとき、本機能を使用しているIP110Hでは、個別呼び出しに加え、グループ呼び出しの音声もミキシングして聞こえます。
この場合、IP110Hの画面には、優先度の高い個別呼び出しの相手局が表示されます。

【低優先度呼出によるミキシング】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 18	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 19	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 22	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
音量最小値: 23	0
低優先度呼出の音声ミキシング: 24	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
固定呼出: 28	無効

※ [Bluetooth] 欄を「無効」にした場合、Bluetooth機能関連の設定は表示されません。

機能設定(つづき)

- | | |
|------------------|--|
| 25 Bluetooth | IP110HとBluetooth機能対応機器を接続するときに設定します。
(出荷時の設定：無効) |
| 26 Bluetooth自動接続 | Bluetooth機能有効時、ペアリング済みの機器と自動接続するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：有効) |
| 27 録音 | IP110Hで受信した内容を録音するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、IP110Hのメニュー画面から、録音モードをON/OFFできるようになります。 |

録音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音対象:	個別呼出
固定呼出:	すべて

※ 録音の対象を個別呼出だけにするか、すべての呼び出しにするかどうかを設定します。

※ 1件あたり最大4分まで録音できます。保存された録音が10件を超える、または録音の合計が4分を超えると、古いものから自動的に消去されます。

※ 複信通信の場合は、相手からの音声だけが録音されます。

※ 録音データは、取り出せません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 18	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 19	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 22	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
音量最小値: 23	0
低優先度呼出の音声ミキシング: 24	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
固定呼出	
固定呼出: 28	無効

固定呼出

28 固定呼出

特定の操作で、あらかじめ指定した別の相手先(呼出種別)を呼び出すときに使用します。(出荷時の設定: 無効)

通常はマイクロホン(別売品)で運用し、特定の場合にIP110Hの[PTT]を押して相手先を切り替えるというような使いかたができます。

◎無効: 固定呼出で送信しないとき

◎PTT: IP110Hの[PTT]で固定呼出をするとき(例: 全体呼び出し)

固定呼出:	PTT
呼出種別:	全体

◎イヤホンマイクまたはヘッドセット:

マイクロホン(別売品)のPTTスイッチやVOX機能で固定呼出をするとき(例: グループ呼び出し)

固定呼出:	イヤホンマイクまたはヘッドセット
呼出種別:	グループ
呼出先番号:	00001

※呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。

※[呼出種別]欄で「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001~60000)を入力します。

※固定呼出する相手先をIP110Hの画面(通常呼び出し先の上)に常時表示します。[表示項目]欄で「名前」を選択している場合は、自局に登録された名前が表示されます。(P.5-58)

※IP110Hに接続したマイクロホン(別売品: HM-186など)、またはBluetooth機器(VS-3)★とIP110Hの[PTT]で同時に送信した場合は、IP110Hに内蔵のマイクからの音声はミュートされます。

★VOX機能(P.5-79)が「無効」「Bluetoothマイク」以外に設定された場合

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

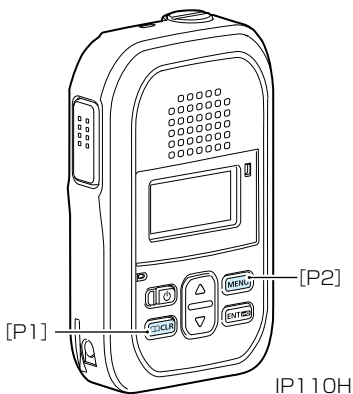
■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
プログラマブルキー設定	
P1:	29 無効
P2:	無効
P3:	無効
P4:	無効
P5:	無効
通話中の電話切断:	30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: 32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 33 0

プログラマブルキー設定

29 [P1]～[P5]

プログラマブルキー([P1]～[P5])として、IP110HのキーやVS-3のボタンによく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するなどの機能を割り当てるときに設定します。(出荷時の設定：無効)



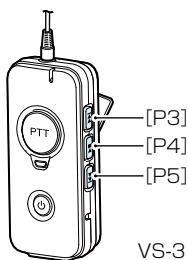
◎無効：
機能を割り当てません。

◎メッセージ：
[P1]～[P5]を長く(約1秒)押して、よく使うメッセージを選択したいときに設定します。
[メッセージ番号]欄には、「メッセージ」画面で登録した内容を指定します。

P1:	メッセージ
メッセージ番号:	1(至急集合してください。)

◎ワンタッチ：
[P1]～[P5]を長く(約1秒)押して、特定の呼出種別、または相手を選択したいときに設定します。
呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」、「電話」から指定します。
※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。
※「電話」を選択したときは、[呼出先番号]欄に相手先の電話番号を31桁以内の数字と記号(#、*)で入力します。

P1:	ワンタッチ
呼出種別:	グループ
呼出先番号:	00001



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

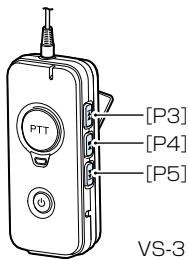
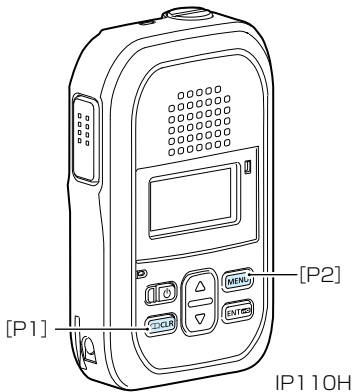
無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
プログラマブルキー設定	
P1:	29 無効
P2:	無効
P3:	無効
P4:	無効
P5:	無効
接続確認	通話中の電話切断: 30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	接続確認: 31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音: 32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 33 0

プログラマブルキー設定

29 [P1]～[P5] (つづき) ……………



◎電話切断：

IP110Hから電話を切りたいときに設定します。

相手が応答する前、または通話中に[P1]～[P5]を長く(約1秒)押すと、電話を切れます。

※IP110Hから電話を切れるのは、電話機からIP110Hを個別に呼び出したとき、またはIP110Hから電話機を呼び出したときだけです。

※[通話中の電話切断]欄を「有効」にして、[P1]～[P5]に、ほかの機能を割り当てることもできます。

◎受信音声ミュート：

受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいときに設定します。

[P1]～[P5]を長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。

※[PTT]を押しても、ミュート機能を解除できます。

ただし、[通話中の電話切断]欄を「有効」にしている場合、電話通話中は切断動作になります。

※[受信音声ミュート自動解除]欄を「有効」にした場合は、設定時間が経過すると、自動的にミュート機能が解除されます。(出荷時の設定：無効)

「有効」にして使用するときには、ミュート機能が解除されるまでの時間を「10～600」(秒)の範囲で設定します。(出荷時の設定：60)

P5:	受信音声ミュート
受信音声ミュート自動解除:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
受信音声ミュート自動時間:	60

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定		
プログラマブルキー設定		
P1:	29 無効	
P2:	無効	
P3:	無効	
P4:	無効	
P5:	無効	
通話中の電話切断:	30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	
接続確認	接続確認:	31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音:	32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量:	10
マイク	マイクゲイン:	33 0

プログラマブルキー設定

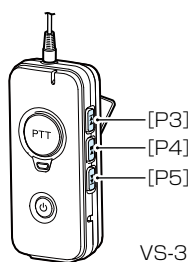
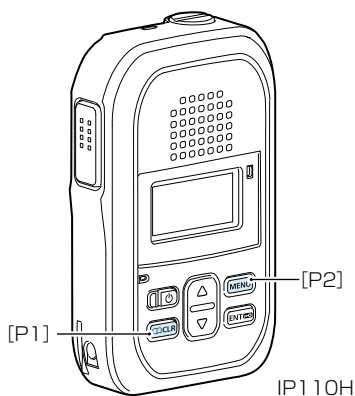
29 [P1]～[P5] (つづき) ……………

◎**エマージェンシー**：

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに設定します。「緊急」と表示されるまで、[P1]～[P5]を長く押し、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。

相手から応答があったとき、または[P1]～[P5]*を長く押したときに、緊急呼び出しが解除されます。

★[解除判定時間]欄(P.5-85)が「有効」に設定されているときに動作します。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

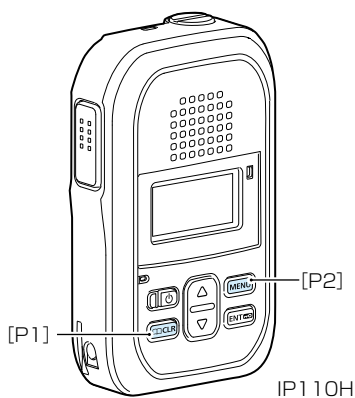
無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
プログラマブルキー設定	
P1:	29 無効
P2:	無効
P3:	無効
P4:	無効
P5:	無効
通話中の電話切断:	30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: 32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 33 0

プログラマブルキー設定

29 [P1]～[P5] (つづき) ……………



◎録音再生：

録音した音声を再生したいときに設定します。

[P1]～[P5]を長く(約1秒)押し、録音履歴画面が表示されます。

※確認する履歴を選択してIP110Hの[ENT]を押すと、再生できます。

◎一時音量切替：

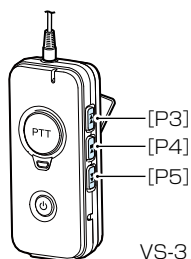
IP110H本体で設定した音量を基準として、音量を大きくするか、小さくするかを設定します。(出荷時の設定：0)

P1:	一時音量切替
一時音量切替レベル:	0

設定できる範囲は、「0」(無効)、「-32」～「+32」です。

音量を小さくして周りに配慮したいときや、大きくして聞き取りやすくしたいときに、[P1]～[P5]を長く(約1秒)押しして使用します。

※音量を最大にしていると、それ以上は大きくなりません。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
プログラマブルキー設定	
P1:	29 無効
P2:	無効
P3:	無効
P4:	無効
P5:	無効
通話中の電話切断:	30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
接続確認	
接続確認:	31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
キー操作音:	32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音量:	10
マイク	
マイクゲイン:	33 0

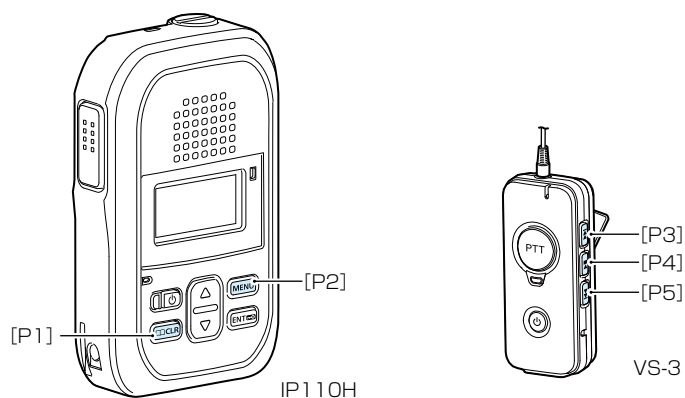
プログラマブルキー設定(つづき)

30 通話中の電話切断 ……………

相手が応答する前、または通話中に[P1]～[P5]を長く(約1秒)を押して、IP110Hから電話を切りたいときに設定します。(出荷時の設定:有効)

※[P1]～[P5]欄を「電話切断」にした場合は、表示されない項目です。

※IP110Hから電話を切れるのは、電話機からIP110Hを個別に呼び出したとき、またはIP110Hから電話機を呼び出したときだけです。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定		
プログラマブルキー設定		
P1:	29 無効	
P2:	無効	
P3:	無効	
P4:	無効	
P5:	無効	
通話中の電話切断:	30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	
接続確認	接続確認:	31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音:	32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量:	10
マイク	マイクゲイン:	33 0

接続確認

31 接続確認

IP110Hから個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。
(出荷時の設定：有効)

「有効」に設定すると、個別呼び出しをしたIP110Hの表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。

※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。

※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

キー操作音

32 キー操作音/キー操作音量

IP110Hのキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。

(出荷時の設定：有効)

◎無効：確認音が鳴りません。

◎有効：確認音が鳴ります。

「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：10)

※「0」を設定した場合は、IP110H側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定		
プログラマブルキー設定		
P1:	29 無効	
P2:	無効	
P3:	無効	
P4:	無効	
P5:	無効	
通話中の電話切断:	30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	
接続確認	接続確認:	31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音:	32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量:	10
マイク	マイクゲイン:	33 0

マイク

33 マイクゲイン

マイクロホンの感度を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
ヘッドセット/イヤホンマイク	
ノイズキャンセラー: 34	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
VOX: 35	イヤホンマイク ※本体マイクにすると、通信方式が複信通信の場合、VOXは無効になります。
アタックタイム: 36	50
リリースタイム: 37	200
音声遅延: 38	200
音声スレッシュ: 39	40
側音: 40	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー: 41	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※[VOX]欄を「無効」にした場合、[アタックタイム]欄～[音声スレッシュ]欄は表示されません。

ヘッドセット/イヤホンマイク

- 34 **ノイズキャンセラー** …………… ノイズキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
◎無効：ノイズキャンセラー機能が動作しません。
◎有効：ノイズキャンセラー機能が動作して、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
※本体/イヤホンマイク/ヘッドセット共通設定です。
- 35 **VOX** …………… IP110HにVOX機能対応のヘッドセット(別売品)を接続して、音声によって送受信を自動的に切り替えるときに設定します。 (出荷時の設定：無効)
※ケーブルを抜き差しする前に、必ずIP110Hの電源を切ってください。
※「イヤホンマイク」、「ヘッドセット」、「Bluetoothマイク」、「本体マイク」を選択すると、[アタックタイム]欄～[音声スレッシュ]欄が表示されます。
※複信通信が設定されている状態で「本体マイク」を選択すると、VOX機能が動作しません。
- 36 **アタックタイム** …………… ヘッドセット(別売品)からIP110Hに音声信号が入力されたことを検知する時間を設定します。 (出荷時の設定：50)
検知後、送信を開始します。
設定できる範囲は、「5～2000」(5ミリ秒刻み)です。
- 37 **リリースタイム** …………… IP110Hに入力されている音声が停止したと判断する時間を設定します。
検知後、送信を停止します。 (出荷時の設定：200)
設定できる範囲は、「5～2000」(5ミリ秒刻み)です。
- 38 **音声遅延** …………… VOX送信による頭切れを防止するために、音声を遅延させる時間を設定します。 (出荷時の設定：200)
設定できる範囲は、「0～500」(5ミリ秒刻み)です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
ヘッドセット/イヤホンマイク	
ノイズキャンセラー: 34	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
VOX: 35	イヤホンマイク ※本体マイクにすると、通信方式が複信通信の場合、VOXは無効になります。
アタックタイム: 36	50
リリースタイム: 37	200
音声遅延: 38	200
音声スレッシュ: 39	40
側音: 40	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー: 41	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※ [VOX] 欄(P.5-79)を「無効」にした場合、[アタックタイム] 欄～[音声スレッシュ] 欄は表示されません。

ヘッドセット/イヤホンマイク(つづき)

39 音声スレッシュ …………… ヘッドセット(別売品)からIP110Hに音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベルを設定します。(出荷時の設定: 40)
設定できる範囲は、「0～100」(%)です。
※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。

40 側音 …………… イヤホンマイク(別売品)接続時の側音機能を設定します。(出荷時の設定: 無効)
「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声が聞こえるようになり、話しやすくなります。
側音機能を使用するときの音量は、「0」(最小)～「32」(最大)の範囲で設定します。(出荷時の設定: 10)

側音: <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
側音音量: 10

※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

41 エコーキャンセラー …………… エコーキャンセラー機能を設定します。(出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動 : 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ : 43	自動
AF出力 : 44	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断 : 45	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイクレベルオフセット : 46	10
AFレベルオフセット : 47	15
エコーキャンセラー : 48	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 49	0
エコーキャンセラー 音声遅延 : 50	35
ノイズキャンセラー : 51	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用) : 52	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用) : 53	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用) : 54	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTTビープ(アイコムオプション用) : 55	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-70)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク

- 42 本体ボリューム連動 …………… Bluetooth接続時に使用するボリューム連動機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetooth接続しているIP110H本体側でも音量を調整できます。
(出荷時の設定：有効)
- 43 マイク経路スイッチ …………… Bluetooth接続時に使用するマイクを設定します。 (出荷時の設定：自動)
- ◎自動：
[PTT]が押された機器のマイクを使用します。
- ◎無線機マイク：
送信時、[PTT]が押された無線機本体、別売品マイクロホンのマイクを使用します。
※Bluetooth機器の[PTT]を押したとき、別売品マイクロホン(外部マイク)が接続されていない場合は、無線機本体のマイクを使用します。
接続するマイクロホンの種類や設定によっては、Bluetooth機器の[PTT]を押したときにマイクから音声が入力されません。
- ◎Bluetoothマイク：
送信時、Bluetooth機器のマイクを使用します。
- 44 AF出力 …………… Bluetooth機器を接続している場合の、無線機本体からの音声出力を設定します。
(出荷時の設定：ヘッドセットのみ)
- ◎ヘッドセットのみ：
無線機本体のスピーカーをOFFにし、Bluetooth機器からだけ音声を出力します。
- ◎ヘッドセット+スピーカー：
無線機本体のスピーカーをONにし、Bluetooth機器と無線機から音声を出力します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動 : 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ : 43	自動
AF出力 : 44	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断 : 45	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイクレベルオフセット : 46	10
AFレベルオフセット : 47	15
エコーキャンセラー : 48	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 49	0
エコーキャンセラー 音声遅延 : 50	35
ノイズキャンセラー : 51	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用) : 52	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用) : 53	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用) : 54	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTTビープ(アイコムオプション用) : 55	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-70)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

- 45 自動切断 BluetoothヘッドセットとのSCO(Synchronous Connection-Oriented)リンク★を自動で切断する機能を設定します。(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が一定時間つづいたとき、ヘッドセットとのSCOリンクを自動で切断します。
自動切断時間は、「0～10」秒の範囲で設定します。(出荷時の設定：2)
※SCOリンクを切断中に音声を送受信したり、ビープ音が鳴ったりしたときは、自動でSCOリンクを接続します。
※「有効」に設定するとSCOリンクが自動で切断されるため、VOX機能は使用できません。特に必要がない場合は、「無効」に設定して使用されることをおすすめします。
★音声通信用のBluetoothリンク
- 46 マイクレベルオフセット IP110H本体やIP110Hに接続したマイクロホンに対して、Bluetoothマイクロホンの感度が高すぎたり低すぎたりするときに、Bluetoothマイクロホンの感度を調整します。(出荷時の設定：10)
設定できる範囲は、「0～20」です。
- 47 AFレベルオフセット IP110H本体やIP110Hに接続したスピーカーに対して、Bluetooth機器からの音声出力が大きすぎたり小さすぎたりするときに、Bluetooth機器の音量を調整します。(出荷時の設定：15)
設定できる範囲は、「0～22」です。
- 48 エコーキャンセラー Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能を設定します。(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときに起こるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動 : 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ : 43	自動
AF出力 : 44	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断 : 45	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイクレベルオフセット : 46	10
AFレベルオフセット : 47	15
エコーキャンセラー : 48	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 49	0
エコーキャンセラー 音声遅延 : 50	35
ノイズキャンセラー : 51	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用) : 52	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用) : 53	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用) : 54	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTTヒープ(アイコムオプション用) : 55	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-70)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

49 エコーキャンセラー

入力ゲイン Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの入力ゲインを設定します。
(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-40 ~ 40」(dB)です。

50 エコーキャンセラー

音声遅延 Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの音声遅延を設定します。
設定できる範囲は、「0 ~ 160」(ミリ秒)です。 (出荷時の設定：35)

51 ノイズキャンセラー

Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能を設定します。
「有効」に設定すると、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
(出荷時の設定：有効)

52 パワーセーブ

(アイコムオプション用) Bluetooth接続時に使用するパワーセーブ機能を設定します。
「有効」に設定すると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。
(出荷時の設定：無効)
◎着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音が出力されます。
◎送信するときは、IP110Hの[PTT]を押してはなすと、「ブツ」と音がしてパワーセーブが解除されます。
パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム運動 : 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ : 43	自動
AF出力 : 44	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断 : 45	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイクレベルオフセット : 46	10
AFレベルオフセット : 47	15
エコーキャンセラー : 48	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 49	0
エコーキャンセラー 音声遅延 : 50	35
ノイズキャンセラー : 51	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用) : 52	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用) : 53	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用) : 54	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTTビーブ(アイコムオプション用) : 55	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-70)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

53 ワンタッチPTT

(アイコムオプション用) ……

Bluetooth接続時に使用するワンタッチPTT機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetoothマイクの[PTT]を押しつづける必要がなくなります。
(出荷時の設定：無効)

54 ワンタッチPTT設定表示

(アイコムオプション用) ……

IP110Hのメニュー画面(メニュー⇒設定⇒Bluetooth)に「ワンタッチPTT」を表示させるかどうかを選択します。
(出荷時の設定：無効)

55 PTTビーブ

(アイコムオプション用) ……

Bluetooth接続時に使用するPTTビーブ機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetoothマイクの[PTT]を押したときにビーブ音(ピバ)が鳴ります。
(出荷時の設定：無効)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
エマージェンシー設定	
エマージェンシー: 56	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作判定時間: 57	5
解除判定: 58	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
警告表示: 59	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量: 60	32
呼出種別: 61	全体
応答後の解除: 62	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
自動解除: 63	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エマージェンシー着信設定	
警告音: 64	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量: 65	32
警告動作: 66	通知音+バイブレーション

※ [エマージェンシー] 欄を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定

56 エマージェンシー ……………

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに使用する機能です。
(出荷時の設定：無効)

※ [プログラマブルキー設定] 欄 (P.5-74) を「エマージェンシー」に設定している場合に使用できます。

※ 「緊急」と表示されるまで、プログラマブルキー ([P1]～[P5]) を長く (5秒以上★) 押し、一定間隔で警告音 (ピロピロ…) が鳴ります。

相手から応答があったとき、またはプログラマブルキーを長く (5秒以上★) 押したときに、緊急呼び出しが解除されます。

★ 緊急呼び出し動作までの時間は [動作判定時間] 欄、解除までの時間は [解除判定] 欄で変更できます。

57 動作判定時間 ……………

プログラマブルキーを押して、緊急呼び出しが動作するまでの時間を、「1～10」秒の範囲で設定します。
(出荷時の設定：5)

58 解除判定/解除判定時間 ……………

プログラマブルキーを一定時間押し、緊急呼び出しが解除される設定です。
(出荷時の設定：無効)

◎ 無効：キーを長く押し、緊急呼び出しが解除されません。

◎ 有効：キーを一定時間押し、緊急呼び出しが解除されます。

解除判定時間は、「1～10」秒の範囲で設定します。

(出荷時の設定：2)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
エマージェンシー設定	
エマージェンシー: 66	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作判定時間: 57	5
解除判定: 58	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
警告表示: 59	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量: 60	32
呼出種別: 61	全体
応答後の解除: 62	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
自動解除: 63	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エマージェンシー着信設定	
警告音: 64	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量: 65	32
警告動作: 66	通知音+バイブレーション

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定(つづき)

- | | |
|-----------|---|
| 59 警告表示 | 緊急呼び出し時に警告音(ピロピロ…)を鳴らしたり、表示を切り替えたりするかどうかを設定します。
(出荷時の設定：有効)
※「無効」に設定するとサイレントモードになります。 |
| 60 警告音量 | 緊急呼び出し時の警告音量を、「0～32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：32) |
| 61 呼出種別 | 緊急呼び出しを通知する相手を選択します。
(出荷時の設定：全体)
※「個別」、または「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。
※「電話」を選択したときは、[呼出先番号]欄に相手先の電話番号を31桁以内の数字/記号(#、*)で入力します。 |
| 62 応答後の解除 | 緊急呼び出しを受信した相手が応答した場合、緊急呼び出しを解除するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：有効) |
| 63 自動解除 | 緊急呼び出しが動作してから一定時間経過すると、緊急呼び出しが自動的に解除される設定です。
(出荷時の設定：無効)
※自動的に解除するまでの時間は、「1～255」(秒)の範囲で設定します。
(出荷時の設定：60) |

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
エマージェンシー設定	
エマージェンシー: 66	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作判定時間: 57	5
解除判定: 58	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
警告表示: 59	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量: 60	32
呼出種別: 61	全体
応答後の解除: 62	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
自動解除: 63	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エマージェンシー着信設定	
警告音: 64	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
警告音量: 65	32
警告動作: 66	通知音+バイブレーション

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー着信設定

- 64 警告音 緊急呼び出し受信時に警告音(ピロピロ...)を鳴らすかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)
- 65 警告音量 緊急呼び出し受信時の警告音量を、「0～32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 32)
- 66 警告動作 緊急呼び出しを受信したときの動作を、「通知音」、「バイブレーション」、または「通知音+バイブレーション」から選択します。
(出荷時の設定: 通知音+バイブレーション)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン: 67	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視: 68	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告: 69	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度: 70	45
静止状態検出: 71	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定

67 マンダウン

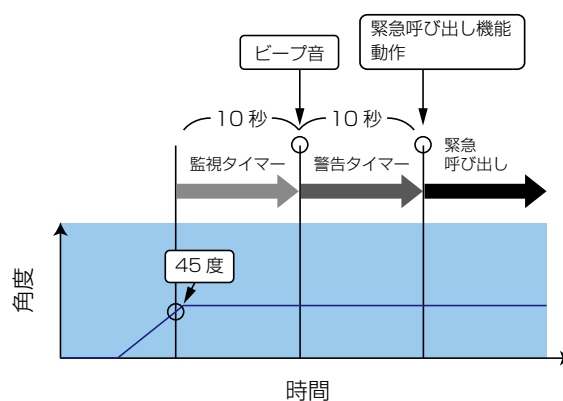
IP110Hを使用している人が倒れるなどして、IP110Hが設定された角度以上に傾いた状態が一定時間つづくと、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)

例：

マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	67 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	68 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	69 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	70 45
静止状態検出:	71 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定(つづき)

68 マンダウン監視/

マンダウン監視タイマー ………

人が倒れている(マンダウン)と認識するまでの時間を設定します。

(出荷時の設定: 有効(10))

設定できる範囲は、「1～255」秒です。

※IP110Hが傾いたまま設定した時間が経過すると、ピープ音(ピッ)が1回鳴って、[マンダウン警告タイマー]が動作します。

※IP110Hの傾きを設定した角度以下にもどすと、マンダウン監視タイマーがリセットされます。

69 マンダウン警告/

マンダウン警告タイマー ………

[マンダウン監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定できます。(出荷時の設定: 有効(10))
マンダウン警告タイマーで設定した時間が経過してもIP110Hが傾いているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。

設定できる範囲は、「1～255」秒です。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP110Hの傾きを設定した角度以下に戻すと、マンダウン監視タイマーとマンダウン警告タイマーがリセットされます。

70 検出角度 ………

マンダウン機能が動作する角度を「45」、「60」、「75」から選択します。

(出荷時の設定: 45)

IP110Hがここで設定した角度以上倒れたままマンダウン監視タイマーで設定した時間が経過すると、マンダウン警告タイマーが動作します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	67 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	68 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	69 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	70 45
静止状態検出:	71 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定(つづき)

71 静止状態検出

マンダウン機能に静止状態検出機能を併用するときに設定します。

(出荷時の設定：無効)

静止状態検出を有効に設定すると、[マンダウン監視タイマー]欄で設定した時間、無線機が傾いたまま、静止状態がつづいた場合に、マンダウン警告タイマーが動作します。[マンダウン警告タイマー]欄で設定した時間が経過すると、緊急呼び出し機能が自動的に動作します。

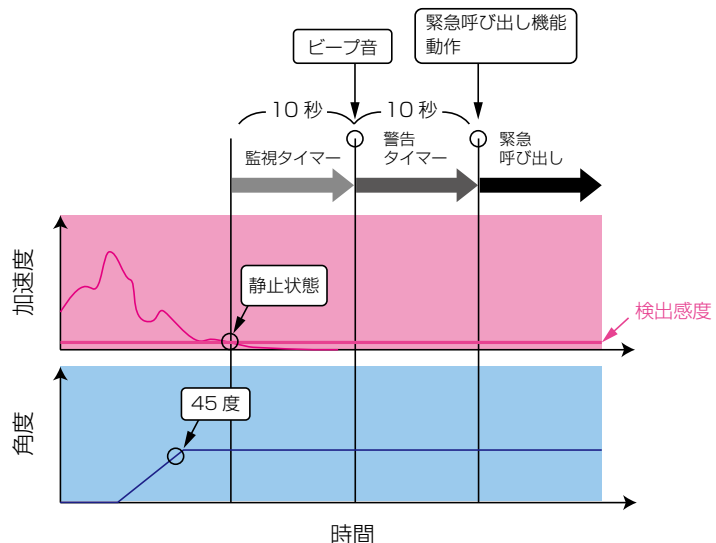
※静止状態検出機能の感度は、[検出感度設定]欄(P.5-96)で設定します。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP110Hの傾きを設定した角度以下に戻す、またはIP110Hを動かすと、マンダウン監視タイマーとマンダウン警告タイマーがリセットされます。

例：マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
Lone Worker設定	
Lone Worker : 72	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー : 73	60
Lone Worker警告タイマー : 74	60
PTT遅延 : 75	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー :	10
静止状態検出 : 76	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [エマージェンシー] 欄 (P.5-85) を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定

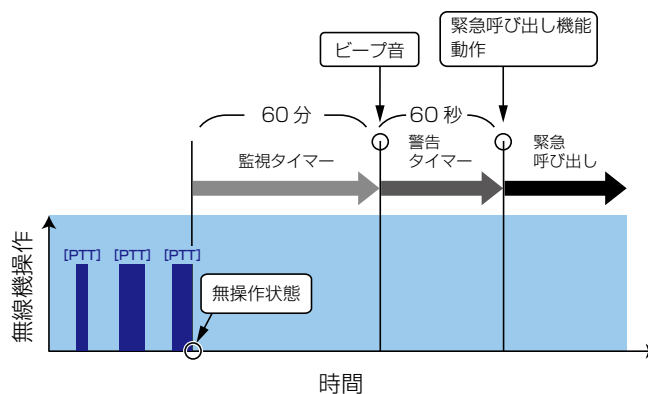
72 Lone Worker

一定時間、IP110Hの操作がない場合、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)

※警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。

例：Lone Worker監視タイマー(分)：60分

Lone Worker警告タイマー(秒)：60秒



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
Lone Worker設定	
Lone Worker :	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー :	73 60
Lone Worker警告タイマー :	74 60
PTT遅延 :	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー :	10
静止状態検出 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定(つづき)

73 Lone Worker監視タイマー……

一定時間、IP110Hの操作がないと認識するまでの時間を設定します。
設定できる範囲は、「1～255」分です。 (出荷時の設定：60)
※IP110Hの操作がないと認識されると、ビープ音(ピッ)が1回鳴って、
Lone Worker警告タイマーが動作します。
※IP110Hを操作すると、Lone Worker監視タイマーがリセットされます。

74 Lone Worker警告タイマー……

[Lone Worker監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：60)
設定できる範囲は、「1～255」秒です。
Lone Worker警告タイマーで設定した時間が経過してもIP110Hの操作がないときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP110Hを操作すると、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。
※Lone Worker警告タイマー動作中は、2秒ごとにビープ音(ピッ)が鳴ります。

75 PTT遅延/

PTT遅延タイマー ……………

Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーが動作中に、[PTT]を押しつづけたとき、送信されるまでの時間を設定します。
(出荷時の設定：有効(10))
設定できる範囲は、「1～255」x100ミリ秒です。
※時間を長く設定することで、[PTT]を押しても、送信されることなく、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットできます。
※[PTT]を設定した時間以上押しつづけると、送信状態になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
Lone Worker設定	
Lone Worker : 72	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー : 73	60
Lone Worker警告タイマー : 74	60
PTT遅延 : 75	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー :	10
静止状態検出 : 76	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定(つづき)

76 静止状態検出

Lone Worker機能に静止状態検出機能を併用するときに設定します。

(出荷時の設定：無効)

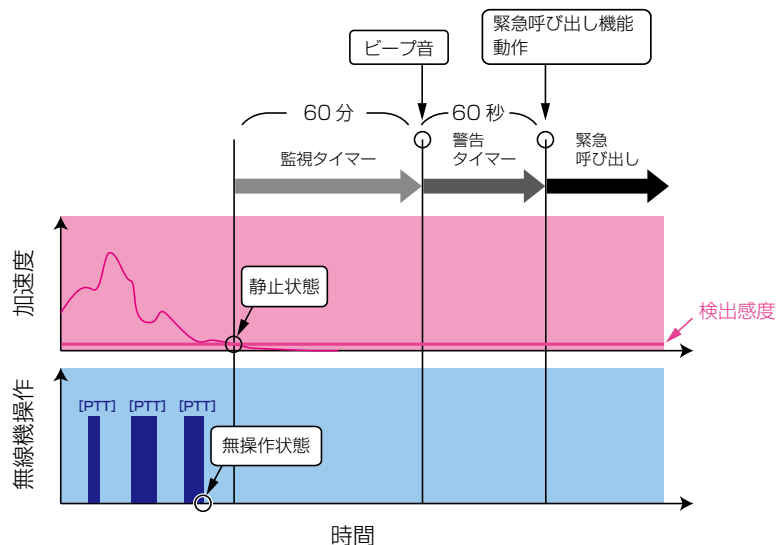
静止状態検出を有効に設定すると、[Lone Worker監視タイマー]欄で設定した時間、無線機の操作がなく、静止状態がつついた場合に、Lone Worker警告タイマーが動作します。[Lone Worker警告タイマー]欄(P.5-92)で設定した時間が経過すると、緊急呼び出し機能が自動的に動作します。

※静止状態検出機能の感度は、[検出感度設定]欄(P.5-96)で設定します。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP110Hを操作する、またはIP110Hを動かすと、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。

例：Lone Worker監視タイマー(分)：60分

Lone Worker警告タイマー(秒)：60秒



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	
静止状態検出設定: 77	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
静止状態監視タイマー: 78	60
静止状態警告タイマー: 79	60
動作状態検出設定	
動作状態検出設定: 80	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作状態監視タイマー: 81	10
動作状態警告タイマー: 82	10
検出感度設定	
静止状態: 83	2
動作状態: 84	7

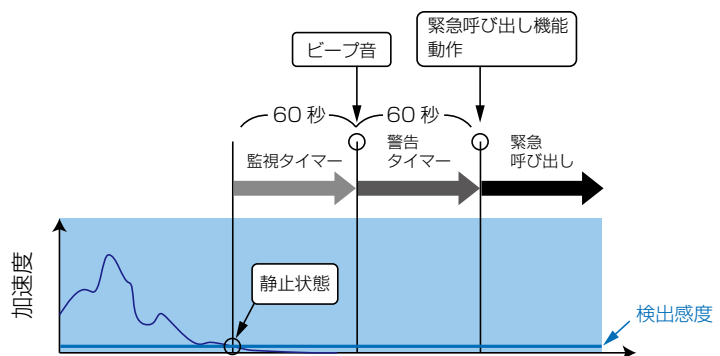
※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

静止状態検出設定

77 静止状態検出設定 …………… 静止状態検出機能を使用するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

78 静止状態監視タイマー …………… 一定時間、IP110Hが静止していると認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」秒です。 (出荷時の設定：60)
※IP110Hが静止したまま設定した時間が経過すると、ビープ音(ピッ)が1回鳴って、[静止状態警告タイマー]が動作します。
※IP110Hを動かすと、静止状態監視タイマーがリセットされます。

例：静止状態監視タイマー(秒)：60秒
静止状態警告タイマー(秒)：60秒



79 静止状態警告タイマー …………… [静止状態監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：60)
設定できる範囲は、「1～255」秒です。静止状態警告タイマーで設定した時間が経過してもIP110Hが静止しているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP110Hを動かすと、静止状態監視タイマーと静止状態警告タイマーがリセットされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	
静止状態検出設定: 77	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
静止状態監視タイマー: 78	60
静止状態警告タイマー: 79	60
動作状態検出設定	
動作状態検出設定: 80	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作状態監視タイマー: 81	10
動作状態警告タイマー: 82	10
検出感度設定	
静止状態: 83	2
動作状態: 84	7

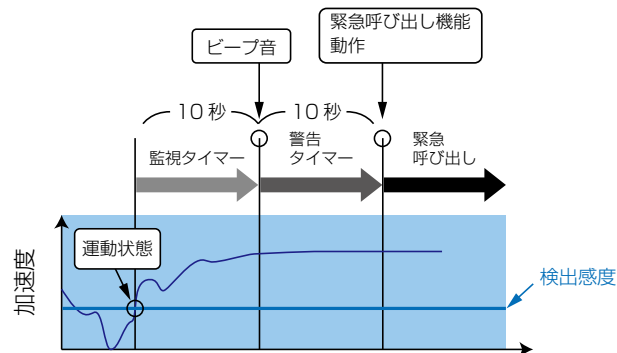
※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

動作状態検出設定

80 動作状態検出設定 …………… 動作状態検出機能を使用するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

81 動作状態監視タイマー …………… 一定時間、IP110Hが動いていると認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」秒です。 (出荷時の設定：10)
 ※IP110Hが動いたまま設定した時間が経過すると、ピーブ音(ピッ)が1回鳴って、[動作状態警告タイマー]が動作します。
 ※IP110Hの動きを止めると、動作状態監視タイマーがリセットされます。

例：動作状態監視タイマー(秒)：10秒
 動作状態警告タイマー(秒)：10秒



82 動作状態警告タイマー …………… [動作状態監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：10)
 設定できる範囲は、「1～255」秒です。
 動作状態警告タイマーで設定した時間が経過しても無線機が動いているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
 ※緊急呼び出し機能が動作するまでに、無線機の動きを止めると、動作状態監視タイマーと動作状態警告タイマーがリセットされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	
静止状態検出設定: 77	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
静止状態監視タイマー: 78	60
静止状態警告タイマー: 79	60
動作状態検出設定	
動作状態検出設定: 80	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作状態監視タイマー: 81	10
動作状態警告タイマー: 82	10
検出感度設定	
静止状態: 83	2
動作状態: 84	7

※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

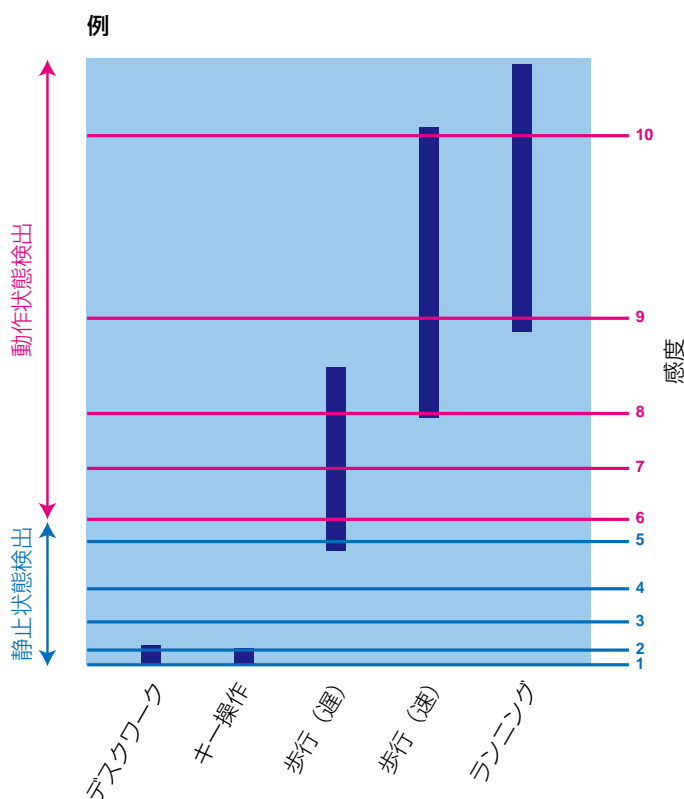
検出感度設定

83 静止状態

静止状態検出機能を使用するときに、IP110Hの状態検出感度を設定します。設定できる範囲は、「1～10」です。 (出荷時の設定：2)

IP110Hの検出値が設定した値以下になると、静止状態監視タイマーが動作します。

※大きい値に設定すると、緊急呼び出し機能が動作しやすくなります。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	
静止状態検出設定: 77	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
静止状態監視タイマー: 78	60
静止状態警告タイマー: 79	60
動作状態検出設定	
動作状態検出設定: 80	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作状態監視タイマー: 81	10
動作状態警告タイマー: 82	10
検出感度設定	
静止状態: 83	2
動作状態: 84	7

※[エマージェンシー]欄(P.5-85)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

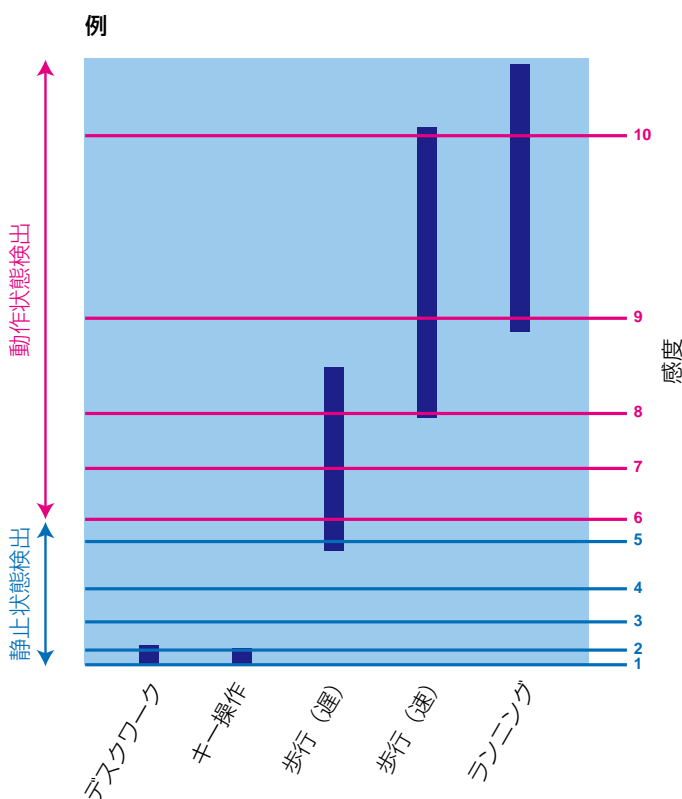
検出感度設定(つづき)

84 動作状態

動作状態検出機能を使用するときに、IP110Hの状態検出感度を設定します。設定できる範囲は、「1～10」です。 (出荷時の設定：7)

IP110Hの検出値が設定した値以上になると、動作状態監視タイマーが動作します。

※小さい値に設定すると、緊急呼び出し機能が動作しやすくなります。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：88 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：88 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定

- 85 ジッターバッファ種別 …… パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
- ◎スタティック：
音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
- ◎ダイナミック：
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- 86 ジッターバッファサイズ …… IP110Hが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。
設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。
(出荷時の設定：40)
設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：88 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：88 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-98)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

- 87 TOS種別 IP110HのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：TOS)
- ◎使用しない：
TOS機能を使用しません。
- ◎TOS：
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
- ◎Diffserv：
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：88 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>ジッターバッファ種別：85 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：86 40</p> <p>TOS種別：87 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：88 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-98)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

88 **メディア(RTP)**

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

※ [TOS種別]欄で「使用しない」を選択したときは表示されません。

TOS種別：TOS

◎優先度：

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ：

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS種別：Diffserv

◎DSCP：

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	
設定方法:	89 無線機の設定優先
保守設定	
保守サーバー:	90
保守サーバー以外からの再起動:	91 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
SNTPサーバー:	92
起動時のファームウェア自動更新:	93 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー:	94
SYSLOGホストアドレス:	95
SYSLOG送信レベル:	96 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	
アクセスパスワード:	97
プロビジョニング設定	
プロビジョニング時の初期化:	98 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット

IPアドレス設定

89 設定方法

IP110HのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定：無線機の設定優先)

◎無線機の設定優先：

導入時は、CS-IP110Hで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント：

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	
設定方法: 89	無線機の設定優先
保守設定	
保守サーバー: 90	
保守サーバー以外からの再起動: 91	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
SNTPサーバー: 92	
起動時のファームウェア自動更新: 93	有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 94	
SYSLOGホストアドレス: 95	
SYSLOG送信レベル: 96	<input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	
アクセスパスワード: 97	
プロビジョニング設定	
プロビジョニング時の初期化: 98	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット

IPアドレス設定(つづき)

89 設定方法(つづき)

◎固定IP:

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	
サブネットマスク:	
デフォルトゲートウェイ:	
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 89 無線機の設定優先
保守設定	保守サーバー: 90
	保守サーバー以外からの再起動: 91 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 92
	起動時のファームウェア自動更新: 93 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 94
	SYSLOGホストアドレス: 95
	SYSLOG送信レベル: 96 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 97
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 98 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット

保守設定

- 90 保守サーバー IP110Hの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 91 保守サーバー以外からの再起動 保守サーバーとして指定した機器以外から、IP110Hを再起動させるかどうかを設定します。 (出荷時の設定: 無効)
※2024年12月現在、対応機種はAP-9500、IP1000C、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。
- 92 SNTPサーバー IP110HのSNTPサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品をSNTPサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 89 無線機の設定優先
保守設定	保守サーバー: 90 _____
保守サーバー以外からの再起動:	91 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
SNTPサーバー:	92 _____
起動時のファームウェア自動更新:	93 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー:	94 _____
SYSLOGホストアドレス:	95 _____
SYSLOG送信レベル:	96 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 97 _____
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 98 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット

保守設定(つづき)

93 起動時のファームウェア

自動更新

本製品からIP110Hのファームウェアを自動更新するための設定です。
(出荷時の設定: 有効(自動再起動無し))

◎無効:

本製品によるIP110Hのファームウェア自動更新を無効にします。

◎有効(自動再起動無し):

IP110Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP110Hはファームウェアを取得します。IP110Hの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。

◎有効(自動再起動有り):

IP110Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP110Hはファームウェアの更新を開始します。

更新が完了すると、自動的にIP110Hが再起動します。

※本製品に内蔵しているIP110Hのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

94 ファームアップサーバー

IP110Hのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。

入力は、半角英数字で63文字までです。

※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	
設定方法:	89 無線機の設定優先
保守設定	
保守サーバー:	90
保守サーバー以外からの再起動:	91 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
SNTPサーバー:	92
起動時のファームウェア自動更新:	93 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー:	94
SYSLOGホストアドレス:	95
SYSLOG送信レベル:	96 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	
アクセスパスワード:	97
プロビジョニング設定	
プロビジョニング時の初期化:	98 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット

保守設定(つづき)

95 SYSLOGホストアドレス …………… IP110HのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

96 SYSLOG送信レベル …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

セキュリティ設定

97 アクセスパスワード …………… CS-IP110H*から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
★CS-IP110Hは、IP110Hの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。
弊社ホームページからダウンロードできます。

プロビジョニング設定

98 プロビジョニング時の初期化 …… プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(出荷時の設定: 設定 履歴 Bluetoothユニット)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定						
EAP認証プリセット設定						
番号	名前 ⁹⁹	認証方式 ¹⁰⁰	ユーザー名 ¹⁰¹	パスワード ¹⁰²	外部認証ユーザー名 ¹⁰³	クライアント証明書 ¹⁰⁴
1		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
2		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
3		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
4		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
5		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
6		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
7		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
8		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
9		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
10		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼

¹⁰⁶ 登録 ¹⁰⁷ 取消

EAP認証プリセット設定

本製品に登録したIP110Hで使用するEAP認証プリセット設定を10件登録できます。

- ⁹⁹ 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
- ¹⁰⁰ 認証方式 使用する認証サーバーの認証方式を設定します。(出荷時の設定：EAP-TLS)
本製品は、「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」、「EAP-TLS」に対応しています。
- ¹⁰¹ ユーザー名 EAP認証で使用するユーザー名を半角63文字以内で入力します。
※Windows Active Directoryを認証に利用する場合は、「NTドメイン名\アカウント名」の形式で入力してください。
- ¹⁰² パスワード 「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用するとき、半角63文字以内で入力します。
- ¹⁰³ 外部認証ユーザー名 「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用し、外部認証と内部認証で異なるユーザー名を使用する場合にだけ設定します。
半角63文字以内で入力します。
※設定しないときは、[ユーザー名]の設定内容が外部認証と内部認証に使用されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP110H]

無線機個別設定

EAP認証プリセット設定

番号	名前 ⁹⁹	認証方式 ¹⁰⁰	ユーザー名 ¹⁰¹	パスワード ¹⁰²	外部認証ユーザー名 ¹⁰³	クライアント証明書 ¹⁰⁴	
1		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
2		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
3		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
4		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
5		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
6		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
7		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
8		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
9		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
10		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除

¹⁰⁶ 登録 ¹⁰⁷ 取消

EAP認証プリセット設定(つづき)

¹⁰⁴ クライアント証明書 ……………

[EAP-TLS]認証方式を使用するとき、クライアント証明書を選択します。
※証明書ファイルは、[証明書管理]項目(P.5-108)で登録します。

¹⁰⁵ <削除> ……………

登録したEAP認証プリセットを削除するとき、<削除>をクリックします。

¹⁰⁶ <登録> ……………

[無線機個別設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[無線機個別設定一覧]項目に表示されます。

¹⁰⁷ <取消> ……………

[無線機個別設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 証明書管理 [IP110H]

EAP認証で使用する証明書(ルート証明書/クライアント証明書)を4件登録できます。

※ [無線機個別設定]項目でIP110Hを選択したとき、表示される項目です。

番号	ファイル形式 ①	名前 ②	証明書ファイル ③	パスワード ④	⑤	⑥
証明書情報						
1	PKCS12		ファイルの選択 フ...		登録	削除
証明書が登録されていません。						
2	PKCS12		ファイルの選択 フ...		登録	削除
証明書が登録されていません。						
3	PKCS12		ファイルの選択 フ...		登録	削除
証明書が登録されていません。						
4	PKCS12		ファイルの選択 フ...		登録	削除
証明書が登録されていません。						

- ① **ファイル形式** 証明書の形式を指定します。 (出荷時の設定：PKCS12)
本製品は、下記の形式に対応しています。
◎PKCS12 : 「ルート証明書」+「クライアント証明書」
◎PEM(ルート証明書のみ) : 「ルート証明書」
- ② **名前** 任意の名称を、31文字以内英数字で入力します。
- ③ **証明書ファイル** <ファイルの選択>をクリックして、証明書ファイルの保存先を選択します。
- ④ **パスワード** 「PKCS12」のファイル形式を使用するとき設定します。
半角127文字以内で入力します。
- ⑤ **<登録>** クリックして、指定した証明書ファイルを登録します。
※すでに登録されている内容は、新規登録に上書きされます。
- ⑥ **<削除>** 登録した証明書を削除するとき、<削除>をクリックします。

ご参考に

「PEAP(MSCHAPv2)」、 「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式は、2つのフェーズを持ちます。

phase1は外部認証、phase2は内部認証とも呼ばれます。

◎phase1(外部認証) : 外部認証ユーザー名に基づく認証のあと、暗号化されたトンネルを作る

◎phase2(内部認証) : 暗号化されたトンネルの中で、内部認証ユーザー名+パスワードをやり取りして認証する

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

登録されたIP200Hごとに、機能の割り当てや通知音などを設定します。

※設定変更後は、IP200Hの再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

無線機個別設定	
	個別番号: ① 00010 (営業1) ▼
	機種: IP200H
システム設定	共通項目の設定: ② 本製品の設定 ▼ <small>※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。</small>
表示部	表示項目: ③ <input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前
	バックライト: ④ 操作時点灯 ▼
	バックライト輝度: ⑤ <input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい
	エマージェンシー着信: ⑥ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	無線受信: ⑦ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	コントラスト: ⑧ 8 ▼
送信動作	送信禁止: ⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	PTTロック: ⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	ワンタッチPTT: ⑪ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ① 個別番号/機種 設定内容を編集するIP200Hの個別番号(名前)を選択します。
※「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、機種を「IP100FS」に設定した個別番号は表示されません。

システム設定

- ② 共通項目の設定 共通項目の設定について選択します。 (出荷時の設定: 本製品の設定)
「他製品の設定」を選択した場合は、IP電話機と共通する項目は非表示になります。
設定を変更すると、IP電話機を含む、すべての設定を再取得します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
個別番号:	① 00010 (営業1) ▼
機種:	IP200H
システム設定	
共通項目の設定:	② 本製品の設定 ▼ <small>※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。</small>
表示部	
表示項目:	③ <input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前
バックライト:	④ 操作時点灯 ▼
バックライト輝度:	⑤ <input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい
エマージェンシー着信:	⑥ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
無線受信:	⑦ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
送信動作	
送信禁止:	⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTロック:	⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT:	⑪ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
コントラスト:	⑧ 8 ▼

表示部

- ③ 表示項目 IP200Hの待受画面に日付を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。 (出荷時の設定：日付)
★「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、名前が登録されていない場合は、空白になります。
- ④ バックライト IP200H使用時のバックライト機能を設定します。 (出荷時の設定：操作時点灯)
◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。
◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。
◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。
- ⑤ バックライト輝度 IP200Hの表示部と、各キーのバックライトの明るさを「暗い」、「明るい」から設定します。 (出荷時の設定：明るい)
- ⑥ エマージェンシー着信 緊急呼び出し(エマージェンシー)受信時、IP200Hのバックライトを赤点減させて通知する機能です。 (出荷時の設定：無効)
- ⑦ 無線受信 受信時、IP200Hのバックライトを緑点減させて通知する機能です。 (出荷時の設定：無効)
- ⑧ コントラスト IP200Hの画面表示について、濃度を設定します。 (出荷時の設定：8)
設定できる範囲は、1(薄い)～16(濃い)です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
個別番号:	① 00010 (営業1) ▼
機種:	IP200H
システム設定	
共通項目の設定:	② 本製品の設定 ▼ <small>※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。</small>
表示部	
表示項目:	③ <input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前
バックライト:	④ 操作時点灯 ▼
バックライト輝度:	⑤ <input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい
エマージェンシー着信:	⑥ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
無線受信:	⑦ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
送信動作	
コントラスト:	⑧ 8 ▼
送信禁止:	⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTロック:	⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT:	⑪ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

送信動作

- ⑨ 送信禁止 送信を禁止して、受信専用としてIP200Hを使用するときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
※送信禁止中は、別売品マイクロホンのPTTスイッチやVOX機能による送信もできません。
- ⑩ PTTロック IP200Hの[PTT]による送信を禁止したいときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
※PTTロック中でも、別売品マイクロホンのスイッチやVOX機能による送信はできます。
- ⑪ ワンタッチPTT IP200Hの[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がなくなります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

呼出先指定

12 待受画面での呼出

IP200Hが待受画面のときに、呼び出す相手局(呼出種別)を表示するかしな
いかを設定します。(出荷時の設定: 有効)

◎**有効**: 待受画面に、相手局(呼出種別)を表示します。

IP200Hの[PTT]を押すと、待受画面に表示された相手局(呼出種
別)を呼び出します。

◎**無効**: 待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

※キー操作による相手局(呼出種別)選択時は表示されます。

※「設定グループ」→「設定グループ詳細」画面にある相手局の表示切
替は、無効になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

呼出先指定(つづき)

13 アドレス帳からの呼出 ……………

IP200Hでアドレス帳を使用するかどうか設定します。(出荷時の設定:無効)

◎有効:

IP200Hの[アドレス帳]を押すと、呼出種別が表示されます。

[アドレス帳先頭番号]欄で、はじめに表示する相手局(呼出種別)を「全体」、または「アドレス帳」の番号(1~500)で指定します。

※[待受画面での呼出]欄(P.5-112)が「有効」、かつ「設定グループ詳細」画面の[相手局の表示切替]欄(P.5-303)が「無効」の場合は、[アドレス帳先頭番号]欄で設定した相手局が、待受画面に表示されます。

[起動時のトークグループ指定]欄(P.5-114)が「有効」の場合、[アドレス帳番号]欄で設定したトークグループが優先して表示されます。

※「設定グループ」メニューで登録されたアドレス帳を使用します。

※[全体呼出の表示]欄(P.5-114)で「無効」を設定すると、アドレス帳から全体呼び出しが選択できなくなります。

◎無効:

[アドレス帳]を押しても、呼出種別は下図の[呼出種別]で設定された内容から切り替わりません。

※[呼出種別]欄で、IP200Hから呼び出す特定の相手局(呼出種別)を指定できます。

「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001~60000)を入力します。

※着信時、IP200Hの画面には、アドレス帳に登録されている名前が表示されます。

アドレス帳からの呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出種別:	全体

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音 (受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

※[アドレス帳からの呼出]欄(P.5-113)を「無効」にした場合、[全体呼出の表示]欄、[起動時のトークグループ指定]欄は表示されません。

呼出先指定(つづき)

- 14 全体呼出の表示 アドレス帳からの全体呼び出しについて設定します。(出荷時の設定: 無効)
◎有効: アドレス帳で全体呼び出しを選択できます。
◎無効: アドレス帳に全体呼び出しが表示されません。
- 15 起動時のトークグループ指定 ... 指定したトークグループを選択した状態で起動します。(出荷時の設定: 無効)
◎有効: [アドレス帳番号]欄で指定したトークグループを選択した状態でIP200Hを起動します。

起動時のトークグループ指定:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳番号:	13 (TG1)

- ◎無効: トークグループを指定しないでIP200Hを起動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

受信通知

16 通知音量

着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。設定できる範囲は、「0」～「16」です。(出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP200H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した内容で、着信時やメッセージ受信時に通知音が鳴ります。

17 通知動作

着信時やメッセージ受信時の通知動作を設定します。(出荷時の設定：通知音)

- ◎通知音：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音でお知らせします。
- ◎バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、音を鳴らさずに振動だけでお知らせします。
- ◎通知音+バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音と振動でお知らせします

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体 ▼
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10 ▼
通知動作: 17	通知音 ▼
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10 ▼

通知音(受信通知を除く)

18 通知音量

送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「16」です。 (出荷時の設定: 10)
※「0」を設定した場合は、IP200H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時などに通知音が鳴ります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

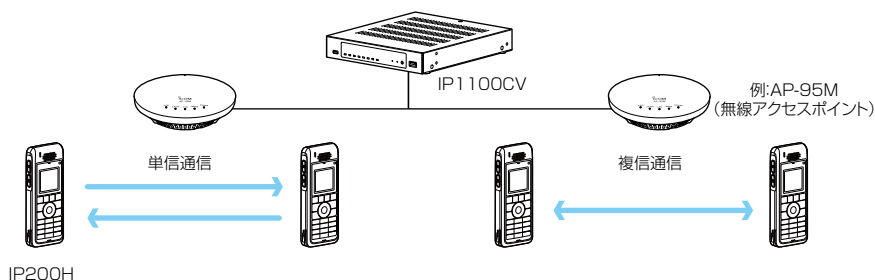
■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信):	00001
低優先度呼出の音声ミキシング:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定

- 19 通信方式 IP200Hで使用する通信方式を設定します。 (出荷時の設定: 複信通信)
- ◎ 単信通信:
送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。
 - ◎ 複信通信:
複信は電話のように同時通話できる方式です。

【単信通信と複信通信】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

20 優先呼出 IP200Hに優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。
(出荷時の設定: 無効)

優先度	優先順位	呼出種別	優先呼出	備考
高 ↑ ↓ 低	固定	電話通信	—	電話通信
		緊急呼び出し(優先)	有効	—
		緊急呼び出し	無効	—
	可変★	全体呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		個別呼出(優先)	有効	IP100FS使用時も含む
		グループ呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		全体呼出	無効	近隣呼出も含む
		個別呼出	無効	—
	グループ呼出	無効	近隣呼出も含む	

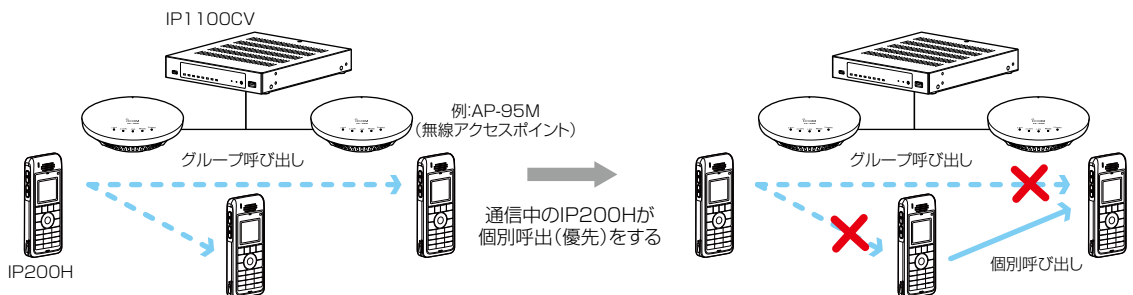
呼出種別ごとの優先度は、下記ようになります。

※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番になります。

※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。

★「可変」は、「RoIP通信設定」画面の[通話優先順位]項目(P.5-8)で変更できます。

【通信中に相手局を変更した場合】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 19 単信通信 複信通信

優先呼出: 20 無効 有効

近隣呼出: 21 無効 有効

メッセージ: 22 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 23 無効 有効

遠隔送信 (着信): 24 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): 25 無効 有効

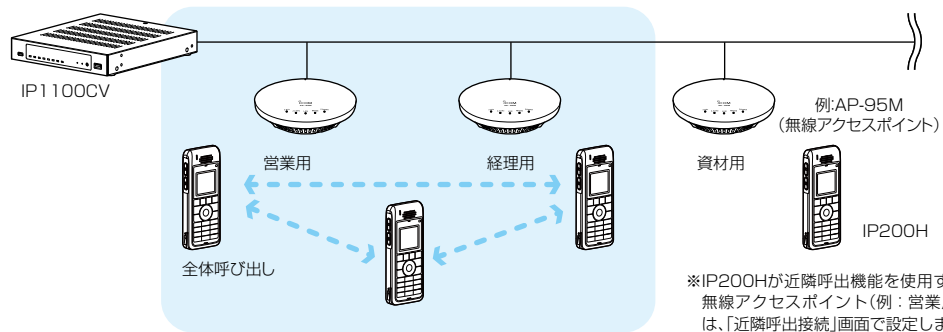
個別番号 (着信): 26 00001

低優先度呼出の音声ミキシング: 27 無効 有効

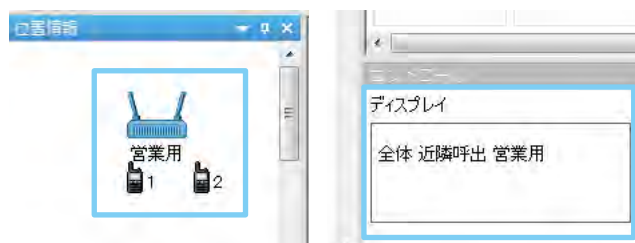
機能設定(つづき)

- ① **近隣呼出** 特定のエリアに限定して運用をするときに使用する設定です。
 (出荷時の設定: 無効)
 「有効」に設定して、IP200H側で近隣呼出機能を「ON」にしている状態で全体/グループ呼び出しをすると、IP200Hが接続している無線アクセスポイントと同一エリア内のWLAN無線機を呼び出します。

【IP200Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



【IP100FSから近隣呼出機能で呼び出す場合】



※IP100FSから近隣呼出機能を使用する場合は、指定した無線アクセスポイント(例: 営業用)と同一エリア内にある無線アクセスポイント(例: 経理用)に接続しているIP200Hを呼び出せます。
 ※位置情報で無線アクセスポイントを選択すると、呼出種別(個別/グループ/全体/近隣/電話)と表示名をディスプレイに表示します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

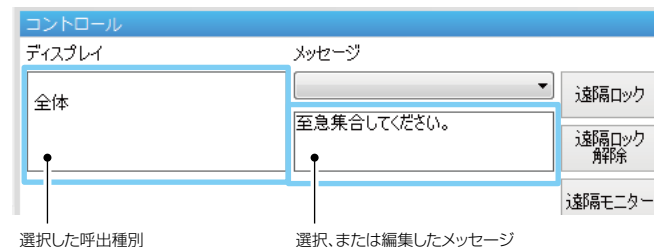
22 メッセージ/メッセージ先頭番号

IP200Hでメッセージを送信するときに設定します。(出荷時の設定: 無効) 「有効」を設定すると、IP200Hのメニュー画面からメッセージを選択できます。

※IP200Hから送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「設定グループ」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。

※はじめに表示するメッセージを、[メッセージ先頭番号]欄で指定します。

【IP100FSからメッセージを送信する場合】



※IP100FSでは、最大100件の定型メッセージをサイトごとに登録できます。登録したメッセージを選択、またはメッセージを編集して送信できます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 19 単信通信 複信通信

優先呼出: 20 無効 有効

近隣呼出: 21 無効 有効

メッセージ: 22 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 23 無効 有効

遠隔送信 (着信): 24 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): 25 無効 有効

個別番号 (着信): 26 00001

低優先度呼出の音声ミキシング: 27 無効 有効

Bluetooth: 28 無効 有効

Bluetooth 自動接続: 29 無効 有効

録音: 30 無効 有効

機能設定(つづき)

23 プレゼンス

IP200Hからステータス情報(例:会議中)を送信するときに設定します。

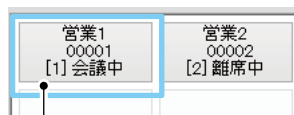
(出荷時の設定:無効)

※IP200Hから送信する半角32(全角16)文字以内のステータス情報は、「設定グループ」メニューの「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。

※「有効」を設定すると、IP200Hのメニュー画面からプレゼンスを選択できます。

※IP200Hから送信されたステータス情報は、IP100FSのワンタッチボタン画面や本製品の「無線機管理」画面で確認できます。

【IP100FSでプレゼンスを確認する場合】



名前、個別番号、番号(本製品で登録されたステータス番号)、ステータス情報

【本製品でプレゼンスを確認する場合】

無線機管理

<input type="checkbox"/>	すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP200H	営業1	00001	接続中	192.168.0.201	会議中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	
<input type="checkbox"/>	2	IP200H	営業2	00002	接続中	192.168.0.200	離席中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	
<input type="checkbox"/>	3	IP200H	営業3	00003	接続中	192.168.0.99	作業中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	

ステータス情報

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信(着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号(着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号(着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [遠隔送信番号(着信)]欄を「無効」にした場合、[個別番号(着信)]欄は表示されません。

機能設定(つづき)

- | | |
|---------------------|--|
| 24 遠隔送信(着信) | IP100FSから遠隔送信を要求されたときに、相手先へ自動送信するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※自動送信時、音声入力に使用する機器は「エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定」の[マイク入力選択](P.5-131)で選択します。 |
| 25 遠隔送信番号(着信) | IP100FSからの遠隔送信要求だけを受け付けるかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 無効) |
| 26 個別番号(着信) | [遠隔送信番号(着信)]有効時、遠隔送信要求を受け付けるIP100FSの個別番号(00001～60000)を入力します。
(出荷時の設定: 00001) |

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

27 低優先度呼出の音声

ミキシング

通話中の相手局以外に、自局が所属する通話があれば、音声をミキシングして聞こえるようにできる機能です。 (出荷時の設定: 無効)

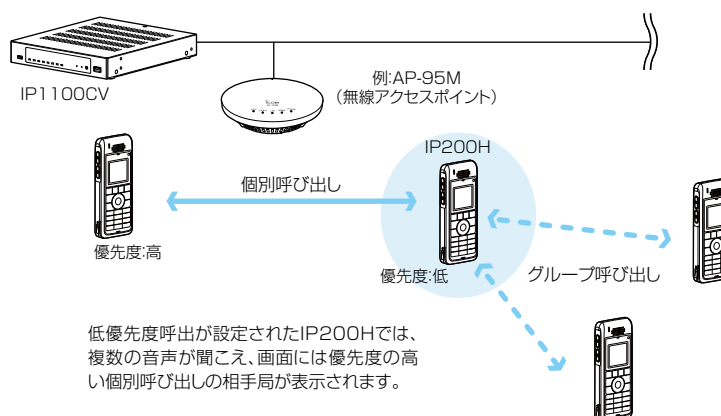
※複数の通話をミキシングしている場合は、IP200Hの画面には、最も高い優先度の通話が表示されます。

優先度について詳しくは、5-118ページをご覧ください。

たとえば、グループ呼び出しで通話中に、ほかの相手局と個別呼び出しで通話するとき、本機能を使用しているIP200Hでは、個別呼び出しに加え、グループ呼び出しの音声もミキシングして聞こえます。

この場合、IP200Hの画面には、優先度の高い個別呼び出しの相手局が表示されます。

【低優先度呼出によるミキシング】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [Bluetooth] 欄を「無効」にした場合、Bluetooth機能関連の設定は表示されません。

機能設定(つづき)

- | | |
|------------------------|--|
| 28 Bluetooth | IP200HとBluetooth機能対応機器を接続するときに設定します。
(出荷時の設定：無効) |
| 29 Bluetooth自動接続 | Bluetooth機能有効時、ペアリング済みの機器と自動接続するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：有効) |
| 30 録音 | IP200Hで受信した内容を録音するかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、IP200Hのメニュー画面から、録音モードをON/OFFできるようになります。 |

録音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音対象:	個別呼出

※録音の対象を個別呼出だけにするか、すべての呼び出しにするかどうかを設定します。

※1件あたり最大1分まで録音でき、4件を超えると古いものから自動的に消去されます。

※応答した場合も相手からの音声だけが最大1分録音されます。

※録音データは、取り出せません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 31 無効
プログラマブルキー設定	P1: 32 無効
	P2: 無効
	P3: 無効
	P4: 無効
キーロック設定	解除時のパスワード入力: 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除用パスワード: 0000
	パスワード入力失敗回数: 制限なし
	オートキーロック: 34 無効
	起動時のキーロック: 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
テンキー設定	テンキー呼出: 36 個別
	テンキー発信規制: 37 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

固定呼出

31 固定呼出

IP200Hの画面に表示されている相手ではなく、特定の操作で、あらかじめ指定した別の相手先(呼出種別)を呼び出すときに使用します。

(出荷時の設定：無効)

通常はマイクロホン(別売品)で運用し、特定の場合にIP200Hの[PTT]を押して相手先を切り替えるというような使いかたができます。

◎無効：固定呼出で送信しないとき

◎PTT：IP200Hの[PTT]で固定呼出をするとき

固定呼出:	PTT
呼出種別:	全体

例：PTTで全体呼び出しをする場合

◎イヤホンマイクまたはヘッドセット：

固定呼出:	イヤホンマイクまたはヘッドセット
呼出種別:	グループ
呼出先番号:	00001

例：イヤホンマイクまたはヘッドセットでグループ呼び出しをする場合

マイクロホン(別売品)のPTTスイッチやVOX機能で固定呼出をするとき

※呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。

※[呼出種別]欄で「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。

※固定呼出する相手先をIP200Hの画面に常時表示します。

※固定呼出を設定したIP200Hでも、受信時は相手先の名前や呼出種別が画面に表示されます。

※IP200Hの[PTT]と別売品マイクロホンのPTTスイッチで同時に送信した場合、IP200Hに内蔵のマイクからの音声はミュートされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

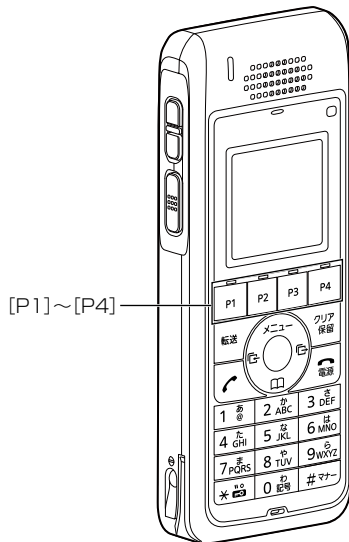
無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出 : 31 無効
プログラマブルキー設定	P1 : 32 無効
	P2 : 無効
	P3 : 無効
	P4 : 無効
キーロック設定	解除時のパスワード入力 : 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除用パスワード : 0000
	パスワード入力失敗回数 : 制限なし
	オートキーロック : 34 無効
テンキー設定	起動時のキーロック : 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	テンキー呼出 : 36 個別
	テンキー発信規制 : 37 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

プログラマブルキー設定

32 [P1]～[P4]



IP200Hの[P1]～[P4] (プログラマブルキー) に、よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するなどの機能を割り当てるときに設定します。

※「無効」を設定しているときは、待受画面で[P1]～[P4]を押しても何も動作しません。
(出荷時の設定：無効)

◎他製品の設定：

弊社製SIPサーバーやCS-IP200Hなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

◎メッセージ：

[P1]～[P4]を押すだけで、よく使うメッセージを選択したいときに設定します。[メッセージ番号]欄には、「メッセージ」画面で登録した内容を指定します。

P1 :	メッセージ
メッセージ番号 :	1 (至急集合してください。)

◎ワンタッチ：

[P1]～[P4]を押すだけで、特定の呼出種別、または相手を選択したいときに設定します。呼出種別は「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。

P2 :	ワンタッチ
呼出種別 :	個別
呼出先番号 :	00001

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

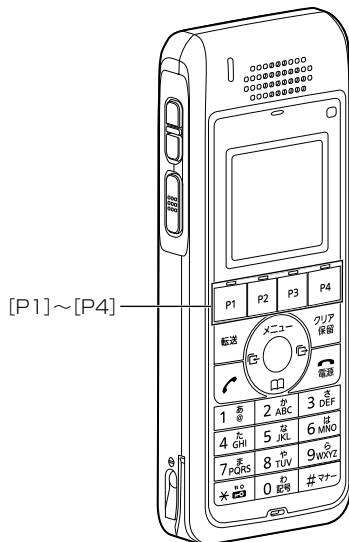
無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 31 無効
プログラマブルキー設定	P1: 32 無効 P2: 無効 P3: 無効 P4: 無効
キーロック設定	解除時のパスワード入力: 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 解除用パスワード: 0000 パスワード入力失敗回数: 制限なし オートキーロック: 34 無効 起動時のキーロック: 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
テンキー設定	テンキー呼出: 36 個別 テンキー発信規制: 37 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

プログラマブルキー設定(つづき)

32 [P1]～[P4](つづき) ……………



◎受信音声ミュート：

受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいときに設定します。

※[P1]～[P4]を長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。

※[PTT]を押しても、ミュート機能を解除できます。

※[受信音声ミュート自動解除]欄を「有効」にした場合は、設定時間が経過すると、自動的にミュート機能が解除されます。

「有効」にして使用するときには、ミュート機能が解除されるまでの時間を「10～600」(秒)の範囲で設定します。

P4:	受信音声ミュート
受信音声ミュート自動解除:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
受信音声ミュート自動時間:	60

◎エマージェンシー：

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに設定します。

※「緊急」と表示されるまで、[P1]～[P4]を長く押すと、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。

相手から応答があったとき、または[P1]～[P4]★を長く押したときに、緊急呼び出しが解除されます。

★[解除判定]欄(P.5-138)が「有効」に設定されているときに動作します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: 31 無効
プログラマブルキー設定	P1: 32 無効 P2: 無効 P3: 無効 P4: 無効
キーロック設定	解除時のパスワード入力: 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 解除用パスワード: 0000 パスワード入力失敗回数: 制限なし オートキーロック: 34 無効 起動時のキーロック: 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
テンキー設定	テンキー呼出: 36 個別 テンキー発信規制: 37 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※[解除時のパスワード入力]欄を「無効」にした場合、キーロック関連の欄は表示されません。

キーロック設定

33 解除時のパスワード入力/解除用パスワード

パスワード入力失敗回数 …………… IP200Hのキーロックを解除するとき、パスワードを使用するかどうかの設定です。(出荷時の設定: 無効)
解除用パスワードを設定するときは、任意の半角数字と半角記号(#、*)を10桁以内で入力します。
※初期設定では、パスワード入力失敗回数は制限していませんが、必要に応じて、回数制限(5回/10回)を設定してください。ただし、指定した回数を超えた場合、パスワード入力ができなくなります。

【パスワード入力制限時の解除方法】

解除用パスワードを変更、またはパスワード入力失敗回数を「制限なし」に変更してください。

※解除パスワードを変更した場合は、パスワードの入力失敗回数がリセットされます。

34 オートキーロック ……………

一定時間、IP200Hの操作がない場合、自動的にキーロックする機能を設定します。(出荷時の設定: 無効)
キーロックされるまでの時間は、「15秒、30秒、1分、3分、5分、10分」の範囲で設定します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出: ③① 無効
プログラマブルキー設定	P1: ③② 無効 P2: 無効 P3: 無効 P4: 無効
キーロック設定	解除時のパスワード入力: ③③ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 解除用パスワード: 0000 パスワード入力失敗回数: 制限なし オートキーロック: ③④ 無効 起動時のキーロック: ③⑤ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
テンキー設定	テンキー呼出: ③⑥ 個別 テンキー発信規制: ③⑦ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: ③⑧ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

③⑤ 起動時のキーロック …………… IP200H起動時、キーロック状態にするかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)

テンキー設定

③⑥ テンキー呼出 …………… IP200Hのテンキーを操作して相手の呼出先番号を入力するときに、呼出種別(個別/グループ)を設定します。
(出荷時の設定：個別)
設定すると、アドレス帳に登録していない相手も呼び出せます。

③⑦ テンキー発信規制 …………… アドレス帳に登録が無い相手局への発信を規制します。
※[テンキー呼出]欄が無効の場合は、表示されません。(出荷時の設定：無効)

接続確認

③⑧ 接続確認 …………… IP200Hから個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、個別呼び出しをしたIP200Hの表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。
※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。
※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
キー操作音	キー操作音: 39 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 40 0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	マイク入力選択: 41 Bluetoothマイク
ヘッドセット	ノイズキャンセラー: 42 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 VOX: 43 イヤホンマイク アタックタイム: 44 50 ミリ秒 リリースタイム: 45 200 ミリ秒 音声遅延: 46 200 ミリ秒 音声スレッシュ: 47 40 % 側音: 48 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 エコーキャンセラー: 49 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※[VOX]欄(P.5-131)を「無効」にした場合、[アタックタイム]欄～[音声スレッシュ]欄は表示されません。

キー操作音

- 39 キー操作音/キー操作音量 …………… IP200Hのキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。
(出荷時の設定：有効)
- 無効：確認音が鳴りません。
 有効：確認音が鳴ります。
- ※「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「16」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：10)
- ※「0」を設定した場合は、IP200H側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

マイク

- 40 マイクゲイン …………… マイクロホンの感度を設定します。
(出荷時の設定：0)
- 設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
- ※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
- また、周囲の雑音が小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
キー操作音	キー操作音: 39 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 40 0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	マイク入力選択: 41 Bluetoothマイク
ヘッドセット	ノイズキャンセラー: 42 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 VOX: 43 イヤホンマイク アタックタイム: 44 50 ミリ秒 リリースタイム: 45 200 ミリ秒 音声遅延: 46 200 ミリ秒 音声スレッシュ: 47 40 % 側音: 48 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 エコーキャンセラー: 49 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※[VOX]欄を「無効」にした場合、[アタックタイム]欄～[音声スレッシュ]欄は表示されません。

エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定

- 41 **マイク入力選択** …………… 緊急呼び出しの自動送信や遠隔送信を要求されたときに、使用するマイクロホンを設定します。 (出荷時の設定: Bluetoothマイク)
- 無線機マイク** : 無線機本体からの音声を送信します。
- Bluetoothマイク**: Bluetoothマイクからの音声を送信します。
- ※Bluetoothマイクが接続されていない場合は、無線機本体からの音声を送信します。

ヘッドセット

- 42 **ノイズキャンセラー** …………… ノイズキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
- 無効**: ノイズキャンセラー機能が動作しません。
- 有効**: ノイズキャンセラー機能が動作して、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
- ※本体/イヤホンマイク/ヘッドセット共通設定です。

- 43 **VOX** …………… IP200HにヘッドセットなどVOX機能対応機器(別売品)を接続して、音声によって送受信を自動的に切り替えるときに設定します。
- (出荷時の設定: 無効)
- ※「イヤホンマイク」、「ヘッドセット」、「Bluetoothマイク」を選択すると、[アタックタイム]欄～[音声スレッシュ]欄が表示されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
キー操作音	キー操作音: 39 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 40 0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	マイク入力選択: 41 Bluetoothマイク
ヘッドセット	ノイズキャンセラー: 42 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 VOX: 43 イヤホンマイク アタックタイム: 44 50 ミリ秒 リリースタイム: 45 200 ミリ秒 音声遅延: 46 200 ミリ秒 音声スレッシュ: 47 40 % 側音: 48 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 エコーキャンセラー: 49 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※ [VOX] 欄(P.5-131)を「無効」にした場合、[アタックタイム] 欄～[音声スレッシュ] 欄は表示されません。

ヘッドセット(つづき)

- 44 アタックタイム** ヘッドセット(別売品)からIP200Hに音声信号が入力されたことを検知する時間を設定します。(出荷時の設定: 50)
検知後、送信を開始します。
設定できる範囲は、「5～500」(5ミリ秒刻み)です。
- 45 リリースタイム** IP200Hに入力されている音声が増えたと判断する時間を設定します。
検知後、送信を停止します。(出荷時の設定: 200)
設定できる範囲は、「5～2000」(5ミリ秒刻み)です。
- 46 音声遅延** VOX送信による頭切れを防止するために、音声を遅延させる時間を設定します。(出荷時の設定: 200)
設定できる範囲は、「0～500」(5ミリ秒刻み)です。
- 47 音声スレッシュ** ヘッドセット(別売品)からIP200Hに音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベルを設定します。(出荷時の設定: 40)
設定できる範囲は、「0～100」(%)です。
※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
キー操作音	キー操作音：39 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 キー操作音量： 10
マイク	マイクゲイン：40 0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	マイク入力選択：41 Bluetoothマイク
ヘッドセット	ノイズキャンセラー：42 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 VOX：43 イヤホンマイク アタックタイム：44 50 ミリ秒 リリースタイム：45 200 ミリ秒 音声遅延：46 200 ミリ秒 音声スレッシュ：47 40 % 側音：48 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 エコーキャンセラー：49 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

ヘッドセット(つづき)

48 側音

イヤホンマイク(別売品)接続時の側音機能を設定します。

(出荷時の設定：無効)

「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。

側音： <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
側音音量： 10

側音機能を使用するときの音量は、「0」(最小)～「16」(最大)の範囲で設定します。

(出荷時の設定：10)

※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

49 エコーキャンセラー

エコーキャンセラー機能を設定します。

(出荷時の設定：有効)

「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。

※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。

※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動	50 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ	51 自動
AF出力	52 <input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断	53 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
オプション制御	54 電話操作
マイクレベルオフセット	55 10
AFレベルオフセット	56 15
エコーキャンセラー	57 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン	58 0
エコーキャンセラー 音声遅延	59 35
ノイズキャンセラー	60 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用)	61 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用)	62 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用)	63 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTヒープ(アイコムオプション用)	64 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [Bluetooth] 欄 (P.5-124) を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク

- 50 本体ボリューム連動** …………… Bluetooth接続時に使用するボリューム連動機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetooth接続しているIP200Hの[音量]でも音量を調整できます。 (出荷時の設定：無効)
- 51 マイク経路スイッチ** …………… Bluetooth接続時に使用するマイクを設定します。 (出荷時の設定：自動)
- ◎自動：
[PTT]が押された機器のマイクを使用します。
- ◎無線機マイク：
送信時、[PTT]が押された無線機本体、別売品マイクロホンのマイクを使用します。
※Bluetooth機器の[PTT]を押したとき、別売品マイクロホン(外部マイク)が接続されていない場合は、無線機本体のマイクを使用します。
接続するマイクロホンの種類や設定によっては、Bluetooth機器の[PTT]を押したときにマイクから音声が入力されません。
- ◎Bluetoothマイク：
送信時、Bluetooth機器のマイクを使用します。
- 52 AF出力** …………… Bluetooth機器を接続している場合の、無線機本体からの音声出力を設定します。 (出荷時の設定：ヘッドセットのみ)
- ◎ヘッドセットのみ：
無線機本体のスピーカーをOFFにし、Bluetooth機器からだけ音声を出力します。
- ◎ヘッドセット+スピーカー：
無線機本体のスピーカーをONにし、Bluetooth機器と無線機から音声を出力します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動 50	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ 51	自動
AF出力 52	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断 53	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
オプション制御 54	電話操作
マイクレベルオフセット 55	10
AFレベルオフセット 56	15
エコーキャンセラー 57	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン 58	0
エコーキャンセラー 音声遅延 59	35
ノイズキャンセラー 60	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用) 61	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用) 62	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用) 63	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTビーブ(アイコムオプション用) 64	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [Bluetooth] 欄 (P.5-124) を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

53 自動切断

BluetoothヘッドセットとのSCO(Synchronous Connection-Oriented)リンク★を自動で切断する機能を設定します。(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が一定時間つづいたとき、ヘッドセットとのSCOリンクを自動で切断します。
自動切断時間は、「0～10」秒の範囲で設定します。

※SCOリンクを切断中に音声を送受信したり、ビーブ音が鳴ったりしたときは、自動でSCOリンクを接続します。

※「有効」に設定するとSCOリンクが自動で切断されるため、VOX機能は使用できません。特に必要がない場合は、「無効」に設定して使用されることをおすすめします。

★音声通信用のBluetoothリンク

54 オプション制御

BluetoothヘッドセットでPTTに相当するボタンを押した場合の動作を選択します。(出荷時の設定：電話操作)

※この機能を使用できる機器については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

◎自動：

使用する無線機の状態により、PTT操作の動作が異なりますが、基本的には無線送信、電話着信時は応答、電話通話時は切断になります。

◎電話操作：

常に電話操作(待ち受け時は電話発信画面に移行、電話着信時は応答、電話通話時は切断)になります。

◎無線送信：

常に無線送信になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動	50 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ	51 自動
AF出力	52 <input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断	53 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
オプション制御	54 電話操作
マイクレベルオフセット	55 10
AFレベルオフセット	56 15
エコーキャンセラー	57 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン	58 0
エコーキャンセラー 音声遅延	59 35
ノイズキャンセラー	60 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用)	61 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用)	62 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用)	63 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTビーブ(アイコムオプション用)	64 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [Bluetooth] 欄 (P.5-124) を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

- 55** マイクレベルオフセット …………… IP200H本体やIP200Hに接続したマイクロホンに対して、Bluetoothマイクロホンの感度が高すぎたり低すぎたりするときに、Bluetoothマイクロホンの感度を調整します。
(出荷時の設定：10)
設定できる範囲は、「0～20」です。
- 56** AFレベルオフセット …………… IP200H本体やIP200Hに接続したスピーカーに対して、Bluetooth機器からの音声出力が大きすぎたり小さすぎたりするときに、Bluetooth機器の音量を調整します。
(出荷時の設定：15)
設定できる範囲は、「0～22」です。
- 57** エコーキャンセラー …………… Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときに起こるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
- 58** エコーキャンセラー
入力ゲイン …………… Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの入力ゲインを設定します。
(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-40～40」(dB)です。
- 59** エコーキャンセラー
音声遅延 …………… Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラーの音声遅延を設定します。
設定できる範囲は、「0～160」(ミリ秒)です。
(出荷時の設定：35)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動	50 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ	51 自動
AF出力	52 <input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断	53 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
オプション制御	54 電話操作
マイクレベルオフセット	55 10
AFレベルオフセット	56 15
エコーキャンセラー	57 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン	58 0
エコーキャンセラー 音声遅延	59 35
ノイズキャンセラー	60 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用)	61 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用)	62 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用)	63 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTビーブ(アイコムオプション用)	64 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [Bluetooth] 欄 (P.5-124) を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

- 60 ノイズキャンセラー** …………… Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能を設定します。
「有効」に設定すると、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
(出荷時の設定：有効)
- 61 パワーセーブ
(アイコムオプション用)** …………… Bluetooth接続時に使用するパワーセーブ機能を設定します。
「有効」に設定すると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。
(出荷時の設定：無効)
◎着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音が出力されます。
◎送信するときは、IP200Hの[PTT]を押してはなすと、「プッ」と音がしてパワーセーブが解除されます。
パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。
- 62 ワンタッチPTT
(アイコムオプション用)** …………… Bluetooth接続時に使用するワンタッチPTT機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetoothマイクの[PTT]を押しつづける必要がなくなります。
(出荷時の設定：無効)
- 63 ワンタッチPTT設定表示
(アイコムオプション用)** …………… IP200Hのメニュー画面(メニュー⇒設定⇒Bluetooth)に「ワンタッチPTT」を表示させるかどうかを選択します。
(出荷時の設定：無効)
- 64 PTTビーブ
(アイコムオプション用)** …………… Bluetooth接続時に使用するPTTビーブ機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetoothマイクの[PTT]を押したときにビーブ音(ピパ)が鳴ります。
(出荷時の設定：無効)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

エマージェンシー設定

エマージェンシー: 65 無効 有効

マイクゲイン: 66 12 dB

動作判定時間: 67 5 秒

解除判定: 68 無効 有効

警告表示: 69 無効 有効

警告音量: 70 16

呼出種別: 71 全体

自動送信: 72 無効 有効

応答後の解除: 73 無効 有効

自動解除: 74 無効 有効

エマージェンシー着信設定

警告音: 75 無効 有効

警告音量: 76 16

警告動作: 77 通知音+ハイブレーション

※[エマージェンシー]欄を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定

- 65 エマージェンシー …………… 迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに使用する機能です。 (出荷時の設定：無効)
※[プログラマブルキー設定]欄(P.5-127)を「エマージェンシー」に設定している場合に使用できます。
※「緊急」と表示されるまで、[P1]～[P4]を長く(5秒以上★)押すと、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。
相手から応答があったとき、または[P1]～[P4]を長く(5秒以上★)押したときに、緊急呼び出しが解除されます。
★緊急呼び出し動作までの時間は[動作判定時間]欄、解除までの時間は[解除判定]欄で変更できます。
- 66 マイクゲイン …………… 緊急呼び出し時のマイクロホンの感度を設定します。 (出荷時の設定：12)
設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通信相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音小さい場所では高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通信相手に聞きやすい音声になります。
- 67 動作判定時間 …………… [P1]～[P4]を長く押して、緊急呼び出しが動作するまでの時間を、「1～10」秒の範囲で設定します。 (出荷時の設定：5)
- 68 解除判定 …………… [P1]～[P4]を長く押すと、緊急呼び出しが解除される設定です。 (出荷時の設定：無効)
※緊急呼び出しを解除する判定時間は、「1～10」秒の範囲で設定します。 (出荷時の設定：2)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

エマージェンシー設定

エマージェンシー: 無効 有効

マイクゲイン: dB

動作判定時間: 秒

解除判定: 無効 有効

警告表示: 無効 有効

警告音量:

呼出種別:

自動送信: 無効 有効

応答後の解除: 無効 有効

自動解除: 無効 有効

エマージェンシー着信設定

警告音: 無効 有効

警告音量:

警告動作:

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定(つづき)

- 69 警告表示** 緊急呼び出し時に警告音(ピロピロ…)を鳴らしたり、表示を切り替えたりするかどうかを設定します。(出荷時の設定: 有効)
※「無効」に設定するとサイレントモードになります。
- 70 警告音量** 緊急呼び出し時の警告音量を、「0 ~ 16」の範囲で設定します。(出荷時の設定: 16)
- 71 呼出種別** 緊急呼び出しを通知する相手を選択します。(出荷時の設定: 全体)
※「個別」、「グループ」、「トークグループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、グループやトークグループ番号(00001 ~ 60000)を入力します。
- 72 自動送信** 緊急呼び出し機能の自動送信を使用するかどうかを設定します。(出荷時の設定: 無効)
- 73 応答後の解除** 緊急呼び出しを受信した相手が応答した場合、緊急呼び出しを解除するかどうかを設定します。(出荷時の設定: 有効)
- 74 自動解除** 緊急呼び出しが動作してから一定時間経過すると、緊急呼び出しが解除されます。(出荷時の設定: 無効)
※自動的に解除するまでの時間は、「1 ~ 255」(秒)の範囲で設定します。(出荷時の設定: 60)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

エマージェンシー設定

エマージェンシー: 65 無効 有効

マイクゲイン: 66 12 ▼ dB

動作判定時間: 67 5 秒

解除判定: 68 無効 有効

警告表示: 69 無効 有効

警告音量: 70 16 ▼

呼出種別: 71 全体 ▼

自動送信: 72 無効 有効

応答後の解除: 73 無効 有効

自動解除: 74 無効 有効

エマージェンシー着信設定

警告音: 75 無効 有効

警告音量: 76 16 ▼

警告動作: 77 通知音+バイブレーション ▼

※[エマージェンシー]欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー着信設定

- 75 警告音** 緊急呼び出し受信時に警告音(ピロピロ...)を鳴らすかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)
- 76 警告音量** 緊急呼び出し受信時の警告音量を、「0～16」の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 16)
- 77 警告動作** 緊急呼び出しを受信したときの動作を、「通知音」、「バイブレーション」、または「通知音+バイブレーション」から選択します。
(出荷時の設定: 通知音+バイブレーション)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	78 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	79 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	80 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	81 45
静止状態検出:	82 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Lone Worker設定	
Lone Worker:	83 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー:	84 60
Lone Worker警告タイマー:	85 60
PTT遅延:	86 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10

※[エマージェンシー]欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定

78 マンダウン

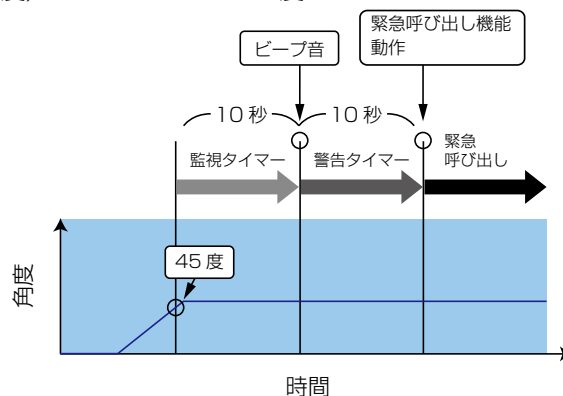
IP200Hを使用している人が倒れるなどして、IP200Hが設定された角度以上に傾いた状態が一定時間つづくと、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)

例：

マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

マンダウン設定

マンダウン: 78 無効 有効

マンダウン監視: 79 無効 有効

マンダウン監視タイマー: 10

マンダウン警告: 80 無効 有効

マンダウン警告タイマー: 10

検出角度: 81 45

静止状態検出: 82 無効 有効

Lone Worker設定

Lone Worker: 83 無効 有効

Lone Worker監視タイマー: 84 60

Lone Worker警告タイマー: 85 60

PTT遅延: 86 無効 有効

PTT遅延タイマー: 10

※ [エマージェンシー] 欄 (P.5-138) を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定(つづき)

79 マンダウン監視/

マンダウン監視タイマー ………

人が倒れている(マンダウン)と認識するまでの時間を設定します。

(出荷時の設定: 有効(10))

設定できる範囲は、「1～255」秒です。

※IP200Hが傾いたまま設定した時間が経過すると、ビーブ音(ピッ)が1回鳴って、[マンダウン警告タイマー]が動作します。

※IP200Hの傾きを設定した角度以下にもどすと、マンダウン監視タイマーがリセットされます。

80 マンダウン警告/

マンダウン警告タイマー ………

[マンダウン監視タイマー] 欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定できます。(出荷時の設定: 有効(10))
マンダウン警告タイマーで設定した時間が経過してもIP200Hが傾いているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。

設定できる範囲は、「1～255」秒です。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP200Hの傾きを設定した角度以下に戻すと、マンダウン監視タイマーとマンダウン警告タイマーがリセットされます。

81 検出角度 ………

マンダウン機能が動作する角度を「45」、「60」、「75」から選択します。

(出荷時の設定: 45)

IP200Hがここで設定した角度以上倒れたままマンダウン監視タイマーで設定した時間が経過すると、マンダウン警告タイマーが動作します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

マンダウン設定

マンダウン: 78 無効 有効

マンダウン監視: 79 無効 有効

マンダウン監視タイマー:

マンダウン警告: 80 無効 有効

マンダウン警告タイマー:

検出角度: 81

静止状態検出: 82 無効 有効

Lone Worker設定

Lone Worker: 83 無効 有効

Lone Worker監視タイマー: 84

Lone Worker警告タイマー: 85

PTT遅延: 86 無効 有効

PTT遅延タイマー:

※ [エマージェンシー] 欄 (P.5-138) を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定(つづき)

82 静止状態検出

マンダウン機能に静止状態検出機能を併用するときに設定します。

(出荷時の設定：無効)

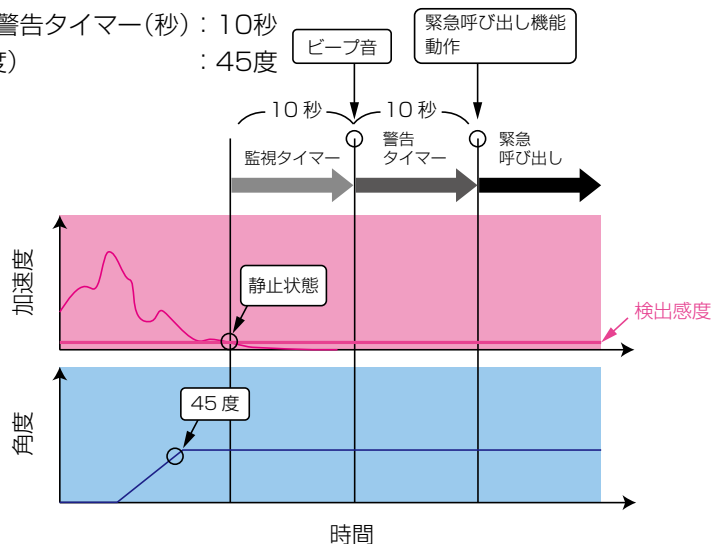
静止状態検出を有効に設定すると、[マンダウン監視タイマー] 欄で設定した時間、無線機が傾いたまま、静止状態がつづいた場合に、マンダウン警告タイマーが動作します。[マンダウン警告タイマー] 欄で設定した時間が経過すると、緊急呼び出し機能が自動的に動作します。

※静止状態検出機能の感度は、[検出感度設定] 欄 (P.5-149) で設定します。
 ※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP200Hの傾きを設定した角度以下に戻す、またはIP200Hを動かすと、マンダウン監視タイマーとマンダウン警告タイマーがリセットされます。

例：マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

マンダウン設定

マンダウン: 78 無効 有効

マンダウン監視: 79 無効 有効

マンダウン監視タイマー: 10

マンダウン警告: 80 無効 有効

マンダウン警告タイマー: 10

検出角度: 81 45

静止状態検出: 82 無効 有効

Lone Worker設定

Lone Worker: 83 無効 有効

Lone Worker監視タイマー: 84 60

Lone Worker警告タイマー: 85 60

PTT遅延: 86 無効 有効

PTT遅延タイマー: 10

※ [エマージェンシー] 欄 (P.5-138) を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定

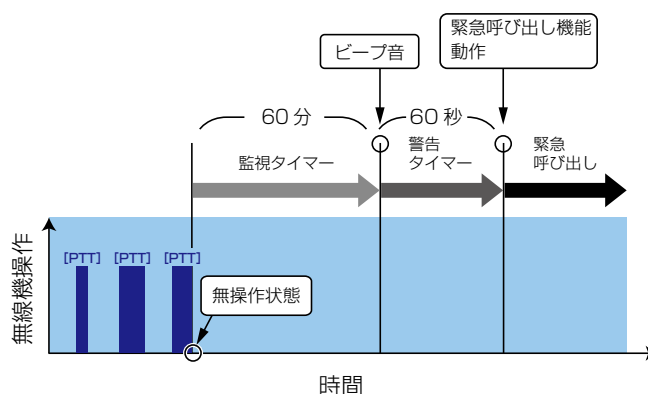
83 Lone Worker

一定時間、IP200Hの操作がない場合、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。 (出荷時の設定：無効)

※警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。

例：Lone Worker監視タイマー(分)：60分

Lone Worker警告タイマー(秒)：60秒



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	78 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	79 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	80 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	81 45
静止状態検出:	82 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Lone Worker設定	
Lone Worker:	83 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー:	84 60
Lone Worker警告タイマー:	85 60
PTT遅延:	86 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定(つづき)

- 84 Lone Worker監視タイマー…… 一定時間、IP200Hの操作がないと認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」分です。(出荷時の設定：60)
※IP200Hの操作がないと認識されると、ビーブ音(ピッ)が1回鳴って、Lone Worker警告タイマーが動作します。
※IP200Hを操作すると、Lone Worker監視タイマーがリセットされます。
- 85 Lone Worker警告タイマー…… [Lone Worker監視タイマー] 欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。(出荷時の設定：60)
設定できる範囲は、「1～255」秒です。
Lone Worker警告タイマーで設定した時間が経過してもIP200Hの操作がないときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP200Hを操作すると、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。
※Lone Worker警告タイマー動作中は、2秒ごとにビーブ音(ピッ)が鳴ります。
- 86 PTT遅延/
PTT遅延タイマー …………… Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーが動作中に、[PTT] を押しつづけたとき、送信されるまでの時間を設定します。(出荷時の設定：有効(10))
設定できる範囲は、「1～255」x100ミリ秒です。
※時間を長く設定することで、[PTT] を押しても、送信されることなく、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットできます。
※[PTT] を設定した時間以上押しつづけると、送信状態になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	静止状態検出: 87 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	静止状態検出設定: 88 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	静止状態監視タイマー: 89 60
	静止状態警告タイマー: 90 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 91 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作状態監視タイマー: 92 10
	動作状態警告タイマー: 93 10
検出感度設定	静止状態: 94 2
	動作状態: 95 7

※[エマージェンシー]欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定(つづき)

87 静止状態検出

Lone Worker機能に静止状態検出機能を併用するときの設定します。

(出荷時の設定: 無効)

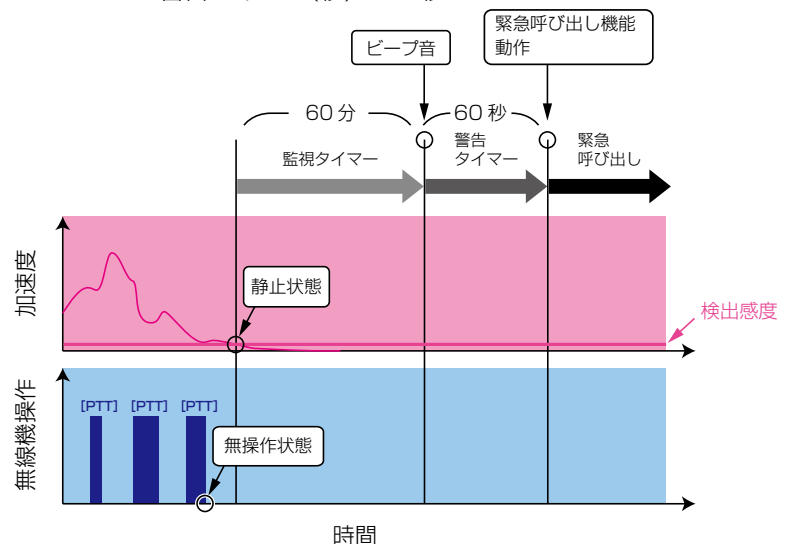
静止状態検出を有効に設定すると、[Lone Worker監視タイマー]欄(P.5-145)で設定した時間、無線機の操作がなく、静止状態が続いた場合に、Lone Worker警告タイマーが動作します。[Lone Worker警告タイマー]欄(P.5-145)で設定した時間が経過すると、緊急呼び出し機能が自動的に動作します。

※静止状態検出機能の感度は、[検出感度設定]欄(P.5-149)で設定します。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP200Hを操作する、またはIP200Hを動かすと、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。

例: Lone Worker監視タイマー(分): 60分

Lone Worker警告タイマー(秒): 60秒



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

静止状態検出: 87 無効 有効

静止状態検出設定

静止状態検出設定: 88 無効 有効

静止状態監視タイマー: 89 60

静止状態警告タイマー: 90 60

動作状態検出設定

動作状態検出設定: 91 無効 有効

動作状態監視タイマー: 92 10

動作状態警告タイマー: 93 10

検出感度設定

静止状態: 94 2

動作状態: 95 7

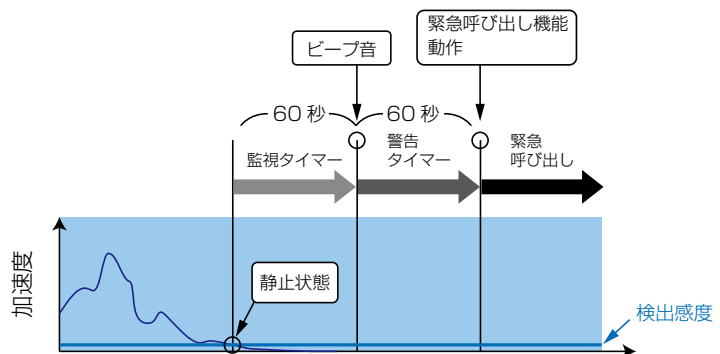
※[エマージェンシー]欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

静止状態検出設定

88 静止状態検出設定 静止状態検出機能を使用するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

89 静止状態監視タイマー 一定時間、IP200Hが静止していると認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」秒です。 (出荷時の設定：60)
 ※IP200Hが静止したまま設定した時間が経過すると、ビープ音(ピッ)が1回鳴って、[静止状態警告タイマー]が動作します。
 ※IP200Hを動かすと、静止状態監視タイマーがリセットされます。

例：静止状態監視タイマー(秒)：60秒
 静止状態警告タイマー(秒)：60秒



90 静止状態警告タイマー [静止状態監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：60)
 設定できる範囲は、「1～255」秒です。静止状態警告タイマーで設定した時間が経過してもIP200Hが静止しているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
 ※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP200Hを動かすと、静止状態監視タイマーと静止状態警告タイマーがリセットされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

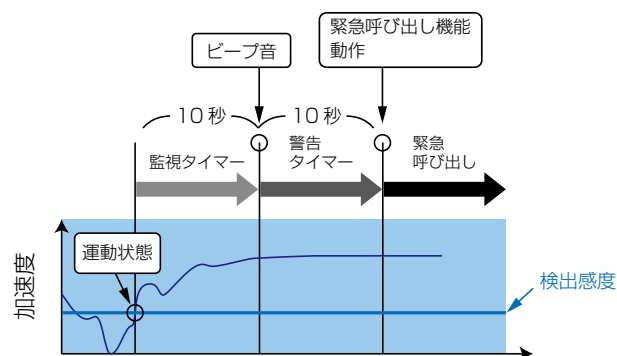
■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
静止状態検出	静止状態検出: 87 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
静止状態検出設定	静止状態検出設定: 88 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
静止状態監視タイマー	89 60
静止状態警告タイマー	90 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 91 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作状態監視タイマー	92 10
動作状態警告タイマー	93 10
検出感度設定	静止状態: 94 2
	動作状態: 95 7

※[エマージェンシー]欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

動作状態検出設定

- ① 動作状態検出設定 …………… 動作状態検出機能を使用するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)
- ② 動作状態監視タイマー …………… 一定時間、IP200Hが動いていると認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」秒です。 (出荷時の設定：10)
 ※IP200Hが動いたまま設定した時間が経過すると、ビーブ音(ピッ)が1回鳴って、[動作状態警告タイマー]が動作します。
 ※IP200Hの動きを止めると、動作状態監視タイマーがリセットされます。
- 例：動作状態監視タイマー(秒)：10秒
 動作状態警告タイマー(秒)：10秒



- ③ 動作状態警告タイマー …………… [動作状態監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：10)
 設定できる範囲は、「1～255」秒です。
 動作状態警告タイマーで設定した時間が経過しても無線機が動いているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
 ※緊急呼び出し機能が動作するまでに、無線機の動きを止めると、動作状態監視タイマーと動作状態警告タイマーがリセットされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
静止状態検出: 87 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	
静止状態検出設定	静止状態検出設定: 88 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	静止状態監視タイマー: 89 60
	静止状態警告タイマー: 90 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 91 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作状態監視タイマー: 92 10
	動作状態警告タイマー: 93 10
検出感度設定	静止状態: 94 2
	動作状態: 95 7

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

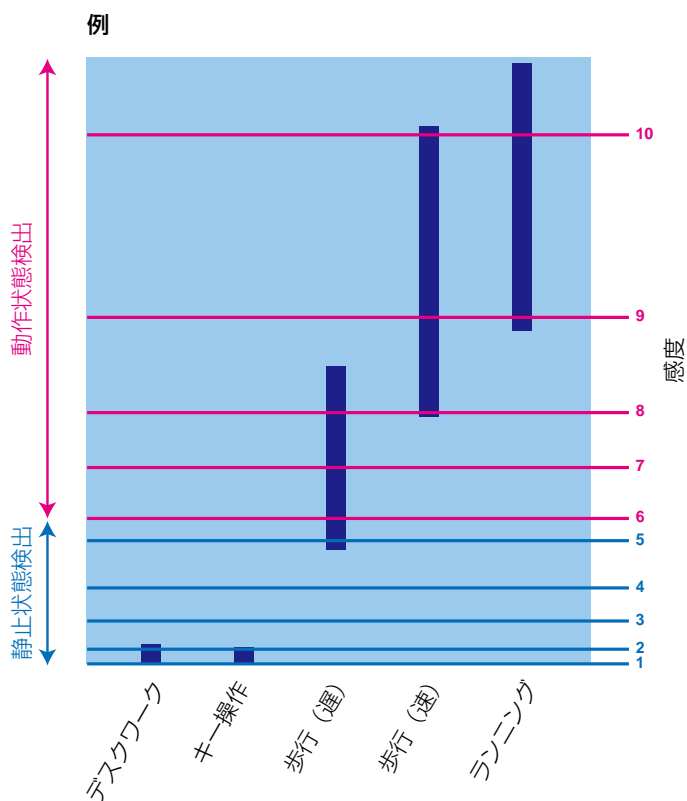
検出感度設定

94 静止状態

静止状態検出機能を使用するときに、IP200Hの状態検出感度を設定します。設定できる範囲は、「1～10」です。 (出荷時の設定：2)

IP200Hの検出値が設定した値以下になると、静止状態監視タイマーが動作します。

※大きい値に設定すると、緊急呼び出し機能が動作しやすくなります。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	静止状態検出: 87 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
静止状態検出設定	静止状態検出設定: 88 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
静止状態監視タイマー	静止状態監視タイマー: 89 60
静止状態警告タイマー	静止状態警告タイマー: 90 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 91 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作状態監視タイマー	動作状態監視タイマー: 92 10
動作状態警告タイマー	動作状態警告タイマー: 93 10
検出感度設定	静止状態: 94 2
	動作状態: 95 7

※[エマージェンシー]欄(P.5-138)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

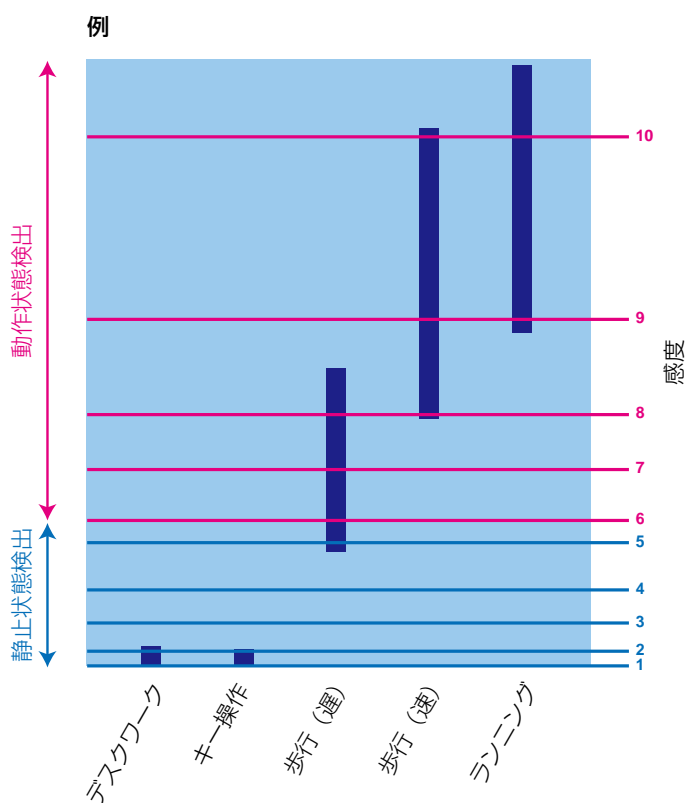
検出感度設定(つづき)

95 動作状態

動作状態検出機能を使用するときに、IP200Hの状態検出感度を設定します。設定できる範囲は、「1～10」です。(出荷時の設定：7)

IP200Hの検出値が設定した値以上になると、動作状態監視タイマーが動作します。

※小さい値に設定すると、緊急呼び出し機能が動作しやすくなります。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

	無線機個別設定
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：100 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：100 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-152)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定

96 音声Codec

通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726」から選択します。
※設定変更後、一時的にIP200Hとの接続が切れます。再接続後、IP200Hを再起動して設定を反映してください。（出荷時の設定：G.726）

◎G.726：

音声の圧縮に利用される音声コーデックです。使用するときには、ビットレートを、「16kbps(2bit)」、「24kbps(3bit)」、「32kbps(4bit)」、「40kbps(5bit)」から設定します。（出荷時の設定：32kbps(4bit)）

◎G.711u：

音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ないという特長があります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：100 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：100 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

- 97 **ジッターバッファ種別** …… パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
- ◎**スタティック**：
音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
- ◎**ダイナミック**：
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- 98 **ジッターバッファサイズ** …… IP200Hが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。
設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。
設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。
(出荷時の設定：40)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：100 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：100 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-152)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

- 99 TOS種別 IP200HのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：TOS)
- ◎使用しない：
TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS：
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv：
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

	無線機個別設定
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 TOS</p> <p>メディア(RTP)優先度：100 7</p> <p>メディア(RTP)サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP)16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：96 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：97 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：98 40 ミリ秒</p> <p>TOS種別：99 Diffserv</p> <p>メディア(RTP)DSCP：100 56</p> <p>メディア(RTP)16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-152)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

100 メディア(RTP) ……………

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

※[TOS種別]欄(P.5-153)で「使用しない」を選択したときは表示されない項目です。

TOS種別：TOS

◎優先度：

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ：

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS種別：Diffserv

◎DSCP：

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

※[TOS種別]欄で「Diffserv」を選択したときに、表示される項目です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 101 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 102 _____
	保守サーバー以外からの再起動: 103 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 104 _____
	起動時のファームウェア自動更新: 105 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 106 _____
	SYSLOGホストアドレス: 107 _____
	SYSLOG送信レベル: 108 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 109 _____
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 110 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> 録音データ <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット
メニュー設定	RESET: 111 <input type="checkbox"/> 基本モード <input checked="" type="checkbox"/> 詳細モード

IPアドレス設定

101 設定方法

IP200HのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定: 他製品の設定)

◎他製品の設定:

導入時は、CS-IP200Hで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント:

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 101 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 102 _____
	保守サーバー以外からの再起動: 103 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 104 _____
	起動時のファームウェア自動更新: 105 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 106 _____
	SYSLOGホストアドレス: 107 _____
	SYSLOG送信レベル: 108 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 109 _____
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 110 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> 録音データ <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット
メニュー設定	RESET: 111 <input type="checkbox"/> 基本モード <input checked="" type="checkbox"/> 詳細モード

IPアドレス設定

101 設定方法(つづき)

◎固定IP:

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	_____
サブネットマスク:	_____
デフォルトゲートウェイ:	_____
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

IPアドレス設定
設定方法: 101 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 102
保守サーバー以外からの再起動: 103 無効 有効
SNTPサーバー: 104
起動時のファームウェア自動更新: 105 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 106
SYSLOGホストアドレス: 107
SYSLOG送信レベル: 108 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 109

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 110 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 111 基本モード 詳細モード

保守設定

- 102 保守サーバー IP200Hの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 103 保守サーバー以外からの再起動 [保守サーバー]欄で指定した機器以外から、IP200Hを再起動させるかどうかを設定します。 (出荷時の設定: 無効)
※2024年12月現在、対応機種はAP-9500、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。
- 104 SNTPサーバー IP200HのSNTPサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品をSNTPサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 101 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 102
	保守サーバー以外からの再起動: 103 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 104
	起動時のファームウェア自動更新: 105 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 106
	SYSLOGホストアドレス: 107
	SYSLOG送信レベル: 108 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 109
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 110 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> 録音データ <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット
メニュー設定	RESET: 111 <input type="checkbox"/> 基本モード <input checked="" type="checkbox"/> 詳細モード

保守設定(つづき)

105 起動時のファームウェア

自動更新

本製品からIP200Hのファームウェアを自動更新するための設定です。
(出荷時の設定: 有効(自動再起動無し))

◎無効:

本製品によるIP200Hのファームウェア自動更新を無効にします。

◎有効(自動再起動無し):

IP200Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200Hはファームウェアを取得します。IP200Hの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。

◎有効(自動再起動有り):

IP200Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200Hはファームウェアの更新を開始します。

更新が完了すると、自動的にIP200Hが再起動します。

※本製品に内蔵しているIP200Hのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

106 ファームアップサーバー

IP200Hのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。

入力は、半角英数字で63文字までです。

※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

IPアドレス設定
設定方法: 101 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 102
保守サーバー以外からの再起動: 103 無効 有効
SNTPサーバー: 104
起動時のファームウェア自動更新: 105 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 106
SYSLOGホストアドレス: 107
SYSLOG送信レベル: 108 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 109

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 110 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 111 基本モード 詳細モード

保守設定(つづき)

107 SYSLOGホストアドレス …………… IP200HのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

108 SYSLOG送信レベル …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

セキュリティ設定

109 アクセスパスワード …………… CS-IP200H★から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
★CS-IP200Hは、IP200Hの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。弊社ホームページからダウンロードできます。

プロビジョニング設定

110 プロビジョニング時の初期化 …… プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(出荷時の設定: 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット)

メニュー設定

111 RESET …………… IP200Hのメニュー画面(メニュー⇒設定)に「リセット」(初期値に戻す)を表示させるかどうかを選択します。
(出荷時の設定: 基本モード 詳細モード)
※基本モードは、「非表示」固定です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定

EAP認証プリセット設定

番号	名前 ¹¹²	認証方式 ¹¹³	ユーザー名 ¹¹⁴	パスワード ¹¹⁵	外部認証ユーザー名 ¹¹⁶	クライアント証明書 ¹¹⁷	
1		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
2		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
3		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
4		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
5		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
6		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
7		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
8		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
9		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
10		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除

¹¹⁹ 登録
¹²⁰ 取消

EAP認証プリセット設定

本製品に登録したIP200Hで使用するEAP認証プリセット設定を10件登録できます。

- 112 **名前** 任意の名称を、31文字以内で入力します。
- 113 **認証方式** 使用する認証サーバーの認証方式を設定します。(出荷時の設定：EAP-TLS)
本製品は、「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」、「EAP-TLS」に対応しています。
- 114 **ユーザー名** EAP認証で使用するユーザー名を半角63文字以内で入力します。
※Windows Active Directoryを認証に利用する場合は、「NTドメイン名\アカウント名」の形式で入力してください。
- 115 **パスワード** 「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用するとき、半角63文字以内で入力します。
- 116 **外部認証ユーザー名** 「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用し、外部認証と内部認証で異なるユーザー名を使用する場合にだけ設定します。
半角63文字以内で入力します。
※設定しないときは、[ユーザー名]の設定内容が外部認証と内部認証に使用されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200H]

無線機個別設定						
EAP認証プリセット設定						
番号	名前 ¹¹²	認証方式 ¹¹³	ユーザー名 ¹¹⁴	パスワード ¹¹⁵	外部認証ユーザー名 ¹¹⁶	クライアント証明書 ¹¹⁷
1		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
2		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
3		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
4		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
5		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
6		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
7		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
8		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
9		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
10		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼

¹¹⁹ 登録 ¹²⁰ 取消

EAP認証プリセット設定(つづき)

¹¹⁷ クライアント証明書

「EAP-TLS」認証方式を使用するとき、クライアント証明書を選択します。
※証明書ファイルは、[証明書管理]項目(P.5-162)で登録します。

¹¹⁸ <削除>

登録したEAP認証プリセットを削除するとき、<削除>をクリックします。

¹¹⁹ <登録>

[無線機個別設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[無線機個別設定一覧]項目に表示されます。

¹²⁰ <取消>

[無線機個別設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 証明書管理 [IP200H]

EAP認証で使用する証明書(ルート証明書/クライアント証明書)を4件登録できます。

※ [無線機個別設定]項目でIP200Hを選択したとき、表示される項目です。

番号	ファイル形式 ①	名前 ②	証明書ファイル ③	パスワード ④	⑤	⑥
証明書情報						
1	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
2	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
3	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
4	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						

- ① **ファイル形式** 証明書の形式を指定します。 (出荷時の設定：PKCS12)
本製品は、下記の形式に対応しています。
◎PKCS12 : 「ルート証明書」+「クライアント証明書」
◎PEM(ルート証明書のみ) : 「ルート証明書」
- ② **名前** 任意の名称を、31文字以内英数字で入力します。
- ③ **証明書ファイル** <ファイルの選択>をクリックして、証明書ファイルの保存先を選択します。
- ④ **パスワード** 「PKCS12」のファイル形式を使用するとき設定します。
半角127文字以内で入力します。
- ⑤ **<登録>** クリックして、指定した証明書ファイルを登録します。
※すでに登録されている内容は、新規登録に上書きされます。
- ⑥ **<削除>** 登録した証明書を削除するとき、<削除>をクリックします。

ご参考に

「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式は、2つのフェーズを持ちます。

phase1は外部認証、phase2は内部認証とも呼ばれます。

◎phase1(外部認証) : 外部認証ユーザー名に基づく認証のあと、暗号化されたトンネルを作る

◎phase2(内部認証) : 暗号化されたトンネルの中で、内部認証ユーザー名+パスワードをやり取りして認証する

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

登録されたIP200PGごとに、機能の割り当てや通知音などを設定します。

※設定変更後は、IP200PGの再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

無線機個別設定	
個別番号: ①	00031
機種:	IP200PG
システム設定	
共通項目の設定: ②	本製品の設定 ※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。
表示部	
状態表示ランプ消灯モード: ③	有効
状態表示ランプ消灯モード移行時間: ④	30
送信動作	
送信禁止: ⑤	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
通話キーロック: ⑥	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチ通話キー: ⑦	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	
呼出種別: ⑧	全体
トークグループの所属: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ① 個別番号/機種 設定内容を編集するIP200PGの個別番号(名前)を選択します。
※「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、機種を「IP100FS」に設定した個別番号は表示されません。

システム設定

- ② 共通項目の設定 共通項目の設定について選択します。 (出荷時の設定: 本製品の設定)
「他製品の設定」を選択した場合は、IP電話機と共通する項目は非表示になります。
設定を変更すると、IP電話機を含む、すべての設定を再取得します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
個別番号: ①	00031
機種:	IP200PG
システム設定	
共通項目の設定: ②	本製品の設定 ※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。
表示部	
状態表示ランプ消灯モード: ③	有効
状態表示ランプ消灯モード移行時間: ④	30
送信動作	
送信禁止: ⑤	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
通話キーロック: ⑥	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチ通話キー: ⑦	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	
呼出種別: ⑧	全体
トークグループの所属: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [状態表示ランプ消灯モード] 欄を「無効」にした場合、[状態表示ランプ消灯モード移行時間] 欄は表示されません。

表示部

③ 状態表示ランプ消灯モード …… IP200PG起動後やキー操作/通話終了後、IP200PGの状態表示ランプを消灯させるときに設定します。 (出荷時の設定: 無効)

◎無効:

状態表示ランプ消灯モードを使用しないとき

◎有効:

状態表示ランプ消灯モードを使用して、電源ランプを減灯するとき [状態表示ランプ消灯モード移行時間] 欄に設定した時間(出荷時の設定: 30秒)が経過すると、電源ランプの明るさが暗くなります。同時に、電源以外のランプは、IP200PGを使用中でも消灯状態になります。

◎有効(完全消灯):

状態表示ランプ消灯モードを使用して、すべてのランプを消灯するとき [状態表示ランプ消灯モード移行時間] 欄に設定した時間(出荷時の設定: 30秒)が経過すると、すべてのランプが消灯状態になります。

④ 状態表示ランプ消灯モード

移行時間 …… [状態表示ランプ消灯モード] 欄を「有効」、「有効(完全消灯)」に設定したとき、状態表示ランプ消灯モードになるまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「0～3600」(秒)です。 (出荷時の設定: 30秒)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
個別番号: ①	00031
機種:	IP200PG
システム設定	
共通項目の設定: ②	本製品の設定 ※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。
表示部	
状態表示ランプ消灯モード: ③	有効
状態表示ランプ消灯モード移行時間: ④	30
送信動作	
送信禁止: ⑤	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
通話キーロック: ⑥	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチ通話キー: ⑦	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	
呼出種別: ⑧	全体
トークグループの所属: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

送信動作

- ⑤ 送信禁止 送信を禁止して、受信専用としてIP200PGを使用するときを設定します。
(出荷時の設定：無効)
※送信禁止中は、IP200PGに接続した外部機器やVOX機能による送信もできません。
- ⑥ 通話キーロック IP200PGの[通話]による送信を禁止したいときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
※通話キーロック中でも、IP200PGに接続した外部機器やVOX機能による送信はできます。
- ⑦ ワンタッチ通話キー IP200PGの[通話]を短く押しごときに送信と受信を切り替える機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、送信するときに、[通話]を押しつづける必要がなくなります。
※この機能は、IP200PGに接続した外部機器の[PTT]にも適用されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
個別番号: ①	00031
機種:	IP200PG
システム設定	
共通項目の設定: ②	本製品の設定 ※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。
表示部	
状態表示ランプ消灯モード: ③	有効
状態表示ランプ消灯モード移行時間: ④	30
送信動作	
送信禁止: ⑤	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
通話キーロック: ⑥	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチ通話キー: ⑦	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出先指定	
呼出種別: ⑧	全体
トークグループの所属: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

呼出先指定

- ⑧ 呼出種別 IP200PGから呼び出す特定の相手局(呼出種別)を設定します。
(出荷時の設定: 全体)
「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。
- ⑨ トークグループの所属 常時トークグループに所属するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 無効)
「有効」を選択した場合は、所属するトークグループ番号(00001～60000)を入力します。

トークグループの所属:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
トークグループ番号:	00001

※所属するトークグループを呼び出しの対象に指定する場合は、[呼出種別]で「トークグループ」を選択します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: ⑩ 10
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: ⑪ 10
機能設定	通信方式: ⑫ <input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
	優先呼出: ⑬ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	低優先度呼出の音声ミキシング: ⑭ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: ⑮ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: ⑯ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10

受信通知

⑩ 通知音量

着信時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。

設定できる範囲は、「0」～「16」です。

(出荷時の設定：10)

※「0」を設定した場合は、IP200PG側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。

※「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した内容で、着信時に通知音が鳴ります。

通知音(受信通知を除く)

⑪ 通知音量

送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベルを設定します。

設定できる範囲は、「0」～「16」です。

(出荷時の設定：10)

※「0」を設定した場合は、IP200PG側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。

※「設定グループ詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時などに通知音が鳴ります。

5 無線機コントローラ設定

「無線機設定」画面

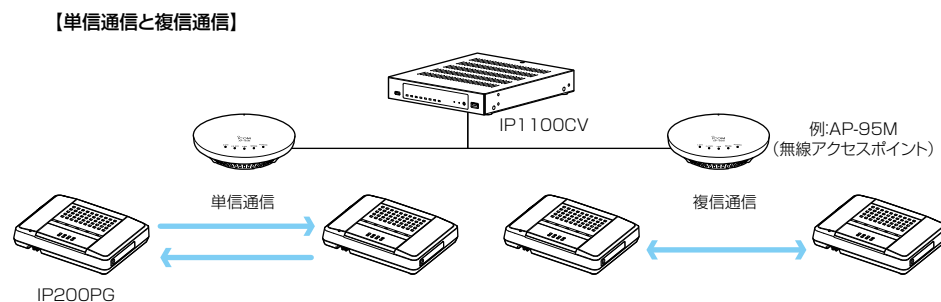
無線機コントローラ設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: ⑩ 10
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: ⑪ 10
機能設定	通信方式: ⑫ <input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
	優先呼出: ⑬ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	低優先度呼出の音声ミキシング: ⑭ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: ⑮ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: ⑯ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10

機能設定

- ⑫ 通信方式 IP200PGで使用する通信方式を設定します。(出荷時の設定: 複信通信)
- ◎ 単信通信:
送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。
 - ◎ 複信通信:
複信は電話のように同時通話できる方式です。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: 10 10
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: 11 10
機能設定	通信方式: 12 <input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信 優先呼出: 13 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 低優先度呼出の音声ミキシング: 14 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 15 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: 16 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 キー操作音量: 10

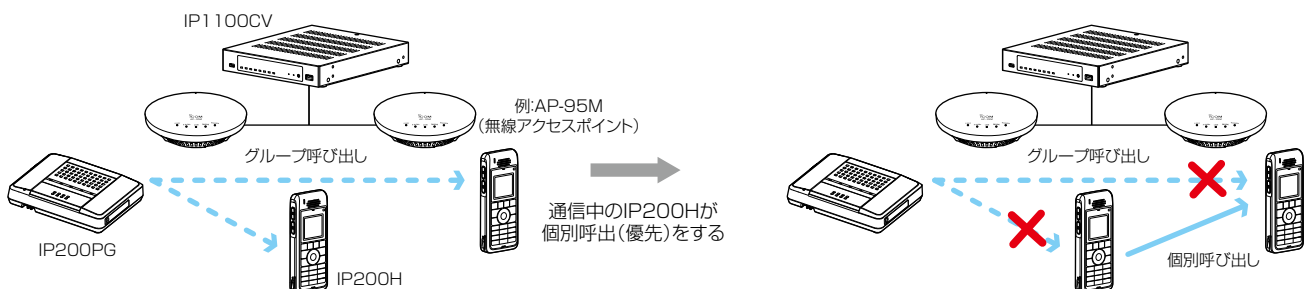
機能設定(つづき)

13 優先呼出 IP200PGに優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。
(出荷時の設定：無効)

呼出種別ごとの優先度は、下記ようになります。
 ※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番になります。
 ※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。
 ★「可変」は、「RoIP通信設定」画面の「通話優先順位」項目(P.5-8)で変更できます。

優先度	優先順位	呼出種別	優先呼出	備考
高 ↑ ↓ 低	固定	電話通信	—	電話通信
		緊急呼び出し(優先)	有効	—
		緊急呼び出し	無効	—
	可変★	全体呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		個別呼出(優先)	有効	IP100FS使用時も含む
		グループ呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		全体呼出	無効	近隣呼出も含む
		個別呼出	無効	—
		グループ呼出	無効	近隣呼出も含む

【通信中に相手局を変更した場合】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: 10 10
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: 11 10
機能設定	通信方式: 12 <input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
	優先呼出: 13 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	低優先度呼出の音声ミキシング: 14 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 15 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: 16 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10

機能設定(つづき)

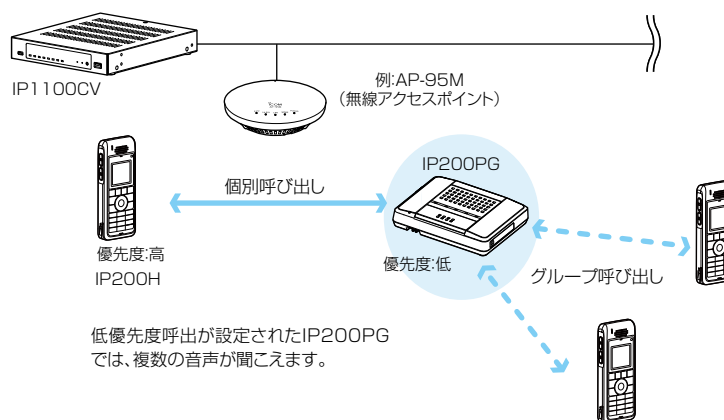
14 低優先度呼出の音声

ミキシング

通話中の相手局以外に、自局が所属する通話があれば、音声をミキシングして聞こえるようにできる機能です。(出荷時の設定：無効)
※優先度について詳しくは、5-169ページをご覧ください。

たとえば、グループ呼び出しで通話中に、ほかの相手局と個別呼び出しで通話するとき、本機能を使用しているIP200PGでは、個別呼び出しに加え、グループ呼び出しの音声もミキシングして聞こえます。

【低優先度呼出によるミキシング】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
受信通知	通知音量: <input type="text" value="10"/> 10
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: <input type="text" value="11"/> 10
機能設定	通信方式: <input type="radio" value="12"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
	優先呼出: <input checked="" type="radio" value="13"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	低優先度呼出の音声ミキシング: <input checked="" type="radio" value="14"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: <input type="radio" value="15"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: <input type="radio" value="16"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: <input type="text" value="10"/> 10

接続確認

- 15 接続確認** IP200PGから個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。 (出荷時の設定: 有効)
※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

キー操作音

- 16 キー操作音/キー操作音量** IP200PGのキーを操作したときの確認音を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
- ◎無効: 確認音が鳴りません。
 - ◎有効: 確認音が鳴ります。
- ※「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「16」の範囲で設定します。 (出荷時の設定: 10)
- ※「0」を設定した場合は、IP200PG側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
マイク	
マイクゲイン : 17	0
エコーキャンセラー : 18	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 19	12
エコーキャンセラー 音声遅延 : 20	0
ノイズキャンセラー : 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
同時通話音量制限 : 22	16
外部端子 電源出力 (1ピン)	電源出力 : 23 無効
外部端子 制御出力 (8ピン)	制御出力 : 24 無効
外部端子 制御入力 (4ピン)	機能 : 25 無効

マイク

- 17** **マイクゲイン** マイクロホンの感度を設定します。 (出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-12(低)」~「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音が小さい場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
- 18** **エコーキャンセラー** エコーキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
- 19** **エコーキャンセラー 入力ゲイン** エコーキャンセラーの入力ゲインを設定します。 (出荷時の設定：12)
設定できる範囲は、「-40 ~ 40」(dB)です。
- 20** **エコーキャンセラー 音声遅延** エコーキャンセラーの音声遅延を設定します。
設定できる範囲は、「0 ~ 160」(ミリ秒)です。 (出荷時の設定：0)
- 21** **ノイズキャンセラー** ノイズキャンセラー機能を設定します。
「有効」に設定すると、周囲の雑音が高減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。 (出荷時の設定：有効)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
マイク	
マイクゲイン : 17	0
エコーキャンセラー : 18	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 19	12
エコーキャンセラー 音声遅延 : 20	0
ノイズキャンセラー : 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
同時通話音量制限 : 22	16
外部端子 電源出力 (1ピン)	電源出力 : 23 無効
外部端子 制御出力 (8ピン)	制御出力 : 24 無効
外部端子 制御入力 (4ピン)	機能 : 25 無効

マイク(つづき)

- 22 同時通話音量制限 …………… 同時通話時の最大音量を設定します。 (出荷時の設定 : 16)
設定できる範囲は、「0」～「16」です。
IP200PG本体の音量が、この設定値以上になっている場合、[通話]を押すと、設定した音量に制限されます。
※「0」を設定した場合は、IP200PG側の音量設定に関わらず、音は鳴りません。

外部端子 電源出力 (1ピン)

- 23 電源出力 …………… 電源が必要なマイクロホンなどIP200PGに接続した外部機器への12V電源供給について設定します。 (出荷時の設定 : 無効)
- ◎常時有効 : 常時、50mAまで電源を供給します。
◎連動 : 動作条件有効時に、電源を供給にします。

電源出力 :	連動
無線呼出受信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
無線呼出送信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エマーゼンシー受信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エマーゼンシー送信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

◎他製品の設定 : 弊社製SIPサーバーやCS-IP200PGなど、本製品以外で割り当てられた設定で動作します。

※「無効」を設定した場合は、外部機器へ電源を供給しません。

※1ピン(DC 12V)を使用する場合は、2ピン(DET)を「Lレベル」(GNDに接続)にし、外部機器の接続検出状態にする必要があります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
マイク	
マイクゲイン : 17	0
エコーキャンセラー : 18	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 19	12
エコーキャンセラー 音声遅延 : 20	0
ノイズキャンセラー : 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
同時通話音量制限 : 22	16
外部端子 電源出力 (1ピン)	電源出力 : 23 無効
外部端子 制御出力 (8ピン)	制御出力 : 24 無効
外部端子 制御入力 (4ピン)	機能 : 25 無効

外部端子 制御出力 (8ピン)

24 制御出力

IP200PGに接続した外部機器のON/OFF制御について設定します。

(出荷時の設定：無効)

「常時有効」、「連動」を設定すると、外部機器へ制御信号を出力します。オープンコレクター出力(12V 50mA以下)で使用ください。

◎常時有効 : 常時、外部機器へ制御信号を出力します。

◎連動 : 動作条件有効時に、外部機器へ制御信号を出力します。

制御出力 :	連動
無線呼出受信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
無線呼出送信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エマージェンシー受信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エマージェンシー送信時 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

◎他製品の設定 : 弊社製SIPサーバーやCS-IP200PGなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

※「無効」を設定した場合は、外部機器へ制御信号を出力しません。

※8ピン(BUSY)を使用する場合は、2ピン(DET)を「Lレベル」(GNDに接続)にし、外部機器の接続検出状態にする必要があります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
マイク	
マイクゲイン : 17	0
エコーキャンセラー : 18	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 19	12
エコーキャンセラー 音声遅延 : 20	0
ノイズキャンセラー : 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
同時通話音量制限 : 22	16
外部端子 電源出力 (1ピン)	電源出力 : 23 無効
外部端子 制御出力 (8ピン)	制御出力 : 24 無効
外部端子 制御入力 (4ピン)	機能 : 25 無効

外部端子 制御入力 (4ピン)

25 機能

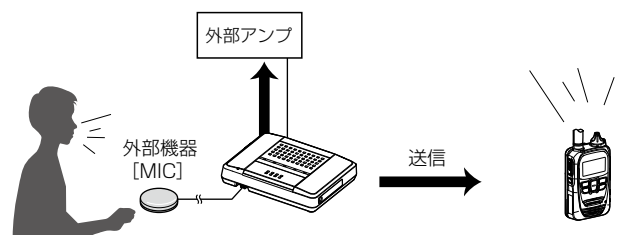
IP200PGに接続した外部機器の[PTT]を押したときの動作を設定します。
(出荷時の設定：無効)

- ◎**通話キー** : 呼出先指定で設定した相手局(呼出種別)を呼び出します。(P.5-166)
- ◎**エマージェンシー** : エマージェンシー設定で設定した相手局(呼出種別)へ緊急呼び出しをします。(P.5-181)
- ◎**音声ループバック** : 外部機器の[PTT]を押したとき、またはVOX機能(P.5-178)で設定した音声スレッシュ(しきい値レベル)を超えたとき、6ピン(MIC)から入力された音声を3ピン(AFOUT)に出力します。
※IP200PG側が「IP電話機」を含む動作モードのときは、使用できない機能です。
- ◎**他製品の設定** : 弊社製SIPサーバーやCS-IP200PGなど、本製品以外で割り当てられた設定で動作します。
※「無効」を設定した場合は、外部機器の[PTT]を押しても動作しません。

ご参考

音声ループバック設定時、[呼出先への音声送信]を「有効」にすると、音声ループバックと同時に呼び出しもできます。また、[音声受信]を有効にすると、待ち受け時に受信できます。※音声ループバック中は受信できません。

機能 :	音声ループバック
呼出先への音声送信 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
音声受信 :	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
外部端子 音声出力 (3ピン)	
音量 : 26	8
外部端子 音声入力 (6ピン)	
入力感度切替 : 27	<input type="radio"/> -40dBs (マイク入力) <input checked="" type="radio"/> -10dBs (ライン入力)
入力オフセットゲイン : 28	0
エコーキャンセラー : 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 30	12
エコーキャンセラー 音声遅延 : 31	0
ノイズキャンセラー : 32	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
同時通話音量制限 : 33	16
VOX : 34	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アタックタイム : 35	50
リリースタイム : 36	200
音声遅延 : 37	200
音声スレッシュ : 38	40

外部端子 音声出力 (3ピン)

- 26 音量 IP200PGに接続した外部機器の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「16」です。 (出荷時の設定：8)
※「0」を設定した場合は、外部機器側の音量設定に関わらず、音は鳴りません。

外部端子 音声入力 (6ピン)

- 27 入力感度切替 IP200PGに接続した外部機器の音声入力感度を、「-40dBs (マイク入力)」、「-10dBs (ライン入力)」(0dBs=0.775Vrms)から選択します。
(出荷時の設定：-10dBs (ライン入力))
※設定値は、接続する外部機器のオーディオ出力の信号レベルによりますが、目安として、マイクロホンを接続するときは「-40dBs (マイク入力)」、外部機器のライン出力を接続するときは「-10dBs (ライン入力)」を選択します。
※「-40dBs (マイク入力)」を選択した場合は、同時にマイク用電源が供給されます。

- 28 入力オフセットゲイン IP200PGに接続した外部機器から入力された信号の増幅度を設定します。設定できる範囲は、「-77～+12」(dB)です。 (出荷時の設定：0)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
外部端子 音声出力 (3ピン)	
音量 : 26	8
外部端子 音声入力 (6ピン)	
入力感度切替 : 27	<input type="radio"/> -40dBs (マイク入力) <input checked="" type="radio"/> -10dBs (ライン入力)
入力オフセットゲイン : 28	0
エコーキャンセラー : 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入力ゲイン : 30	12
エコーキャンセラー 音声遅延 : 31	0
ノイズキャンセラー : 32	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
同時通話音量制限 : 33	16
VOX : 34	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アタックタイム : 35	50
リリースタイム : 36	200
音声遅延 : 37	200
音声スレッシュ : 38	40

外部端子 音声入力 (6ピン)(つづき)

- 29 エコーキャンセラー 外部機器接続時に使用するエコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、IP200PGに接続した外部機器で同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
- 30 エコーキャンセラー
入力ゲイン 外部機器接続時に使用するエコーキャンセラーの入力ゲインを設定します。
設定できる範囲は、「-40～40」(dB)です。(出荷時の設定：0)
- 31 エコーキャンセラー
音声遅延 外部機器接続時に使用するエコーキャンセラーの音声遅延を設定します。
設定できる範囲は、「0～160」(ミリ秒)です。(出荷時の設定：0)
- 32 ノイズキャンセラー 外部機器接続時に使用するノイズキャンセラー機能を設定します。
「有効」に設定すると、周囲の雑音が低減され、通話相手はこちらの音声を聞きやすくなります。
(出荷時の設定：無効)
- 33 同時通話音量制限 同時通話時の最大音量を設定します。(出荷時の設定：16)
設定できる範囲は、「0」～「16」です。
外部機器の音量が、この設定値以上になっている場合、「通話」を押すと、設定した音量に制限されます。
※「0」を設定した場合は、外部機器側の音量設定に関わらず、音は鳴りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
外部端子 音声出力 (3ピン)	
音量 : 26	8
外部端子 音声入力 (6ピン)	
入力感度切替 : 27	<input type="radio"/> -40dBs (マイク入力) <input checked="" type="radio"/> -10dBs (ライン入力)
入カオフセットゲイン : 28	0
エコーキャンセラー : 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー 入カゲイン : 30	12
エコーキャンセラー 音声遅延 : 31	0
ノイズキャンセラー : 32	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
同時通話音量制限 : 33	16
VOX : 34	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アタックタイム : 35	50
リリースタイム : 36	200
音声遅延 : 37	200
音声スレッシュ : 38	40

外部端子 音声入力(6ピン)(つづき)

- 34 VOX** IP200PGに接続した外部機器を使用して、音声によって送受信を自動的に切り替えるときに設定します。(出荷時の設定：無効)
※VOX機能による送信時は、IP200PG本体のマイク入力は無効になります。
※「有効」を選択すると、「アタックタイム」欄～「音声スレッシュ」欄が表示されます。
- 35 アタックタイム** IP200PGに接続した外部機器から音声信号が入力されたことを検知する時間を設定します。(出荷時の設定：50)
検知後、送信を開始します。
設定できる範囲は、「5～2000」(5ミリ秒刻み)です。
- 36 リリースタイム** IP200PGに接続した外部機器から入力されている音声が増減したと判断する時間を設定します。(出荷時の設定：200)
検知後、送信を停止します。
設定できる範囲は、「5～2000」(5ミリ秒刻み)です。
- 37 音声遅延** VOX送信による頭切れを防止するために、音声を遅延させる時間を設定します。(出荷時の設定：200)
設定できる範囲は、「0～500」(5ミリ秒刻み)です。
- 38 音声スレッシュ** IP200PGに接続した外部機器から音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベルを設定します。(出荷時の設定：40)
設定できる範囲は、「0～100」(%)です。
※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
通話キー	通話キー : 39 無効
音声出力先	音声出力先 : 40 内蔵スピーカー
エマージェンシー設定	エマージェンシー : 41 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作判定時間 : 42 5
	解除判定 : 43 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除判定時間 : 2
	警告表示 : 44 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	警告音量 : 45 16
	呼出種別 : 46 全体
	応答後の解除 : 47 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	自動解除 : 48 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	自動解除時間 : 60
エマージェンシー着信設定	警告音 : 49 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	警告音量 : 16

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-180)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の項目は表示されません。

通話キー

- 39 通話キー IP200PGの[通話]を押したときの動作を設定します。
(出荷時の設定：無効)
- ◎無線呼出 : 呼出先指定で設定した相手局(呼出種別)を呼び出します。
(P.5-166)
- ◎他製品の設定 : 弊社製SIPサーバーやCS-IP200PGなど、本製品以外で
割り当てられた設定で動作します。
- ※「無効」を設定した場合は、IP200PGの[通話]を押しても動作しません。
※音声ループバック設定時(P.5-175)は、「無効」になります。

音声出力先

- 40 音声出力先 IP200PGの音声出力先を、「内蔵スピーカー」、「外部端子」、「両方」から設定
します。
(出荷時の設定：内蔵スピーカー)
- ※音声ループバック設定時(P.5-175)は、「外部端子」になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
通話キー	通話キー: 39 無効
音声出力先	音声出力先: 40 内蔵スピーカー
エマージェンシー設定	エマージェンシー: 41 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作判定時間: 42 5
	解除判定: 43 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除判定時間: 2
	警告表示: 44 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	警告音量: 45 16
	呼出種別: 46 全体
	応答後の解除: 47 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	自動解除: 48 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	自動解除時間: 60
エマージェンシー着信設定	警告音: 49 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	警告音量: 16

※[エマージェンシー]欄を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の項目は表示されません。

エマージェンシー設定

- 41 エマージェンシー 迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに使用する機能です。 (出荷時の設定：無効)
※外部端子 制御入力の[外部入力端子]欄(P.5-175)を「エマージェンシー」に設定している場合に使用できます。
※IP200PGの送信/受信ランプが赤色で点灯するまで、IP200PGに接続した外部機器の[PTT]を長く(5秒以上★)押しと、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。相手から応答があったとき、または[PTT]を長く(5秒以上★)押したときに、緊急呼び出しが解除されます。
★緊急呼び出し動作までの時間は[動作判定時間]欄、解除までの時間は[解除判定]欄で変更できます。
- 42 動作判定時間 IP200PGに接続した外部機器の[PTT]を長く押しと、緊急呼び出しが動作するまでの時間を、「1～10」(秒)の範囲で設定します。(出荷時の設定：5)
- 43 解除判定/解除判定時間 IP200PGに接続した外部機器の[PTT]を長く押しと、緊急呼び出しが解除されます。 (出荷時の設定：無効)
「有効」を選択したときは、解除判定時間を「1～10」(秒)の範囲で設定します。
- 44 警告表示 緊急呼び出し時に警告音(ピロピロ…)を鳴らしたり、表示を切り替えたりするかどうかを設定します。 (出荷時の設定：有効)
※「無効」に設定した場合、警告音は鳴らず、IP200PGの送信/受信ランプが赤色で点灯します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
通話キー	通話キー : 39 無効
音声出力先	音声出力先 : 40 内蔵スピーカー
エマージェンシー設定	エマージェンシー : 41 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作判定時間 : 42 5
	解除判定 : 43 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除判定時間 : 2
	警告表示 : 44 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	警告音量 : 45 16
	呼出種別 : 46 全体
	応答後の解除 : 47 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	自動解除 : 48 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	自動解除時間 : 60
エマージェンシー着信設定	警告音 : 49 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	警告音量 : 16

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-180)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の項目は表示されません。

エマージェンシー設定(つづき)

- 45 警告音量 緊急呼び出し時の警告音量を、「0～16」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：16)
- 46 呼出種別 緊急呼び出しを通知する相手を選択します。 (出荷時の設定：全体)
※「個別」、または「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。
- 47 応答後の解除 緊急呼び出しを受信した相手が応答した場合、緊急呼び出しを解除するかどうかを設定します。 (出荷時の設定：有効)
- 48 自動解除/自動解除時間 緊急呼び出しが自動的に解除されるまでの時間を設定します。
(出荷時の設定：無効)
※解除時間は、「1～255」(秒)の範囲で設定します。 (出荷時の設定：60)

エマージェンシー着信設定

- 49 警告音/警告音量 緊急呼び出しを受信すると、警告音(ピロピロ…)が鳴動します。
(出荷時の設定：有効)
「有効」を設定するときは、警告音量を「0～16」の範囲で指定します。
(出荷時の設定：16)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：54 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：54 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-183)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定

50 音声Codec

通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726」から選択します。
※設定変更後、一時的にIP200PGとの接続が切れます。再接続後、IP200PGを再起動して設定を反映してください。(出荷時の設定：G.726)

◎G.726：

音声の圧縮に利用される音声コーデックです。使用するときには、ビットレートを、「16kbps(2bit)」、「24kbps(3bit)」、「32kbps(4bit)」、「40kbps(5bit)」から設定します。(出荷時の設定：32kbps(4bit))

◎G.711u：

音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ないという特長があります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：54 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：54 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

- 50 ジッターバッファ種別 …… パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
- ◎スタティック：
音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
- ◎ダイナミック：
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。
- 52 ジッターバッファサイズ …… IP200PGが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声途切れやすくなります。
(出荷時の設定：40)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 TOS</p> <p>メディア (RTP) 優先度：54 7</p> <p>メディア (RTP) サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 Diffserv</p> <p>メディア (RTP) DSCP：54 56</p> <p>メディア(RTP) 16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-183)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

- 53 TOS種別 IP200PGのTOS機能について設定します。 (出荷時の設定：TOS)
- ◎使用しない：
TOS機能を使用しません。
- ◎TOS：
TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
- ◎Diffserv：
Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIPパケットをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 使用しない</p>
TOS種別：TOS	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 TOS</p> <p>メディア(RTP)優先度：54 7</p> <p>メディア(RTP)サービスタイプ：0</p> <p>メディア(RTP)16進表示：E0</p>
TOS種別：Diffserv	<p>V/RoIP設定</p> <p>音声Codec：50 G.726</p> <p>G.726ビットレート：32kbps(4bit)</p> <p>ジッターバッファ種別：51 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック</p> <p>ジッターバッファサイズ：52 40</p> <p>TOS種別：53 Diffserv</p> <p>メディア(RTP)DSCP：54 56</p> <p>メディア(RTP)16進表示：E0</p>

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-183)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

54 メディア(RTP) ……………

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

※ [TOS種別]欄(P.5-184)で「使用しない」を選択したときは表示されない項目です。

TOS種別：TOS

◎優先度：

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ：

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS種別：Diffserv

◎DSCP：

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

※ [TOS種別]欄で「Diffserv」を選択したときに、表示される項目です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 55 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 56
	保守サーバー以外からの再起動: 57 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 58
	起動時のファームウェア自動更新: 59 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 60
	SYSLOGホストアドレス: 61
	SYSLOG送信レベル: 62 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 63
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 64 <input type="checkbox"/> 設定

IPアドレス設定

55 設定方法

IP200PGのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定: 他製品の設定)

◎他製品の設定:

導入時は、CS-IP200PGで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント:

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

◎固定IP:

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	_____
サブネットマスク:	_____
デフォルトゲートウェイ:	_____
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 55 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 56
	保守サーバー以外からの再起動: 57 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 58
	起動時のファームウェア自動更新: 59 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 60
	SYSLOGホストアドレス: 61
	SYSLOG送信レベル: 62 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 63
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 64 <input type="checkbox"/> 設定

保守設定

- 56 保守サーバー IP200PGの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 57 保守サーバー以外からの再起動 [保守サーバー]欄で指定した機器以外から、IP200PGを再起動させるかどうかを設定します。 (出荷時の設定: 無効)
※2024年12月現在、対応機種はAP-9500、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。
- 58 SNTPサーバー IP200PGのSNTPサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品をSNTPサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法 : 55 他製品の設定
保守設定	保守サーバー : 56
	保守サーバー以外からの再起動 : 57 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー : 58
	起動時のファームウェア自動更新 : 59 有効(自動再起動無し)
	ファームアップサーバー : 60
	SYSLOGホストアドレス : 61
	SYSLOG送信レベル : 62 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード : 63
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化 : 64 <input type="checkbox"/> 設定

保守設定(つづき)

59 起動時のファームウェア

自動更新 本製品からIP200PGのファームウェアを自動更新するための設定です。
(出荷時の設定 : 有効(自動再起動無し))

◎無効 :

本製品によるIP200PGのファームウェア自動更新を無効にします。

◎有効(自動再起動無し) :

IP200PGの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200PGはファームウェアを取得します。

IP200PGの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。

◎有効(自動再起動有り) :

IP200PGの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP200PGはファームウェアの更新を開始します。

更新が完了すると、自動的にIP200PGが再起動します。

※本製品に内蔵しているIP200PGのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

60 ファームアップサーバー

IP200PGのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。

入力は、半角英数字で63文字までです。

※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 55 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 56
	保守サーバー以外からの再起動: 57 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 58
	起動時のファームウェア自動更新: 59 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 60
	SYSLOGホストアドレス: 61
	SYSLOG送信レベル: 62 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 63
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 64 <input type="checkbox"/> 設定

保守設定(つづき)

61 SYSLOGホストアドレス …………… IP200PGのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

62 SYSLOG送信レベル …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

セキュリティ設定

63 アクセスパスワード …………… CS-IP200PG★から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
★CS-IP200PGは、IP200PGの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。弊社ホームページからダウンロードできます。

プロビジョニング設定

64 プロビジョニング時の初期化 …… プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。(出荷時の設定: 設定)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定

EAP認証プリセット設定

番号	名前 ⁶⁵	認証方式 ⁶⁶	ユーザー名 ⁶⁷	パスワード ⁶⁸	外部認証ユーザー名 ⁶⁹	クライアント証明書 ⁷⁰	
1		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
2		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
3		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
4		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
5		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
6		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
7		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
8		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
9		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
10		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除

⁷² 登録
⁷³ 取消

EAP認証プリセット設定

本製品に登録したIP200PGで使用するEAP認証プリセット設定を10件登録できます。

- 65

名前

任意の名称を、31文字以内で入力します。
- 66

認証方式

使用する認証サーバーの認証方式を設定します。(出荷時の設定：EAP-TLS)
本製品は、「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」、「EAP-TLS」に対応しています。
- 67

ユーザー名

EAP認証で使用するユーザー名を半角63文字以内で入力します。
※Windows Active Directoryを認証に利用する場合は、「NTドメイン名\アカウント名」の形式で入力してください。
- 68

パスワード

「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用するとき、半角63文字以内で入力します。
- 69

外部認証ユーザー名

「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用し、外部認証と内部認証で異なるユーザー名を使用する場合にだけ設定します。
半角63文字以内で入力します。
※設定しないときは、[ユーザー名]の設定内容が外部認証と内部認証に使用されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP200PG]

無線機個別設定						
EAP認証プリセット設定						
番号	名前 ⁶⁵	認証方式 ⁶⁶	ユーザー名 ⁶⁷	パスワード ⁶⁸	外部認証ユーザー名 ⁶⁹	クライアント証明書 ⁷⁰
1		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
2		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
3		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
4		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
5		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
6		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
7		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
8		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
9		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼
10		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼

72 登録 73 取消

EAP認証プリセット設定(つづき)

70 クライアント証明書

[EAP-TLS]認証方式を使用するとき、クライアント証明書を選択します。
※証明書ファイルは、[証明書管理]項目(P.5-192)で登録します。

71 <削除>

登録したEAP認証プリセットを削除するとき、<削除>をクリックします。

72 <登録>

[無線機個別設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[無線機個別設定一覧]項目に表示されます。

73 <取消>

[無線機個別設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 証明書管理 [IP200PG]

EAP認証で使用する証明書(ルート証明書/クライアント証明書)を4件登録できます。

※ [無線機個別設定]項目でIP200PGを選択したとき、表示される項目です。

番号	ファイル形式 ①	名前 ②	証明書ファイル ③	パスワード ④	⑤	⑥
証明書情報						
1	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
2	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
3	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
4	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						

- ① **ファイル形式** 証明書の形式を指定します。 (出荷時の設定：PKCS12)
本製品は、下記の形式に対応しています。
◎PKCS12 : 「ルート証明書」+「クライアント証明書」
◎PEM(ルート証明書のみ) : 「ルート証明書」
- ② **名前** 任意の名称を、31文字以内英数字で入力します。
- ③ **証明書ファイル** <ファイルの選択>をクリックして、証明書ファイルの保存先を選択します。
- ④ **パスワード** 「PKCS12」のファイル形式を使用するとき設定します。
半角127文字以内で入力します。
- ⑤ **<登録>** クリックして、指定した証明書ファイルを登録します。
※すでに登録されている内容は、新規登録に上書きされます。
- ⑥ **<削除>** 登録した証明書を削除するとき、<削除>をクリックします。

ご参考に

「PEAP(MSCHAPv2)」、 「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式は、2つのフェーズを持ちます。

phase1は外部認証、phase2は内部認証とも呼ばれます。

◎phase1(外部認証) : 外部認証ユーザー名に基づく認証のあと、暗号化されたトンネルを作る

◎phase2(内部認証) : 暗号化されたトンネルの中で、内部認証ユーザー名+パスワードをやり取りして認証する

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

登録されたIP210Hごとに、機能の割り当てや通知音などを設定します。

※設定変更後は、IP210Hの再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

無線機個別設定	
	個別番号: ① 00020 (営業2) ▼
	機種: IP210H
システム設定	共通項目の設定: ② 本製品の設定 ▼ <small>※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。</small>
表示部	表示項目: ③ <input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前
	バックライト: ④ 操作時点灯 ▼
	バックライト輝度: ⑤ <input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい
	エマージェンシー着信: ⑥ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	無線受信: ⑦ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
送信動作	コントラスト: ⑧ 8 ▼
	送信禁止: ⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	PTTロック: ⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	ワンタッチPTT: ⑪ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ① 個別番号/機種 設定内容を編集するIP210Hの個別番号(名前)を選択します。
※「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、機種を「IP100FS」に設定した個別番号は表示されません。

システム設定

- ② 共通項目の設定 共通項目の設定について選択します。 (出荷時の設定: 本製品の設定)
「他製品の設定」を選択した場合は、IP電話機と共通する項目は非表示になります。
設定を変更すると、IP電話機を含む、すべての設定を再取得します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
個別番号	① 00020 (営業2) ▼
機種	IP210H
システム設定	共通項目の設定: ② 本製品の設定 ▼ <small>※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。</small>
表示部	表示項目: ③ <input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前 バックライト: ④ 操作時点灯 ▼ バックライト輝度: ⑤ <input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい エマージェンシー着信: ⑥ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 無線受信: ⑦ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 コントラスト: ⑧ 8 ▼
送信動作	送信禁止: ⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 PTTロック: ⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 ワンタッチPTT: ⑪ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

表示部

- ③ 表示項目 IP210Hの待受画面に日付を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。 (出荷時の設定：日付)
★「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、名前が登録されていない場合は、空白になります。
- ④ バックライト IP210H使用時のバックライト機能を設定します。 (出荷時の設定：操作時点灯)
◎常時消灯 : バックライトが点灯しません。
◎常時点灯 : 常にバックライトが点灯します。
◎操作時点灯 : 操作するとバックライトが点灯し、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に消灯します。
- ⑤ バックライト輝度 IP210Hの表示部と、各キーのバックライトの明るさを「暗い」、「明るい」から設定します。 (出荷時の設定：明るい)
- ⑥ エマージェンシー着信 緊急呼び出し(エマージェンシー)受信時、IP210Hのバックライトを赤点減させて通知する機能です。 (出荷時の設定：無効)
- ⑦ 無線受信 受信時、IP210Hのバックライトを緑点減させて通知する機能です。 (出荷時の設定：無効)
- ⑧ コントラスト IP210Hの画面表示について、濃度を設定します。 (出荷時の設定：8)
設定できる範囲は、1(薄い)～16(濃い)です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
個別番号	① 00020 (営業2) ▼
機種	IP210H
システム設定	共通項目の設定: ② 本製品の設定 ▼ <small>※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。</small>
表示部	表示項目: ③ <input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前 バックライト: ④ 操作時点灯 ▼ バックライト輝度: ⑤ <input type="radio"/> 暗い <input checked="" type="radio"/> 明るい エマージェンシー着信: ⑥ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 無線受信: ⑦ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 コントラスト: ⑧ 8 ▼
送信動作	送信禁止: ⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 PTTロック: ⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 ワンタッチPTT: ⑪ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

送信動作

- ⑨ 送信禁止 送信を禁止して、受信専用としてIP210Hを使用するときを設定します。
(出荷時の設定：無効)
※送信禁止中は、別売品マイクロホンのPTTスイッチやVOX機能による送信もできません。
- ⑩ PTTロック IP210Hの[PTT]による送信を禁止したいときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
※PTTロック中は、別売品マイクロホンのスイッチやVOX機能による送信ができません。
- ⑪ ワンタッチPTT IP210Hの[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、送信するときに、[PTT]を押しつづける必要がなくなります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

呼出先指定

12 待受画面での呼出

IP210Hが待受画面のときに、呼び出す相手局(呼出種別)を表示するかしな
いかを設定します。(出荷時の設定: 有効)

◎**有効**: 待受画面に、相手局(呼出種別)を表示します。

IP210Hの[PTT]を押すと、待受画面に表示された相手局(呼出種
別)を呼び出します。

◎**無効**: 待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

※キー操作による相手局(呼出種別)選択時は表示されます。

※「設定グループ」→「設定グループ詳細」画面にある相手局の表示切
替は、無効になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

呼出先指定(つづき)

13 アドレス帳からの呼出 ……………

IP210Hでアドレス帳を使用するかどうか設定します。(出荷時の設定:無効)

◎有効:

IP210Hの[アドレス帳]を押すと、呼出種別が表示されます。

[アドレス帳先頭番号]欄で、はじめに表示する相手局(呼出種別)を「全体」、または「アドレス帳」の番号(1~500)で指定します。

※[待受画面での呼出]欄(P.5-196)が「有効」、かつ「設定グループ詳細」画面の[相手局の表示切替]欄(P.5-303)が「無効」の場合は、[アドレス帳先頭番号]欄で設定した相手局が、待受画面に表示されます。

[起動時のトークグループ指定]欄(P.5-198)が「有効」の場合、[アドレス帳番号]欄で設定したトークグループが優先して表示されます。

※「設定グループ」メニューで登録されたアドレス帳を使用します。

※[全体呼出の表示]欄(P.5-198)で「無効」を設定すると、アドレス帳から全体呼び出しが選択できなくなります。

◎無効:

[アドレス帳]を押しても、呼出種別は下図の[呼出種別]で設定された内容から切り替わりません。

※[呼出種別]欄で、IP210Hから呼び出す特定の相手局(呼出種別)を指定できます。

「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001~60000)を入力します。

※着信時、IP210Hの画面には、アドレス帳に登録されている名前が表示されます。

アドレス帳からの呼出:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出種別:	全体

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

※[アドレス帳からの呼出]欄(P.5-197)を「無効」にした場合、[全体呼出の表示]欄、[起動時のトークグループ指定]欄は表示されません。

呼出先指定(つづき)

- 14 全体呼出の表示 アドレス帳からの全体呼び出しについて設定します。(出荷時の設定: 無効)
◎有効: アドレス帳で全体呼び出しを選択できます。
◎無効: アドレス帳に全体呼び出しが表示されません。
- 15 起動時のトークグループ指定 ... 指定したトークグループを選択した状態で起動します。(出荷時の設定: 無効)
◎有効: [アドレス帳番号]欄で指定したトークグループを選択した状態でIP210Hを起動します。

起動時のトークグループ指定:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳番号:	13 (TG1)

◎無効: トークグループを指定しないでIP210Hを起動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。	
アドレス帳からの呼出: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体
全体呼出の表示: 14	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定: 15	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
受信通知	
通知音量: 16	10
通知動作: 17	通知音
通知音(受信通知を除く)	
通知音量: 18	10

受信通知

16 通知音量 着信時やメッセージ受信時に鳴る通知音の音量レベルを設定します。設定できる範囲は、「0」～「32」です。(出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP210H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した内容で、着信時やメッセージ受信時に通知音が鳴ります。

17 通知動作 着信時やメッセージ受信時の通知動作を設定します。(出荷時の設定：通知音)
◎通知音：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音でお知らせします。
◎バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、音を鳴らさずに振動だけでお知らせします。
◎通知音+バイブレーション：
着信時やメッセージ受信時、「設定グループ詳細」画面の[受信通知音]欄で設定した通知音と振動でお知らせします

通知音(受信通知を除く)

18 通知音量 送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベルを設定します。設定できる範囲は、「0」～「32」です。(出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP210H側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時などに通知音が鳴ります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定

19 通信方式 IP210Hで使用する通信方式を設定します。 (出荷時の設定: 複信通信)

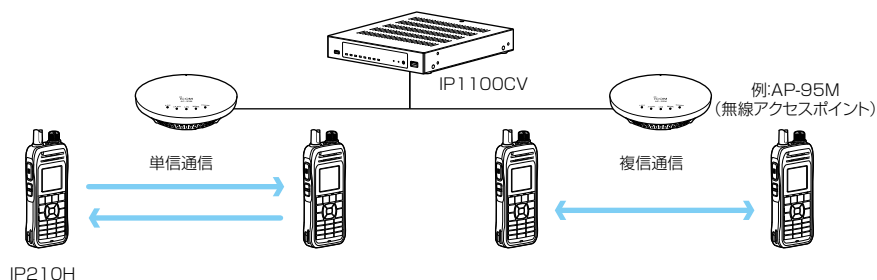
○単信通信:

送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。

◎複信通信:

複信は電話のように同時通話できる方式です。

【単信通信と複信通信】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 19 単信通信 複信通信

優先呼出: 20 無効 有効

近隣呼出: 21 無効 有効

メッセージ: 22 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 23 無効 有効

遠隔送信 (着信): 24 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): 25 無効 有効

個別番号 (着信): 26 00001

低優先度呼出の音声ミキシング: 27 無効 有効

Bluetooth: 28 無効 有効

Bluetooth 自動接続: 29 無効 有効

録音: 30 無効 有効

機能設定(つづき)

20 優先呼出

IP210Hに優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。
(出荷時の設定：無効)

呼出種別ごとの優先度は、下記ようになります。

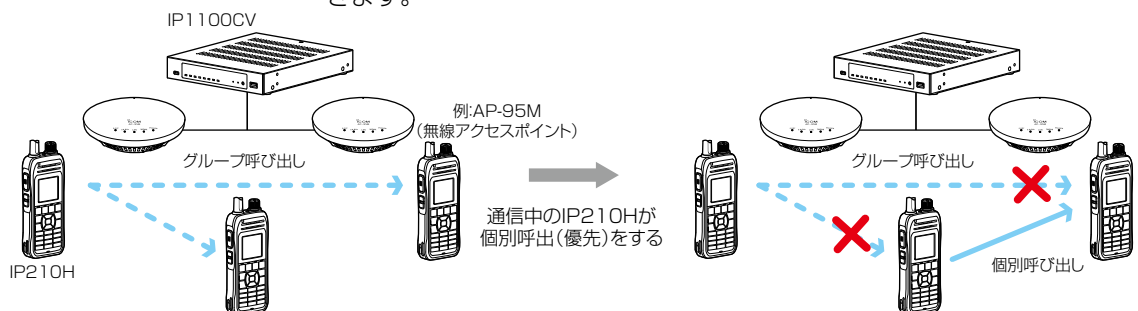
優先度	優先順位	呼出種別	優先呼出	備考	
高 ↑ ↓ 低	固定	電話通信	—	電話通信	
		緊急呼び出し(優先)	有効	—	
		緊急呼び出し	無効	—	
	可変★	全体呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む	
		個別呼出(優先)	有効	IP100FS使用時も含む	
		グループ呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む	
		全体呼出	無効	近隣呼出も含む	
		個別呼出	無効	—	
			グループ呼出	無効	近隣呼出も含む

※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番になります。

※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。

★「可変」は、「RoIP通信設定」画面の「通話優先順位」項目(P.5-8)で変更できます。

【通信中に相手局を変更した場合】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 19 単信通信 複信通信

優先呼出: 20 無効 有効

近隣呼出: 21 無効 有効

メッセージ: 22 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 23 無効 有効

遠隔送信 (着信): 24 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): 25 無効 有効

個別番号 (着信): 26 00001

低優先度呼出の音声ミキシング: 27 無効 有効

Bluetooth: 28 無効 有効

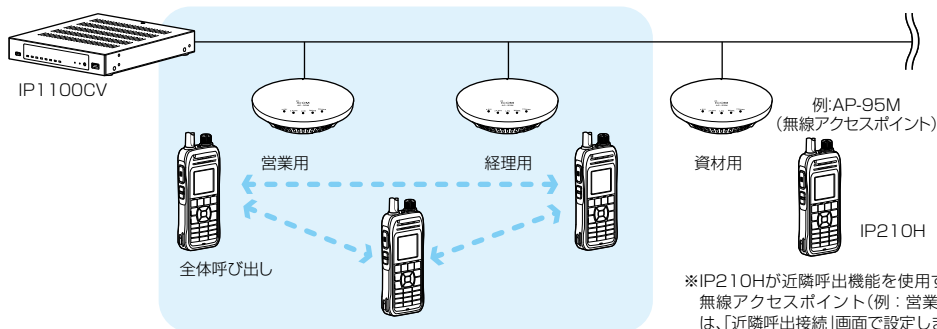
Bluetooth 自動接続: 29 無効 有効

録音: 30 無効 有効

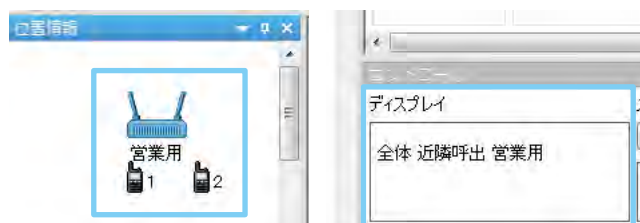
機能設定(つづき)

- 21 近隣呼出 特定のエリアに限定して運用をするときに使用する設定です。
 (出荷時の設定: 無効)
- 「有効」に設定して、IP210H側で近隣呼出機能を「ON」にしている状態で全体/グループ呼び出しをすると、IP210Hが接続している無線アクセスポイントと同一エリア内のWLAN無線機を呼び出します。

【IP210Hから近隣呼出機能で全体呼び出しをした場合】



【IP100FSから近隣呼出機能で呼び出す場合】



※IP100FSから近隣呼出機能を使用する場合は、指定した無線アクセスポイント(例: 営業用)と同一エリア内にある無線アクセスポイント(例: 経理用)に接続しているIP210Hを呼び出せます。

※位置情報で無線アクセスポイントを選択すると、呼出種別(個別/グループ/全体/近隣/電話)と表示名をディスプレイに表示します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

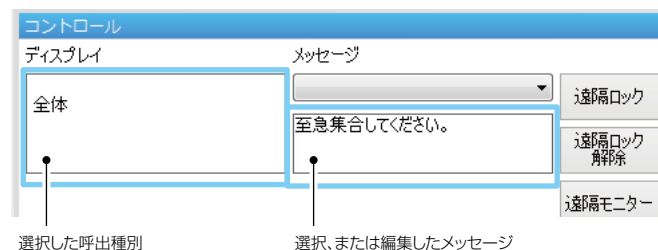
② メッセージ/メッセージ先頭番号

IP210Hでメッセージを送信するときに設定します。(出荷時の設定: 無効)「有効」を設定すると、IP210Hのメニュー画面からメッセージを選択できます。

※IP210Hから送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「設定グループ」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。

※はじめに表示するメッセージを、[メッセージ先頭番号]欄で指定します。

【IP100FSからメッセージを送信する場合】



※IP100FSでは、最大100件の定型メッセージをサイトごとに登録できます。登録したメッセージを選択、またはメッセージを編集して送信できます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 19 単信通信 複信通信

優先呼出: 20 無効 有効

近隣呼出: 21 無効 有効

メッセージ: 22 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 23 無効 有効

遠隔送信 (着信): 24 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): 25 無効 有効

個別番号 (着信): 26 00001

低優先度呼出の音声ミキシング: 27 無効 有効

Bluetooth: 28 無効 有効

Bluetooth 自動接続: 29 無効 有効

録音: 30 無効 有効

機能設定(つづき)

23 プレゼンス

IP210Hからステータス情報(例: 会議中)を送信するときに設定します。

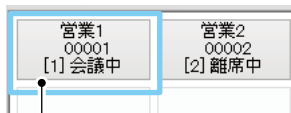
(出荷時の設定: 無効)

※IP210Hから送信する半角32(全角16)文字以内のステータス情報は、「設定グループ」メニューの「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。

※「有効」を設定すると、IP210Hのメニュー画面からプレゼンスを選択できます。

※IP210Hから送信されたステータス情報は、IP100FSのワンタッチボタン画面や本製品の「無線機管理」画面で確認できます。

【IP100FSでプレゼンスを確認する場合】



名前、個別番号、番号(本製品で登録されたステータス番号)、ステータス情報

【本製品でプレゼンスを確認する場合】

無線機管理

<input type="checkbox"/>	すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	IP210H	営業1	00001	接続中	192.168.0.201	会議中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	
<input type="checkbox"/>	2	IP210H	営業2	00002	接続中	192.168.0.200	離席中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	
<input type="checkbox"/>	3	IP210H	営業3	00003	接続中	192.168.0.99	作業中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	

ステータス情報

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信(着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号(着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号(着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [遠隔送信番号(着信)]欄を「無効」にした場合、[個別番号(着信)]欄は表示されません。

機能設定(つづき)

- 24 遠隔送信(着信) IP100FSから遠隔送信を要求されたときに、相手先へ自動送信するかどうかを設定します。(出荷時の設定: 有効)
※自動送信時、音声入力に使用する機器は「エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定」の[マイク入力選択](P.5-215)で選択します。
- 25 遠隔送信番号(着信) IP100FSからの遠隔送信要求だけを受け付けるかどうかを設定します。(出荷時の設定: 無効)
- 26 個別番号(着信) [遠隔送信番号(着信)]有効時、遠隔送信要求を受け付けるIP100FSの個別番号(00001 ~ 60000)を入力します。(出荷時の設定: 00001)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定(つづき)

27 低優先度呼出の音声

ミキシング

通話中の相手局以外に、自局が所属する通話があれば、音声をミキシングして聞こえるようにできる機能です。 (出荷時の設定: 無効)

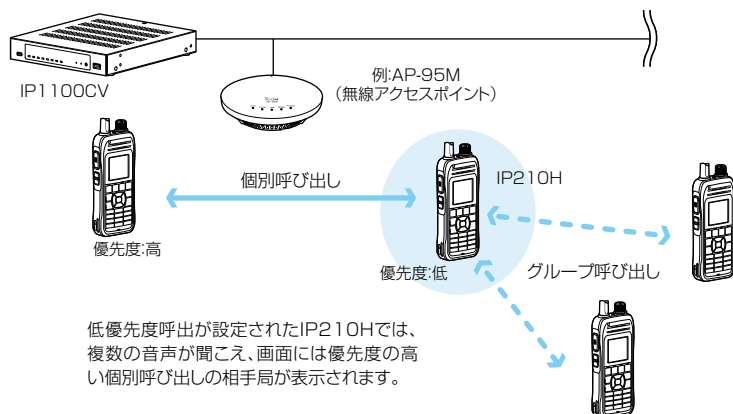
※複数の通話をミキシングしている場合は、IP210Hの画面には、最も高い優先度の通話が表示されます。

優先度について詳しくは、5-201ページをご覧ください。

たとえば、グループ呼び出しで通話中に、ほかの相手局と個別呼び出しで通話するとき、本機能を使用しているIP210Hでは、個別呼び出しに加え、グループ呼び出しの音声もミキシングして聞こえます。

この場合、IP210Hの画面には、優先度の高い個別呼び出しの相手局が表示されます。

【低優先度呼出によるミキシング】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式: 19	<input type="radio"/> 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出: 20	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
近隣呼出: 21	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
メッセージ: 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス: 23	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
遠隔送信 (着信): 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
遠隔送信番号 (着信): 25	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号 (着信): 26	00001
低優先度呼出の音声ミキシング: 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Bluetooth: 28	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Bluetooth 自動接続: 29	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音: 30	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [Bluetooth] 欄を「無効」にした場合、Bluetooth機能関連の設定は表示されません。

機能設定(つづき)

- 28 Bluetooth IP210HとBluetooth機能対応機器を接続するときに設定します。
(出荷時の設定: 無効)
- 29 Bluetooth自動接続 Bluetooth機能有効時、ペアリング済みの機器と自動接続するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)
- 30 録音 IP210Hで受信した内容を録音するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 無効)

「有効」に設定すると、IP210Hのメニュー画面から、録音モードをON/OFFできるようになります。

録音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
録音対象:	個別呼出

※録音の対象を個別呼出だけにするか、すべての呼び出しにするかどうかを設定します。

※1件あたり最大4分まで録音できます。

※保存された録音が10件を超える、または録音の合計が4分を超えると、古いものから自動的に消去されます。

※通信方式(P.5-200)が複信通信の場合は受信側の音声だけ録音されますが、単信通信の場合は送信側の音声も録音されます。

※録音データは、取り出せません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出 31 無効
キー割当	プログラマブルキー(P1) 32 無効
	プログラマブルキー(P2): 無効
	プログラマブルキー(P3): 無効
	プログラマブルキー(P4): 無効
	緊急キー(プログラマブル): エマージェンシー
	サイドキー(サイド1): 無効
	サイドキー(サイド2): 無効
キーロック設定	解除時のパスワード入力 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除用パスワード: 0000
	パスワード入力失敗回数: 制限なし
	オートキーロック 34 無効
	起動時のキーロック 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

固定呼出

31 固定呼出

IP210Hの画面に表示されている相手ではなく、特定の操作で、あらかじめ指定した別の相手先(呼出種別)を呼び出すときに使用します。

(出荷時の設定：無効)

通常はマイクロホン(別売品)で運用し、特定の場合にIP210Hの[PTT]を押して相手先を切り替えるというような使いかたができます。

◎無効：固定呼出で送信しないとき

◎PTT：IP210Hの[PTT]で固定呼出をするとき

固定呼出:	PTT
呼出種別:	全体

例：PTTで全体呼び出しをする場合

◎イヤホンマイクまたはヘッドセット：

固定呼出:	イヤホンマイクまたはヘッドセット
呼出種別:	グループ
呼出先番号:	00001

例：イヤホンマイクまたはヘッドセットでグループ呼び出しをする場合

マイクロホン(別売品)のPTTスイッチやVOX機能で固定呼出をするとき

※呼出種別は、「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。

※[呼出種別]欄で「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。

※固定呼出する相手先をIP210Hの画面に常時表示します。

※固定呼出を設定したIP210Hは、受信時は相手先の名前や呼出種別が画面に表示されます。

※IP210Hの[PTT]と別売品マイクロホンのPTTスイッチで同時に送信した場合、IP210Hに内蔵のマイクからの音声はミュートされます。

5 無線機コントローラー設定

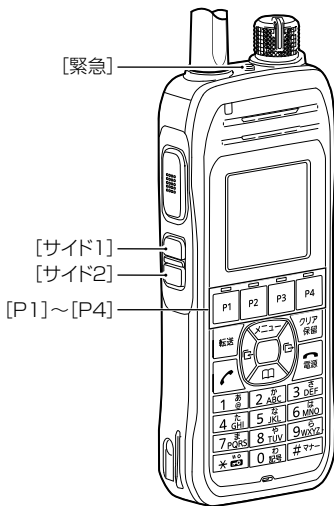
「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出 31 無効
キー割当	プログラマブルキー(P1) 32 無効
	プログラマブルキー(P2): 無効
	プログラマブルキー(P3): 無効
	プログラマブルキー(P4): 無効
	緊急キー(プログラマブル): エマージェンシー
	サイドキー(サイド1): 無効
サイドキー(サイド2): 無効	
キーロック設定	解除時のパスワード入力 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除用パスワード: 0000
	パスワード入力失敗回数: 制限なし
	オートキーロック 34 無効
	起動時のキーロック 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

32 キー割当



IP210Hのプログラマブルキー(P1～P4)、緊急キー、サイドキー(サイド1、サイド2)に、よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するなどの機能を割り当てるときに設定します。

(出荷時の設定: プログラマブルキー(P1～P4) 無効
緊急キー エマージェンシー
サイドキー(サイド1、サイド2) 無効)

※「無効」を設定しているときは、待受画面の状態でもキーを押しても何も動作しません。

◎他製品の設定(緊急キーを除く):

弊社製SIPサーバーやCS-IP210Hなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

◎メッセージ:

キーを押すだけで、よく使うメッセージを選択したいときに設定します。
[メッセージ番号]欄には、「メッセージ」画面で登録した内容を指定します。

P1:	メッセージ
メッセージ番号:	1(至急集合してください。)

5 無線機コントローラー設定

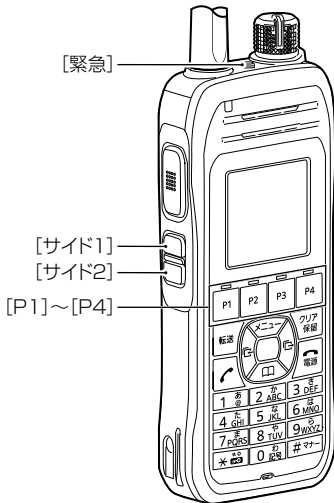
「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出 31 無効
キー割当	プログラマブルキー(P1) 32 無効
	プログラマブルキー(P2): 無効
	プログラマブルキー(P3): 無効
	プログラマブルキー(P4): 無効
	緊急キー(プログラマブル): エマージェンシー
	サイドキー(サイド1): 無効
	サイドキー(サイド2): 無効
キーロック設定	解除時のパスワード入力 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除用パスワード: 0000
	パスワード入力失敗回数: 制限なし
	オートキーロック 34 無効
	起動時のキーロック 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

32 キー割当(つづき)



◎ワンタッチ:

キーを押すだけで、特定の呼出種別、または相手を選択したいときに設定します。呼出種別は「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。

※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001~60000)を入力します。

P2:	ワンタッチ
呼出種別:	個別
呼出先番号:	00001

◎受信音声ミュート:

受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいときに設定します。

※キーを長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。

※[PTT)を押しても、ミュート機能を解除できます。

※[受信音声ミュート自動解除]欄を「有効」にした場合は、設定時間が経過すると、自動的にミュート機能が解除されます。

「有効」にして使用するとき、ミュート機能が解除されるまでの時間を「10~600」(秒)の範囲で設定します。

P4:	受信音声ミュート
受信音声ミュート自動解除:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
受信音声ミュート自動時間:	60

5 無線機コントローラー設定

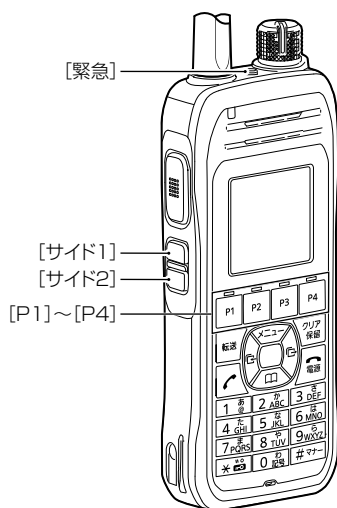
「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出 31 無効
キー割当	プログラマブルキー(P1) 32 無効
	プログラマブルキー(P2): 無効
	プログラマブルキー(P3): 無効
	プログラマブルキー(P4): 無効
	緊急キー(プログラマブル): エマージェンシー
	サイドキー(サイド1): 無効
	サイドキー(サイド2): 無効
キーロック設定	
	解除時のパスワード入力 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除用パスワード: 0000
	パスワード入力失敗回数: 制限なし
	オートキーロック 34 無効
	起動時のキーロック 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

32 キー割当(つづき)



◎エマージェンシー:

迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに設定します。

※「緊急」と表示されるまで、キーを長く押しと、一定間隔で警告音(ピロピロ…)が鳴ります。

相手から応答があったとき、またはキー★1を長く押したときに、緊急呼び出しが解除されます。

★1 [解除判定]欄(P.5-222)が「有効」に設定されているときに動作します。

◎音量アップ(サイドキーのみ)★2:

音量を上げるときに使用するキーです。

◎音量ダウン(サイドキーのみ)★2:

音量を下げるときに使用するキーです。

★2 音量ツマミで音量調整ができる場合は動作しません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
固定呼出	固定呼出 31 無効
キー割当	
	プログラマブルキー(P1) 32 無効
	プログラマブルキー(P2): 無効
	プログラマブルキー(P3): 無効
	プログラマブルキー(P4): 無効
	緊急キー(プログラマブル): エマージェンシー
	サイドキー(サイド1): 無効
	サイドキー(サイド2): 無効
キーロック設定	
	解除時のパスワード入力 33 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	解除用パスワード: 0000
	パスワード入力失敗回数: 制限なし
	オートキーロック 34 無効
	起動時のキーロック 35 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※ [解除時のパスワード入力] 欄を「無効」にした場合、キーロック関連の欄は表示されません。

キーロック設定

33 解除時のパスワード入力/解除用パスワード

パスワード入力失敗回数 …………… IP210Hのキーロックを解除するときに、パスワードを使用するかどうかの設定です。(出荷時の設定：無効)
解除用パスワードを設定するときは、任意の半角数字と半角記号(#、*)を10桁以内で入力します。
※初期設定では、パスワード入力失敗回数は制限していませんが、必要に応じて、回数制限(5回/10回)を設定してください。ただし、指定した回数を超えた場合、パスワード入力ができなくなります。

【パスワード入力制限時の解除方法】

解除用パスワードを変更、またはパスワード入力失敗回数を「制限なし」に変更してください。
※解除パスワードを変更した場合は、パスワードの入力失敗回数がリセットされます。

34 オートキーロック ……………

一定時間、IP210Hの操作がない場合、自動的にキーロックする機能を設定します。(出荷時の設定：無効)
キーロックされるまでの時間は、「15秒、30秒、1分、3分、5分、10分」の範囲で設定します。

35 起動時のキーロック ……………

IP210H起動時、キーロック状態にするかどうかを設定します。(出荷時の設定：無効)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
テンキー設定	
テンキー呼出: 36	個別
テンキー発信規制: 37	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	
接続確認: 38	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
キー操作音: 39	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音量:	10
マイク	
マイクゲイン: 40	0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	
マイク入力選択: 41	Bluetoothマイク
ヘッドセット	
ノイズキャンセラー: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
VOX: 43	イヤホンマイク
アタックタイム: 44	50 ミリ秒
リリースタイム: 45	200 ミリ秒
音声遅延: 46	200 ミリ秒
音声スレッシュ: 47	40 %
側音: 48	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー: 49	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※ [VOX] 欄(P.5-215)を「無効」にした場合、[アタックタイム] 欄～[音声スレッシュ] 欄は表示されません。

テンキー設定

36 テンキー呼出 IP210Hのテンキーを操作して相手の呼出先番号を入力するときに、呼出種別(個別/グループ)を設定します。(出荷時の設定: 個別)
設定すると、アドレス帳に登録していない相手も呼び出せます。

37 テンキー発信規制 アドレス帳に登録が無い相手局への発信を規制します。
※ [テンキー呼出] 欄が無効の場合は、表示されません。(出荷時の設定: 無効)

接続確認

38 接続確認 IP210Hから個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。(出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、個別呼び出しをしたIP210Hの表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。
※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。
※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
テンキー設定	
テンキー呼出: 36	個別
テンキー発信規制: 37	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	
接続確認: 38	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
キー操作音: 39	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音量:	10
マイク	
マイクゲイン: 40	0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	
マイク入力選択: 41	Bluetoothマイク
ヘッドセット	
ノイズキャンセラー: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
VOX: 43	イヤホンマイク
アタックタイム: 44	50 ミリ秒
リリースタイム: 45	200 ミリ秒
音声遅延: 46	200 ミリ秒
音声スレッシュ: 47	40 %
側音: 48	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー: 49	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※ [VOX] 欄(P.5-215)を「無効」にした場合、[アタックタイム] 欄～[音声スレッシュ] 欄は表示されません。

キー操作音

- 39 キー操作音/キー操作音量 …………… IP210Hのキーやスイッチを操作したときの確認音を設定します。
(出荷時の設定：有効)
- ◎無効：確認音が鳴りません。
◎有効：確認音が鳴ります。
※「有効」にして使用するときには、キー操作音量を、「0」～「32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、IP210H側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

マイク

- 40 マイクゲイン …………… マイクロホンの感度を設定します。
(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音が少ない場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
テンキー設定	
テンキー呼出: 36	個別
テンキー発信規制: 37	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	
接続確認: 38	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
キー操作音: 39	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音量:	10
マイク	
マイクゲイン: 40	0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	
マイク入力選択: 41	Bluetoothマイク
ヘッドセット	
ノイズキャンセラー: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
VOX: 43	イヤホンマイク
アタックタイム: 44	50 ミリ秒
リリースタイム: 45	200 ミリ秒
音声遅延: 46	200 ミリ秒
音声スレッシュ: 47	40 %
側音: 48	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー: 49	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※ [VOX] 欄を「無効」にした場合、[アタックタイム] 欄～[音声スレッシュ] 欄は表示されません。

エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定

- 41 **マイク入力選択** 緊急呼び出しの自動送信や遠隔送信を要求されたときに、使用するマイクロホンを設定します。 (出荷時の設定: Bluetoothマイク)
- ◎無線機マイク : 無線機本体からの音声を送信します。
 - ◎Bluetoothマイク : Bluetoothマイクからの音声を送信します。
- ※Bluetoothマイクが接続されていない場合は、無線機本体からの音声を送信します。

ヘッドセット

- 42 **ノイズキャンセラー** ノイズキャンセラー機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
- ◎無効 : ノイズキャンセラー機能が動作しません。
 - ◎有効 : ノイズキャンセラー機能が動作して、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
- ※本体/イヤホンマイク/ヘッドセット共通設定です。

- 43 **VOX** IP210HにヘッドセットなどVOX機能対応機器(別売品)を接続して、音声によって送受信を自動的に切り替えるときに設定します。(出荷時の設定: 無効)
- ※「イヤホンマイク」、「ヘッドセット」、「Bluetoothマイク」を選択すると、[アタックタイム] 欄～[音声スレッシュ] 欄が表示されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
テンキー設定	
テンキー呼出: 36	個別
テンキー発信規制: 37	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	
接続確認: 38	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
キー操作音: 39	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音量:	10
マイク	
マイクゲイン: 40	0 dB
エマージェンシー自動送信/遠隔送信共通設定	
マイク入力選択: 41	Bluetoothマイク
ヘッドセット	
ノイズキャンセラー: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
VOX: 43	イヤホンマイク
アタックタイム: 44	50 ミリ秒
リリースタイム: 45	200 ミリ秒
音声遅延: 46	200 ミリ秒
音声スレッシュ: 47	40 %
側音: 48	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー: 49	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

※ [VOX] 欄(P.5-215)を「無効」にした場合、[アタックタイム] 欄～[音声スレッシュ] 欄は表示されません。

ヘッドセット(つづき)

- 44 **アタックタイム** ヘッドセット(別売品)からIP210Hに音声信号が入力されたことを検知する時間を設定します。(出荷時の設定: 50)
検知後、送信を開始します。
設定できる範囲は、「5 ~ 500」(5ミリ秒刻み)です。
- 45 **リリースタイム** IP210Hに入力されている音声が停止したと判断する時間を設定します。
検知後、送信を停止します。(出荷時の設定: 200)
設定できる範囲は、「5 ~ 2000」(5ミリ秒刻み)です。
- 46 **音声遅延** VOX送信による頭切れを防止するために、音声を遅延させる時間を設定します。
(出荷時の設定: 200)
設定できる範囲は、「0 ~ 500」(5ミリ秒刻み)です。
- 47 **音声スレッシュ** ヘッドセット(別売品)からIP210Hに音声信号が入力されたことを検知するしきい値レベルを設定します。(出荷時の設定: 40)
設定できる範囲は、「0 ~ 100」(%)です。
※設定値が小さいほど、小さな音声でも検知します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
テンキー設定	
テンキー呼出: 36	個別
テンキー発信規制: 37	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	
接続確認: 38	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	
キー操作音: 39	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音量:	10
マイク	
マイクゲイン: 40	0 dB
エマーゼンシー自動送信/遠隔送信共通設定	
マイク入力選択: 41	Bluetoothマイク
ヘッドセット	
ノイズキャンセラー: 42	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
VOX: 43	イヤホンマイク
アタックタイム: 44	50 ミリ秒
リリースタイム: 45	200 ミリ秒
音声遅延: 46	200 ミリ秒
音声スレッシュ: 47	40 %
側音: 48	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
エコーキャンセラー: 49	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効

ヘッドセット(つづき)

48 側音

イヤホンマイク(別売品)接続時の側音機能を設定します。

(出荷時の設定: 無効)

「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声が聞こえるようになり、話しやすくなります。

側音:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
側音音量:	10

側音機能を使用するときの音量は、「0」(最小)~「32」(最大)の範囲で設定します。

(出荷時の設定: 10)

※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

49 エコーキャンセラー

エコーキャンセラー機能を設定します。

(出荷時の設定: 有効)

「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときにかかるエコー(反響)を低減します。

※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。

※側音機能とエコーキャンセラー機能は併用できません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動	50	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ	51	自動	
AF出力	52	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ	<input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断	53	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
オプション制御	54	電話操作	
マイクレベルオフセット	55	10	
AFレベルオフセット	56	15	
エコーキャンセラー	57	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
ノイズキャンセラー	58	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用)	59	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用)	60	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用)	61	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
PTTビープ(アイコムオプション用)	62	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-207)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク

- 50 本体ボリューム連動** …………… Bluetooth接続時に使用するボリューム連動機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、Bluetooth接続しているIP210Hの[音量]でも音量を調整できます。
- 51 マイク経路スイッチ** …………… Bluetooth接続時に使用するマイクを設定します。 (出荷時の設定：自動)
- ◎自動：
[PTT]が押された機器のマイクを使用します。
- ◎無線機マイク：
送信時、[PTT]が押された無線機本体、別売品マイクロホンのマイクを使用します。
※Bluetooth機器の[PTT]を押したとき、別売品マイクロホン(外部マイク)が接続されていない場合は、無線機本体のマイクを使用します。
接続するマイクロホンの種類や設定によっては、Bluetooth機器の[PTT]を押したときにマイクから音声が入力されません。
- ◎Bluetoothマイク：
送信時、Bluetooth機器のマイクを使用します。
- 52 AF出力** …………… Bluetooth機器を接続している場合の、無線機本体からの音声出力を設定します。
(出荷時の設定：ヘッドセットのみ)
- ◎ヘッドセットのみ：
無線機本体のスピーカーをOFFにし、Bluetooth機器からだけ音声を出します。
- ◎ヘッドセット+スピーカー：
無線機本体のスピーカーをONにし、Bluetooth機器と無線機から音声を出します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
Bluetoothマイク	
本体ボリューム連動 50	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ 51	自動
AF出力 52	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ <input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断 53	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
オプション制御 54	電話操作
マイクレベルオフセット 55	10
AFレベルオフセット 56	15
エコーキャンセラー 57	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
ノイズキャンセラー 58	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用) 59	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用) 60	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用) 61	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTビーブ(アイコムオプション用) 62	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-207)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

53 自動切断

BluetoothヘッドセットとのSCO(Synchronous Connection-Oriented)リンク★を自動で切断する機能を設定します。(出荷時の設定：無効)
「有効」に設定すると、Bluetoothヘッドセットの音声入出力がない状態が一定時間つづいたとき、ヘッドセットとのSCOリンクを自動で切断します。
自動切断時間は、「0～10」秒の範囲で設定します。

※SCOリンクを切断中に音声を送受信したり、ビーブ音が鳴ったりしたときは、自動でSCOリンクを接続します。

※「有効」に設定するとSCOリンクが自動で切断されるため、VOX機能は使用できません。特に必要がない場合は、「無効」に設定して使用されることをおすすめします。

★音声通信用のBluetoothリンク

54 オプション制御

BluetoothヘッドセットでPTTに相当するボタンを押した場合の動作を選択します。(出荷時の設定：電話操作)

※この機能を使用できる機器については、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

◎自動：

使用する無線機の状態により、PTT操作の動作が異なりますが、基本的には無線送信、電話着信時は応答、電話通話時は切断になります。

◎電話操作：

常に電話操作(待ち受け時は電話発信画面に移行、電話着信時は応答、電話通話時は切断)になります。

◎無線送信：

常に無線送信になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動 **50** 無効 有効

マイク経路スイッチ **51** 自動

AF出力 **52** ヘッドセットのみ ヘッドセット+スピーカー

自動切断 **53** 無効 有効

オプション制御 **54** 電話操作

マイクレベルオフセット **55** 10

AFレベルオフセット **56** 15

エコーキャンセラー **57** 無効 有効

ノイズキャンセラー **58** 無効 有効

パワーセーブ(アイコムオプション用) **59** 無効 有効

ワンタッチPTT(アイコムオプション用) **60** 無効 有効

ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用) **61** 無効 有効

PTTビーブ(アイコムオプション用) **62** 無効 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-207)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

- 55** **マイクレベルオフセット** …………… IP210H本体やIP210Hに接続したマイクロホンに対して、Bluetoothマイクロホンの感度が高すぎたり低すぎたりするときに、Bluetoothマイクロホンの感度を調整します。
(出荷時の設定：10)
設定できる範囲は、「0～20」です。
- 56** **AFレベルオフセット** …………… IP210H本体やIP210Hに接続したスピーカーに対して、Bluetooth機器からの音声出力が大きすぎたり小さすぎたりするときに、Bluetooth機器の音量を調整します。
(出荷時の設定：15)
設定できる範囲は、「0～22」です。
- 57** **エコーキャンセラー** …………… Bluetooth接続時に使用するエコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときに起こるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
- 58** **ノイズキャンセラー** …………… Bluetooth接続時に使用するノイズキャンセラー機能を設定します。
「有効」に設定すると、周囲の雑音が高減され、通話相手はこちらの音声を聞きやすくなります。
(出荷時の設定：有効)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

Bluetoothマイク

本体ボリューム連動	50	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
マイク経路スイッチ	51	自動	
AF出力	52	<input checked="" type="radio"/> ヘッドセットのみ	<input type="radio"/> ヘッドセット+スピーカー
自動切断	53	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
オプション制御	54	電話操作	
マイクレベルオフセット	55	10	
AFレベルオフセット	56	15	
エコーキャンセラー	57	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
ノイズキャンセラー	58	<input type="radio"/> 無効	<input checked="" type="radio"/> 有効
パワーセーブ(アイコムオプション用)	59	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT(アイコムオプション用)	60	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT設定表示(アイコムオプション用)	61	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効
PTTビーブ(アイコムオプション用)	62	<input checked="" type="radio"/> 無効	<input type="radio"/> 有効

※機能設定の[Bluetooth]欄(P.5-207)を「無効」にした場合、Bluetoothマイク関連の項目は表示されません。

Bluetoothマイク(つづき)

59 パワーセーブ

(アイコムオプション用) ………

Bluetooth接続時に使用するパワーセーブ機能を設定します。
「有効」に設定すると、通話がない状態が2分つづいたときに、パワーセーブが動作します。(出荷時の設定：無効)
◎着信があると、自動的にパワーセーブを解除し、受信音が出力されます。
◎送信するときは、IP210Hの[PTT]を押してはなすと、「ブツ」と音がしてパワーセーブが解除されます。
パワーセーブ解除後に、再度[PTT]を押すと送信できます。

60 ワンタッチPTT

(アイコムオプション用) ………

Bluetooth接続時に使用するワンタッチPTT機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetoothマイクの[PTT]を押しつづける必要がなくなります。(出荷時の設定：無効)

61 ワンタッチPTT設定表示

(アイコムオプション用) ………

IP210Hのメニュー画面(メニュー⇒設定⇒Bluetooth)に「ワンタッチPTT」を表示させるかどうかを選択します。(出荷時の設定：無効)

62 PTTビーブ

(アイコムオプション用) ………

Bluetooth接続時に使用するPTTビーブ機能を設定します。
「有効」に設定すると、Bluetoothマイクの[PTT]を押したときにビーブ音(ピバ)が鳴ります。(出荷時の設定：無効)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

エマージェンシー設定

エマージェンシー: 63 無効 有効

マイクゲイン: 64 12 dB

動作判定時間: 65 5 秒

解除判定: 66 無効 有効

警告表示: 67 無効 有効

警告音量: 68 32

呼出種別: 69 全体

自動送信: 70 無効 有効

応答後の解除: 71 無効 有効

自動解除: 72 無効 有効

エマージェンシー着信設定

警告音: 73 無効 有効

警告音量: 74 32

警告動作: 75 通知音+バイブレーション

※[エマージェンシー]欄を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定

- 63 エマージェンシー 迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しをしたいときに使用する機能です。 (出荷時の設定：無効)
※[キー割当]欄で、プログラマブルキーや緊急キーに「エマージェンシー」(P.5-211)を設定している場合に使用できます。
※「緊急」と表示されるまで、キーを長く(5秒以上*)押しと、一定間隔で警告音(ピロピロ...)が鳴ります。
相手から応答があったとき、またはキーを長く(5秒以上*)押したときに、緊急呼び出しが解除されます。
★緊急呼び出し動作までの時間は[動作判定時間]欄、解除までの時間は[解除判定]欄で変更できます。
- 64 マイクゲイン 緊急呼び出し時のマイクロホンの感度を設定します。 (出荷時の設定：12)
設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通信相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音が少ない場所では高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通信相手に聞きやすい音声になります。
- 65 動作判定時間 キーを長く押し、緊急呼び出しが動作するまでの時間を、「1～10」秒の範囲で設定します。 (出荷時の設定：5)
- 66 解除判定 キーを長く押しと、緊急呼び出しが解除される設定です。 (出荷時の設定：無効)
※緊急呼び出しを解除する判定時間は、「1～10」秒の範囲で設定します。 (出荷時の設定：2)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

エマージェンシー設定

エマージェンシー: 63 無効 有効

マイクゲイン: 64 12 ▼ dB

動作判定時間: 65 5 秒

解除判定: 66 無効 有効

警告表示: 67 無効 有効

警告音量: 68 32 ▼

呼出種別: 69 全体 ▼

自動送信: 70 無効 有効

応答後の解除: 71 無効 有効

自動解除: 72 無効 有効

エマージェンシー着信設定

警告音: 73 無効 有効

警告音量: 74 32 ▼

警告動作: 75 通知音+バイブレーション ▼

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー設定(つづき)

- | | |
|-----------|--|
| 67 警告表示 | 緊急呼び出し時に警告音(ピロピロ…)を鳴らしたり、表示を切り替えたりするかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※「無効」に設定するとサイレントモードになります。 |
| 68 警告音量 | 緊急呼び出し時の警告音量を、「0 ~ 32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 32) |
| 69 呼出種別 | 緊急呼び出しを通知する相手を選択します。
(出荷時の設定: 全体)
※「個別」、「グループ」、「トークグループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、グループやトークグループの番号(00001 ~ 60000)を入力します。 |
| 70 自動送信 | 緊急呼び出し機能の自動送信を使用するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 無効) |
| 71 応答後の解除 | 緊急呼び出しを受信した相手が応答した場合、緊急呼び出しを解除するかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効) |
| 72 自動解除 | 緊急呼び出しが動作してから一定時間経過すると、緊急呼び出しが解除されます。
(出荷時の設定: 無効)
※自動的に解除するまでの時間は、「1 ~ 255」(秒)の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 60) |

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

エマージェンシー設定

エマージェンシー: 63 無効 有効

マイクゲイン: 64 12 ▼ dB

動作判定時間: 65 5 秒

解除判定: 66 無効 有効

警告表示: 67 無効 有効

警告音量: 68 32 ▼

呼出種別: 69 全体 ▼

自動送信: 70 無効 有効

応答後の解除: 71 無効 有効

自動解除: 72 無効 有効

エマージェンシー着信設定

警告音: 73 無効 有効

警告音量: 74 32 ▼

警告動作: 75 通知音+バイブレーション ▼

※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

エマージェンシー着信設定

- 73 警告音 緊急呼び出し受信時に警告音(ピロピロ...)を鳴らすかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)
- 74 警告音量 緊急呼び出し受信時の警告音量を、「0～32」の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 32)
- 75 警告動作 緊急呼び出しを受信したときの動作を、「通知音」、「バイブレーション」、または「通知音+バイブレーション」から選択します。
(出荷時の設定: 通知音+バイブレーション)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	76 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	77 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	78 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	79 45
静止状態検出:	80 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Lone Worker設定	
Lone Worker:	81 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー:	82 60
Lone Worker警告タイマー:	83 60
PTT遅延:	84 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10

※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定

76 マンダウン

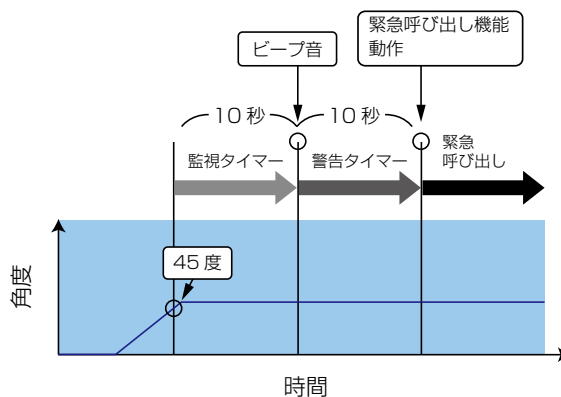
IP210Hを使用している人が倒れるなどして、IP210Hが設定された角度以上に傾いた状態が一定時間つづくと、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)

例：

マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	76 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	77 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	78 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	79 45
静止状態検出:	80 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Lone Worker設定	
Lone Worker:	81 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー:	82 60
Lone Worker警告タイマー:	83 60
PTT遅延:	84 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10

※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定(つづき)

77 マンダウン監視/

マンダウン監視タイマー …………… 人が倒れている(マンダウン)と認識するまでの時間を設定します。
(出荷時の設定: 有効(10))

設定できる範囲は、「1～255」秒です。

※IP210Hが傾いたまま設定した時間が経過すると、ビーブ音(ピッ)が1回鳴って、[マンダウン警告タイマー]が動作します。

※IP210Hの傾きを設定した角度以下にもどすと、マンダウン監視タイマーがリセットされます。

78 マンダウン警告/

マンダウン警告タイマー …………… [マンダウン監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定できます。(出荷時の設定: 有効(10))
マンダウン警告タイマーで設定した時間が経過してもIP210Hが傾いているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。

設定できる範囲は、「1～255」秒です。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP210Hの傾きを設定した角度以下に戻すと、マンダウン監視タイマーとマンダウン警告タイマーがリセットされます。

79 検出角度 ……………

マンダウン機能が動作する角度を「45」、「60」、「75」から選択します。
(出荷時の設定: 45)

IP210Hがここで設定した角度以上倒れたままマンダウン監視タイマーで設定した時間が経過すると、マンダウン警告タイマーが動作します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

マンダウン設定

マンダウン: 76 無効 有効

マンダウン監視: 77 無効 有効

マンダウン監視タイマー: 10

マンダウン警告: 78 無効 有効

マンダウン警告タイマー: 10

検出角度: 79 45

静止状態検出: 80 無効 有効

Lone Worker設定

Lone Worker: 81 無効 有効

Lone Worker監視タイマー: 82 60

Lone Worker警告タイマー: 83 60

PTT遅延: 84 無効 有効

PTT遅延タイマー: 10

※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

マンダウン設定(つづき)

80 静止状態検出

マンダウン機能に静止状態検出機能を併用するときに設定します。

(出荷時の設定：無効)

静止状態検出を有効に設定すると、[マンダウン監視タイマー]欄で設定した時間、無線機が傾いたまま、静止状態がつづいた場合に、マンダウン警告タイマーが動作します。[マンダウン警告タイマー]欄で設定した時間が経過すると、緊急呼び出し機能が自動的に動作します。

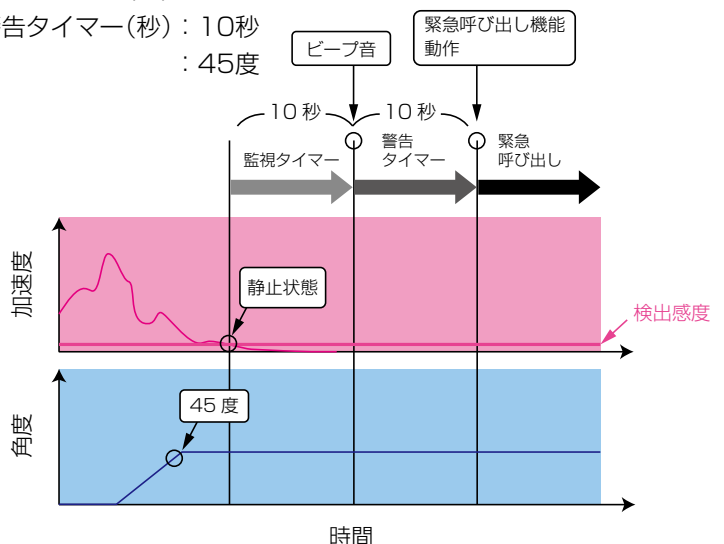
※静止状態検出機能の感度は、[静止状態]欄(P.5-233)で設定します。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP210Hの傾きを設定した角度以下に戻す、またはIP210Hを動かすと、マンダウン監視タイマーとマンダウン警告タイマーがリセットされます。

例：マンダウン監視タイマー(秒)：10秒

マンダウン警告タイマー(秒)：10秒

検出角度(度)：45度



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	76 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	77 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	78 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	79 45
静止状態検出:	80 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Lone Worker設定	
Lone Worker:	81 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー:	82 60
Lone Worker警告タイマー:	83 60
PTT遅延:	84 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10

※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定

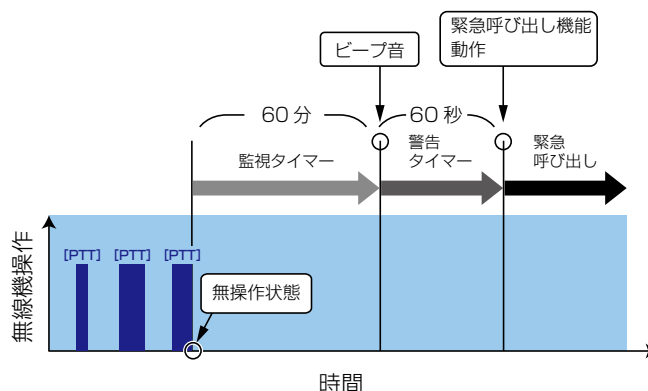
81 Lone Worker

一定時間、IP210Hの操作がない場合、自動的に緊急呼び出しをする機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)

※警備中など定期連絡を義務付けている場合に、何らかの事故が発生して連絡ができなかったときに便利な機能です。

例：Lone Worker監視タイマー(分)：60分

Lone Worker警告タイマー(秒)：60秒



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
マンダウン設定	
マンダウン:	76 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視:	77 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン監視タイマー:	10
マンダウン警告:	78 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
マンダウン警告タイマー:	10
検出角度:	79 45
静止状態検出:	80 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Lone Worker設定	
Lone Worker:	81 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
Lone Worker監視タイマー:	82 60
Lone Worker警告タイマー:	83 60
PTT遅延:	84 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
PTT遅延タイマー:	10

※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定(つづき)

- 82 Lone Worker監視タイマー**…… 一定時間、IP210Hの操作がないと認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」分です。(出荷時の設定：60)
※IP210Hの操作がないと認識されると、ビーブ音(ピッ)が1回鳴って、Lone Worker警告タイマーが動作します。
※IP210Hを操作すると、Lone Worker監視タイマーがリセットされます。
- 83 Lone Worker警告タイマー**…… [Lone Worker監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。(出荷時の設定：60)
設定できる範囲は、「1～255」秒です。
Lone Worker警告タイマーで設定した時間が経過してもIP210Hの操作がないときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP210Hを操作すると、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。
※Lone Worker警告タイマー動作中は、2秒ごとにビーブ音(ピッ)が鳴ります。
- 84 PTT遅延/
PTT遅延タイマー** …………… Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーが動作中に、[PTT]を押しつづけたとき、送信されるまでの時間を設定します。(出荷時の設定：有効(10))
設定できる範囲は、「1～255」x100ミリ秒です。
※時間を長く設定することで、[PTT]を押しても、送信されることなく、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットできます。
※[PTT]を設定した時間以上押しつづけると、送信状態になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

静止状態検出: 85 無効 有効

静止状態検出設定

静止状態検出設定: 86 無効 有効

静止状態監視タイマー: 87 60

静止状態警告タイマー: 88 60

動作状態検出設定

動作状態検出設定: 89 無効 有効

動作状態監視タイマー: 90 10

動作状態警告タイマー: 91 10

検出感度設定

静止状態: 92 2

動作状態: 93 7

※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

Lone Worker設定(つづき)

85 静止状態検出

Lone Worker機能に静止状態検出機能を併用するときに設定します。

(出荷時の設定：無効)

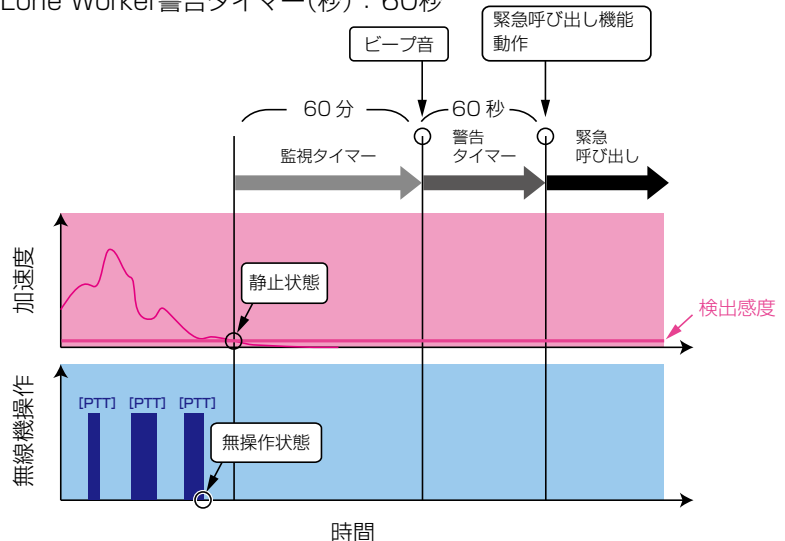
静止状態検出を有効に設定すると、[Lone Worker監視タイマー]欄(P.5-229)で設定した時間、無線機の操作がなく、静止状態がつづいた場合に、Lone Worker警告タイマーが動作します。[Lone Worker警告タイマー]欄(P.5-229)で設定した時間が経過すると、緊急呼び出し機能が自動的に動作します。

※静止状態検出機能の感度は、[静止状態]欄(P.5-233)で設定します。

※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP210Hを操作する、またはIP210Hを動かすと、Lone Worker監視タイマーとLone Worker警告タイマーがリセットされます。

例：Lone Worker監視タイマー(分)：60分

Lone Worker警告タイマー(秒)：60秒



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	静止状態検出: 85 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
静止状態検出設定	静止状態検出設定: 86 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
静止状態監視タイマー	87 60
静止状態警告タイマー	88 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 89 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
動作状態監視タイマー	90 10
動作状態警告タイマー	91 10
検出感度設定	静止状態: 92 2
	動作状態: 93 7

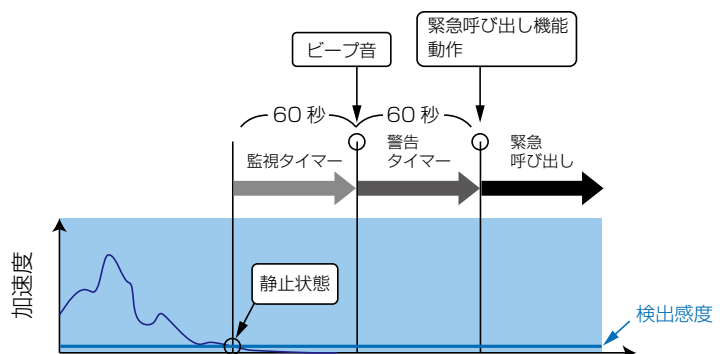
※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

静止状態検出設定

86 静止状態検出設定 静止状態検出機能を使用するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

87 静止状態監視タイマー 一定時間、IP210Hが静止していると認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」秒です。 (出荷時の設定：60)
 ※IP210Hが静止したまま設定した時間が経過すると、ピープ音(ピッ)が1回鳴って、[静止状態警告タイマー]が動作します。
 ※IP210Hを動かすと、静止状態監視タイマーがリセットされます。

例：静止状態監視タイマー(秒)：60秒
 静止状態警告タイマー(秒)：60秒



88 静止状態警告タイマー [静止状態監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：60)
 設定できる範囲は、「1～255」秒です。静止状態警告タイマーで設定した時間が経過してもIP210Hが静止しているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
 ※緊急呼び出し機能が動作するまでに、IP210Hを動かすと、静止状態監視タイマーと静止状態警告タイマーがリセットされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
静止状態検出設定	静止状態検出: 85 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	静止状態検出設定: 86 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	静止状態監視タイマー: 87 60
	静止状態警告タイマー: 88 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 89 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作状態監視タイマー: 90 10
	動作状態警告タイマー: 91 10
検出感度設定	静止状態: 92 2
	動作状態: 93 7

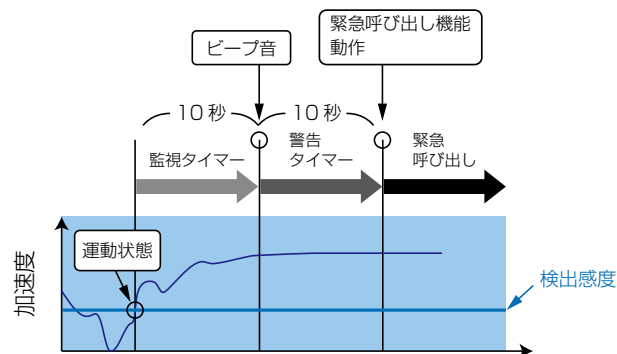
※[エマージェンシー]欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

動作状態検出設定

89 動作状態検出設定 動作状態検出機能を使用するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)

90 動作状態監視タイマー 一定時間、IP210Hが動いていると認識するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～255」秒です。 (出荷時の設定：10)
 ※IP210Hが動いたまま設定した時間が経過すると、ピープ音(ピッ)が1回鳴って、[動作状態警告タイマー]が動作します。
 ※IP210Hの動きを止めると、動作状態監視タイマーがリセットされます。

例：動作状態監視タイマー(秒)：10秒
 動作状態警告タイマー(秒)：10秒



91 動作状態警告タイマー [動作状態監視タイマー]欄で設定した時間を経過後、自動的に緊急呼び出し機能を開始するまでの時間を設定します。 (出荷時の設定：10)
 設定できる範囲は、「1～255」秒です。
 動作状態警告タイマーで設定した時間が経過しても無線機が動いているときは、自動的に緊急呼び出しを開始します。
 ※緊急呼び出し機能が動作するまでに、無線機の動きを止めると、動作状態監視タイマーと動作状態警告タイマーがリセットされます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
静止状態検出: 85 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	
静止状態検出設定	静止状態検出設定: 86 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	静止状態監視タイマー: 87 60
	静止状態警告タイマー: 88 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 89 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作状態監視タイマー: 90 10
	動作状態警告タイマー: 91 10
検出感度設定	静止状態: 92 2
	動作状態: 93 7

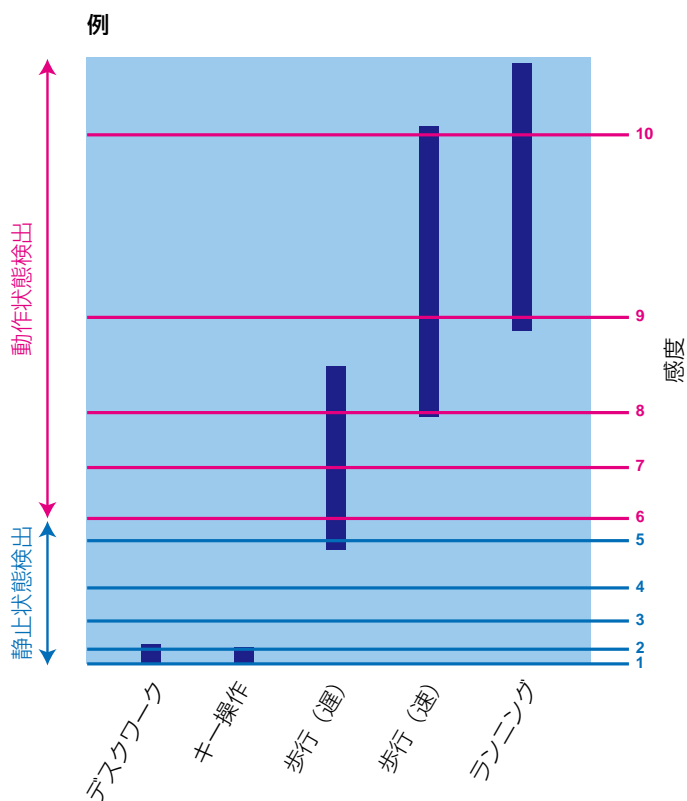
※ [エマージェンシー] 欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

検出感度設定

92 静止状態

静止状態検出機能を使用するときに、IP210Hの状態検出感度を設定します。設定できる範囲は、「1～10」です。 (出荷時の設定：2)
IP210Hの検出値が設定した値以下になると、静止状態監視タイマーが動作します。

※大きい値に設定すると、緊急呼び出し機能が動作しやすくなります。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
静止状態検出: 85 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効	
静止状態検出設定	静止状態検出設定: 86 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	静止状態監視タイマー: 87 60
	静止状態警告タイマー: 88 60
動作状態検出設定	動作状態検出設定: 89 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	動作状態監視タイマー: 90 10
	動作状態警告タイマー: 91 10
検出感度設定	静止状態: 92 2
	動作状態: 93 7

※ [エマージェンシー] 欄(P.5-222)を「無効」にした場合、緊急呼び出し機能関連の設定は表示されません。

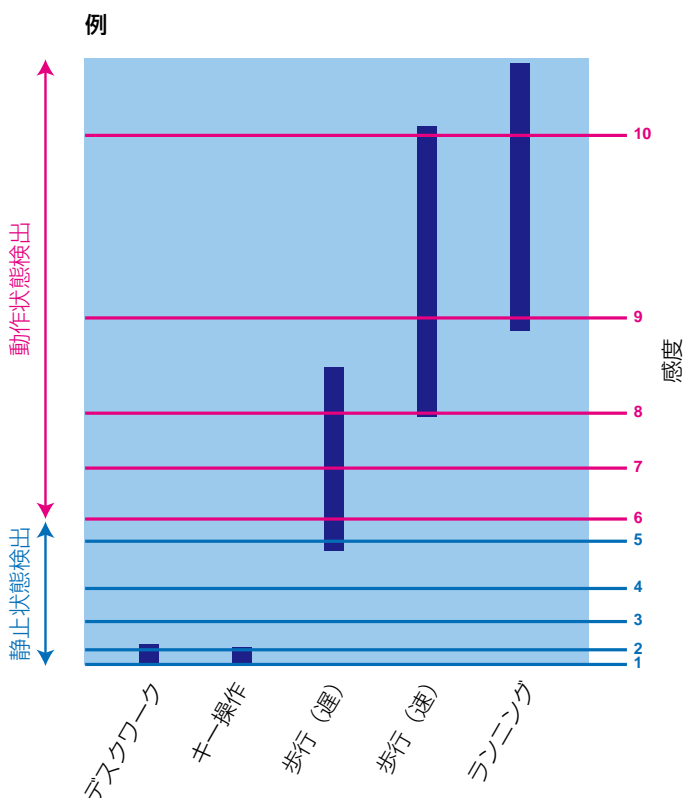
検出感度設定(つづき)

93 動作状態

動作状態検出機能を使用するときに、IP210Hの状態検出感度を設定します。設定できる範囲は、「1～10」です。(出荷時の設定：7)

IP210Hの検出値が設定した値以上になると、動作状態監視タイマーが動作します。

※小さい値に設定すると、緊急呼び出し機能が動作しやすくなります。



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 TOS メディア(RTP)優先度：98 7 メディア(RTP)サービスタイプ：0 メディア(RTP)16進表示：E0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 Diffserv メディア(RTP)DSCP：98 56 メディア(RTP)16進表示：E0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定

- 94 音声Codec 通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726」から選択します。
※設定変更後、一時的にIP210Hとの接続が切れます。再接続後、IP210Hを再起動して設定を反映してください。 (出荷時の設定：G.726)
- ◎G.726：
音声の圧縮に利用される音声コーデックです。使用するときには、ビットレートを、「16kbps(2bit)」、「24kbps(3bit)」、「32kbps(4bit)」、「40kbps(5bit)」から設定します。 (出荷時の設定：32kbps(4bit))
- ◎G.711u：
音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ないという特長があります。
- 95 ジッターバッファ種別 パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。
(出荷時の設定：ダイナミック)
- ◎スタティック：
音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。
- ◎ダイナミック：
音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 TOS メディア (RTP) 優先度：98 7 メディア (RTP) サービスタイプ：0 メディア(RTP) 16進表示：E0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 Diffserv メディア (RTP) DSCP：98 56 メディア(RTP) 16進表示：E0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-235)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

- 96 ジッターバッファサイズ …… IP210Hが音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。(出荷時の設定：40)
- 97 TOS種別 …………… IP210HのTOS機能について設定します。(出荷時の設定：TOS)
- ◎使用しない：
 - TOS機能を使用しません。
 - ◎TOS：
 - TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
 - RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。
 - 残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。
 - 優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。
 - ◎Diffserv：
 - Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。
 - 1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。
 - 残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 TOS メディア(RTP)優先度：98 7 メディア(RTP)サービスタイプ：0 メディア(RTP)16進表示：E0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：94 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：95 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：96 40 ミリ秒 TOS種別：97 Diffserv メディア(RTP)DSCP：98 56 メディア(RTP)16進表示：E0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-235)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

98 メディア(RTP)

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

※[TOS種別]欄(P.5-236)で「使用しない」を選択したときは表示されない項目です。

TOS種別：TOS

◎優先度：

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ：

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS種別：Diffserv

◎DSCP：

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

※[TOS種別]欄で「Diffserv」を選択したときに、表示される項目です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 99 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 100 _____
	保守サーバー以外からの再起動: 101 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 102 _____
	起動時のファームウェア自動更新: 103 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 104 _____
	SYSLOGホストアドレス: 105 _____
	SYSLOG送信レベル: 106 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 107 _____
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 108 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> 録音データ <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット
メニュー設定	RESET: 109 <input type="checkbox"/> 基本モード <input checked="" type="checkbox"/> 詳細モード

IPアドレス設定

99 設定方法

IP210HのIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定: 他製品の設定)

◎他製品の設定:

導入時は、CS-IP210Hで設定された内容を使用しますが、本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント:

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	_____
セカンダリーDNSサーバー:	_____

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 99 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 100
	保守サーバー以外からの再起動: 101 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 102
	起動時のファームウェア自動更新: 103 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 104
	SYSLOGホストアドレス: 105
	SYSLOG送信レベル: 106 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 107
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 108 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> 録音データ <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット
メニュー設定	RESET: 109 <input type="checkbox"/> 基本モード <input checked="" type="checkbox"/> 詳細モード

IPアドレス設定

99 設定方法(つづき)

◎固定IP:

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	固定IP
IPアドレス:	
サブネットマスク:	
デフォルトゲートウェイ:	
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 09 他製品の設定
保守設定	
保守サーバー: 100	
保守サーバー以外からの再起動: 101	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
SNTPサーバー: 102	
起動時のファームウェア自動更新: 103	有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 104	
SYSLOGホストアドレス: 105	
SYSLOG送信レベル: 106	<input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	
アクセスパスワード: 107	
プロビジョニング設定	
プロビジョニング時の初期化: 108	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> 録音データ <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット
メニュー設定	
RESET: 109	<input type="checkbox"/> 基本モード <input checked="" type="checkbox"/> 詳細モード

保守設定

- 100 保守サーバー IP210Hの保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 101 保守サーバー以外からの再起動 [保守サーバー]欄で指定した機器以外から、IP210Hを再起動させるかどうかを設定します。 (出荷時の設定: 無効)
※2024年12月現在、対応機種はAP-9500、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。
- 102 SNTPサーバー IP210HのSNTPサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品をSNTPサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 09 他製品の設定
保守設定	保守サーバー: 100
	保守サーバー以外からの再起動: 101 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 102
	起動時のファームウェア自動更新: 103 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 104
	SYSLOGホストアドレス: 105
	SYSLOG送信レベル: 106 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
セキュリティ設定	アクセスパスワード: 107
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 108 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴 <input type="checkbox"/> 録音データ <input type="checkbox"/> Bluetoothユニット
メニュー設定	RESET: 109 <input type="checkbox"/> 基本モード <input checked="" type="checkbox"/> 詳細モード

保守設定(つづき)

103 起動時のファームウェア

自動更新

本製品からIP210Hのファームウェアを自動更新するための設定です。
(出荷時の設定: 有効(自動再起動無し))

◎無効:

本製品によるIP210Hのファームウェア自動更新を無効にします。

◎有効(自動再起動無し):

IP210Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP210Hはファームウェアを取得します。IP210Hの電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。

◎有効(自動再起動有り):

IP210Hの電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、IP210Hはファームウェアの更新を開始します。

更新が完了すると、自動的にIP210Hが再起動します。

※本製品に内蔵しているIP210Hのファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

104 ファームアップサーバー

IP210Hのファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。

入力は、半角英数字で63文字までです。

※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

IPアドレス設定
設定方法: 09 他製品の設定

保守設定
保守サーバー: 100
保守サーバー以外からの再起動: 101 無効 有効
SNTPサーバー: 102
起動時のファームウェア自動更新: 103 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 104
SYSLOGホストアドレス: 105
SYSLOG送信レベル: 106 DEBUG INFO NOTICE

セキュリティ設定
アクセスパスワード: 107

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 108 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット

メニュー設定
RESET: 109 基本モード 詳細モード

保守設定(つづき)

105 SYSLOGホストアドレス …………… IP210HのSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

106 SYSLOG送信レベル …………… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

セキュリティ設定

107 アクセスパスワード …………… CS-IP210H*から、書き込み、読み込み、ファームウェア更新をする場合の認証用パスワードを、半角16文字以内で設定します。
★CS-IP210Hは、IP210Hの無線LANや保守サーバーを設定できるソフトウェアです。弊社ホームページからダウンロードできます。

プロビジョニング設定

108 プロビジョニング時の初期化 …… プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。
(出荷時の設定: 設定 履歴 録音データ Bluetoothユニット)

メニュー設定

109 RESET …………… IP210Hのメニュー画面(メニュー⇒設定)に「リセット」(初期値に戻す)を表示させるかどうかを選択します。
(出荷時の設定: 基本モード 詳細モード)
※基本モードは、「非表示」固定です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

EAP認証プリセット設定

番号	名前 ¹¹⁰	認証方式 ¹¹¹	ユーザー名 ¹¹²	パスワード ¹¹³	外部認証ユーザー名 ¹¹⁴	クライアント証明書 ¹¹⁵	
1		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
2		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
3		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
4		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
5		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
6		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
7		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
8		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
9		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除
10		EAP-TLS ▼		👁		1 (未設定) ▼	削除

¹¹⁷ 登録
¹¹⁸ 取消

EAP認証プリセット設定

本製品に登録したIP210Hで使用するEAP認証プリセット設定を10件登録できます。

- 110
名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
- 111
認証方式 使用する認証サーバーの認証方式を設定します。(出荷時の設定：EAP-TLS)
 本製品は、「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」、「EAP-TLS」に対応しています。
- 112
ユーザー名 EAP認証で使用するユーザー名を半角63文字以内で入力します。
 ※Windows Active Directoryを認証に利用する場合は、「NTドメイン名\アカウント名」の形式で入力してください。
- 113
パスワード 「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用するとき、半角63文字以内で入力します。
- 114
外部認証ユーザー名 「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式を使用し、外部認証と内部認証で異なるユーザー名を使用する場合にだけ設定します。
 半角63文字以内で入力します。
 ※設定しないときは、[ユーザー名]の設定内容が外部認証と内部認証に使用されます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [IP210H]

無線機個別設定

EAP認証プリセット設定

番号	名前 ¹¹⁰	認証方式 ¹¹¹	ユーザー名 ¹¹²	パスワード ¹¹³	外部認証ユーザー名 ¹¹⁴	クライアント証明書 ¹¹⁵	
1		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
2		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
3		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
4		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
5		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
6		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
7		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
8		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
9		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除
10		EAP-TLS ▼		●		1 (未設定) ▼	削除

¹¹⁷ 登録
¹¹⁸ 取消

EAP認証プリセット設定(つづき)

¹¹⁵ クライアント証明書 ……………

「EAP-TLS」認証方式を使用するとき、クライアント証明書を選択します。
※証明書ファイルは、[証明書管理]項目(P.5-245)で登録します。

¹¹⁶ <削除> ……………

登録したEAP認証プリセットを削除するとき、<削除>をクリックします。

¹¹⁷ <登録> ……………

[無線機個別設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[無線機個別設定一覧]項目に表示されます。

¹¹⁸ <取消> ……………

[無線機個別設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 証明書管理 [IP210H]

EAP認証で使用する証明書(ルート証明書/クライアント証明書)を4件登録できます。

※ [無線機個別設定]項目でIP210Hを選択したとき、表示される項目です。

番号	ファイル形式 ①	名前 ②	証明書ファイル ③	パスワード ④	⑤	⑥
証明書情報						
1	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
2	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
3	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						
4	PKCS12		ファイルの選択 フ...ん		登録	削除
証明書が登録されていません。						

- ① **ファイル形式** 証明書の形式を指定します。 (出荷時の設定：PKCS12)
本製品は、下記の形式に対応しています。
◎PKCS12 : 「ルート証明書」+「クライアント証明書」
◎PEM(ルート証明書のみ) : 「ルート証明書」
- ② **名前** 任意の名称を、31文字以内英数字で入力します。
- ③ **証明書ファイル** <ファイルの選択>をクリックして、証明書ファイルの保存先を選択します。
- ④ **パスワード** 「PKCS12」のファイル形式を使用するとき設定します。
半角127文字以内で入力します。
- ⑤ **<登録>** クリックして、指定した証明書ファイルを登録します。
※すでに登録されている内容は、新規登録に上書きされます。
- ⑥ **<削除>** 登録した証明書を削除するとき、<削除>をクリックします。

ご参考に

「PEAP(MSCHAPv2)」、「EAP-TTLS(MSCHAPv2)」認証方式は、2つのフェーズを持ちます。

phase1は外部認証、phase2は内部認証とも呼ばれます。

◎phase1(外部認証) : 外部認証ユーザー名に基づく認証のあと、暗号化されたトンネルを作る

◎phase2(内部認証) : 暗号化されたトンネルの中で、内部認証ユーザー名+パスワードをやり取りして認証する

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

登録されたVP-2100ごとに、機能の割り当てや通知音などを設定します。

※設定変更後は、VP-2100の再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

無線機個別設定	
個別番号:	① 00016 (VP-2100_32) ▼
機種:	VP-2100
システム設定	
共通項目の設定:	② 本製品の設定 ▼ ※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。
表示部	
表示項目:	③ <input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前
バックライト:	④ 操作時点灯 ▼
消灯輝度:	⑤ 4 ▼
点灯輝度:	⑥ 14 ▼
コントラスト:	⑦ 8 ▼
送信動作	
送信禁止:	⑧ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTロック:	⑨ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT:	⑩ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

- ① 個別番号/機種 設定内容を編集するVP-2100の個別番号(名前)を選択します。
※「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、機種を「IP100FS」に設定した個別番号は表示されません。

システム設定

- ② 共通項目の設定 共通項目の設定について選択します。 (出荷時の設定: 本製品の設定)
「他製品の設定」を選択した場合は、IP電話機と共通する項目は非表示になります。
設定を変更すると、IP電話機を含む、すべての設定を再取得します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
個別番号: ①	00016 (VP-2100_32) ▼
機種:	VP-2100
システム設定	
共通項目の設定: ②	本製品の設定 ▼ <small>※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。</small>
表示部	
表示項目: ③	<input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前
バックライト: ④	操作時点灯 ▼
消灯輝度: ⑤	4 ▼
点灯輝度: ⑥	14 ▼
コントラスト: ⑦	8 ▼
送信動作	
送信禁止: ⑧	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTロック: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT: ⑩	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

表示部

- ③ 表示項目 VP-2100の待受画面に日付を表示するか、自局に登録された名前★を表示するかを選択します。 (出荷時の設定：日付)
★「無線機追加」画面の[TRX番号設定]項目で、名前が登録されていない場合は、空白になります。
- ④ バックライト VP-2100使用時のバックライト機能を設定します。 (出荷時の設定：操作時点灯)
◎常時消灯 : バックライトは[消灯輝度](⑤)で設定した明るさになります。
◎常時点灯 : バックライトは[点灯輝度](⑥)で設定した明るさになります。
◎操作時点灯 : 操作すると、バックライトは[点灯輝度](⑥)で設定した明るさになり、何も操作しない状態が約5秒つづくと、自動的に[消灯輝度](⑤)で設定した明るさになります。
- ⑤ 消灯輝度 VP-2100のバックライト消灯時の明るさを設定します。(出荷時の設定：4)
設定できる範囲は、0(暗い)～16(明るい)です。
- ⑥ 点灯輝度 VP-2100のバックライト点灯時の明るさを設定します。
設定できる範囲は、0(暗い)～16(明るい)です。 (出荷時の設定：14)
- ⑦ コントラスト VP-2100の画面表示について、濃度を設定します。 (出荷時の設定：8)
設定できる範囲は、1(薄い)～16(濃い)です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
個別番号: ①	00016 (VP-2100_32) ▼
機種:	VP-2100
システム設定	
共通項目の設定: ②	本製品の設定 ▼ ※他製品の設定にすると、他製品と共通の設定は設定できません。
表示部	
表示項目: ③	<input checked="" type="radio"/> 日付 <input type="radio"/> 名前
バックライト: ④	操作時点灯 ▼
消灯輝度: ⑤	4 ▼
点灯輝度: ⑥	14 ▼
コントラスト: ⑦	8 ▼
送信動作	
送信禁止: ⑧	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
PTTロック: ⑨	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
ワンタッチPTT: ⑩	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

送信動作

- ⑧ 送信禁止 送信を禁止して、受信専用としてVP-2100を使用するときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
- ⑨ PTTロック VP-2100の[MIC/PTT]による送信を禁止したいときに設定します。
(出荷時の設定：無効)
- ⑩ ワンタッチPTT VP-2100の[MIC/PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。
(出荷時の設定：無効)
「有効」を設定すると、送信するときに、[MIC/PTT]を押しつづける必要がなくなります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

呼出先指定

待受画面での呼出: 無効 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

アドレス帳からの呼出: 無効 有効
アドレス帳先頭番号: 全体

全体呼出の表示: 無効 有効
起動時のトークグループ指定: 無効 有効

通知音 (受信通知を除く)

通知音量: 10

機能設定

通信方式: 単信通信 複信通信
優先呼出: 無効 有効

呼出先指定

① 待受画面での呼出

VP-2100が待受画面のときに、呼び出す相手局(呼出種別)を表示するかしな
いかを設定します。(出荷時の設定: 有効)

◎**有効**: 待受画面に、相手局(呼出種別)を表示します。

VP-2100の[MIC/PTT]を押すと、待受画面に表示された相手局
(呼出種別)を呼び出します。

◎**無効**: 待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

※キー操作による相手局(呼出種別)選択時は表示されます。

※「設定グループ」→「設定グループ詳細」画面にある相手局の表示切
替は、無効になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

呼出先指定

待受画面での呼出: 無効 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

アドレス帳からの呼出: 無効 有効
アドレス帳先頭番号: 全体

全体呼出の表示: 無効 有効
起動時のトークグループ指定: 無効 有効

通知音 (受信通知を除く)

通知音量: 10

機能設定

通信方式: 単信通信 複信通信
優先呼出: 無効 有効

呼出先指定(つづき)

12 アドレス帳からの呼出 ……………

VP-2100でアドレス帳を使用するかどうか設定します。

(出荷時の設定：無効)

◎有効：

VP-2100の[電話帳]を押すと、呼出種別が表示されます。

[アドレス帳先頭番号]欄で、はじめに表示する相手局(呼出種別)を「全体」、または「アドレス帳」の番号(1～500)で指定します。

※[待受画面での呼出]欄(P.5-249)が「有効」、かつ「設定グループ詳細」画面の[相手局の表示切替]欄(P.5-303)が「無効」の場合は、[アドレス帳先頭番号]欄で設定した相手局が、待受画面に表示されます。

[起動時のトークグループ指定]欄(P.5-251)が「有効」の場合、[アドレス帳番号]欄で設定したトークグループが優先して表示されます。

※「設定グループ」メニューで登録されたアドレス帳を使用します。

※[全体呼出の表示]欄(P.5-251)で「無効」を設定すると、アドレス帳から全体呼び出しが選択できなくなります。

◎無効：

[電話帳]を押しても、呼出種別は下図の[呼出種別]で設定された内容から切り替わりません。

※[呼出種別]欄で、VP-2100から呼び出す特定の相手局(呼出種別)を指定できます。

「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。

※着信時、VP-2100の画面には、アドレス帳に登録されている名前が表示されます。

アドレス帳からの呼出: 無効 有効
呼出種別: 全体

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

呼出先指定

待受画面での呼出: 無効 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

アドレス帳からの呼出: 無効 有効
アドレス帳先頭番号: 全体

全体呼出の表示: 無効 有効

起動時のトークグループ指定: 無効 有効

通知音(受信通知を除く)

通知音量: 10

機能設定

通信方式: 単信通信 複信通信

優先呼出: 無効 有効

※[アドレス帳からの呼出]欄(P.5-250)を「無効」にした場合、[全体呼出の表示]欄、[起動時のトークグループ指定]欄は表示されません。

呼出先指定(つづき)

13 全体呼出の表示 アドレス帳からの全体呼び出しについて設定します。(出荷時の設定: 無効)
 有効: アドレス帳で全体呼び出しを選択できます。
 無効: アドレス帳に全体呼び出しが表示されません。

14 起動時のトークグループ指定 ... 指定したトークグループを選択した状態で起動します。(出荷時の設定: 無効)
 有効: [アドレス帳番号]欄で指定したトークグループを選択した状態でVP-2100を起動します。

起動時のトークグループ指定: 無効 有効
アドレス帳番号: 13 (TG1)

無効: トークグループを指定しないでVP-2100を起動します。

通知音(受信通知を除く)

15 通知音量 送信時や接続時などに鳴る通知音の音量レベルを設定します。
設定できる範囲は、「0」～「16」です。(出荷時の設定: 10)
※「0」を設定した場合は、VP-2100側の音量設定に関わらず、通知音は鳴りません。
※「設定グループ詳細」画面で設定した内容で、送信時や接続時などに通知音が鳴ります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

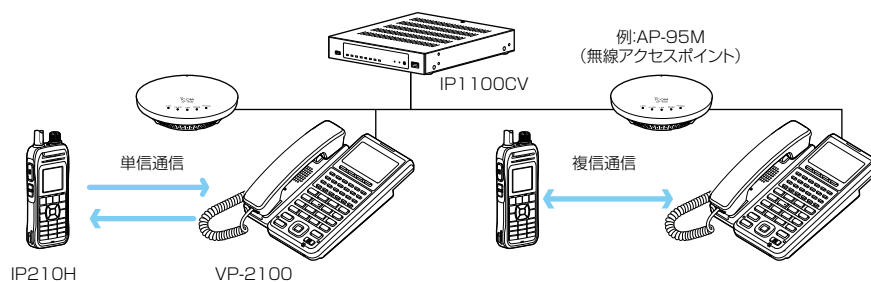
■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
呼出先指定	
待受画面での呼出:	<input type="radio"/> 11 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効 ※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。
アドレス帳からの呼出:	<input type="radio"/> 12 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
アドレス帳先頭番号:	全体 <input type="text"/>
全体呼出の表示:	<input type="radio"/> 13 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
起動時のトークグループ指定:	<input checked="" type="radio"/> 14 無効 <input type="radio"/> 有効
通知音 (受信通知を除く)	通知音量: <input type="text"/> 15 10
機能設定	
通信方式:	<input type="radio"/> 16 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 複信通信
優先呼出:	<input checked="" type="radio"/> 17 無効 <input type="radio"/> 有効

機能設定

- 16 通信方式 VP-2100で使用する通信方式を設定します。(出荷時の設定: 複信通信)
- 単信通信:
送信と受信を交互に切り替えて交信する方式です。
 - 複信通信:
複信は電話のように同時通話できる方式です。

【単信通信と複信通信】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

呼出先指定

待受画面での呼出: 11 無効 有効
※無効にすると、待受画面に戻っても、相手局(呼出種別)を表示しません。

アドレス帳からの呼出: 12 無効 有効

アドレス帳先頭番号: ▼

全体呼出の表示: 13 無効 有効

起動時のトークグループ指定: 14 無効 有効

通知音 (受信通知を除く)

通知音量: 10 ▼

機能設定

通信方式: 16 単信通信 複信通信

優先呼出: 17 無効 有効

機能設定(つづき)

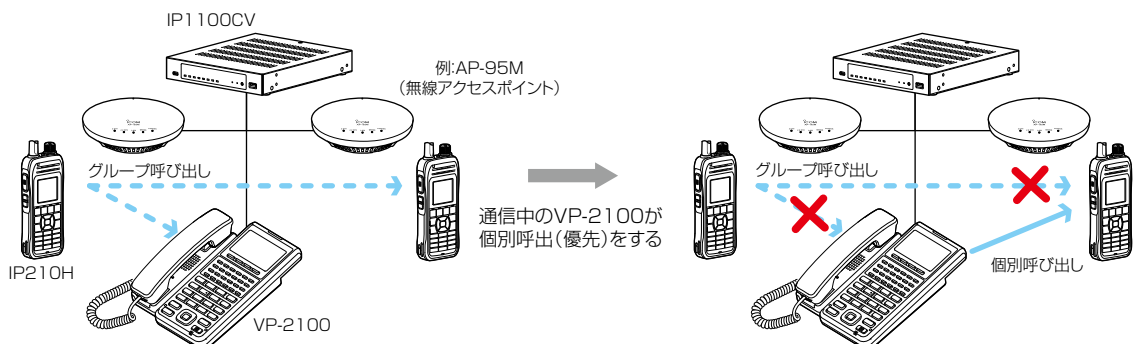
17 優先呼出 VP-2100に優先度の高い呼び出し権限を付与する場合に使用する設定です。
 (出荷時の設定: 無効)

呼出種別ごとの優先度は、下記ようになります。
 ※同一優先順位内での優先度は、呼び出した順番になります。
 ※着信時の応答は、発信側の優先度にしたがいます。

優先度	優先順位	呼出種別	優先呼出	備考
↑ 高 ↓ 低	固定	電話通信	—	電話通信
		緊急呼び出し(優先)	有効	—
		緊急呼び出し	無効	—
	可変★	全体呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		個別呼出(優先)	有効	IP100FS使用時も含む
		グループ呼出(優先)	有効	近隣呼出/IP100FS使用時も含む
		全体呼出	無効	近隣呼出も含む
		個別呼出	無効	—
		グループ呼出	無効	近隣呼出も含む

★「可変」は、「RoIPサーバー設定」画面の「通話優先順位」項目(P.5-8)で変更できます。

【通信中に相手局を変更した場合】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 16 単信通信 複信通信

優先呼出: 17 無効 有効

メッセージ: 18 無効 有効

メッセージ先頭番号: 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: 19 無効 有効

遠隔送信 (着信): 20 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): 21 無効 有効

個別番号 (着信): 22 00001

低優先度呼出の音声ミキシング: 23 無効 有効

機能設定(つづき)

18 メッセージ/メッセージ先頭番号

VP-2100でメッセージを送信するときに設定します。

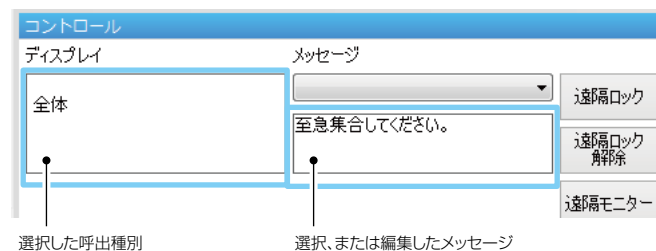
(出荷時の設定: 無効)

「有効」を設定すると、VP-2100のメニュー画面からメッセージを選択できます。

※VP-2100から送信する半角32(全角16)文字以内の定型メッセージは、「設定グループ」メニューの「メッセージ」画面で最大10件登録できます。

※はじめに表示するメッセージを、[メッセージ先頭番号]欄で指定します。

【IP100FSからメッセージを送信する場合】



※IP100FSでは、最大100件の定型メッセージをサイトごとに登録できます。登録したメッセージを選択、またはメッセージを編集して送信できます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: 16 単信通信 複信通信

優先呼出: 17 無効 有効

メッセージ: 18 無効 有効

メッセージ先頭番号: ▼

プレゼンス: 19 無効 有効

遠隔送信 (着信): 20 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): 無効 有効

個別番号 (着信): 22 無効 有効

低優先度呼出の音声ミキシング: 23 無効 有効

機能設定(つづき)

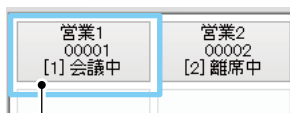
19 プレゼンス

VP-2100からステータス情報(例：会議中)を送信するときに設定します。
(出荷時の設定：無効)

※VP-2100から送信する半角32(全角16)文字以内のステータス情報は、「設定グループ」メニューの「プレゼンス」画面で最大10件登録できます。
※「有効」を設定すると、VP-2100のメニュー画面からプレゼンスを選択できます。

※VP-2100から送信されたステータス情報は、IP100FSのワンタッチボタン画面や本製品の「無線機管理」画面で確認できます。

【IP100FSでプレゼンスを確認する場合】



名前、個別番号、番号(本製品で登録されたステータス番号)、ステータス情報

【本製品でプレゼンスを確認する場合】

無線機管理

<input type="checkbox"/>	すべて	TRX番号	機種	名前	個別番号	レジスト状態	IPアドレス	プレゼンス	トークグループ	位置情報	バージョン
<input type="checkbox"/>	1	VP-2100	営業1	00001	接続中	192.168.0.201	会議中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	
<input type="checkbox"/>	2	VP-2100	営業2	00002	接続中	192.168.0.200	離席中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	
<input type="checkbox"/>	3	VP-2100	営業3	00003	接続中	192.168.0.99	作業中	-	00-90-C7	Ver. 1.00	

ステータス情報

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

機能設定

通信方式: ①⑥ 単信通信 複信通信

優先呼出: ①⑦ 無効 有効

メッセージ: ①⑧ 無効 有効

メッセージ先頭番号: ① 1 (至急集合してください。)

プレゼンス: ①⑨ 無効 有効

遠隔送信 (着信): ②⑩ 無効 有効

遠隔送信番号 (着信): ②⑪ 無効 有効

個別番号 (着信): ②② 00001

低優先度呼出の音声ミキシング: ②③ 無効 有効

※ [遠隔送信番号 (着信)] 欄を「無効」にした場合、[個別番号 (着信)] 欄は表示されません。

機能設定(つづき)

- ②⑩ 遠隔送信 (着信) IP100FSから遠隔送信を要求されたときに、相手先へ自動送信するかどうかを設定します。 (出荷時の設定: 有効)
※自動送信時、自動的にVP-2100本体のスピーカーフォンマイクがONになります。
- ②⑪ 遠隔送信番号 (着信) IP100FSからの遠隔送信要求だけを受け付けるかどうかを設定します。 (出荷時の設定: 無効)
- ②② 個別番号 (着信) [遠隔送信番号 (着信)] 有効時、遠隔送信要求を受け付けるIP100FSの個別番号(00001～60000)を入力します。 (出荷時の設定: 00001)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
機能設定	
通信方式:	<input type="radio"/> 16 単信通信 <input checked="" type="radio"/> 17 複信通信
優先呼出:	<input checked="" type="radio"/> 18 無効 <input type="radio"/> 19 有効
メッセージ:	<input type="radio"/> 20 無効 <input checked="" type="radio"/> 21 有効
メッセージ先頭番号:	1 (至急集合してください。)
プレゼンス:	<input checked="" type="radio"/> 22 無効 <input type="radio"/> 23 有効
遠隔送信 (着信):	<input type="radio"/> 24 無効 <input checked="" type="radio"/> 25 有効
遠隔送信番号 (着信):	<input type="radio"/> 26 無効 <input checked="" type="radio"/> 27 有効
個別番号 (着信):	28 00001
低優先度呼出の音声ミキシング:	<input checked="" type="radio"/> 29 無効 <input type="radio"/> 30 有効

機能設定(つづき)

29 低優先度呼出の音声ミキシング

通話中の相手局以外に、自局が所属する通話があれば、音声をミキシングして聞こえるようにできる機能です。 (出荷時の設定：無効)

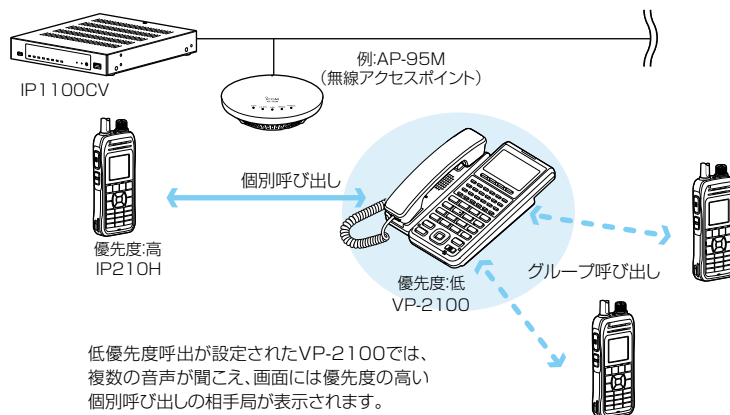
※複数の通話をミキシングしている場合は、VP-2100の画面には、最も高い優先度の通話が表示されます。

優先度について詳しくは、5-253ページをご覧ください。

たとえば、グループ呼び出しで通話中に、ほかの相手局と個別呼び出しで通話するとき、本機能を使用しているVP-2100では、個別呼び出しに加え、グループ呼び出しの音声もミキシングして聞こえます。

この場合、VP-2100の画面には、優先度の高い個別呼び出しの相手局が表示されます。

【低優先度呼出によるミキシング】



5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定		
キー割当 ²⁴		
ソフトキー(P1):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P2):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P3):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P4):	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-1:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-2:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-3:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-4:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-5:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-6:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-7:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-8:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-9:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-10:	他製品の設定	▼

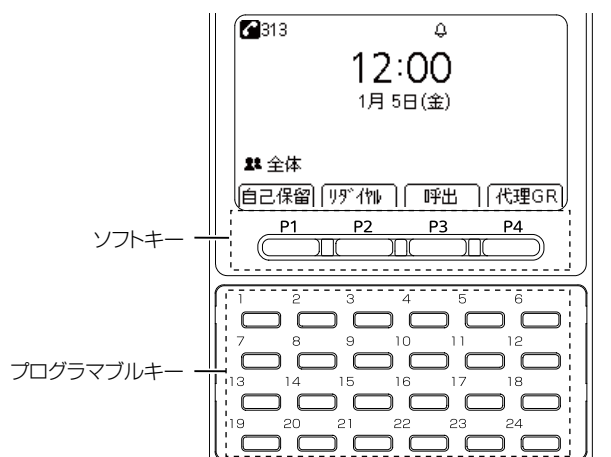
24 キー割当

VP-2100のソフトキー(P1～P4)、プログラマブルキー(1～24)に、リモートコミュニケーターモードで、よく使うメッセージや特定の相手をワンタッチで選択するなどの機能を割り当てるときに設定します。

(出荷時の設定：他製品の設定)

※「無効」を設定しているときは、待受画面の状態でもキーを押しても何も動作しません。

※ソフトキーに割り当てた機能は、下記のようにVP-2100本体の表示部で確認できます。



◎他製品の設定：

弊社製SIPサーバーなど、本製品以外で割り当てられた機能が動作します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定		
キー割当 ²⁴		
ソフトキー(P1):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P2):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P3):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P4):	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-1:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-2:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-3:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-4:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-5:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-6:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-7:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-8:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-9:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-10:	他製品の設定	▼

²⁴ キー割当(つづき)

◎メッセージ:

キーを押すだけで、よく使うメッセージを選択したいときに設定します。
[メッセージ番号]欄には、「メッセージ」画面で登録した内容を指定します。

ソフトキー1:	メッセージ	▼
メッセージ番号:	1(至急集合してください。)	▼

◎ワンタッチ:

キーを押すだけで、特定の呼出種別、または相手を選択したいときに設定します。呼出種別*は「個別」、「グループ」、「全体」から指定します。
※「個別」、「グループ」を選択したときは、[呼出先番号]欄に個別番号、またはグループ番号(00001～60000)を入力します。

ソフトキー1:	ワンタッチ	▼
呼出種別:	個別	▼
呼出先番号:	00001	

★[アドレス帳設定一覧](P.5-292)にトークグループが登録されている場合、指定できる呼出種別は「個別」、「グループ」、「トークグループ」、「全体」になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定		
キー割当 ²⁴		
ソフトキー(P1):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P2):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P3):	他製品の設定	▼
ソフトキー(P4):	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-1:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-2:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-3:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-4:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-5:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-6:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-7:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-8:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-9:	他製品の設定	▼
プログラマブルキー-10:	他製品の設定	▼

²⁴ キー割当(つづき)

◎受信音声ミュート:

受信した音声(通知音は除く)をミュートしたいときに設定します。

※キーを長く(約1秒)押すごとに、ミュート機能をON/OFFできます。

※[MIC/PTT]を押しても、ミュート機能を解除できます。

※[受信音声ミュート自動解除]欄を「有効」にした場合は、設定時間が経過すると、自動的にミュート機能が解除されます。

「有効」にして使用するときは、ミュート機能が解除されるまでの時間を「10～600」(秒)の範囲で設定します。

プログラマブルキー-24:	受信音声ミュート	▼
受信音声ミュート自動解除:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効	
受信音声ミュート自動時間:	60	秒

◎ヘッドセット(プログラマブルキーのみ):

受話器の代わりに、市販のヘッドセット(電話機用RJ9コネクター)で通話したいときに設定します。

※キーを押すごとに、ヘッドセット機能をON/OFFできます。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

テンキー設定

テンキー呼出: 25 個別

テンキー発信規制: 26 無効 有効

接続確認

接続確認: 27 無効 有効

キー操作音

キー操作音: 28 無効 有効

キー操作音量: 10

マイク

マイクゲイン: 29 0 dB

エコーキャンセラー: 30 無効 有効

ノイズキャンセラー: 31 無効 有効

ハンドセット

側音: 32 無効 有効

側音音量: 33 12

ヘッドセット

テンキー設定

25 テンキー呼出 VP-2100のテンキーを操作して相手の呼出先番号を入力するときに、呼出種別(個別/グループ)を設定します。(出荷時の設定: 個別)
設定すると、アドレス帳に登録していない相手も呼び出せます。

26 テンキー発信規制 アドレス帳に登録が無い相手局への発信を規制します。
※[テンキー呼出]欄が無効の場合は、表示されません。(出荷時の設定: 無効)

接続確認

27 接続確認 VP-2100から個別呼び出しをしたときに、相手先との接続を確認するための設定です。(出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、個別呼び出しをしたVP-2100の表示部に接続結果(接続成功/通話中/応答なし)が表示されます。
※相手先が圏外の場合は、「応答なし」が表示されます。
※「設定グループ詳細」画面で、接続通知音が「有効」に設定されているときは接続の成功や失敗を音でもお知らせします。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
テンキー設定	テンキー呼出: 25 個別
	テンキー発信規制: 26 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 27 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: 28 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 29 0
	エコーキャンセラー: 30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	ノイズキャンセラー: 31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
ハンドセット	側音: 32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	側音音量: 33 12
ヘッドセット	

キー操作音

- 28 キー操作音/キー操作音量 …………… VP-2100のキーを操作したときの確認音を設定します。
(出荷時の設定：有効)
- ◎無効：確認音が鳴りません。
◎有効：確認音が鳴ります。
※「有効」にして使用するときは、キー操作音量を、「0」～「16」の範囲で設定します。
(出荷時の設定：10)
※「0」を設定した場合は、VP-2100側の音量設定に関わらず、確認音は鳴りません。

マイク

- 29 マイクゲイン …………… マイクロホンの感度を設定します。
(出荷時の設定：0)
設定できる範囲は、「-12(低)」～「12(高)」(3dB刻み)です。
※周囲の騒音が大きい場所では、低い値に設定し、大きめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
また、周囲の雑音が少ない場所では、高い値に設定し、小さめの声で話すことで、通話相手に聞きやすい音声になります。
※本体/ハンドセット/ヘッドセット共通設定です。

- 30 エコーキャンセラー …………… エコーキャンセラー機能を設定します。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、同時通話(複信通信)するときに起こるエコー(反響)を低減します。
※通話する相手に返るエコー抑止に効果があります。
※本体/ハンドセット/ヘッドセット共通設定です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
テンキー設定	テンキー呼出: 25 個別
	テンキー発信規制: 26 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
接続確認	接続確認: 27 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
キー操作音	キー操作音: 28 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	キー操作音量: 10
マイク	マイクゲイン: 29 0 dB
	エコーキャンセラー: 30 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	ノイズキャンセラー: 31 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
ハンドセット	側音: 32 <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	側音音量: 33 12
ヘッドセット	

マイク(つづき)

- 31 ノイズキャンセラー ノイズキャンセラー機能を設定します。(出荷時の設定: 有効)
◎無効: ノイズキャンセラー機能が動作しません。
◎有効: ノイズキャンセラー機能が動作して、周囲の雑音が低減され、通話相手がこちらの音声を聞きやすくなります。
※本体/ハンドセット/ヘッドセット共通設定です。

ハンドセット

- 32 側音 ハンドセット(受話器)使用時の側音機能を設定します。(出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、受話器から自分の音声が聞こえるようになり、話しやすくなります。

- 33 側音音量 受話器で側音機能を使用するときの音量を設定します。(出荷時の設定: 12)
設定できる範囲は、「0」(最小)～「15」(最大)です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

側音音量

ヘッドセット

側音: 34 無効 有効

側音音量: 35 12

エマージェンシー設定

エマージェンシー: 36 無効 有効

エマージェンシー着信設定

警告音: 37 無効 有効

警告音量: 38 16

V/RoIP設定

ヘッドセット

34 側音 ヘッドセット接続時の側音機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、ヘッドセットから自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。

35 側音音量 ヘッドセットで側音機能を使用するときの音量を設定します。
設定できる範囲は、「0」(最小)～「15」(最大)です。 (出荷時の設定: 12)

エマージェンシー設定

36 エマージェンシー 迅速な連絡が必要な場合など、緊急呼び出しを使用するときに設定します。
(出荷時の設定: 無効)
緊急呼び出しを受けると、「緊急」と呼び出し先が表示され、警告音(ピロピロ….)が一定の間隔で鳴ります。
※[エマージェンシー着信設定]で、警告音が「無効」に設定されている場合は鳴りません。

エマージェンシー着信設定

37 警告音 緊急呼び出し受信時に警告音(ピロピロ…)を鳴らすかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)

38 警告音量 緊急呼び出し受信時の警告音量を、「0～16」の範囲で設定します。
(出荷時の設定: 16)

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 TOS メディア(RTP)優先度：43 7 メディア(RTP)サービスタイプ：0 メディア(RTP)16進表示：E0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 Diffserv メディア(RTP)DSCP：43 56 メディア(RTP)16進表示：E0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定

39 音声Codec

通話に使用する音声コーデックを、「G.711u」、「G.726」から選択します。
※設定変更後、一時的にVP-2100との接続が切れます。再接続後、VP-2100を再起動して設定を反映してください。(出荷時の設定：G.711u)

◎G.711u：

音声を圧縮しないので、音質の劣化が少ないという特長があります。

◎G.726：

音声の圧縮に利用される音声コーデックです。使用するときには、ビットレートを、「16kbps(2bit)」、「24kbps(3bit)」、「32kbps(4bit)」、「40kbps(5bit)」から設定します。(出荷時の設定：32kbps(4bit))

40 ジッターバッファ種別

パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファを、「スタティック」、「ダイナミック」から選択します。

(出荷時の設定：ダイナミック)

◎スタティック：

音声を受信したとき、[ジッターバッファサイズ]欄で設定した時間で音声データを蓄えます。

◎ダイナミック：

音声を受信したとき、揺らぎに応じて音声データを蓄える時間が変動します。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 TOS メディア(RTP)優先度：43 7 メディア(RTP)サービスタイプ：0 メディア(RTP)16進表示：E0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 Diffserv メディア(RTP)DSCP：43 56 メディア(RTP)16進表示：E0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-265)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

41 **ジッターバッファサイズ** …… VP-2100が音声を受信したときに、音声データを蓄える時間を設定します。設定できる範囲は、「40」～「480」(40ミリ秒刻み)です。設定する時間が短いほど遅延は少なくなりますが、音声が途切れやすくなります。(出荷時の設定：40)

42 **TOS種別** …………… VP-2100のTOS機能について設定します。(出荷時の設定：TOS)

◎使用しない：

TOS機能を使用しません。

◎TOS：

TOS(Type Of Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。

RFC1349に準拠して、1ビット～3ビットを優先度、4ビット～7ビットをサービスタイプとして、10進数で設定します。

残りの1ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

優先度の設定値が大きいほど、優先度が高くなります。

◎Diffserv：

Diffserv(Differentiated Service)のフォーマットで、VoIP packetsをIPヘッダー内のTOSフィールド(8ビット)に出力します。

1ビット～6ビットをDSCPとして、10進数で設定します。

残りの2ビットは、未使用フィールドとして、0に固定されています。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
TOS種別：使用しない	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 使用しない
TOS種別：TOS	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 TOS メディア(RTP)優先度：43 7 メディア(RTP)サービスタイプ：0 メディア(RTP)16進表示：E0
TOS種別：Diffserv	音声Codec：39 G.726 G.726ビットレート：32kbps(4bit) ジッターバッファ種別：40 <input checked="" type="radio"/> スタティック <input type="radio"/> ダイナミック ジッターバッファサイズ：41 40 ミリ秒 TOS種別：42 Diffserv メディア(RTP)DSCP：43 56 メディア(RTP)16進表示：E0

※上図は、[ジッターバッファ種別]欄(P.5-265)を「スタティック」に設定したときに表示される画面です。

V/RoIP設定(つづき)

43 メディア(RTP) ……………

TOSフィールド内に出力された音声パケットを優先制御する基準についての設定項目です。

※[TOS種別]欄(P.5-266)で「使用しない」を選択したときは表示されない項目です。

TOS種別：TOS

◎優先度：

TOSの優先度フィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～7」(10進数)です。 (出荷時の設定：7)

優先度の設定値が大きいくほど、優先度が高くなります。

◎サービスタイプ：

TOSのサービスタイプフィールドの値を設定します。

設定できる範囲は、「0～15」(10進数)です。 (出荷時の設定：0)

TOS種別：Diffserv

◎DSCP：

DSCP(Differentiated Services Code Point)の値を設定します。

設定できる範囲は、「0～63」(10進数)です。 (出荷時の設定：56)

※[TOS種別]欄で「Diffserv」を選択したときに、表示される項目です。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定	
IPアドレス設定	設定方法: 44 他製品の設定
保守設定	管理者設定パスワード: 45 0000
	保守サーバー: 46
	保守サーバー以外からの再起動: 47 <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
	SNTPサーバー: 48
	起動時のファームウェア自動更新: 49 有効 (自動再起動無し)
	ファームアップサーバー: 50
	SYSLOGホストアドレス: 51
	SYSLOG送信レベル: 52 <input type="checkbox"/> DEBUG <input type="checkbox"/> INFO <input type="checkbox"/> NOTICE
プロビジョニング設定	プロビジョニング時の初期化: 53 <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 履歴
	54 登録 55 取消

IPアドレス設定

44 設定方法

VP-2100のIPアドレスに関する設定をします。

(出荷時の設定: 他製品の設定)

◎他製品の設定:

導入時は、VP-2100本体の設定内容を使用しますが、弊社製SIPサーバーで変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。

◎DHCPクライアント:

DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得するときに使用します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定	
設定方法:	DHCPクライアント
プライマリーDNSサーバー:	
セカンダリーDNSサーバー:	

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

IPアドレス設定
設定方法: 44 他製品の設定

保守設定
管理者設定パスワード: 45 0000
保守サーバー: 46
保守サーバー以外からの再起動: 47 無効 有効
SNTPサーバー: 48
起動時のファームウェア自動更新: 49 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 50
SYSLOGホストアドレス: 51
SYSLOG送信レベル: 52 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 53 設定 履歴

54 登録 55 取消

IPアドレス設定

44 設定方法(つづき)

◎固定IP:

固定IPアドレスを割り当てるときに使用します。

ご利用になるネットワーク環境に応じて設定してください。

※ネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスをデフォルトゲートウェイに入力します。

※必要に応じて、プライマリーDNSサーバー、セカンダリーDNSサーバーを設定してください。

IPアドレス設定

設定方法: 固定IP

IPアドレス: _____

サブネットマスク: _____

デフォルトゲートウェイ: _____

プライマリーDNSサーバー: _____

セカンダリーDNSサーバー: _____

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

IPアドレス設定
設定方法: 44 他製品の設定

保守設定
管理者設定パスワード: 45 0000
保守サーバー: 46
保守サーバー以外からの再起動: 47 無効 有効
SNTPサーバー: 48
起動時のファームウェア自動更新: 49 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 50
SYSLOGホストアドレス: 51
SYSLOG送信レベル: 52 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 53 設定 履歴

54 登録 55 取消

保守設定

- 45 管理者設定パスワード …………… VP-2100本体の「管理者設定」で、保守サーバーなどを設定するときに入力するパスワードを、半角数字15文字以内で設定します。
(出荷時の設定：0000)
- 46 保守サーバー …………… VP-2100の保守サーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
入力は、半角英数字で63文字までです。
※本製品を保守サーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- 47 保守サーバー以外からの再起動 …………… [保守サーバー]欄で指定した機器以外から、VP-2100を再起動させるかどうかを設定します。
(出荷時の設定：無効)
※2024年12月現在、対応機種はAP-9500、IP1100CV、SR-8000V、SR-8000VK、VE-PG4です。
- 48 SNTPサーバー …………… VP-2100のSNTPサーバーに指定する機器のIPアドレスを入力します。
※本製品をSNTPサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

IPアドレス設定
設定方法: 44 他製品の設定

保守設定
管理者設定パスワード: 45 0000
保守サーバー: 46
保守サーバー以外からの再起動: 47 無効 有効
SNTPサーバー: 48
起動時のファームウェア自動更新: 49 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 50
SYSLOGホストアドレス: 51
SYSLOG送信レベル: 52 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 53 設定 履歴

54 登録 55 取消

保守設定(つづき)

49 起動時のファームウェア

自動更新

本製品からVP-2100のファームウェアを自動更新するための設定です。
(出荷時の設定: 有効(自動再起動無し))

◎無効:

本製品によるVP-2100のファームウェア自動更新を無効にします。

◎有効(自動再起動無し):

VP-2100の電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、VP-2100はファームウェアを取得します。

VP-2100の電源を入れなおすと、ファームウェアの更新を開始します。

◎有効(自動再起動有り):

VP-2100の電源を入れたとき、本製品に内蔵しているファームウェアを確認し、更新する内容がある場合、VP-2100はファームウェアの更新を開始します。

更新が完了すると、自動的にVP-2100が再起動します。

※本製品に内蔵しているVP-2100のファームウェアのバージョン情報は、「TOP」メニューで確認できます。

50 ファームアップサーバー

VP-2100のファームアップサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。

入力は、半角英数字で63文字までです。

※本製品をファームアップサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。

※システム内に複数のファームアップサーバーを設置しないでください。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定 [VP-2100]

無線機個別設定

IPアドレス設定
設定方法: 44 他製品の設定

保守設定
管理者設定パスワード: 45 0000
保守サーバー: 46
保守サーバー以外からの再起動: 47 無効 有効
SNTPサーバー: 48
起動時のファームウェア自動更新: 49 有効 (自動再起動無し)
ファームアップサーバー: 50
SYSLOGホストアドレス: 51
SYSLOG送信レベル: 52 DEBUG INFO NOTICE

プロビジョニング設定
プロビジョニング時の初期化: 53 設定 履歴

54 登録 55 取消

保守設定(つづき)

51 **SYSLOGホストアドレス** …… VP-2100のSYSLOGサーバーに指定する機器(ホスト)のIPアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。

52 **SYSLOG送信レベル** …… [SYSLOGホストアドレス]欄に入力したホストへ送信するログ情報の各レベルを選択します。(出荷時の設定: DEBUG INFO NOTICE)
ログ出力するレベルのチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。

プロビジョニング設定

53 **プロビジョニング時の初期化** …… プロビジョニング時に、初期化する項目のチェックボックスをクリックして、チェックマーク[✓]を入れます。(出荷時の設定: 設定 履歴)

54 **〈登録〉** …… [無線機個別設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[無線機個別設定一覧]項目に表示されます。

55 **〈取消〉** …… [無線機個別設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機設定」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定コピー

[無線機個別設定]項目で登録したWLAN無線機の設定内容をほかのWLAN無線機にコピーできます。

※IPアドレス設定はコピーされません。

※画面は、設定例です。

無線機個別設定コピー

コピー元無線機： 00010 (営業1) ※[無線機個別設定]-[個別番号]で選択します。

コピー先無線機

① すべて 00020(営業2)

② ③

- ① 選択ボックス ボックスにチェックマークを入れて、コピー先のWLAN無線機を選択します。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ② <コピー> クリックすると、[無線機別設定]項目に表示されている登録内容が、選択した個別番号の無線機にコピーされます。
- ③ <取消> クリックすると、[選択ボックス]欄のチェックマークが解除されます。
※<コピー>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

無線機コントローラー設定 > 無線機設定 > 無線機個別

■ 無線機個別設定一覧

[無線機個別設定]項目で登録した内容の一覧です。

登録内容を編集、確認するときは、[無線機個別設定]項目で[個別番号(機種：名前)]を選択します。

※画面は、設定例です。

機種	名前	個別番号	共通項目の設定	アドレス帳からの呼出	近隣呼出	メッセージ	プレゼンス
IP200H	営業1	00010	本製品の設定	無効	無効	無効	無効
IP200H	営業2	00020	本製品の設定	有効	無効	有効	無効
IP110H	営業3	00003	-	有効	無効	有効	有効

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

WLAN無線機 (VP-2100を除く)の無線LANに関する共通項目の設定を登録します。

※「設定グループ詳細」画面で、WLAN無線機が所属する設定グループごとに、無線LAN設定を指定できます。

※設定内容を変更した場合は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

無線LAN設定				
※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。				
番号	1			
名前				
スキャンモード	<input checked="" type="checkbox"/> 11g <input checked="" type="checkbox"/> 11a (<input checked="" type="checkbox"/> W52 <input checked="" type="checkbox"/> W53 <input checked="" type="checkbox"/> W56)			
通信チャンネル (11g)	自動 (1-13)			
パワーレベル	高			
ローミング閾値	-75	dBm		
IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用				
※SSIDを空にすると設定がクリアされます。				
7 SSID	8 ネットワーク認証	9 暗号化方式	10 WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
IP200H/WPA	WPA・WPA2	TKIP・AES	PSK: <input type="text"/>	11 詳細

- ① 番号 WLAN無線機が所属する設定グループで共用する無線LAN設定を登録するために、「1」～「20」の番号を選択します。 (出荷時の設定：1)
最大20件まで登録できます。
- ② 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。 (出荷時の設定：空白(なし))
- ③ スキャンモード WLAN無線機で使用する無線LAN規格を設定します。
ここで設定した無線LAN規格の無線アクセスポイントに接続すると、通信できます。 (出荷時の設定： 11g、
 11a(W52 W53 W56))
※チェックマークを入れた無線LAN規格のチャンネルが、自動設定するチャンネルの検索範囲になります。
※5GHz帯を屋外で使用される場合は、11a(W56)だけにチェックマークを入れてください。
※5.2GHz帯無線LANの使用は、電波法により、5.2GHz帯高出力データ通信システムの基地局、または陸上移動中継局と通信する場合を除き、屋内に限定されます。5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法により、屋内に限定されます。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

番号 ① 1

名前 ②

スキャンモード ③ 11g
 11a (W52 W53 W56)

通信チャンネル (11g) ④ 自動 (1-13)

パワーレベル ⑤ 高

ローミング閾値 ⑥ -75 dBm

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用

※SSIDを空にすると設定がクリアされます。

⑦ SSID	⑧ ネットワーク認証	⑨ 暗号化方式	⑩ WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
IP200H/WPA	WPA・WPA2	TKIP・AES	PSK: <input type="password"/>	⑪ 詳細

④ 通信チャンネル(11g) ……………

WLAN無線機で2.4GHz帯(11g)を使用する場合に、スキャンするチャンネルを設定します。(出荷時の設定：自動(1-13))

「自動(1-13)」、「自動(1,5,9,13)」、「固定」、「カスタム」から選択します。

【チャンネルを1つだけ指定する場合は】

[通信チャンネル(11g)]欄で「固定」を選択して、[固定チャンネル(11g)]欄からスキャンするチャンネル(1～13)を指定します。

【チャンネルを1つ以上指定する場合は】

[通信チャンネル(11g)]欄で「カスタム」を選択して、[カスタムチャンネル(11g)]欄でスキャンするチャンネル(1～13)を1つ以上指定してください。

⑤ パワーレベル ……………

WLAN無線機の送信出力を、高/中/低(3段階)の中から選択します。

(出荷時の設定：高)

WLAN無線機の最大伝送距離は、パワーレベルが「高」の場合です。

パワーレベルを低くすると、伝送距離も短くなります。

【パワーレベルを低くする目的について】

◎WLAN無線機から送信される電波が広範囲に届くのを軽減したいとき

◎通信エリアを制限してセキュリティを高めたいとき

◎比較的狭いエリアに複数台の無線アクセスポイントが設置された環境で、近くの無線LAN機器との電波干渉をなくして、通信速度の低下などを軽減したいとき

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

番号 ① 1

名前 ②

スキャンモード ③ 11g
 11a (W52 W53 W56)

通信チャンネル (11g) ④ 自動 (1-13)

パワーレベル ⑤ 高

ローミング閾値 ⑥ -75 dBm

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用

※SSIDを空にすると設定がクリアされます。

⑦ SSID	⑧ ネットワーク認証	⑨ 暗号化方式	⑩ WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
IP200H/WPA	WPA・WPA2	TKIP・AES	PSK: <input type="text"/>	⑪ 詳細

- ⑥ ローミング閾値 …………… WLAN無線機がローミングを開始する受信信号強度を、「-1」～「-100」(dBm)から選択します。(出荷時の設定：-75)
設定値が大きい(例：-65)ほどローミングしやすく、設定値が小さい(例：-85)ほどローミングしにくくなります。

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用

- ⑦ SSID …………… 無線アクセスポイントに設定されたSSID(無線ネットワーク名)を、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力します。
※最大10件のSSIDを登録できます。
※[SSID]は、無線ネットワークのグループ分けをするために使用します。
[SSID]の異なる無線LAN機器とは接続できません。
※無線アクセスポイントが無線伝送エリア内に複数存在しているような場合、個々の無線ネットワークグループを[SSID]で識別できます。
※複数の[SSID]を登録した場合、WLAN無線機は電波が強い無線アクセスポイントを自動で選択し、接続します。
※弊社以外の無線LAN機器では[ESSID]と表記されている場合があります。
[SSID]と[ESSID]は、同じ意味で使用しています。

ご注意

次のような場合、無線LAN設定の登録はできません。

◎ [SSID]と[暗号化方式]の組み合わせが重複する場合

◎ 先頭のSSIDが、他の無線LAN設定([番号](P.5-274)が異なる設定)と重複する場合

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

番号 ①

名前 ②

スキャンモード ③ 11g
 11a (W52 W53 W56)

通信チャンネル (11g) ④

パワーレベル ⑤

ローミング閾値 ⑥ dBm

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用

※SSIDを空にすると設定がクリアされます。

⑦ SSID	⑧ ネットワーク認証	⑨ 暗号化方式	⑩ WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
<input type="text" value="IP200H WPA"/>	<input type="text" value="WPA・WPA2"/>	<input type="text" value="TKIP・AES"/>	PSK: <input type="text" value=""/> <input type="checkbox"/>	⑪ 詳細

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用(つづき)

- ⑧ ネットワーク認証 …………… 無線アクセスポイントに設定されたネットワーク認証方式を選択します。
 (出荷時の設定：オープンシステム・共有キー)
 ※異なる認証方式の相手とは互換性がないので、通信する無線アクセスポイントと同じ設定にしてください。

【認証方式について】

- ◎ **オープンシステム・共有キー：**
無線アクセスポイントにアクセスするとき、「オープンシステム」と「共有キー」を自動認識しますので、無線アクセスポイントと暗号鍵(キー)が同じであれば通信できます。
- ◎ **オープンシステム：**
無線アクセスポイントにアクセスするとき、暗号鍵(キー)の認証をしません。
- ◎ **WPA・WPA2：**
「WPA」認証と「WPA2」認証を自動認識します。
- ◎ **WPA-PSK・WPA2-PSK：**
「WPA-PSK」認証と「WPA2-PSK」認証を自動認識します。

【ネットワーク認証と暗号化方式の対応について】

	オープンシステム	オープンシステム・共有キー	WPA WPA2	WPA-PSK WPA2-PSK
なし	○	○	×	×
WEP RC4	○	○	×	×
TKIP・AES	×	×	○	○

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定				
※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。				
番号 ①	1			
名前 ②				
スキャンモード ③	<input checked="" type="checkbox"/> 11g <input checked="" type="checkbox"/> 11a (<input checked="" type="checkbox"/> W52 <input checked="" type="checkbox"/> W53 <input checked="" type="checkbox"/> W56)			
通信チャンネル (11g) ④	自動 (1-13)			
パワーレベル ⑤	高			
ローミング閾値 ⑥	-75 dBm			
IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用				
※SSIDを空にすると設定がクリアされます。				
⑦ SSID	⑧ ネットワーク認証	⑨ 暗号化方式	⑩ WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
IP200H/WPA	WPA・WPA2	TKIP・AES	PSK: <input type="password"/>	⑪ 詳細

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用(つづき)

- ⑨ 暗号化方式 無線アクセスポイントに設定された暗号化方式を選択します。
(出荷時の設定：なし)
対応する暗号化方式は、「WEP RC4」、「TKIP・AES」です。
※異なる暗号化方式の相手とは互換性がないので、通信する無線アクセスポイントと同じ設定にしてください。

【暗号化方式について】

◎なし：

データを暗号化しないで通信します。

[ネットワーク認証]欄で、「オープンシステム・共有キー」、「オープンシステム」を選択したときに使用できます。

※IEEE802.11ac/n/a/g/b規格に準拠します。

◎WEP RC4：

暗号鍵(キー)が一致した場合に、通信できる暗号化方式です。

暗号鍵(キー)の長さは、64(40)/128(104)ビットの中から選択できます。

※[ネットワーク認証]欄で、「オープンシステム・共有キー」、「オープンシステム」を選択したときに使用できます。

◎TKIP・AES：

無線LAN端末からのアクセスに対して、「TKIP」と「AES」を自動認識します。

[ネットワーク認証]欄で、「WPA・WPA2」、「WPA-PSK・WPA2-PSK」を選択したときに使用できます。

※「AES」が認識されたときだけ、IEEE802.11ac/n規格で通信できます。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

番号 ① 1

名前 ②

スキャンモード ③ 11g
 11a (W52 W53 W56)

通信チャンネル (11g) ④ 自動 (1-13)

パワーレベル ⑤ 高

ローミング閾値 ⑥ -75 dBm

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用

※SSIDを空にすると設定がクリアされます。

⑦ SSID	⑧ ネットワーク認証	⑨ 暗号化方式	⑩ WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
IP200H/WPA	WPA・WPA2	TKIP・AES	PSK: <input type="password"/>	⑪ 詳細

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用(つづき)

⑩ WEPキーまたは PSK(Pre-Shared Key) ……

【WEPキーについて】

無線アクセスポイントに設定された暗号鍵(キー)を入力します。

ネットワーク認証	暗号化方式	WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
オープンシステム・共有	WEP RC4 64 (40)	WEP: <input type="password"/>	

※[ネットワーク認証]欄で、「オープンシステム・共有キー」、または「オープンシステム」を選択したときに設定できます。

※「0～9」、および「a～f(またはA～F)」の16進数、またはASCII文字で、半角入力してください。

※入力する暗号鍵(キー)の桁数は、[暗号化方式]欄を設定したとき表示される桁数(10桁の入力例: 0000000000)と同じに設定してください。

ASCII文字で入力する場合は、16進数の半分(例: 5文字)で入力してください。

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力内容を確認できます。

【PSK(Pre-Shared Key)について】

無線アクセスポイントで設定した共有鍵(キー)を半角英数字で入力します。

ネットワーク認証	暗号化方式	WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
WPA-PSK・WPA2-PSK	TKIP・AES	PSK: <input type="password"/>	

※[ネットワーク認証]欄で、「WPA-PSK・WPA2-PSK」を選択したときに設定できます。

※同じ暗号化方式を使用する相手と、同じ共有鍵(キー)を設定してください。

※16進数で設定するときは、64桁を入力してください。

※ASCII文字で設定するときは、大文字/小文字の区別に注意して、8文字～63文字を入力してください。

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力内容を確認できます。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

※無線機の無線LAN設定の変更に使用します。

番号 ①

名前 ②

スキャンモード ③ 11g
 11a (W52 W53 W56)

通信チャンネル (11g) ④

パワーレベル ⑤

ローミング閾値 ⑥ dBm

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用

※SSIDを空にすると設定がクリアされます。

⑦ SSID	⑧ ネットワーク認証	⑨ 暗号化方式	⑩ WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)	詳細設定
<input type="text" value="IP200H/WPA"/>	<input type="text" value="WPA・WPA2"/>	<input type="text" value="TKIP・AES"/>	PSK: <input type="text"/> <input type="checkbox"/>	⑪ <input type="button" value="詳細"/>

IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H用(つづき)

⑪ 詳細設定

[ネットワーク認証] 欄で、「WPA・WPA2」を選択したときに設定できます。〈詳細〉をクリックすると、無線LAN詳細設定(下図)が別画面で表示されます。「無線機個別設定」画面(P.5-108、P.5-162、P.5-192、P.5-245)で設定したWLAN無線機(IP100Hを除く)ごとにEAP認証プリセット設定(1～10)を選択して、〈登録〉をクリックします。

無線LAN詳細設定

TRX番号	名前	EAP認証プリセット設定番号	認証方式	ユーザー名	外部認証ユーザー名	クライアント証明書
3	IP200H	<input type="text" value="1"/>	EAP-TLS			1 (未設定)
4	IP200H-0011	<input type="text" value="1 (IP200H営業1)"/>	EAP-TLS			1 (未設定)

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

12 SSID	13 ネットワーク認証	14 暗号化方式	15 WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)
IP100HPSK	WPA-PSK・WPA2-PSK ▼	TKIP・AES ▼	PSK: <input type="checkbox"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>

16 登録 17 取消

IP100H用

12 SSID.....

無線アクセスポイントに設定されたSSID(無線ネットワーク名)を、大文字/小文字の区別に注意して、任意の半角英数字32文字以内で入力します。

※最大10件のSSIDを登録できます。

※[SSID]は、無線ネットワークのグループ分けをするために使用します。

[SSID]の異なる無線LAN機器とは接続できません。

※無線アクセスポイントが無線伝送エリア内に複数存在しているような場合、個々の無線ネットワークグループを[SSID]で識別できます。

※複数の[SSID]を登録した場合、WLAN無線機は電波が強い無線アクセスポイントを自動で選択し、接続します。

※弊社以外の無線LAN機器では[ESSID]と表記されている場合があります。

[SSID]と[ESSID]は、同じ意味で使用しています。

ご注意

次のような場合、無線LAN設定の登録はできません。

◎[SSID]と[暗号化方式]の組み合わせが重複する場合

◎先頭のSSIDが、他の無線LAN設定([番号](P.5-274)が異なる設定)と重複する場合

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

12 SSID	13 ネットワーク認証	14 暗号化方式	15 WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)
IP100HPSK	WPA-PSK・WPA2-PSK ▼	TKIP・AES ▼	PSK: 👁
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____

16 登録
17 取消

IP100H用(つづき)

13 ネットワーク認証

無線アクセスポイントに設定されたネットワーク認証方式を選択します。

(出荷時の設定：オープンシステム・共有キー)

※異なる認証方式の相手とは互換性がありませんので、通信する無線アクセスポイントと同じ設定にしてください。

【認証方式について】

◎オープンシステム・共有キー：

無線アクセスポイントにアクセスするとき、「オープンシステム」と「共有キー」を自動認識しますので、無線アクセスポイントと暗号鍵(キー)が同じであれば通信できます。

◎オープンシステム：

無線アクセスポイントにアクセスするとき、暗号鍵(キー)の認証をしません。

◎WPA-PSK・WPA2-PSK：

「WPA-PSK」認証と「WPA2-PSK」認証を自動認識します。

【ネットワーク認証と暗号化方式の対応について】

	オープンシステム	オープンシステム・共有キー	WPA-PSK WPA2-PSK
なし	○	○	×
WEP RC4	○	○	×
TKIP・AES	×	×	○

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

12 SSID	13 ネットワーク認証	14 暗号化方式	15 WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)
IP100HPSK	WPA-PSK・WPA2-PSK ▼	TKIP・AES ▼	PSK: <input type="checkbox"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>
	オープンシステム・共有▼	なし ▼	WEP: <input type="text"/>

16 登録 17 取消

IP100H用(つづき)

14 暗号化方式

無線アクセスポイントに設定された暗号化方式を選択します。

(出荷時の設定：なし)

対応する暗号化方式は、「WEP RC4」、「TKIP・AES」です。

※異なる暗号化方式の相手とは互換性がないので、通信する無線アクセスポイントと同じ設定にしてください。

【暗号化方式について】

◎なし：

データを暗号化しないで通信します。

※[ネットワーク認証]欄で、「オープンシステム・共有キー」、または「オープンシステム」を選択したときに使用できます。

※IEEE802.11ac/n/a/g/b規格に準拠します。

◎WEP RC4：

暗号鍵(キー)が一致した場合に、通信できる暗号化方式です。

※暗号鍵(キー)の長さは、64(40)/128(104)ビットの中から選択できます。

※[ネットワーク認証]欄で、「オープンシステム・共有キー」、または「オープンシステム」を選択したときに使用できます。

※IEEE802.11a/g/b規格に準拠します。

◎TKIP・AES：

無線LAN端末からのアクセスに対して、「TKIP」と「AES」を自動認識します。

※[ネットワーク認証]欄で、「WPA-PSK・WPA2-PSK」を選択したときに使用できます。

※「AES」が認識されたときだけ、IEEE802.11ac/n規格で通信できます。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

12 SSID	13 ネットワーク認証	14 暗号化方式	15 WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)
IP100HPSK	WPA-PSK・WPA2-PSK ▼	TKIP・AES ▼	PSK:
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____
	オープンシステム・共有キー ▼	なし ▼	WEP: _____

16 登録 17 取消

IP100H用(つづき)

15 WEPキーまたは PSK(Pre-Shared Key)

【WEPキーについて】

無線アクセスポイントに設定された暗号鍵(キー)を入力します。

ネットワーク認証	暗号化方式	WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)
オープンシステム・共有キー ▼	WEP RC4 64 (40) ▼	WEP:

※[ネットワーク認証]欄で、「オープンシステム・共有キー」、または「オープンシステム」を選択したときに設定できます。

※「0～9」、および「a～f(またはA～F)」の16進数、またはASCII文字で、半角入力してください。

※入力する暗号鍵(キー)の桁数は、[暗号化方式]欄を設定したとき表示される桁数(10桁の入力例: 0000000000)と同じに設定してください。
ASCII文字で入力する場合は、16進数の半分(例: 5文字)で入力してください。

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力内容を確認できます。

【PSK(Pre-Shared Key)について】

無線アクセスポイントで設定した共有鍵(キー)を半角英数字で入力します。

ネットワーク認証	暗号化方式	WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)
WPA-PSK・WPA2-PSK ▼	TKIP・AES ▼	PSK:

※[ネットワーク認証]欄で、「WPA-PSK・WPA2-PSK」を選択したときに設定できます。

※同じ暗号化方式を使用する相手と、同じ共有鍵(キー)を設定してください。

※16進数で設定するときは、64桁を入力してください。

※ASCII文字で設定するときは、大文字/小文字の区別にご注意して、8文字～63文字を入力してください。

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力内容を確認できます。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定

無線LAN設定

12 SSID	13 ネットワーク認証	14 暗号化方式	15 WEPキー または PSK (Pre-Shared Key)
IP100HPSK	WPA-PSK・WPA2-PSK ▼	TKIP・AES ▼	PSK:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:
	オープンシステム・共有 ▼	なし ▼	WEP:

16 登録 17 取消

16 <登録> [無線LAN設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[無線LAN設定一覧] 項目に表示されます。

17 <取消> [無線LAN設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 無線LAN

■ 無線LAN設定一覧

[無線LAN設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

番号	名前	SSID(IP110H/IP200H/IP200PG/IP210H)	SSID(IP100H)	1	2
1	WLAN用	IP200H WPA IP200HPSK	IP100HPSK	編集	削除

3
全削除

- ① <編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[無線LAN設定]項目に表示されます。
- ② <削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③ <全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳グループ設定

WLAN無線機(IP200PGを除く)が使用するアドレス帳を登録するときに使用します。

※「設定グループ詳細」画面で、WLAN無線機が所属する設定グループごとに、アドレス帳を指定できます。

※設定内容を変更した場合は、WLAN無線機の再起動が必要です。

アドレス帳グループ設定	
アドレス帳グループ番号:	1 (0件) ※変更すると、表示するアドレス帳のグループが変更されます。

アドレス帳グループ番号……………

WLAN無線機が使用するアドレス帳を登録するために、「1」～「300」の番号を選択します。

最大300件までグループを登録できます。

※グループに名前や呼出先番号が登録されているときは、下図のように表示されます。

アドレス帳グループ番号:	1 (営業部 / 8件) ※変更すると、表示するアドレス帳のグループが変更されます。
--------------	---

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳グループ詳細設定

[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループに任意の名称を登録します。

アドレス帳グループ詳細設定	
名前: ① _____	② 登録 ③ 取消

① 名前 ……………

任意の名称を、31文字以内で入力します。

※「アドレス帳」画面と「設定グループ詳細」画面で、グループを選択すると入力した名前が表示されます。

② <登録> ……………

[アドレス帳グループ詳細設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

③ <取消> ……………

[アドレス帳グループ詳細設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳設定の保存と書き込み

[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループのアドレス帳をファイルに保存したり、保存したファイルを本製品に書き込んだりします。

※設定内容を変更した場合は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※[アドレス帳グループ設定]項目(P.5-287)でグループ番号「1」を選択したときの画面です。

※グループに名前(例：営業部)が登録されているときは、[アドレス帳設定の保存と書き込み(営業部)]と表示されます。

アドレス帳設定の保存と書き込み	
保存したファイルを書き込む：①	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません
	<input type="button" value="書き込み"/> CSV形式のファイルが書き込みできます。 ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。
文字コード：②	UTF-8
ファイルに保存する：③	<input type="button" value="保存"/> tn01_id_list001.csv で保存されます。

① 保存したファイルを書き込む …

[ファイルに保存する]欄の操作で保存したアドレス帳ファイル(拡張子：csv)の内容を本製品に書き込むとき使用します。

ファイルの保存先を指定するため、〈ファイルの選択〉をクリックします。

表示された画面で目的のファイルを選択して、〈開く(O)〉をクリックします。〈書き込み〉をクリックすると、[アドレス帳設定一覧]項目にその内容を書き込みます。

※書き込む前の内容は、消去されますのでご注意ください。

※「管理」メニューの「設定の保存/復元」画面で保存された設定ファイルを書き込むと、上書きされますのでご注意ください。

※[ファイルに保存する]欄の操作で保存した状態のファイル、および5-289ページの書式で編集したファイル以外のインポートは、保証対象外になります。

② 文字コード ……………

[ファイルに保存する]欄で保存するファイルの文字コードを「UTF-8」、「Shift_JIS」から選択します。
(出荷時の設定：UTF-8)

③ ファイルに保存する ……………

[アドレス帳設定一覧]項目に表示された内容をアドレス帳ファイルとして、パソコンに保存します。

〈保存〉をクリックして、表示された画面の〈保存(S)〉をクリックすると、アドレス帳ファイル(拡張子：csv)として保存できます。

※ファイル名は、[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループ番号に応じて変わります。

たとえば、テナント1のグループ1を選択したときのファイル名は、tn01_id_list001.csvになります。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳設定の保存と書き込み

アドレス帳ファイルのインポートについて

保存した状態のファイル(P.5-288)、および下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	#文字コードの自動解析に使用しているため、コメント文は消さないでください。							
2	#	IP1100CV	アドレス帳設定	設定保存ファイル				
3	#	Firm Ver.						
4	#	File Ver.						
5	#グループ名	営業部						
6	#番号	名前	呼出種別(indi=個別、group=グループ、tel=電話)	呼出種別(個別、グループ)	呼出種別(電話)	トークグループ	ヨミガナ	
7		1 営業1			1		0 エイギョウ1	
8		2 営業2			2		0 エイギョウ2	
9		3 営業グループ1			101		0 エイギョウグループ1	

「アドレス帳ファイル」(拡張子: csv)の書式

- A列 : グループ名
: 番号
31文字以内
1～500 ※重複しない番号を入力
※IP100Hには、番号1から50までの50件が登録されます。
- B列 : 名前
半角32(全角16)文字以内
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
- C列 : 呼出種別
個別 indi、グループ group、電話 tel
※IP200H、IP210H、VP-2100には、呼出種別が「電話」に設定された番号は登録されません。
- D列 : 呼出先番号(個別、グループ)
E列 : 呼出先番号(電話)
F列 : トークグループ
G列 : ヨミガナ
半角数字00001～60000
半角数字/記号(#、*)31桁以内
無効 0、有効 1
半角32文字以内
※使用できる文字列は、カタカナ、英字、数字、記号(-_.*#、!?)です。
※全角で入力した文字は、半角に変換されます。
※IP110Hでは、登録したヨミガナをアドレス帳の索引として使用します。
(例: エイギョウ→「ア」のタブ)

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳設定

[アドレス帳グループ設定]項目で選択したグループにアドレス帳を登録します。

※グループごとに、最大500件まで登録できます。

※[登録方法]欄で「個別入力」を選択したときの画面です。

※グループに名前(例：営業部)が登録されていないときは、項目名だけ表示されます。

アドレス帳設定(営業部)

登録方法: ① 個別入力 一覧から選択

番号: ② 1

名前: ③

ヨミガナ: ④

呼出種別: ⑤ 個別

呼出先番号: ⑥ 00001

⑦ 登録 ⑧ 取消

① 登録方法 アドレス帳に通話相手を登録する方法を、「個別入力」、「一覧から選択」から選択します。

登録方法: 個別入力 一覧から選択

<input type="checkbox"/>	すべて	名前	呼出種別	呼出先番号
<input type="checkbox"/>		営業1	個別	00001
<input type="checkbox"/>		営業2	個別	00002
<input type="checkbox"/>		営業3	個別	00003
<input type="checkbox"/>		営業4	個別	00004

※「一覧から選択」をクリックすると、「無線機追加」画面や「呼出先設定」画面で登録した呼出先番号が一覧で表示されます。(上図参照)

※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。

※「一覧から選択」から選択する場合、半角32(全角16)文字を超える名前は登録できません。

② 番号 個別入力時、アドレス帳に通話相手を登録するために、「1」～「500」の番号を選択します。

※IP100Hには、番号1から50までの50件が登録されます。

③ 名前 個別入力時、任意の名称を、半角32(全角16)文字以内で入力します。

※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。

※環境依存文字を入力しないでください。環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

④ ヨミガナ 相手のヨミガナを、任意の32文字以内で入力します。

※使用できる文字列は、カタカナ、英字、数字、記号(-,_,*#,。!?)です。

※全角で入力した文字は、半角に変換されます。

※IP110Hでは、登録したヨミガナをアドレス帳の索引として使用します。

(例：エイギョウ→「ア」のタブ)

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳設定

アドレス帳設定(営業部)

登録方法: ① 個別入力 一覧から選択

番号: ② 1

名前: ③

ヨミガナ: ④

呼出種別: ⑤ 個別

呼出先番号: ⑥ 00001

⑦ 登録 ⑧ 取消

- ⑤ 呼出種別 個別入力時、通話相手の種別を、「個別」、「グループ」、「トークグループ」、「電話」から選択します。
※IP200H、IP210H、VP-2100には、呼出種別が「電話」に設定された番号は登録されません。
- ⑥ 呼出先番号 個別入力時、個別番号、グループやトークグループの番号(00001～60000)を入力します。
※ [呼出種別] 欄で「電話」を選択したときは、相手先の電話番号を31桁以内の数字/記号(#、*)で入力します。
- ⑦ <登録> [アドレス帳設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[アドレス帳設定一覧] 項目に表示されます。
- ⑧ <取消> [アドレス帳設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > アドレス帳

■ アドレス帳設定一覧

[アドレス帳設定]項目で登録した内容が表示されます。

※グループに名前(例：営業部)が登録されていないときは、項目名だけ表示されます。

※画面は、設定例です。

アドレス帳設定一覧(営業部)					
※IP200H、IP210Hに呼出種別が電話の設定は登録されません。 ※IP100Hは番号1から50までの50件が登録されます。					
番号	名前	ヨミカナ	呼出種別	呼出先番号	① ②
1	営業1	Iイ*ヨウ1	個別	00001	編集 削除
2	営業2	Iイ*ヨウ2	個別	00002	編集 削除
3	営業グループ1	Iイ*ヨウグループ1	グループ	00101	編集 削除
					③ 全削除

- ① <編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[アドレス帳設定]項目に表示されます。
- ② <削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ③ <全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

【本製品に登録されていない呼出先番号を登録した場合】

「無線機追加」画面や「呼出先設定」画面に登録されていない呼出先番号を、アドレス帳に登録すると、[アドレス帳設定一覧]項目にエラーとして赤字で表示されます。

※呼出種別が「電話」の場合、デフォルト発信ブリッジ番号(P.5-307)が設定されているときは、エラーになりません。

アドレス帳設定一覧					
※IP200H、IP210Hに呼出種別が電話の設定は登録されません。 ※IP100Hは番号1から50までの50件が登録されます。					
※IPX番号が呼出先設定で設定がなされています。					
4	営業4	Iイ*ヨウ4	個別	00005	編集 削除

※「アドレス帳」画面、「呼出先設定」画面にも、エラー情報が表示されます。

アドレス帳 (テナント1)
無線LANトランシーバーの再起動が必要です。コントローラーによる再起動は無線機管理から行えます。 > 無線機管理
呼出先が無効なエントリーがあります。 アドレス帳グループ1
アドレス帳グループ設定

呼出先設定 (テナント1)
無線LANトランシーバーの再起動が必要です。コントローラーによる再起動は無線機管理から行えます。 > 無線機管理
呼出先がないアドレス帳があります。 アドレス帳グループ1 (00098 (個別))
呼出先設定

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > メッセージ

■ メッセージグループ設定

WLAN無線機(IP200PGを除く)が送信するメッセージを登録するときに使用します。

※「設定グループ詳細」画面で、WLAN無線機が所属する設定グループごとに、メッセージグループを指定できます。

※設定内容を変更した場合は、WLAN無線機の再起動が必要です。

メッセージグループ設定	
メッセージグループ番号:	1(10件) ▼
<small>※変更すると、表示するメッセージのグループが変更されます。</small>	

メッセージグループ番号……………

WLAN無線機が使用するメッセージを登録するために、「1」～「300」の番号を選択します。

最大300件までグループを登録できます。

※グループに名前やメッセージが登録されているときは、下図のように表示されます。

メッセージグループ番号:	1(営業部/8件)
<small>※変更すると、表示するメッセージのグループが変更されます。</small>	

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > メッセージ

■ メッセージグループ詳細設定

[メッセージグループ設定]項目で選択したグループに任意の名称を登録します。

メッセージグループ詳細設定	
名前: ① _____	② ③ <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>

① 名前 ……………

任意の名称を、31文字以内で入力します。

※「メッセージ」画面と「設定グループ詳細」画面で、グループを選択すると入力した名前が表示されます。

② <登録> ……………

[メッセージグループ詳細設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

③ <取消> ……………

[メッセージグループ詳細設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > メッセージ

■ メッセージ設定の保存と書き込み

[メッセージグループ設定]項目で選択したグループのメッセージをファイルに保存したり、保存したファイルの本製品に書き込んだりします。

※設定内容を変更した場合は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※[メッセージグループ設定]項目(P.5-293)でグループ番号「1」を選択したときの画面です。

※グループに名前(例：営業部)が登録されているときは、[メッセージ設定の保存と書き込み(営業部)]と表示されます。

メッセージ設定の保存と書き込み	
保存したファイルを書き込む：①	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません
	<input type="button" value="書き込み"/> CSV形式のファイルが書き込みできます。 ファイルを書き込むと、現在の設定は破棄されます。
文字コード：②	UTF-8 <input type="button" value="▼"/>
ファイルに保存する：③	<input type="button" value="保存"/> tn01_msg_list001.csv で保存されます。

- ① 保存したファイルを書き込む … [ファイルに保存する] (欄)の操作で保存したメッセージファイル(拡張子：csv)の内容を本製品に書き込むとき使用します。
ファイルの保存先を指定するため、〈ファイルの選択〉をクリックします。
表示された画面で目的のファイルを選択して、〈開く(O)〉をクリックします。
〈書き込み〉をクリックすると、[メッセージ設定]項目にその内容を書き込みます。
※書き込む前の内容は、消去されますのでご注意ください。
※「管理」メニューの「設定の保存/復元」画面で保存された設定ファイルを書き込むと、上書きされますのでご注意ください。
※[ファイルに保存する]欄の操作で保存した状態のファイル、および5-295ページの書式で編集したファイル以外のインポートは、保証対象外になります。
- ② 文字コード …………… [ファイルに保存する]欄で保存するファイルの文字コードを「UTF-8」、「Shift_JIS」から選択します。 (出荷時の設定：UTF-8)
- ③ ファイルに保存する …………… [メッセージ設定]項目に表示された内容をメッセージファイルとして、パソコンに保存します。
〈保存〉をクリックして、表示された画面の〈保存(S)〉をクリックすると、メッセージファイル(拡張子：csv)として保存できます。
※ファイル名は、[メッセージグループ設定]項目で選択したグループ番号に応じて変わります。
たとえば、テナント1のグループ1を選択したときのファイル名は、tn01_msg_list001.csvになります。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > メッセージ

■ メッセージ設定の保存と書き込み

メッセージファイルのインポートについて

保存した状態のファイル(P.5-294)、および下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

	A	B	C	D	E
1	#文字コードの自動解析に使用しているため、コメント文は消さないでください。				
2	#	IP1100CV	メッセージ設定	設定保存ファイル	
3	#	Firm Ver. []			
4	#	File Ver. []			
5	#グループ名	営業部			
6	#番号	定型文メッセージ			
7		1 至急集合してください。			
8		2 メッセージを送りました。			
9		3 メッセージを確認してください。			
10		4 問題無いですか。			
11		5 返信をお願いします。			
12		6 至急返信をお願いします。			
13		7 解散してください。			
14		8 作業が完了次第、戻ってください。			
15		9 荷物が届きました。			
16		10 作業が終わりました。			
17					

「メッセージファイル」(拡張子: csv)の書式

- A列 : グループ名 31文字以内
: 番号 1~10 ※重複しない番号を入力
- B列 : 定型文メッセージ 半角32(全角16)文字以内
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > メッセージ

■ メッセージ設定

[メッセージグループ設定]項目で選択したグループにメッセージを登録します。

WLAN無線機から送信できる定型メッセージは半角32(全角16)文字以内です。

※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。

※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

※グループごとに、最大10件まで登録できます。

※グループに名前(例：営業部)が登録されているときは、[メッセージ設定(営業部)]と表示されます。

※画面は、設定例です。

メッセージ設定	
番号	定型文メッセージ
1	至急集合してください。
2	メッセージを送りました。
3	メッセージを確認してください。
4	問題ないですか。
5	返信をお願いします。
6	至急返信をお願いします。
7	解散してください。
8	作業が完了次第、戻ってください。
9	荷物が届きました。
10	作業が終わりました。

① ②
登録 取消

① <登録> [メッセージ設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。

② <取消> [メッセージ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。

なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > プレゼンス

■ プレゼンス設定

WLAN無線機 (IP200PGを除く) が送信するステータス情報を登録するときには使用します。

ステータス情報は半角32 (全角16) 文字以内で、最大10件まで登録できます。

※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大16文字になります。

※環境依存文字を入力しないでください。

環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。

※設定内容を変更した場合は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

プレゼンス設定		
<input checked="" type="checkbox"/> すべて	ステータス番号	ステータス名
<input checked="" type="checkbox"/>	1	会議中
<input checked="" type="checkbox"/>	2	離席中
<input checked="" type="checkbox"/>	3	食事中
<input checked="" type="checkbox"/>	4	巡回中
<input checked="" type="checkbox"/>	5	在席中
<input checked="" type="checkbox"/>	6	作業中
<input checked="" type="checkbox"/>	7	待機中
<input checked="" type="checkbox"/>	8	準備中
<input checked="" type="checkbox"/>	9	対応中
<input checked="" type="checkbox"/>	10	休憩中

- ① **選択ボックス** 登録された内容を無線機に表示するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[ステータス名]欄に入力していても、ボックスにチェックマークを入れない場合は、無線機に表示しません。
[ステータス名]欄が空白の場合は、ボックスにチェックマークを入れると、[ステータス番号]が表示されます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ② **〈登録〉** [プレゼンス設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** [プレゼンス設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定一覧

[設定グループ設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

番号	名前	無線LAN	アドレス帳グループ	メッセージグループ	2	3
1		無線機の設定優先	1 (営業部)	1 (営業部)	編集	削除
2						
1 追加						
4 全削除						

- 1 <追加> クリックすると、新しいグループが追加されます。
- 2 <編集> クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[設定グループ設定]項目に表示されます。
- 3 <削除> クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- 4 <全削除> クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

WLAN無線機が所属する設定グループごとに、アドレス帳や通知音などを設定します。

※設定変更後は、WLAN無線機の再起動が必要です。

※画面は、設定例です。

設定グループ設定	
番号	① 1 ※変更すると、表示する設定グループが変更されます。
名前	② _____
無線LAN	無線LAN: ③ 無線機の設定優先
グループ指定	アドレス帳グループ: ④ 1(営業部) メッセージグループ: ⑤ 1(営業部)

① 番号 WLAN無線機が所属する設定グループについて、詳細な設定を登録するために、「1」～「300」の番号を選択します。
最大300件まで登録できます。

② 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
※「無線機追加」画面の「設定グループ」欄と「設定グループ詳細」画面の「設定グループ設定一覧」項目で入力した名前が表示されます。

無線LAN

③ 無線LAN 設定グループで共用する無線LAN設定を選択します。
(VP-2100は除く) (出荷時の設定：無線機の設定優先)
※「無線機の設定優先」は、最後に設定された内容で動作します。
※導入時は、各端末のプログラミングソフトウェアで設定された内容を使用して、WLAN無線機が無線アクセスポイントに接続します。
本製品で変更した場合は、その設定内容で動作するようになります。
※選択する無線LAN設定は、「無線LAN」画面で登録した番号で指定します。

グループ指定

④ アドレス帳グループ 設定グループで共用するアドレス帳を選択します。 (出荷時の設定：無効)
(IP200PGは除く) ※出荷時の設定では、WLAN無線機はアドレス帳(呼出種別の切替)を使用できません。
※選択するアドレス帳は、「アドレス帳」画面で登録したグループ番号で指定します。

⑤ メッセージグループ 設定グループで共用するメッセージを選択します。 (出荷時の設定：無効)
(IP200PGは除く) ※出荷時の設定では、WLAN無線機はメッセージを送信できません。
※選択するメッセージは、「メッセージ」画面で登録したグループ番号で指定します。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定	
サーバー接続	
レジストサーバー: ⑥	
登録時間: ⑦	60
登録失敗時の再送時間: ⑧	10
登録失敗時の再送回数: ⑨	2
サーバー接続監視時間: ⑩	180
送信開始通知音	
個別呼出:	通知音1
グループ呼出: ⑪	通知音1
全体呼出:	通知音1
電話通信:	通知音1

サーバー接続

- ⑥ レジストサーバー WLAN無線機のレジストサーバーに指定する機器のIPアドレス、またはホスト名を入力します。
63文字以内の半角英数字で入力します。
※本製品をレジストサーバーとして使用する場合は、この欄を設定する必要はありません。
- ⑦ 登録時間 WLAN無線機が通信システムを使用するための登録情報を送信する間隔を設定します。 (出荷時の設定: 60)
設定できる範囲は、「30～300」(秒)です。
※通常は、出荷時の設定(60秒)で使用します。
※設定時間を短くすると、WLAN無線機が通話エリアの圏外に出た場合に本製品で登録状況の識別を早められます。
これにより、該当のWLAN無線機への個別呼び出しなどで、呼び出し側への不在応答を早められます。
- ⑧ 登録失敗時の再送時間 WLAN無線機が本製品との接続に失敗した場合に、再接続するまでの時間を設定します。設定できる範囲は、「1～30」(秒)です。 (出荷時の設定: 10)
- ⑨ 登録失敗時の再送回数 WLAN無線機が本製品との接続に失敗した場合に、再接続する回数を設定します。設定できる範囲は、「1～10」(回)です。 (出荷時の設定: 2)
- ⑩ サーバー接続監視時間 本製品がWLAN無線機の接続状態を監視する間隔を設定します。 (出荷時の設定: 180)
設定できる範囲は、登録時間+「1～900」(秒)です。
※通常は、出荷時の設定(180秒)で使用します。
※登録時間より短い時間は設定できません。
- ⑪ 送信開始通知音 呼出種別ごとに、送信開始時の通知音を「無効」、「通知音1」～「通知音8」から設定します。 (出荷時の設定: 通知音1)

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定	
接続通知音	
接続通知: 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
失敗通知: 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
受信通知 (個別呼出)	
通知音: 14	通知音1
呼出方式: 15	Pベル
呼出回数: 16	3
受信終了通知音	
個別呼出:	通知音1
グループ呼出: 17	通知音1
全体呼出:	通知音1
電話通信:	通知音1

接続通知音

- 12 接続通知 接続に成功したことをお知らせする通知音を設定します。
(出荷時の設定：有効)
※個別呼び出し、またはメッセージやプレゼンスの送信、電話発信時に鳴動します。
※「無線機設定」の「無線機個別」画面の[接続確認]項目が「無効」の場合は動作しません。

- 13 失敗通知 接続に失敗したことをお知らせする通知音を設定します。
(出荷時の設定：有効)
※個別呼び出し、またはメッセージやプレゼンスの送信、電話発信時に鳴動します。
※「無線機設定」メニューの「無線機個別」画面の[接続確認]項目が「無効」の場合は動作しません。

受信通知

- 14 受信通知音 呼出種別ごとに、着信時または受信時の通知音を「無効」、「通知音1」～「通知音8」から設定します。
(出荷時の設定：無効)

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定	
接続通知音	
接続通知 12	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
失敗通知 13	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
受信通知 (個別呼出)	
通知音 14	通知音1
呼出方式 15	Pベル
呼出回数 16	3
受信終了通知音	
個別呼出:	通知音1
グループ呼出: 17	通知音1
全体呼出:	通知音1
電話通信:	通知音1

受信通知(つづき)

15 呼出方式

呼出種別ごとに、着信時の呼出方式を、「ポケットビープ」、「Pベル」から設定します。(出荷時の設定：Pベル)

※[受信通知音]欄が「無効」の場合は、設定できません。

※メッセージ受信の場合は、呼出方式の設定はありません。

○ポケットビープ：

着信時、通知音とアイコンの点滅(IP200PGは除く)でお知らせする機能です。

○Pベル：

着信時、通知音でお知らせする機能です。

応答するまで、相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

※WLAN無線機の[PTT]や[通話]を押して応答すると、音声ミュートを解除し、相手の音声が聞こえます。(表示例：IP110H)



16 呼出回数

呼出種別ごとに、[受信通知音] (欄で選択した通知音の鳴動回数を設定します。(出荷時の設定：3)

呼出回数は、「連続」、「1」、「3」、「10」、「20」(回)から選択します。

17 受信終了通知音

呼出種別ごとに、音声受信終了時の通知音を「無効」、「通知音1」～「通知音8」から設定します。(出荷時の設定：通知音1)

※受信が終了するたびに設定した通知音が鳴ります。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定

通信圏外通知

通信圏外通知音 : 18 無効 有効
※固定SIP端末は無効

側音停止 : 19 無効 有効
※固定SIP端末は無効

端末表示

相手局の表示切替 : 20 無効

全体/グループ呼出時の発信者ID表示 : 21 無効 有効

履歴表示 : 22 無効 有効

トークグループ選択 : 23 機能キー(FUNCキー/メニュー) アドレス帳キー

終話判定

終話判定 : 24 無効 有効

終話判定時間 : 5 秒

終話判定時間(電話通信) : 25 15 秒

終話判定時間内の新規着信拒否 : 26 無効 有効

連続送信

連続送信規制 : 27 無効 有効

通信圏外通知

18 通信圏外通知音 ………………
(VP-2100は除く)

圏外などで通信できなくなった、または圏内に戻り通信できる状態になったことをお知らせする通知音を設定します。(出荷時の設定：無効)

◎無効：圏外時や圏内復帰時に通知音は鳴りません。

◎有効：圏外時や圏内復帰時に通知音が鳴ります。

19 側音停止 ………………
(IP200PG/VP-2100は除く)

側音やモニター機能を停止して、圏外などで通信できなくなったことをお知らせする機能を設定します。(出荷時の設定：無効)

◎無効：圏外時は、ヘッドセットから自分の音声が聞こえます。

◎有効：圏外になると、ヘッドセットから自分の音声が聞こえなくなります。

※「無線機設定」の「無線機個別」画面の[モニター]項目、または[側音]項目が「無効」の場合は動作しません。

端末表示

20 相手局の表示切替 ………………
(IP200PG/VP-2100は除く)

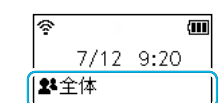
送信や操作後など、WLAN無線機が待受画面に戻ったときに、表示する相手局(呼出種別)の切り替えについて設定します。(出荷時の設定：無効)

◎無効：「無線機設定」の「無線機個別」画面(呼出先指定)で設定した相手局、または呼出種別を表示します。

◎送信操作：最後に送信した相手局を表示します。

◎送受信操作：最後に送信、または受信した相手局を表示します。

◎全操作：最後に送信、または受信した相手局か、アドレス帳/履歴で表示した相手局を表示します。



相手局(呼出種別)表示
(例：IP110H)

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定

通信圏外通知

通信圏外通知音 : 18 無効 有効
※固定SIP端末は無効

側音停止 : 19 無効 有効
※固定SIP端末は無効

端末表示

相手局の表示切替 : 20 無効

全体/グループ呼出時の発信者ID表示 : 21 無効 有効

履歴表示 : 22 無効 有効

トークグループ選択 : 23 機能キー(FUNCキー/メニュー) アドレス帳キー

終話判定

終話判定 : 24 無効 有効

終話判定時間 : 5 秒

終話判定時間(電話通信) : 25 15 秒

終話判定時間内の新規着信拒否 : 26 無効 有効

連続送信

連続送信規制 : 27 無効 有効

端末表示(つづき)

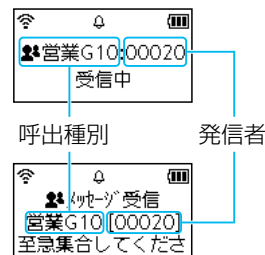
① 全体/グループ呼出時の

発信者ID表示
(IP200PGは除く)

全体やグループ呼び出しを複数の端末で受信した場合、どの端末から送信されたのか確認できるように、WLAN無線機やIP100FSの画面に発信者を表示する機能です。
(出荷時の設定：無効)

◎無効：呼出種別だけを表示します。

◎有効：呼出種別と発信者(例：00020)を表示します。(表示例：IP110H)



グループ呼び出しによるメッセージ受信

② 履歴表示
(IP200PGは除く)

履歴の表示を設定します。
(出荷時の設定：有効)

◎無効：履歴を表示しません。

◎有効：履歴を表示できるように設定します。

※IP100Hの[履歴]、IP110HやIP200H、IP210H、VP-2100のメニュー画面などを操作すると、履歴を確認できます。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定	
通信圏外通知	
通信圏外通知音 : 18	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 ※固定SIP端末は無効
側音停止 : 19	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 ※固定SIP端末は無効
端末表示	
相手局の表示切替 : 20	無効
全体/グループ呼出時の発信者ID表示 : 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
履歴表示 : 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
トークグループ選択 : 23	<input checked="" type="radio"/> 機能キー(FUNCキー/メニュー) <input type="radio"/> アドレス帳キー
終話判定	
終話判定 : 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
終話判定時間 :	5 秒
終話判定時間(電話通信) : 25	15 秒
終話判定時間内の新規着信拒否 : 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
連続送信	
連続送信規制 : 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

端末表示(つづき)

- 23 トークグループ選択 …………… トークグループの選択方法を設定します。
(IP200PGは除く) (出荷時の設定：機能キー(FUNCキー/メニュー))
- ◎機能キー(FUNCキー/メニュー)：
[FUNC](IP100H)、またはメニュー画面(IP110H、IP200H、IP210H、VP-2100)を操作すると、トークグループを選択できます。
- ◎アドレス帳キー：
[アドレス帳]を操作すると、トークグループを選択できます。

終話判定

- 24 終話判定 …………… 通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでの時間を「1」～「30」(秒)で設定します。 (出荷時の設定：有効(5))
※「無効」に設定した場合は、[送信/受信]ランプの消灯と同時に待ち受け状態(待受画面)に戻ります。
- 25 終話判定時間(電話通信) …………… 電話通信で通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでの時間を「0」～「600」(秒)で設定します。 (出荷時の設定：15)
※「0」を設定した場合は、終話判定しません。
通話中にオプションキーやプログラマブルキーを押して切断する、または相手が切断するまで通話状態となります。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定	
通信圏外通知	
通信圏外通知音 : 18	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 ※固定SIP端末は無効
側音停止 : 19	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効 ※固定SIP端末は無効
端末表示	
相手局の表示切替 : 20	無効
全体/グループ呼出時の発信者ID表示 : 21	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
履歴表示 : 22	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
トークグループ選択 : 23	<input checked="" type="radio"/> 機能キー(FUNCキー/メニュー) <input type="radio"/> アドレス帳キー
終話判定	
終話判定 : 24	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
終話判定時間 :	5 秒
終話判定時間(電話通信) : 25	15 秒
終話判定時間内の新規着信拒否 : 26	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
連続送信	
連続送信規制 : 27	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効

終話判定(つづき)

26 終話判定時間内の新規着信拒否

通話相手からの送信が終了したあと、待ち受け状態(待受画面)に戻るまでに着信があった場合、優先度に応じて着信を受けるか拒否するか(有効/無効)を設定します。(出荷時の設定：有効)

◎有効(拒否する)：

現在の通話よりも高い優先度の着信は受け付けるが、それ以下または同等の優先度の着信は受け付けません。

終話判定時間が経過したあとに受け付けます。

◎無効(拒否しない)：

新規着信を受け付けます。

連続送信

27 連続送信規制

連続送信を規制するときに設定します。(出荷時の設定：無効)

「無効」に設定しているときは、連続送信を規制しません。

※「有効」を選択すると、[連続送信時間]、[ペナルティー]、[通知音]、[電話通話時の連続送信規制]欄が表示されます。

※不用意にWLAN無線機の[PTT]や[通話]が押しつづけられているときなどに有効です。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ設定

設定グループ設定

連続送信時間: 28 180 秒

ペナルティ: 29 30 秒

通知音: 30 無効 有効

電話通話時の連続送信規制: 31 無効 有効

電話通信

デフォルト発信ブリッジ番号: 32 なし

33 登録 34 取消

連続送信(つづき)

- 28 連続送信時間 連続送信規制有効時に、連続送信できる時間を設定します。
設定できる範囲は、「11～600」(秒)です。 (出荷時の設定：180)
※設定した時間を超えた場合は、自動的に送信を停止します。
- 29 ペナルティ [連続送信時間]欄で設定した時間を超えたあと、再送信できるまでの時間(送信禁止時間)を設定します。
(出荷時の設定：30)
設定できる範囲は、「1～600」(秒)です。
※送信禁止中は[PTT]や[通話]を押しても、送信できません。
- 30 通知音 連続送信を検出して送信規制するときに、規制音を鳴らして通知するための設定です。
(出荷時の設定：有効)
※「有効」を選択すると、[連続送信時間]欄で設定した時間の10秒前に規制音が鳴ります。
- 31 電話通話時の連続送信規制 電話通話時、[連続送信時間]で設定した時間を超えて送信した場合に、送信を自動停止するための設定です。
(出荷時の設定：有効)
※「無効」に設定すると、電話通話中に[連続送信時間]で設定した時間を超えても、送信を停止しません。

電話通信

- 32 デフォルト発信ブリッジ番号 ... WLAN無線機から発信した電話番号に一致する呼出先設定がない場合に使用するブリッジ番号を指定します。(P.6-12) (出荷時の設定：なし)
指定するブリッジ番号は、「ブリッジ」画面のブリッジ設定(P.5-9)やブリッジグループ設定(P.5-11)で割り当てた番号から選択します。
- 33 <登録> [設定グループ設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[設定グループ設定一覧]項目に表示されます。
- 34 <取消> [設定グループ設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「設定グループ」画面

無線機コントローラー設定 > 設定グループ > 設定グループ詳細

■ 設定グループ一括設定

連番で設定グループを一括登録したり、すでに登録した設定内容を他の設定グループにコピーしたりできます。

設定グループ一括設定	
グループ番号: ①	_____ ~ _____ <input type="button" value="追加"/>
※指定した範囲の連番を設定グループとして登録します。	
設定参照元: ②	初期値 _____

- ① **グループ番号** 連番で一括に登録したい設定グループの範囲を設定します。
〈追加〉
クリックすると、設定した範囲(例: 4 ~ 10)のグループ番号が登録されます。
※設定した範囲で、すでに登録された個別番号がある場合は、「設定を上書きします。」が表示されます。
- ② **設定参照元** 初期値、またはすでに登録した設定内容を参照するかどうかを選択します。
(出荷時の設定: 初期値)

5 無線機コントローラー設定

「無線機通話録音」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機通話録音

■ 共通設定

無線機通話の録音について設定します。

共通設定

無通話録音：① 無効 有効

無通話録音時間：② 5 秒

最新録音データの上書保存：③ 無効 有効

④ 登録 ⑤ 取消

- ① 無通話録音 無通話時も継続して録音する機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
※有効にした場合、通話が終了したあとも[無通話録音時間]②で設定した秒数、録音がつづきます。
無通話録音時間内での送受信であれば、1つの録音ファイルで保存されます。
※無効にした場合は、通話が終了した時点で、録音ファイルが保存されます。
1回の送信、受信ごとにファイルが保存されます。
- ② 無通話録音時間 通話終了後、無通話時も継続して録音する時間を指定します。
(出荷時の設定：5)
- ③ 最新録音データの上書保存 有効に設定した場合は、ディスク容量の不足時は旧データを削除して書き込みます。無効に設定した場合は、ディスク容量の不足時は最新録音データを保存しません。
(出荷時の設定：無効)
- ④ <登録> [共通設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ <取消> [共通設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機通話録音」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機通話録音

■ 録音ボックス設定

WLAN無線機の通話を録音する機能です。

指定：無効

録音ボックス設定	
番号	① 1
モード	② モニター
指定	③ <input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
呼出種別	④ グループ
呼出先番号	⑤ 00001

※上図は、[モード](②)欄を「モニター」、[呼出種別](④)欄を「グループ」に設定したときに表示される画面です。

指定：有効

指定	③ <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
個別番号	⑥ 00101 (IP100H-101)

- ① 番号 登録する番号を選択します。
最大4件まで登録できます。
- ② モード 録音/モニターモードを指定します。 (出荷時の設定：無効)
○無効 : 録音機能を使用しません。
○録音 : 指定した通話を外部記憶装置に保存します。
○モニター : 指定した通話を特定のポートから音声出力します。
○モニター+録音 : 録音とモニターを同時に実行します。
- ③ 指定 WLAN無線機を指定するかを設定します。 (出荷時の設定：無効)
○無効 : WLAN無線機を指定しません。
○有効 : [個別番号](⑥)で対象となるWLAN無線機を指定します。
※呼出種別に関係なく、指定したWLAN無線機の通信を対象にします。
- ④ 呼出種別 録音対象の通話種別を指定します。 (出荷時の設定：全体)
○全体 : 全体呼び出しの通話を録音します。
○グループ : [呼出先番号](⑤)で指定したグループ呼び出しの通話を録音します。
○個別 : [呼出先番号](⑤)で指定した個別番号との通話を録音します。
- ⑤ 呼出先番号 録音対象の番号を指定します。 (出荷時の設定：00001)
- ⑥ 個別番号 録音対象にするWLAN無線機の個別番号を指定します。
※指定した番号の端末が「無線機コントローラー設定」メニューの「無線機追加」画面で削除された場合は、録音設定は無効になります。

5 無線機コントローラー設定

「無線機通話録音」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機通話録音

■ 録音ボックス設定

録音ボックス設定

呼出先番号: 1

モニター接続

接続先アドレス: ⑦ _____

接続先ポート番号: ⑧ 25000

自局ポート番号: ⑨ 25000

音声プロトコル: ⑩ G.711u

⑪ 登録 ⑫ 取消

※上図は、[モード]欄(P.5-310)を「モニター」に設定したときに表示される画面です。

- ① 接続先アドレス モニターとして接続する機器のIPアドレスを設定します。
- ② 接続先ポート番号 モニターとして接続する機器のポート番号を設定します。
(出荷時の設定：1→25000
2→25002
3→25004
4→25006)
- ③ 自局ポート番号 モニターとして使用する自局ポート番号を設定します。
(出荷時の設定：1→25000
2→25002
3→25004
4→25006)
- ④ 音声プロトコル モニター接続で使用するコーデックが表示されます。(G.711u固定)
※この項目は変更できません。
- ⑤ <登録> [録音ボックス設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑥ <取消> [録音ボックス設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

5 無線機コントローラー設定

「無線機通話録音」画面

無線機コントローラー設定 > 無線機通話録音

■ 録音ボックス設定一覧

[録音ボックス設定]項目(P.5-310～P.5-311)で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

録音ボックス設定一覧

番号	モード	個別番号	呼出種別	呼出先番号	接続先アドレス	接続先ポート番号	自局ポート番号	音声プロトコル
1	録音	-	グループ	00102	-	-	-	-
2	モニター + 録音	00101	-	-	192.168.0.10	25002	25002	G.711u
3	無効	-	-	-	-	-	-	-
4	無効	-	-	-	-	-	-	-

上図の画面では、グループの00102宛ての通話を録音ボックス1に録音します。

また、個別番号00101との通話を録音ボックス2に録音しながら、同時に通話内容をモニター接続先IPアドレス(192.168.0.10)、モニター接続先ポート番号の25002宛てに送信しています。

この章では、
「呼出先設定」画面の設定について説明します。

「呼出先設定」画面	6-2
■ 呼出先設定 [全体]	6-2
■ 呼出先設定 [グループ]	6-4
■ 呼出先設定 [トークグループ]	6-7
■ 呼出先設定 [個別]	6-11
■ 呼出先設定 [電話]	6-12
■ 呼出先設定一覧(全体)	6-13
■ 呼出先設定一覧(グループ)	6-13
■ 呼出先設定一覧(トークグループ)	6-14
■ 呼出先設定一覧(管理用トークグループ)	6-15
■ 呼出先設定一覧(個別)	6-16
■ 呼出先設定一覧(電話)	6-17
■ 呼出先一括設定	6-18

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [全体]

IPネットワークを経由して、同一テナント内のWLAN無線機、IP100FSすべてを呼び出す設定です。

※ [呼出先設定一覧(全体)] 項目の<編集>をクリックすると、表示される画面です。

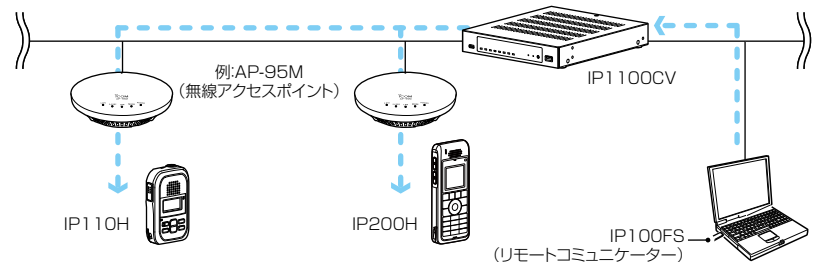
※画面は、設定例です。

呼出先設定	
無線機呼出	呼出種別: 全体
	通信種別: <input type="radio"/> 同報 <input checked="" type="radio"/> 会議
	トークグループへの送信: <input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
	他拠点: <input type="radio"/> なし
	<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>

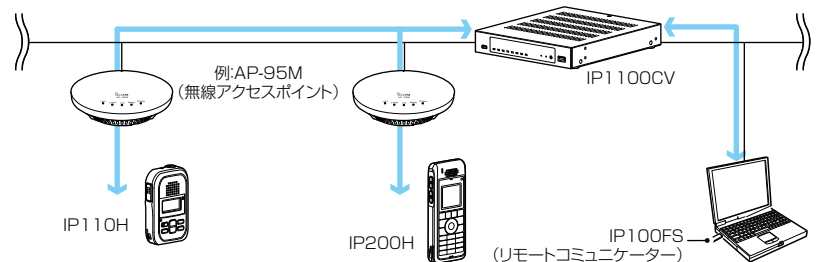
- ① 通信種別 「同報」(単信通信による1対N)、または「会議」(複信通信による多者間通話)を設定します。

単信通信による同報

※「同報」を設定した場合は、呼び出し側の送信が終わるまで相手側から返答できません。



複信通信による会議



- ② トークグループへの送信 全体呼び出しの対象に、トークグループに所属している端末も含めるかどうかを設定します。
(出荷時の設定: 有効)

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [全体]

呼出先設定

無線機呼出

呼出種別： 全体

通信種別：① 同報 会議

トークグループへの送信：② 無効 有効

他拠点：③ なし

④ 登録 ⑤ 取消

- ③ 他拠点 複数の拠点を接続して、はなれた拠点間で全体呼び出しをするとき、接続先となる機器(他拠点)を選択します。
※「RoIP通信設定」画面で、他拠点通信モードを「サブ」に設定している場合(下図参照)は、マスターとなるコントローラーを接続先に指定します。

他拠点： なし

- なし
- 1(本社(マスター))

- ④ <登録> [呼出先設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[呼出先設定一覧(全体)]項目に表示されます。
- ⑤ <取消> [呼出先設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定【グループ】

IPネットワークを経由して、呼び出すグループについて設定します。

※ [呼出種別] に応じて、表示される内容が一部変更になります。

※画面は、設定例です。

呼出先設定

番号: ① 1

名前: ② 営業グループ1

呼出種別: ③ グループ

呼出先番号: ④ 00001

優先度: ⑤ 通常 優先

無線機呼出

通信種別: ⑥ 同報 会議

⑦ 所属する無線機

すべて 00001(営業1) 00002(営業2) 00003(営業3)

⑧ 他拠点: なし

⑨ ⑩

登録 取消

- ① 番号 呼び出すグループを登録するために、「1」～「1990」の番号を選択します。最大1990件まで登録できます。
- ② 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大15文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
- ③ 呼出種別 通話相手の種別として、「グループ」を選択します。
- ④ 呼出先番号 通話相手のグループ番号(00001～60000)を入力します。
- ⑤ 優先度 グループ通話同士の優先度を、「通常」、または「優先」から選択します。
※ [呼出種別] 欄で「グループ」を選択したときに設定できます。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [グループ]

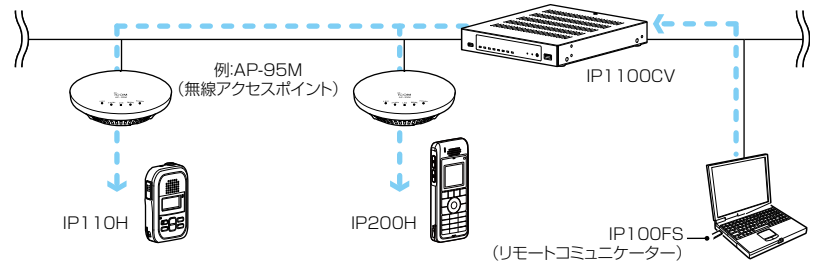
呼出先設定	
番号: ①	1
名前: ②	営業グループ1
呼出種別: ③	グループ
呼出先番号: ④	00001
優先度: ⑤	<input checked="" type="radio"/> 通常 <input type="radio"/> 優先
無線機呼出	
通信種別: ⑥	<input type="radio"/> 同報 <input checked="" type="radio"/> 会議
⑦ 所属する無線機	<input type="checkbox"/> すべて <input type="checkbox"/> 00001(営業1) <input type="checkbox"/> 00002(営業2) <input type="checkbox"/> 00003(営業3)
⑧ 他拠点:	なし
⑨	⑩
登録	取消

⑥ 通信種別

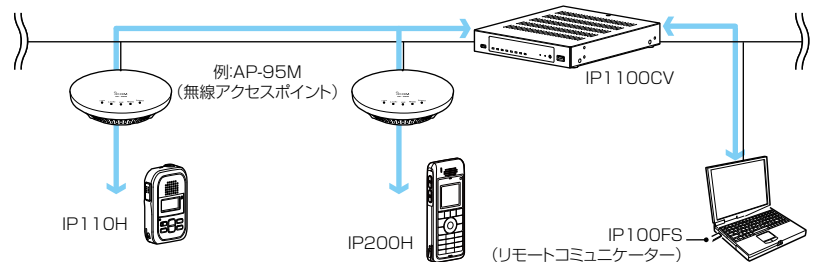
「同報」(単信通信による1対N)、または「会議」(複信通信による多者間通話)を設定します。

単信通信による同報

※「同報」を設定した場合は、呼び出し側の送信が終わるまで相手側から返答できません。



複信通信による会議



⑦ 所属する無線機

一覧からグループに所属するWLAN無線機、IP100FSを選択します。
※「無線機追加」画面で追加したWLAN無線機、IP100FSが一覧に表示されます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [グループ]

- 8 他拠点 複数の拠点を接続して、はなれた拠点間でグループ呼び出しをするとき、接続先となる機器(他拠点)を選択します。
※「RoIP通信設定」画面で、他拠点通信モードを「サブ」に設定している場合(下図)は、マスターとなるコントローラーを接続先に指定します。

- 9 <登録> [呼出先設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[呼出先設定一覧(グループ)]項目に表示されます。
- 10 <取消> [呼出先設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

ご注意

他拠点接続機能をご使用になる場合は、「呼出先設定」画面で他拠点間が対となるように設定してください。
たとえば、他拠点1でグループ1の呼出先設定が他拠点2となる場合は、他拠点2のグループ1の呼出先設定が他拠点1となるように設定してください。
※他拠点間の接続構成が、マスターと複数のサブからなる場合も同様です。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [トークグループ]

IPネットワークを経由して、呼び出すトークグループについて設定します。

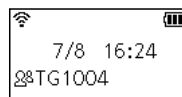
※ [呼出種別] に応じて、表示される内容が一部変更になります。

※画面は、設定例です。

- ① 番号 特定のトークグループを登録して呼び出すために、「1」～「1990」の番号を選択します。
最大1990件まで登録できます。
- ② 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大15文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
- ③ 呼出種別 通話相手の種別として、「トークグループ」を選択します。
- ④ 呼出先番号 トークグループ番号(00001～60000)を入力します。
※ここで設定した番号を、「アドレス帳」画面の[アドレス帳設定]項目に登録する必要があります。
※WLAN無線機側でトークグループ番号を選択すると、同じトークグループに所属する端末と通話できる状態になります。「OFF」を選択すると、通常の待受画面に戻ります。(表示例：IP110Hの場合)



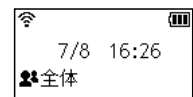
トークグループ
選択時



トークグループ
選択時の待受画面



トークグループ
OFF時



トークグループ
OFF時の待受画面

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [トークグループ]

呼出先設定

番号: ① 1

名前: ② トークグループ1001

呼出種別: ③ トークグループ

呼出先番号: ④ 01001

トークグループ種別: ⑤ 通常 管理用

無線機呼出

通信種別: ⑥ 同報 会議

IP100FSへの送信: ⑦ 無効 有効

IP100FSへの呼出先指定: すべて 指定

呼出先番号: ⑧ _____

他拠点: ⑨ なし

登録 取消

10 11

⑤ トークグループ種別 「管理用」を設定(下図)すると複数のトークグループと通話できます。

トークグループ種別: <input type="radio"/> 通常 <input checked="" type="radio"/> 管理用			
所属するトークグループ			
01002(トークグ	01003(トークグ		

※ [呼出種別] 欄で「トークグループ」を選択したときに設定できます。

※ 管理用トークグループに、他の管理用トークグループを所属させることはできません。

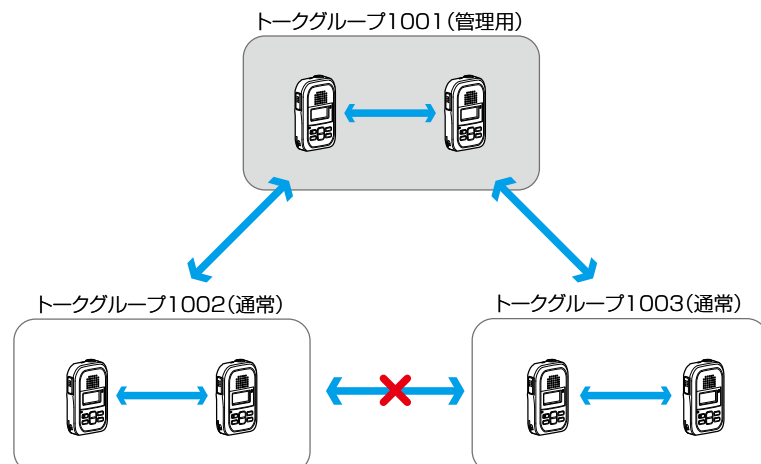
※ トークグループは、複数の管理用トークグループに所属することはできません。

【例：トークグループ1002(通常)とトークグループ1003(通常)をトークグループ1001(管理用)に所属させた場合】

◎ 1001の呼び出しは、1001、1002、1003に所属している端末が呼び出される

◎ 1002の呼び出しは、1001、1002に所属している端末が呼び出される

◎ 1003の呼び出しは、1001、1003に所属している端末が呼び出される



6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [トークグループ]

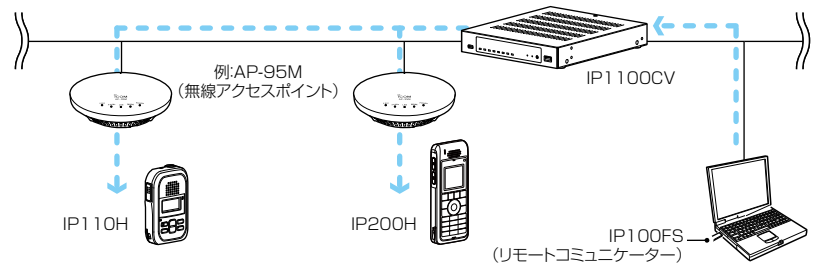
呼出先設定	
番号:	1
名前:	トークグループ1001
呼出種別:	トークグループ
呼出先番号:	01001
トークグループ種別:	<input checked="" type="radio"/> 通常 <input type="radio"/> 管理用
無線機呼出	
通信種別:	<input type="radio"/> 同報 <input checked="" type="radio"/> 会議
IP100FSへの送信:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
IP100FSへの呼出先指定:	<input type="radio"/> すべて <input checked="" type="radio"/> 指定
呼出先番号:	
他拠点:	なし
<input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="取消"/>	

6 通信種別

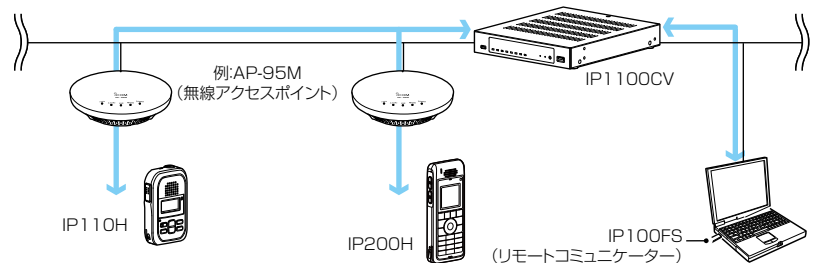
「同報」(単信通信による1対N)、または「会議」(複信通信による多者間通話)を設定します。

単信通信による同報

※「同報」を設定した場合は、呼び出し側の送信が終わるまで相手側から返答できません。



複信通信による会議



6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定 [トークグループ]

呼出先設定

番号: ① 1

名前: ② トークグループ1001

呼出種別: ③ トークグループ

呼出先番号: ④ 01001

トークグループ種別: ⑤ 通常 管理用

無線機呼出

通信種別: ⑥ 同報 会議

IP100FSへの送信: ⑦ 無効 有効

IP100FSへの呼出先指定: すべて 指定

呼出先番号: ⑧

他拠点: ⑨ なし

登録 取消

⑩ ⑪

⑦ IP100FSへの送信…………… トークグループ呼び出しの対象に、IP100FSも含めるかどうかを設定します。
(出荷時の設定：有効)

⑧ IP100FSへの呼出先指定…………… トークグループ呼び出しの対象にIP100FSも含める場合、呼び出し先となるIP100FSを設定します。
(出荷時の設定：すべて)
※「指定」を選択した場合は、IP100FSの個別番号(00001～60000)を最大5件まで設定できます。

⑨ 他拠点 …………… 複数の拠点を接続して、はなれた拠点間でトークグループ呼び出しをするとき、接続先となる機器(他拠点)を選択します。
※「RoIP通信設定」画面で、他拠点通信モードを「サブ」に設定している場合(下図)は、マスターとなるコントローラーを接続先に指定します。

他拠点: なし

なし

1(本社)

2(営業所2)

⑩ <登録> …………… [呼出先設定] 項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[トークグループ種別]を「通常」に設定している場合は、[呼出先設定一覧(トークグループ)]項目に表示され、「管理用」に設定している場合は、[呼出先設定一覧(管理用トークグループ)]項目に表示されます。

⑪ <取消> …………… [呼出先設定] 項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定【個別】

IPネットワークを経由して、呼び出す相手局について設定します。

※ [呼出種別] に応じて、表示される内容が一部変更になります。

※ 画面は、設定例です。

呼出先設定	
番号: ①	1
名前: ②	営業グループ1
呼出種別: ③	個別
呼出先番号: ④	00102
無線機呼出	
他拠点: ⑤	なし
⑥ 登録 ⑦ 取消	

- ① 番号 呼び出す相手局を登録するために、「1」～「1990」の番号を選択します。最大1990件まで登録できます。
- ② 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大15文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
- ③ 呼出種別 通話相手の種別として、「個別」を選択します。
- ④ 呼出先番号 通話相手の個別番号(00001～60000)を入力します。
- ⑤ 他拠点 ほかの拠点と接続して、はなれた拠点間で個別呼び出しをするとき、接続先となる機器(他拠点)を選択します。
- ⑥ <登録> [呼出先設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。クリックすると、[呼出先設定一覧(個別)]項目に表示されます。
- ⑦ <取消> [呼出先設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定【電話】

IPネットワークを経由して、電話機を呼び出すときに設定します。
※ [呼出種別] に応じて、表示される内容が一部変更になります。
※ 画面は、設定例です。

呼出先設定	
番号: ①	1
名前: ②	営業所1
呼出種別: ③	電話
呼出先番号: ④	500
ブリッジ番号: ⑤	1
⑥ 登録 ⑦ 取消	

- ① 番号 呼び出す通話相手を登録するために、「1」～「1990」の番号を選択します。
最大1990件まで登録できます。
- ② 名前 任意の名称を、31文字以内で入力します。
※WLAN無線機がUTF-8を採用しているため、半角カタカナの場合、動作保証できるのは最大15文字になります。
※環境依存文字を入力しないでください。
環境依存文字を使用すると、WLAN無線機の画面で正常に表示されません。
- ③ 呼出種別 通話相手の種別として、「電話」を選択します。
- ④ 呼出先番号 相手先の電話番号を、31桁以内の数字と記号(#、*)で入力します。
- ⑤ ブリッジ番号 電話機へ発信するために、ブリッジ接続する弊社製RoIPゲートウェイ(VE-PG3、VE-PG4)を選択します。
※あらかじめ、本製品の「RoIPサーバー設定」メニューの「ブリッジ」画面と接続する相手側(VE-PG3、VE-PG4)の設定画面でブリッジ接続を完了しておく必要があります。
- ⑥ <登録> [呼出先設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
クリックすると、[呼出先設定一覧(電話)]項目に表示されます。
- ⑦ <取消> [呼出先設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定一覧(全体)

[呼出先設定]項目で編集した内容が表示されます。

※〈編集〉をクリックすると、[呼出先設定]項目で登録内容を編集できます。

※画面は、設定例です。

呼出先設定一覧(全体)

通信種別	トークグループへの送信	他拠点	
会議	有効	-	<input type="button" value="編集"/>

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定一覧(グループ)

[呼出先設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

呼出先設定一覧(グループ)

<input type="checkbox"/> すべて	番号	名前	呼出先番号	優先度	所属する無線機台数	他拠点	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	1	営業グループ1	00101	通常	3	-	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	2	営業所1(サブ)	00201	通常	-	1(本社)	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	3	営業所2(サブ)	00301	通常	-	1(本社)	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

- 1 選択ボックス** 登録された内容を複数削除するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- 2 〈編集〉** クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[呼出先設定]項目に表示されます。
- 3 〈削除〉** クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- 4 〈選択削除〉** クリックすると、[選択ボックス]欄で選択した番号の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- 5 〈全削除〉** クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定一覧(トークグループ)

[呼出先設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

1 <input type="checkbox"/> すべて	番号	名前	呼出先番号	他拠点	2 <input type="button" value="編集"/>	3 <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	13	トークグループ1001	01001	-		

4 5

- 1 **選択ボックス** 登録された内容を複数削除するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- 2 **〈編集〉** クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[呼出先設定]項目に表示されます。
- 3 **〈削除〉** クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- 4 **〈選択削除〉** クリックすると、[選択ボックス]欄で選択した番号の登録内容が削除されま
す。
※削除すると、元に戻せません。
- 5 **〈全削除〉** クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定一覧(管理用トークグループ)

[呼出先設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

呼出先設定一覧 (管理用トークグループ)						
1	<input type="checkbox"/> すべて	番号	名前	呼出先番号	所属するトークグループ	2 3
	<input type="checkbox"/>	30	トークグループ1001(管理用)	01001	01002 01003	編集 削除
						4 5
						選択削除 全削除

- 1 **選択ボックス** 登録された内容を複数削除するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- 2 **〈編集〉** クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[呼出先設定]項目に表示されます。
- 3 **〈削除〉** クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- 4 **〈選択削除〉** クリックすると、[選択ボックス]欄で選択した番号の登録内容が削除されま
す。
※削除すると、元に戻せません。
- 5 **〈全削除〉** クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定一覧(個別)

[呼出先設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

呼出先設定一覧(個別)					
① <input type="checkbox"/> すべて	番号	名前	呼出先番号	他拠点	② ③
<input type="checkbox"/>	15	営業1	00001	-	編集 削除
<input type="checkbox"/>	16	営業2	00002	-	編集 削除

④ ⑤
選択削除 全削除

- ① 選択ボックス 登録された内容を複数削除するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- ② 編集 クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[呼出先設定]項目に表示されます。
- ③ 削除 クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- ④ 選択削除 クリックすると、[選択ボックス]欄で選択した番号の登録内容が削除されま
す。
※削除すると、元に戻せません。
- ⑤ 全削除 クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先設定一覧(電話)

[呼出先設定]項目で登録した内容が表示されます。

※画面は、設定例です。

1 <input type="checkbox"/> すべて	番号	名前	呼出先番号	ブリッジ番号	2 <input type="button" value="編集"/>	3 <input type="button" value="削除"/>
<input type="checkbox"/>	2	500(KXシリーズ)	500	1	<input type="button" value="編集"/>	<input type="button" value="削除"/>

4 5

- 1 **選択ボックス** 登録された内容を複数削除するとき、ボックスにチェックマークを入れます。
※[すべて]欄のボックスをクリックすると、一括して選択、解除ができます。
- 2 **編集** クリックすると、登録内容を編集できます。
編集内容は、[呼出先設定]項目に表示されます。
- 3 **削除** クリックすると、その行の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- 4 **選択削除** クリックすると、[選択ボックス]欄で選択した番号の登録内容が削除されます。
※削除すると、元に戻せません。
- 5 **全削除** クリックすると、すべての登録内容が削除されます。
※全削除すると、元に戻せません。

6 呼出先設定

「呼出先設定」画面

呼出先設定 > 呼出先設定

■ 呼出先一括設定

連番で呼出先番号を一括登録したり、すでに登録した設定内容を他の呼出先にコピーしたりできます。
※画面は、設定例です。

呼出先一括設定	
呼出種別 : ①	グループ <input type="text"/> ▼
呼出先番号 : ②	<input type="text"/> ~ <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>
※指定した範囲の連番を呼出先番号として登録します。	
設定参照元 : ③	00101(営業グループ1) ▼

- ① 呼出種別 通話相手の種別を、「個別」、「グループ」、「トークグループ」から選択します。
- ② 呼出先番号 連番で一括に登録したい呼出先番号の範囲を入力します。
〈追加〉
クリックすると、テキストボックスに入力した範囲(例：00102～00105)の呼出先番号が登録されます。
※入力した範囲で、すでに登録された呼出先番号がある場合は、「設定を上書きします。」が表示されます。
- ③ 設定参照元 すでに登録した端末やグループの設定内容から参照元を選択します。

この章では、
「管理」メニューの設定について説明します。

「管理者」画面	7-2
■ 管理者パスワードの変更	7-2
「時計」画面	7-3
■ 時刻設定	7-3
■ 自動時計設定	7-4
■ SNTPサーバー設定	7-5
「SYSLOG」画面	7-6
■ SYSLOG設定	7-6
「SNMP」画面	7-7
■ SNMP設定	7-7
■ SNMPv3設定	7-8
「管理ツール」画面	7-9
■ USB設定	7-9
■ HTTP/HTTPS設定	7-12
■ HTTP/HTTPS設定後、設定画面にアクセスできなくなったときは	7-13
■ Telnet/SSH設定	7-14
■ UID確認	7-15
「ネットワークテスト」画面	7-16
■ PINGテスト	7-16
■ 経路テスト	7-17
「再起動」画面	7-18
■ 再起動	7-18
「設定の保存/復元」画面	7-19
■ 設定の保存	7-19
■ 設定の復元	7-19
■ 設定内容一覧	7-20
「初期化」画面	7-21
■ 初期化	7-21
「ファームウェアの更新」画面	7-22
■ ファームウェア情報	7-22
■ オンライン更新	7-23
■ 自動更新	7-24
■ 手動更新	7-25
「内蔵ファームウェアの更新」画面	7-26
■ 内蔵ファームウェア情報	7-26
■ オンライン更新	7-27

「管理者」画面


管理 > 管理者


■ 管理者パスワードの変更


本製品の設定画面にアクセスするためのパスワードを変更します。

管理者パスワードの変更

管理者ID: ① admin

現在のパスワード: ② 

新しいパスワード: ③ 

新しいパスワード(再入力): ④ 

⑤ 登録 ⑥ 取消

- ① 管理者ID 本製品の設定画面へのアクセスを許可する管理者IDが表示されます。
※本製品の設定画面にアクセスすると、ユーザー名として入力を求められますので、本製品の管理者ID(admin)を入力します。
※本製品の[管理者ID]は、変更できません。
- ② 現在のパスワード 新しいパスワードに変更するとき、現在のパスワードを大文字/小文字の区別に注意して入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。
- ③ 新しいパスワード 新しいパスワードを入力します。
大文字/小文字の区別に注意して、任意の英数字/記号(半角31文字以内)で入力します。
※新しいパスワードを登録後は、次のアクセスからパスワードの入力を求める画面が表示されますので、そこに新しいパスワードを入力します。
- ④ 新しいパスワード(再入力) 確認のために、新しいパスワードを再入力します。
- ⑤ <登録> 「管理者パスワードの変更」項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑥ <取消> 「管理者パスワードの変更」項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

不正アクセス防止のアドバイス

本製品に設定するすべてのパスワードは、容易に推測されないものにしてください。

数字だけでなくアルファベット(大文字/小文字)や記号などを組み合わせた長く複雑なものにされることをおすすめします。

ご注意

管理者パスワードを忘れた場合、設定画面にアクセスするには、出荷時の状態に戻す必要があります。

※初期化するときには、取扱説明書[導入編]をご覧ください。

「時計」画面

管理 > 時計

■ 時刻設定

本製品の内部時計を手動で設定します。

時刻設定	
本体の現在時刻	① 2022/07/07 15:00
設定する時刻	② 2022 年 07 月 07 日 15 時 00 分 ③ 設定

- ① 本体の現在時刻 本製品に設定されている時刻が表示されます。
- ② 設定する時刻 本製品の設定画面にアクセスしたときの時刻が表示されます。
※お使いのWebブラウザで表示画面を更新すると、パソコンの時計設定を取得して表示します。
- ③ 〈設定〉 [設定する時刻]欄に表示された時刻を本製品に手動で設定するボタンです。
※時刻を手動で設定するときは、本製品の設定画面に再度アクセスするか、お使いのWebブラウザで表示画面を更新してから、〈設定〉をクリックしてください。

「時計」画面

管理 > 時計

■ 自動時計設定

本製品の内部時計を自動設定するとき、アクセスするタイムサーバーの設定です。

自動時計設定

自動時計設定: ① 無効 有効
NTPサーバー1: ② 210.173.160.27
NTPサーバー2: ③ 210.173.160.57
NTPステータス: ④ 同期していません (210.173.160.27, 210.173.160.57からの応答がありません)

- ① 自動時計設定 本製品の自動時計設定機能を設定します。 (出荷時の設定: 有効)
「有効」に設定すると、インターネット上に存在するNTPサーバーに日時の問い合わせをして、内部時計を自動設定します。
- ② NTPサーバー1 アクセスするNTPサーバーのIPアドレスを入力します。
(出荷時の設定: 210.173.160.27)
応答がないときは、[NTPサーバー2]欄で設定したNTPサーバーにアクセスします。
※初期に参照しているNTPサーバーアドレスは、インターネットマルチフィールド株式会社 <https://www.jst.mfeed.ad.jp/> のものです。
- ③ NTPサーバー2 [NTPサーバー1]の次にアクセスさせるNTPサーバーがあるときは、そのIPアドレスを入力します。
(出荷時の設定: 210.173.160.57)
- ④ NTPステータス NTPサーバー、または無線通信モジュールとの同期の状態が表示されます。
同期しているときは、「同期しました」が表示されます。

自動時計設定機能について

自動時計設定機能で「有効」を選択して<登録>を押した直後、NTPサーバーに日時の問い合わせをして、内部時計を自動設定します。

また、自動時計設定機能を「有効」に設定すると、本体起動時にNTPサーバーに日時の問い合わせをします。

それ以降は、設定されたアクセス時間間隔で、内部時計を自動設定します。

ご注意

自動時計設定機能は、NTPサーバーへの問い合わせ先(経路)を設定する必要があります。

経路を設定しないときは、問い合わせできませんので、自動時計設定機能をお使いいただけません。

「ネットワーク設定」メニュー→「IPアドレス」画面→「IPアドレス」項目にある[デフォルトゲートウェイ]欄、または「スタティックルーティング」画面の[スタティックルーティング設定]項目で、ルーティングテーブルを設定してください。

「時計」画面

管理 > 時計

■ SNTPサーバー設定

本製品を弊社製RoIP機器のNTPサーバーとして使用する時の設定です。

SNTPサーバー設定

SNTPサーバー機能: ① 無効 有効
外部NTPサーバーへの経路が確保できない弊社RoIP機器用です。

② ③

- ① **SNTPサーバー機能** …………… 本製品を弊社製RoIP機器用のNTPサーバーとして使用する時の設定です。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、NTPサーバーとして動作する本製品に弊社製RoIP機器が日時の問い合わせをして、内部時計を自動設定します。
※この機能は、外部のNTPサーバーへの問い合わせ先(経路)が設定できない弊社製RoIP機器専用です。
※外部のNTPサーバーへの問い合わせ先(経路)が設定できない弊社製RoIP機器を本製品と併用している場合に、この機能を使用されることをおすすめします。
※この機能を使用するには、あらかじめ「時計」画面で、本製品本体の時計を設定してください。
- ② **〈登録〉** …………… 「時計」画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** …………… 「時計」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「SYSLOG」画面

管理 > SYSLOG

■ SYSLOG設定

指定したホストにログ情報などを出力するための設定です。

SYSLOG設定

DEBUG: ① 無効 有効

INFO: ② 無効 有効

NOTICE: ③ 無効 有効

ホストアドレス: ④ _____

⑤ 登録 ⑥ 取消

- ① **DEBUG** 各種デバッグ情報を指定したホスト(④)に出力する設定です。
(出荷時の設定：無効)
- ② **INFO**..... INFOタイプのメッセージを指定したホスト(④)に出力する設定です。
(出荷時の設定：有効)
- ③ **NOTICE** NOTICEタイプのメッセージを指定したホスト(④)に出力する設定です。
(出荷時の設定：有効)
- ④ **ホストアドレス** SYSLOG機能を使用する場合、SYSLOGを受けるホストのアドレスを入力します。
※ホストは、SYSLOGサーバー機能に対応している必要があります。
- ⑤ **〈登録〉** [SYSLOG設定]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑥ **〈取消〉** [SYSLOG設定]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「SNMP」画面

管理 > SNMP

■ SNMP設定

IPネットワークにおいて、ネットワーク上の各ホストから本製品の情報を自動的に収集して、ネットワーク管理をする
ときの設定です。

SNMP設定

SNMP: ① 無効 有効

コミュニティID (GET): ② public

場所: ③ _____

連絡先: ④ _____

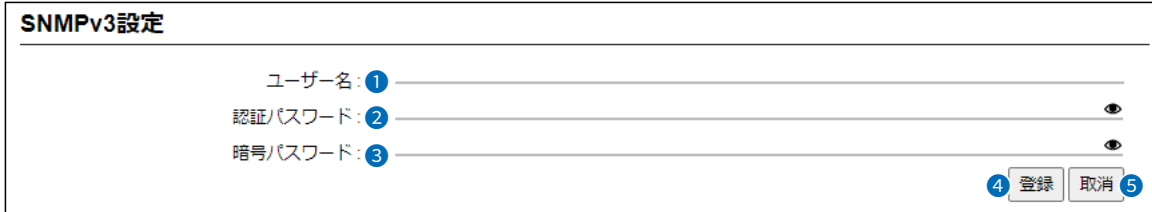
- ① **SNMP** 本製品のSNMP機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、本製品の各種情報をSNMP管理ツール側で管理できま
す。
- ② **コミュニティID(GET)** 本製品の設定情報をSNMP管理ツール側から読み出すことを許可するIDを、
半角31文字以内の英数字で入力します。 (出荷時の設定：public)
- ③ **場所** MIB-II(RFC1213)に対応するSNMP管理ツール側で表示される場所を、半
角127文字以内の英数字で入力します。
- ④ **連絡先** MIB-II(RFC1213)に対応するSNMP管理ツール側で表示される連絡先を、
半角127文字以内の英数字で入力します。

「SNMP」画面

管理 > SNMP


■ SNMPv3設定


認証パスワードと暗号化パスワードを組み合わせ、セキュアな通信をする時の設定です。



SNMPv3設定

ユーザー名: ① _____

認証パスワード: ② _____ 

暗号化パスワード: ③ _____ 

④ 登録 ⑤ 取消

- ① ユーザー名 本製品の設定情報をSNMP管理ツール側から読み出すことを許可するユーザー名を、半角英数字31文字以内で入力します。
- ② 認証パスワード 認証パスワードを、半角英数字8文字以上、63文字以内で入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- ③ 暗号化パスワード 暗号パスワードを、半角英数字8文字以上、63文字以内で入力します。
※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力したパスワードを確認できます。
- ④ 〈登録〉 [SNMP]画面で設定した内容を登録するボタンです。
- ⑤ 〈取消〉 [SNMP]画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ USB設定

市販のUSBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込んだときの動作を設定します。

USB設定

USBメモリー: ① 無効 有効

USBアクセス許可: ② ファームウェアの更新
 設定の保存/復元

USB認証キー: ③

USB認証キーの書き込み: ④

- ① USBメモリー USBメモリーを本製品の[USB]ポートに差し込んだときの動作について設定します。
(出荷時の設定: 有効)
※「無効」に設定されていると、本製品のファームウェアファイルや設定ファイルなどを保存したUSBメモリーを差し込んでもファイルを読み込みません。
- ② USBアクセス許可 本製品に接続されたUSBメモリーから読み込むファイルを選択します。
(出荷時の設定: ファームウェアの更新
 設定の保存/復元)
※チェックマーク[✓]をはずすと、ファイルを保存したUSBメモリーを差し込んだ状態で、〈USB EJECT〉ボタンを短く押しても、該当ファイルを読み込みません。
- ◎ファームウェアの更新(P.7-22～P.7-25) :
本製品のファームウェアファイル(拡張子: dat)を保存したUSBメモリーを差し込むと、ファームウェアをバージョンアップします。
- ◎設定の保存/復元(P.7-19) :
本製品の設定ファイルをUSBメモリーに保存後、設定が異なる本製品にUSBメモリーを差し込んで、自動で設定を復元します。

「管理ツール」画面


管理 > 管理ツール

■ USB設定

USB設定

USBメモリー: ① 無効 有効

USBアクセス許可: ② ファームウェアの更新
 設定の保存/復元

USB認証キー: ③ 

USB認証キーの書き込み: ④

③ USB認証キー

本製品の[USB]ポートに差し込んだUSBメモリーへのファイルの読み込みと書き出しに対するUSB認証キーを設定します。

大文字/小文字の区別に注意して、64文字以内(任意の半角英数字/記号)で入力します。

※目のアイコン(右端)をクリックすると、入力した内容を確認できます。

※USB認証キーでアクセス制限できるのは、「ファームウェアの更新」と「設定の保存/復元」です。

※入力後、「管理ツール」画面の〈登録〉をクリックすると、本製品にUSB認証キーが設定されます。

※本製品にUSB認証キーを設定すると、本製品からUSBメモリーに書き込んだUSB認証キーと同じかどうかを認証します。

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ USB設定

USB設定

USBメモリー: ① 無効 有効

USBアクセス許可: ② ファームウェアの更新
 設定の保存/復元

USB認証キー: ③

USB認証キーの書き込み: ④

④ USB認証キーの書き込み ………

本製品に設定されているUSB認証キーを本製品の[USB]ポートに差し込んだUSBメモリーへ書き込むボタンです。
〈書き込み〉をクリックして、表示される画面にしたがって操作してください。

USB認証キーを保存したUSBメモリーを差し込んでいる場合は、「すでに認証キーが書き込まれています。上書きする場合は「進む」ボタンをクリックしてください。」が表示されます。

USB認証キーの書き込み

USBメモリーに認証キーを書き込みます。
USBメモリーを本体に装着し、準備ができたなら「進む」ボタンをクリックしてください。



USB認証キーの書き込み

認証キーの書き込みが完了しました。

※下記の画面が表示されたときは、〈OK〉をクリックして画面を閉じ、「管理ツール」画面の〈登録〉をクリックしてください。

192.168.0.1 の内容

USB認証キーが変更されています。
変更を登録してから、書き込みを行なってください。

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ HTTP/HTTPS設定

HTTPとHTTPSは、Webブラウザから設定画面にアクセスするためのプロトコルです。

※両方を「無効」に設定すると、Webブラウザを使用して、本製品の設定画面にアクセスできなくなりますのでご注意ください。

HTTP/HTTPS設定	
HTTP: ①	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
HTTPポート番号: ②	80
HTTPS: ③	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
HTTPSポート番号: ④	443

- ① HTTP 本製品へのHTTPプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：有効)

- ② HTTPポート番号 本製品へのHTTPプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「80」と「1024～65535」です。(出荷時の設定：80)
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTPS、Telnet、SSHを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。

- ③ HTTPS 本製品へのHTTPSプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：無効)
※HTTPSを使用すると、パスワードやデータが暗号化されるため、TelnetやHTTPでのアクセスより安全性が向上します。

- ④ HTTPSポート番号 本製品へのHTTPSプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「443」と「1024～65535」です。
(出荷時の設定：443)
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTP、Telnet、SSHを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。

「管理ツール」画面

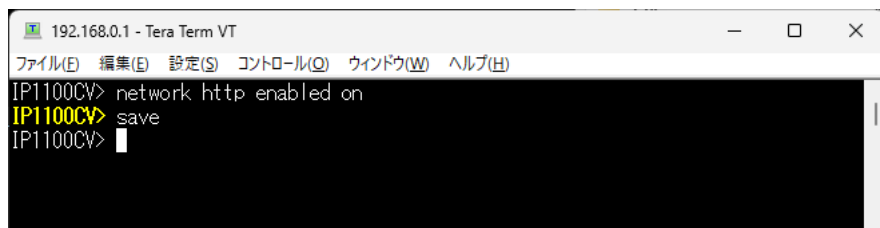
管理 > 管理ツール

■ HTTP/HTTPS設定後、設定画面にアクセスできなくなったときは

TelnetやSSH(取扱説明書[導入編])で本製品(例：192.168.0.1)にアクセスして、IP1100CV>につづけて、下記の太字部分のように入力後、[Enter]キーを押してください。

※出荷時の設定では、「Telnet/SSH設定」項目の[Telnet]欄(P.7-14)が「無効」に設定されているため、Telnetクライアントから本製品にアクセスできません。

- ① IP1100CV> **network http enabled on** と入力し[Enter]キーを押します。
- ② IP1100CV> **save** と入力し[Enter]キーを押す。
- ③ プロンプト応答後、本製品の設定画面へのアクセスを確認します。



```
192.168.0.1 - Tera Term VT
ファイル(F) 編集(E) 設定(S) コントロール(C) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
IP1100CV> network http enabled on
IP1100CV> save
IP1100CV>
```

「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ Telnet/SSH設定

TelnetクライアントやSSHクライアントからのアクセスについて設定します。

Telnet/SSH設定	
Telnet:	<input checked="" type="radio"/> 無効 <input type="radio"/> 有効
Telnetポート番号:	23
SSH:	<input type="radio"/> 無効 <input checked="" type="radio"/> 有効
SSH認証方式:	自動
SSHポート番号:	22
SSH公開鍵:	

- 1 Telnet** 本製品へのTelnetプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：無効)
- 2 Telnetポート番号** 本製品へのTelnetプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
設定できる範囲は、「23」と「1024～65535」です。(出荷時の設定：23)
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTP、HTTPS、SSHを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。
- 3 SSH** 本製品へのSSHプロトコルによるアクセスの許可を設定します。
(出荷時の設定：有効)
※SSHを使用すると、SSHクライアントプログラムを使用して設定する内容を暗号化して通信できます。
※本製品が対応しているのは、SSHプロトコルのバージョン2だけです。
※SSHを使用するには、別途SSHクライアントをご用意ください。
- 4 SSH認証方式** [SSH]欄で「有効」を設定したとき、本製品へのアクセスに対する認証方式を設定します。
(出荷時の設定：自動)
 - パスワード** : パスワードを使用して認証するときに設定します。
 - 公開鍵認証** : 公開鍵を使用して認証するときに設定します。
 - 自動** : 「パスワード認証」と「公開鍵認証」を自動認識します。
- 5 SSHポート番号** 本製品へのSSHプロトコルによるアクセスのポート番号を設定します。
(出荷時の設定：22)
設定できる範囲は、「22」と「1024～65535」です。
そのほか、本製品が使用する一部のポートで利用できないものがあります。
※HTTP、Telnet、HTTPSを使用時、これらに設定されたポート番号と重複しないように設定してください。
- 6 SSH公開鍵** [SSH]欄を「有効」、[SSH認証方式]欄を「自動」/「公開鍵認証」に設定したとき、SSHでアクセスするときに使用する公開鍵を設定します。
設定するSSH公開鍵ファイルをテキストエディターなどで開き、その全文を本欄にペーストしてください。

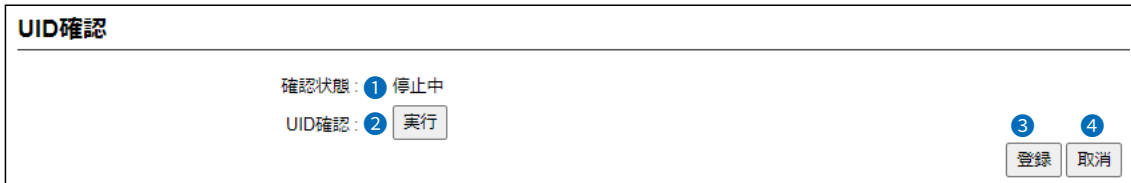
「管理ツール」画面

管理 > 管理ツール

■ UID確認

複数設置した場合に、本製品を識別するための機能です。

どの機器の設定画面を操作しているかを、本製品のランプで確認できます。



- ① 確認状態 UID確認の状態が表示されます。
◎**実行中**：UID確認中（[POWER]が \bullet 赤点滅します。）
◎**停止中**：UID確認を実行していない

- ② UID確認 <実行>を押すと、本製品の[POWER]が \bullet 赤点滅します。
※実行中は、ボタンが<停止>に切り替わります。
※UID確認は、2分で自動停止しますが、<停止>をクリックすると、手動で停止できます。

- ③ <登録> 「管理ツール」画面で設定した内容を登録するボタンです。

- ④ <取消> 「管理ツール」画面の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、<登録>をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「ネットワークテスト」画面

管理 > ネットワークテスト

■ PINGテスト

本製品からPINGを送出し、ネットワークの疎通確認テストをします。

PINGテスト

ホスト: ① _____

試行回数: ② 4 ▼ 回

パケットサイズ: ③ 64 ▼ バイト

タイムアウト時間: ④ 1000 ▼ ミリ秒

⑤

- ① **ホスト** PINGを送出する対象ホストのIPアドレス、またはドメイン名を半角64文字以内で入力します。
- ② **試行回数** PINGを送出する回数を、「1」、「2」、「4」、「8」から選択します。
(出荷時の設定：4)
- ③ **パケットサイズ** 送信するパケットのデータ部分のサイズを設定します。(出荷時の設定：64)
設定できるサイズは、「32」、「64」、「128」、「256」、「512」、「1024」、「1448」、「1500」、「2048」(バイト)です。
- ④ **タイムアウト時間** PING送後、応答を待つ時間を、「500」、「1000」、「5000」(ミリ秒)から選択します。
(出荷時の設定：1000)
設定した時間以内に応答がないときは、タイムアウトになります。
- ⑤ **〈実行〉** PINGテストを実行するボタンです。
クリックすると、「PING結果」表示に切り替わり、テスト結果が表示されます。

PING結果について

PING結果

```
PING 192.168.100.1 (192.168.100.1) 56(84) bytes of data.
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=1 ttl=59 time=9.82 ms
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=2 ttl=59 time=7.00 ms
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=3 ttl=59 time=5.90 ms
64 bytes from 192.168.100.1: icmp_req=4 ttl=59 time=6.62 ms

--- 192.168.100.1 ping statistics ---
4 packets transmitted, 4 received, 0% packet loss, time 3010ms
rtt min/avg/max/mdev = 5.909/7.342/9.824/1.486 ms
```

※上図は、表示例です。

◎〈保存〉をクリックすると、テスト結果をファイル(拡張子:txt)に保存します。

※ファイル名は、「ping_[対象ホストのアドレス].txt」で保存されます。

◎〈実行画面に戻る〉をクリックすると、画面が「PINGテスト」表示に戻ります。

「ネットワークテスト」画面

管理 > ネットワークテスト

■ 経路テスト

本製品から特定のノードに対しての経路テスト(traceroute)をします。

経路テスト

ノード: ①

最大ホップ数: ② 16

タイムアウト時間: ③ 3 秒

DNS名前解決: ④ 無効 有効

⑤

- ① ノード 経路テストをする対象ノード(機器)のIPアドレス、またはドメイン名を半角64文字以内で入力します。
- ② 最大ホップ数 経由するホップ数(中継設備数)の最大値を、「4」、「8」、「16」、「32」から選択します。
(出荷時の設定：16)
- ③ タイムアウト時間 テスト開始後、応答を待つ時間を、「1」、「3」、「5」(秒)から選択します。
(出荷時の設定：3)
設定した時間以内に応答がないときは、タイムアウトになります。
- ④ DNS名前解決 テスト結果に表示するIPアドレスを、ホスト名に変換するかどうか設定します。
(出荷時の設定：有効)
「有効」に設定すると、中継設備や対象ノードのアドレスに対して、DNS名前解決をします。
- ⑤ <実行> 経路テストを実行するボタンです。
クリックすると、「経路テスト結果」表示に切り替わり、テスト結果が表示されます。

経路テスト結果について

経路テスト結果

```

traceroute to 192.168.100.1 (192.168.100.1), 16 hops max, 38 byte packets
 1  1.885 ms  2.101 ms  2.248 ms
 2  20.590 ms  32.736 ms  5.745 ms
 3  192.168.54.1  17.774 ms  4.630 ms  4.497 ms
 4  192.168.53.4  5.841 ms  4.537 ms  7.152 ms
 5  192.168.100.3  10.446 ms  8.165 ms  8.240 ms
 6  192.168.100.1  10.473 ms  8.243 ms  8.037 ms
    
```

※上図は、表示例です。

◎<保存>をクリックすると、テスト結果をファイル(拡張子：txt)に保存します。

※ファイル名は、「tracert_[対象ノードのアドレス].txt」で保存されます。

◎<実行画面に戻る>をクリックすると、画面が「経路テスト」表示に戻ります。

7 管理

「再起動」画面

管理 > 再起動

■ 再起動

〈実行〉をクリックすると、本製品は再起動します。

再起動

再起動:

「設定の保存/復元」画面

管理 > 設定の保存/復元

■ 設定の保存

本製品の設定内容を保存します。

※保存した設定ファイル(拡張子：sav)は、本製品以外の製品では使用できません。

設定の保存
設定の保存： <input type="button" value="保存"/>

設定の保存……………

本製品すべての設定内容をパソコンに保存することで、本製品の設定をバックアップできます。

〈保存〉をクリックして、表示された画面にしたがって操作すると、設定ファイル(拡張子：sav)を保存できます。

保存したファイルは、[設定の復元]項目の操作で、本製品に書き込みできます。

管理 > 設定の保存/復元

■ 設定の復元

保存した設定ファイルの本製品に書き込みます。

※書き込みには数分かかる場合があります。

設定の復元
設定ファイルの選択： ① <input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません
復元： ② <input type="button" value="復元"/>

① 設定ファイルの選択 ……………

[設定の保存]項目の操作で保存した設定ファイル(拡張子：sav)の内容を本製品に書き込むとき使用します。

設定ファイルの保存先を指定するため、〈ファイルの選択〉をクリックします。表示された画面から目的の設定ファイルをクリックして、〈開く(O)〉をクリックすると、選択した設定ファイル名が表示されます。

② 復元 ……………

[設定ファイルの選択]欄のテキストボックスに保存先を指定後、〈復元〉をクリックすると、本製品にその設定内容を書き込みます。

書き込む前の設定内容は、消去されますのでご注意ください。

※書き込みを完了すると、本製品は自動的に再起動します。

※市販のソフトウェアなどで編集したものは、誤動作の原因になりますので、本製品に登録しないでください。

設定ファイルについてのご注意

本製品以外の機器へ書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

「設定の保存/復元」画面

管理 > 設定の保存/復元

■ 設定内容一覧

〈表示する〉をクリックすると、出荷時の設定から変更された内容が表示されます。

※画面の内容は表示例です。

※〈隠す〉をクリックすると、非表示に戻ります。

設定内容一覧

```
didbox timeout_action 1 call
didbox timeout_callednumber 1 "31"
ipradio base_list dst_ipaddr 1 "192.168.0.1"
ipradio base_list dst_ipaddr 2 "192.168.0.11"
ipradio base_list dst_ipaddr 3 "192.168.0.12"
ipradio base_list dst_port 1 32000
ipradio base_list dst_port 2 32000
ipradio base_list dst_port 3 32000
ipradio base_list name 1 "本社(マスター)"
ipradio base_list name 2 "営業所1(サブ)"
ipradio base_list name 3 "営業所2(サブ)"
ipradio base_list tn 1 1
ipradio base_list tn 2 1
ipradio base_list tn 3 1
ipradio call_tbl brg_num 20 "g1"
ipradio call_tbl call_id 1 201
ipradio call_tbl call_id 2 301
ipradio call_tbl call_id 3 10
ipradio call_tbl call_id 4 11
ipradio call_tbl call_id 5 5
ipradio call_tbl call_id 6 55
ipradio call_tbl call_id 10 101
ipradio call_tbl call_id 15 1
ipradio call_tbl call_id 16 200
```

「初期化」画面

管理 > 初期化

■ 初期化

選択した初期化条件で、本製品の設定内容を初期化します。

※IPアドレスと管理者用のパスワードが不明な場合などの初期化については、取扱説明書[導入編]をご覧ください。

初期化	
全設定初期化: ① <input type="radio"/>	すべての設定を出荷時の設定に戻します。
V/RoIP設定初期化: ② <input type="radio"/>	[ネットワーク設定]、[ルーター設定]、[管理]以外の設定を出荷時の設定に戻します。
③ <input type="button" value="実行"/>	

- ① **全設定初期化** 本製品に設定されたすべての内容を出荷時の状態に戻します。
※初期化実行後、本製品のIPアドレスは「192.168.0.1」(出荷時の設定)になります。
初期化によって、本製品にアクセスできなくなった場合は、パソコンのIPアドレスを変更してください。
- ② **V/RoIP設定初期化** 「ネットワーク設定」、「ルーター設定」、「管理」メニュー以外の設定内容を出荷時の状態に戻します。
- ③ **〈実行〉** 選択された初期化条件にしたがって、初期化します。

「ファームウェアの更新」画面

ファームウェアの更新についてのご注意

- ◎故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。
- ◎更新中(数分間)は、すべての接続が切断されます。
インターネットご利用中に更新が実行される場合がありますのでご注意ください。
- ◎ネットワークやサーバーの状態によっては、更新に失敗することがあります。
- ※バージョンアップによって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。
故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

管理 > ファームウェアの更新

■ ファームウェア情報

本製品のファームウェアについて、バージョン情報が表示されます。

ファームウェア情報

バージョン: IP1100CV Ver. Copyright Icom Inc.

「ファームウェアの更新」画面

管理 > ファームウェアの更新

■ オンライン更新

ファームウェアをオンラインで更新します。

※ファームウェアの確認には、インターネットへの接続環境が必要です。

オンライン更新	
ファームウェアの確認:	<input type="button" value="確認"/>

ファームウェアの確認……………

〈確認〉をクリックすると、アップデート管理サーバーに接続します。
接続に成功すると、最新のファームウェア情報(下図)が表示されます。



ファームウェア情報について

- ◎「新しいファームウェアはありません」が表示されるときは、現在のファームウェアが最新ですので、ファームウェアの更新は必要ありません。
- ◎「情報取得成功」と更新内容が表示されたときは、〈ファームウェアを更新〉をクリックすると最新のファームウェアをアップデート管理サーバーからオンラインで更新できます。
- ◎「接続失敗」や「サーバーからエラーが返されました」が表示されるときは、下記を参考に、本製品からアップデート管理サーバーへ接続できる環境であることをご確認ください。

デフォルトゲートウェイとDNSサーバーアドレスを本製品に設定していますか？

→「ネットワーク設定」メニューの「IPアドレス」画面で設定を確認する
本製品からWeb通信することを、ファイアウォールなどで遮断していませんか？

→ネットワーク管理者に確認する

ファームウェアの更新についてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

※更新によって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。

「ファームウェアの更新」画面

管理 > ファームウェアの更新

■ 自動更新

ファームウェアの自動更新機能を使用するときに設定します。

自動更新
自動更新: <input checked="" type="radio"/> ① 無効 <input type="radio"/> 有効
<input type="button" value="② 登録"/> <input type="button" value="③ 取消"/>

- ① **自動更新** ファームウェアの自動更新機能を設定します。 (出荷時の設定：有効)
自動更新機能有効時の通知機能について
[MSG]ランプが●緑点灯した場合は、ご都合のよいときにファームウェアの更新をしてください。(取扱説明書[導入編]参照)
※オンラインファーム検知時、ファームウェアは自動的に更新されません。
※更新内容によっては、アップデート管理サーバーから本製品のファームウェアが自動更新されることがあります。
運用中にファームウェアを更新して本製品が再起動しますので、自動更新を望まない場合は「無効」に設定してください。
- ② **〈登録〉** [自動更新]項目で設定した内容を登録するボタンです。
- ③ **〈取消〉** [自動更新]項目の設定内容を変更したとき、変更前の状態に戻すボタンです。
なお、〈登録〉をクリックすると、変更前の状態には戻りません。

「ファームウェアの更新」画面

管理 > ファームウェアの更新

■ 手動更新

パソコンに保存しているファイルを指定してファームウェアを更新します。

手動更新	
ファームウェアの選択: ①	<input type="button" value="ファイルの選択"/> ファイルが選択されていません
ファームウェアの更新: ②	<input type="button" value="更新"/>

- ① ファームウェアの選択** …………… <ファイルの選択>をクリックして、表示された画面から、パソコンに保存している本製品のファームウェアファイル(拡張子：dat)を選択して、<開く(O)>をクリックします。
選択した設定ファイル名が表示されます。
- ② ファームウェアの更新** …………… <更新>をクリックすると、[ファームウェアの選択]項目に表示されたファームウェアファイル(拡張子：dat)を本製品に書き込みます。
更新を開始すると、「ファームウェアを更新しています。」と表示されます。

ファームウェアの更新についてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

※更新によって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。

「内蔵ファームウェアの更新」画面

ファームウェアの更新についてのご注意

- ◎故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。
- ◎ネットワークやサーバーの状態によっては、更新に失敗することがあります。
- ※更新によって追加や変更になる機能、注意事項については、あらかじめ弊社ホームページでご確認ください。

管理 > 内蔵ファームウェアの更新

■ 内蔵ファームウェア情報

本製品に内蔵しているファームウェアの情報(機種とバージョン)が表示されます。

内蔵ファームウェア情報

機種	バージョン
IP110H	
IP200H	
IP200PG	
IP210H	
VP-2100	

「内蔵ファームウェアの更新」画面

管理 > 内蔵ファームウェアの更新

■ オンライン更新

本製品に内蔵しているファームウェアをオンラインで更新します。

※ファームウェアの確認には、インターネットへの接続環境が必要です。

オンライン更新

機種: ①

ファームウェアの確認: ②

① 機種

本製品からファームウェアを更新する機種を選択します。

※2024年12月現在、選択できる機種はIP110H、IP200H、IP200PG、IP210H、VP-2100です。

② ファームウェアの確認

〈確認〉をクリックすると、アップデート管理サーバーに接続します。

接続に成功すると、最新のファームウェア情報(下図)が表示されます。



ファームウェア情報について

◎「新しいファームウェアはありません」が表示されるときは、現在のファームウェアが最新ですので、ファームウェアの更新は必要ありません。

◎「情報取得成功」と更新内容が表示されたときは、〈ファームウェアを更新〉をクリックすると最新のファームウェアをアップデート管理サーバーからオンラインで更新できます。

◎「接続失敗」や「サーバーからエラーが返されました」が表示されるときは、下記を参考に、本製品からアップデート管理サーバーへ接続できる環境であることをご確認ください。

デフォルトゲートウェイとDNSサーバーアドレスを本製品に設定していますか？

→「ネットワーク設定」メニューの「IPアドレス」画面で設定を確認する
本製品からWeb通信することを、ファイアウォールなどで遮断していませんか？

→ネットワーク管理者に確認する

ファームウェアの更新についてのご注意

故障の原因になるため、ファームウェアの更新が完了するまで、本製品の電源を切らないでください。

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

アイコム株式会社

547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32

A7814-3J
© 2024 Icom Inc. 202412